

小田原市
介護予防・日常生活圏域二一ズ調査
調査結果報告書

令和5年3月

小田原市

目次

I 調査の概要	3
1 調査の目的	3
2 調査対象	3
3 実施方法	3
4 回収状況	3
(1) 性別・年齢階級別回収状況	3
(2) 要介護状態区分・年齢階級別回収状況	3
(3) 圏域・年齢階級別回収状況	4
5 調査結果の表示方法	4
6 圏域区分	5
II 調査結果	9
1 あなたのご家族や生活状況について	10
2 からだを動かすことについて	17
3 食べることについて	31
4 毎日の生活について	42
5 地域での活動について	65
6 あなたとまわりの人の「たすけあい」	86
7 健康について	108
8 認知症にかかる相談窓口の把握について	128
III 要介護状態になるリスクの発生状況等に関する分析	139
1 要介護状態になるリスクの発生状況	140
(1) 運動器機能低下	140
(2) 閉じこもり傾向	142
(3) 転倒リスク	144
(4) 低栄養状態	146
(5) 口腔機能低下	148
(6) 認知機能低下	150
(7) うつ傾向	152
2 日常生活	154
(1) 手段的自立度（IADL）	154

3	社会参加	156
	(1) 知的能動性	156
	(2) 社会的役割	158
IV	日常生活圏域ごとの特性.....	163
	【第1圏域】(緑、万年、幸、芦子)	166
	【第2圏域】(新玉、山王網一色、足柄)	167
	【第3圏域】(十字、片浦、早川、大窪)	168
	【第4圏域】(二川、久野)	169
	【第5圏域】(東富水)	170
	【第6圏域】(富水)	171
	【第7圏域】(桜井)	172
	【第8圏域】(酒匂・小八幡、富士見)	173
	【第9圏域】(下府中)	174
	【第10圏域】(豊川、上府中)	175
	【第11圏域】(曾我、下曾我、国府津)	176
	【第12圏域】(前羽、橘北)	177
V	資料.....	181
1	自由記載回答.....	181
2	調査票.....	184

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査の目的

「第9期おだわら高齢者福祉介護計画」の策定に向けて、高齢者福祉及び介護保険事業の施策形成のための基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

小田原市在住の65歳以上の方で、要介護1～5の認定を受けていない方（令和4年（2022年）10月20日現在）から、圏域別に無作為抽出

3 実施方法

- 調査方法：郵送配布・郵送回収
- 調査期間：令和4年（2022年）11月22日（火）から12月9日（金）まで

4 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
今回調査	7,500 通	5,346 通	71.3%
前回調査（令和元年度）	7,500 通	5,420 通	72.3%

（1）性別・年齢階級別回収状況

上段：件数、下段：%

	全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
全体	5,346	1,113	1,521	1,239	894	579
	100.0	20.8	28.5	23.2	16.7	10.8
男性	2,407	532	740	552	335	248
	45.0	22.1	30.7	22.9	13.9	10.3
女性	2,939	581	781	687	559	331
	55.0	19.8	26.6	23.4	19.0	11.3

（2）要介護状態区分・年齢階級別回収状況

上段：件数、下段：%

	全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
全体	5,346	1,113	1,521	1,239	894	579
	100.0	20.8	28.5	23.2	16.7	10.8
一般高齢者	5,008	1,105	1,484	1,175	804	440
	93.7	22.1	29.6	23.5	16.1	8.8
要支援者	264	7	20	32	77	128
	4.9	2.7	7.6	12.1	29.2	48.5
事業対象者	74	1	17	32	13	11
	1.4	1.4	23.0	43.2	17.6	14.9

※事業対象者とは、介護予防・日常生活支援総合事業の対象者のことを表します。

(3) 圏域・年齢階級別回収状況

上段:件数、下段:%

	全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
全体	5,346 100.0	1,113 20.8	1,521 28.5	1,239 23.2	894 16.7	579 10.8
第1圏域	451 100.0	101 22.4	146 32.4	100 22.2	65 14.4	39 8.6
第2圏域	443 100.0	96 21.7	125 28.2	97 21.9	80 18.1	45 10.2
第3圏域	431 100.0	94 21.8	111 25.8	88 20.4	87 20.2	51 11.8
第4圏域	436 100.0	85 19.5	127 29.1	98 22.5	72 16.5	54 12.4
第5圏域	452 100.0	79 17.5	114 25.2	118 26.1	91 20.1	50 11.1
第6圏域	439 100.0	103 23.5	110 25.1	81 18.5	88 20.0	57 13.0
第7圏域	461 100.0	100 21.7	128 27.8	109 23.6	72 15.6	52 11.3
第8圏域	454 100.0	97 21.4	131 28.9	101 22.2	80 17.6	45 9.9
第9圏域	454 100.0	91 20.0	133 29.3	105 23.1	77 17.0	48 10.6
第10圏域	440 100.0	105 23.9	126 28.6	110 25.0	57 13.0	42 9.5
第11圏域	443 100.0	87 19.6	146 33.0	117 26.4	50 11.3	43 9.7
第12圏域	442 100.0	75 17.0	124 28.1	115 26.0	75 17.0	53 12.0

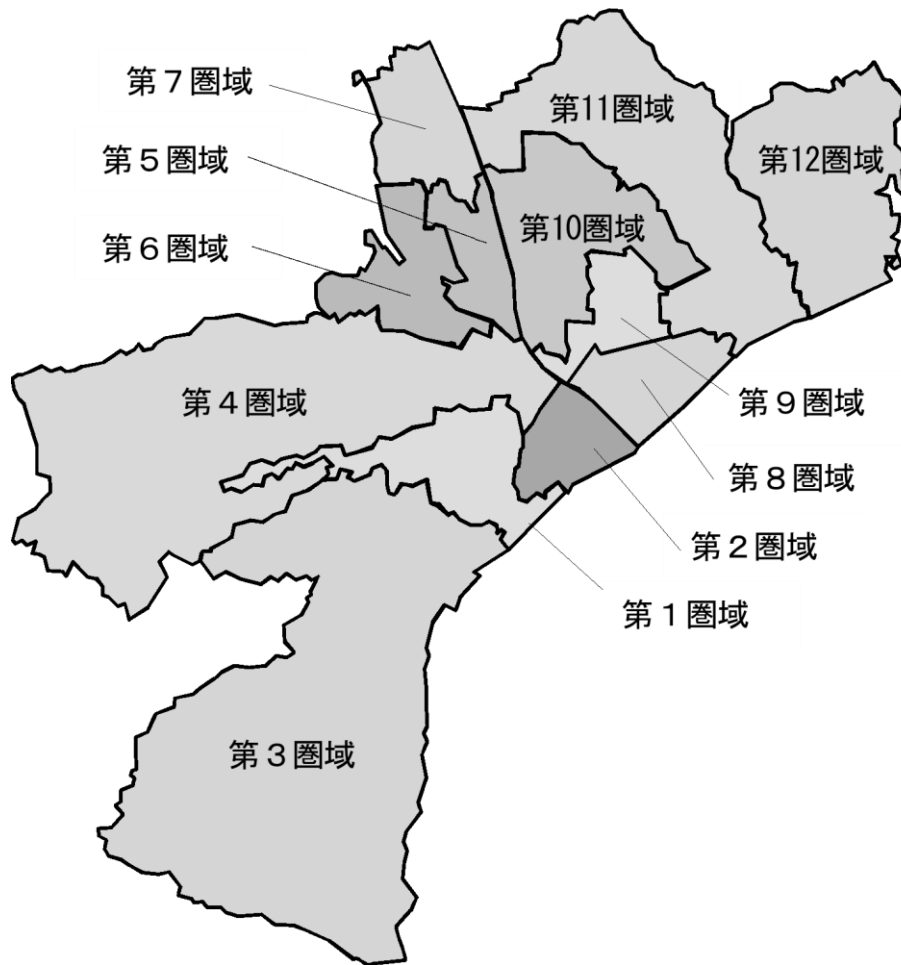
※圏域については、5ページ「6 圏域区分」を参照。

5 調査結果の表示方法

- 回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- 調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものに下線を引いています。（無回答を除く）
- 調査結果を示している表内には、回答比率に応じた長さの棒グラフを表示しています。
- 調査票のうち、自由記載欄の調査結果については、181ページのV資料の「1 自由記載回答」にて掲載しています。

6 圏域区分

圏域区分は、「第8期おだわら高齢者福祉介護計画」における日常生活圏域に合わせ、次のとおりとなっています。



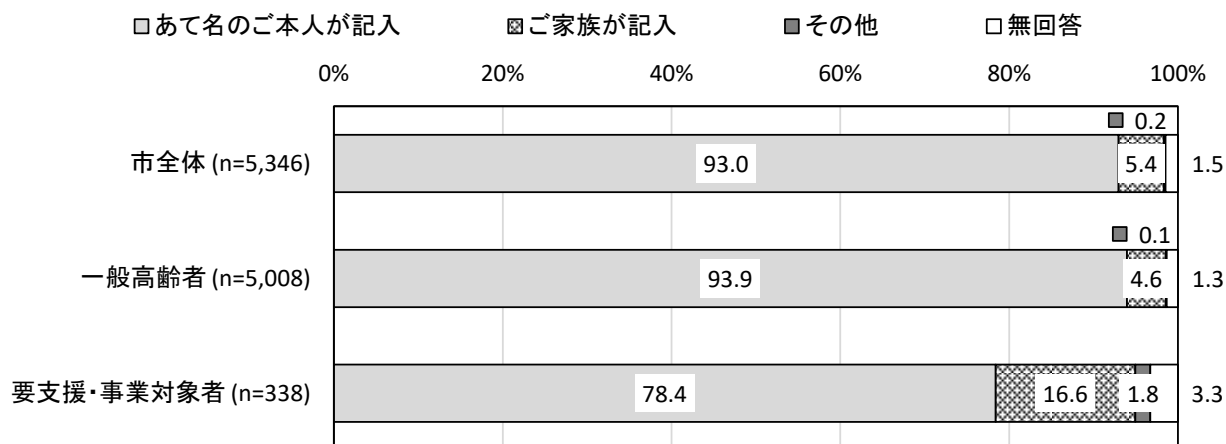
圏域	自治会連合会名
第1圏域	緑、万年、幸、芦子
第2圏域	新玉、山王網一色、足柄
第3圏域	十字、片浦、早川、大窪
第4圏域	二川、久野
第5圏域	東富水
第6圏域	富水
第7圏域	桜井
第8圏域	酒匂・小八幡、富士見
第9圏域	下府中
第10圏域	豊川、上府中
第11圏域	曾我、下曾我、国府津
第12圏域	前羽、橘北

II 調査結果

II 調査結果

調査票を記入されたのはどなたですか（☑は1つ）

市全体では「あて名のご本人が記入」が93.0%、「ご家族が記入」が5.4%となっています。
一般高齢者に比べ、要支援・事業対象者では「ご家族が記入」が高くなっています。

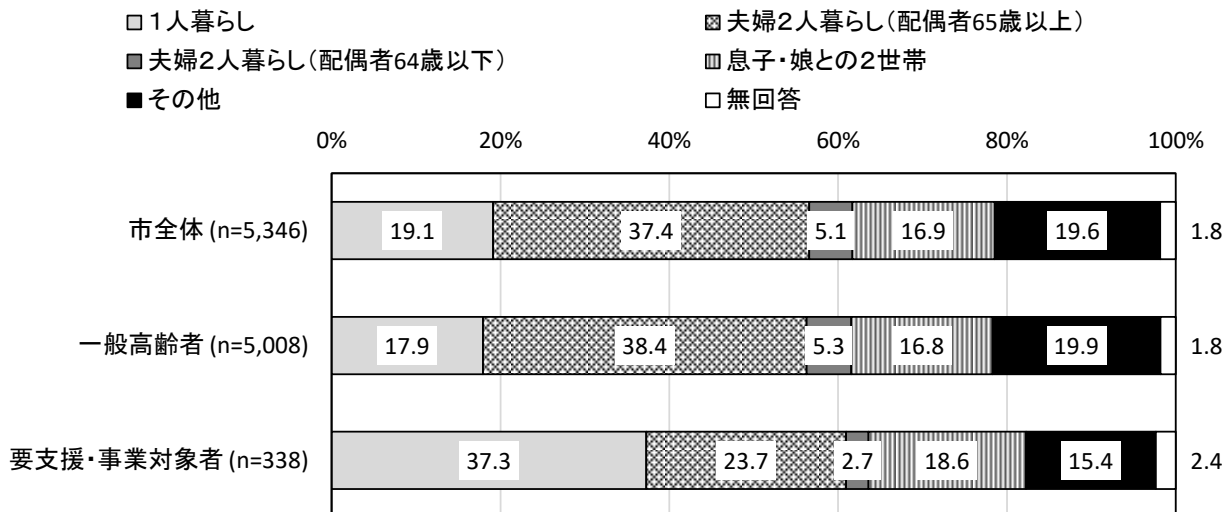


1 あなたのご家族や生活状況について

問1 家族構成をお教えてください (☑は1つ)

市全体では「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が37.4%と最も高く、次いで「その他」が19.6%、「1人暮らし」が19.1%となっています。

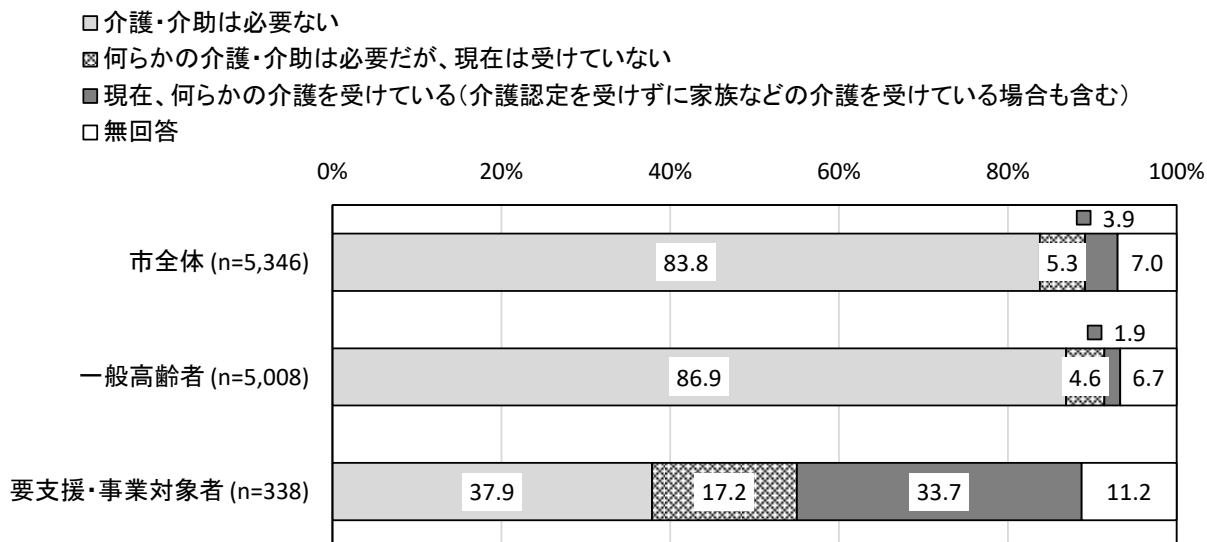
一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、要支援・事業対象者では「1人暮らし」が高く、一般高齢者で「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が高くなっています。



問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (☑は1つ)

市全体では「介護・介助は必要ない」が83.8%と最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が5.3%、「現在、何らかの介護・介助を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護・介助を受けている場合も含む)」が3.9%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、要支援・事業対象者では「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「現在、何らかの介護・介助を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護・介助を受けている場合も含む)」が高くなっています。

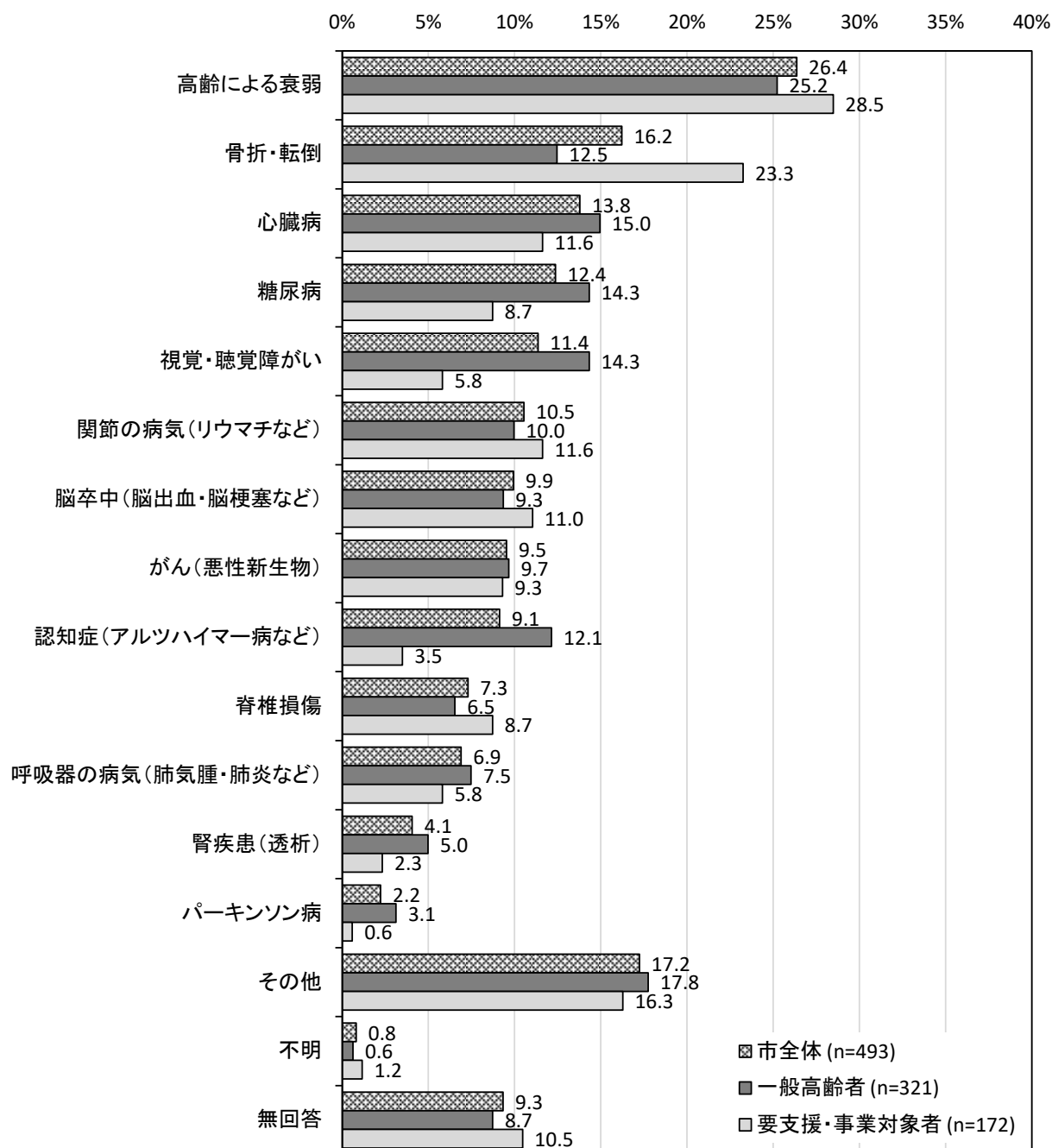


【問2において「介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

問2-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか（あてはまるものすべてに☑）

市全体では「高齢による衰弱」が26.4%と最も高く、次いで「骨折・転倒」が16.2%、「心臓病」が13.8%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、要支援・事業対象者では「高齢による衰弱」「骨折・転倒」「関節の病気（リウマチなど）」「脳卒中（脳出血・脳梗塞など）」「脊椎損傷」が高くなっています。



II 調査結果

【年齢階級別】

年齢階級別でみると、65～69歳で「関節の病気（リウマチなど）」、70～74歳で「その他」、75～79歳で「骨折・転倒」、80歳以上で「高齢による衰弱」が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数（件）	高齢による衰弱	骨折・転倒	心臓病	糖尿病	視覚・聴覚障がい	関節の病気（リウマチなど）	脳卒中（脳出血・脳梗塞など）	がん（悪性新生物）	
市全体	493	26.4	16.2	13.8	12.4	11.4	10.5	9.9	9.5	
年齢階級別	65～69歳	29	17.2	3.4	10.3	6.9	10.3	27.6	17.2	17.2
	70～74歳	65	7.7	13.8	9.2	18.5	10.8	15.4	9.2	10.8
	75～79歳	90	16.7	20.0	10.0	13.3	6.7	8.9	11.1	8.9
	80～84歳	129	25.6	17.1	14.7	13.2	9.3	9.3	10.1	11.6
	85歳以上	180	40.0	16.7	17.2	10.0	15.6	7.8	8.3	6.7

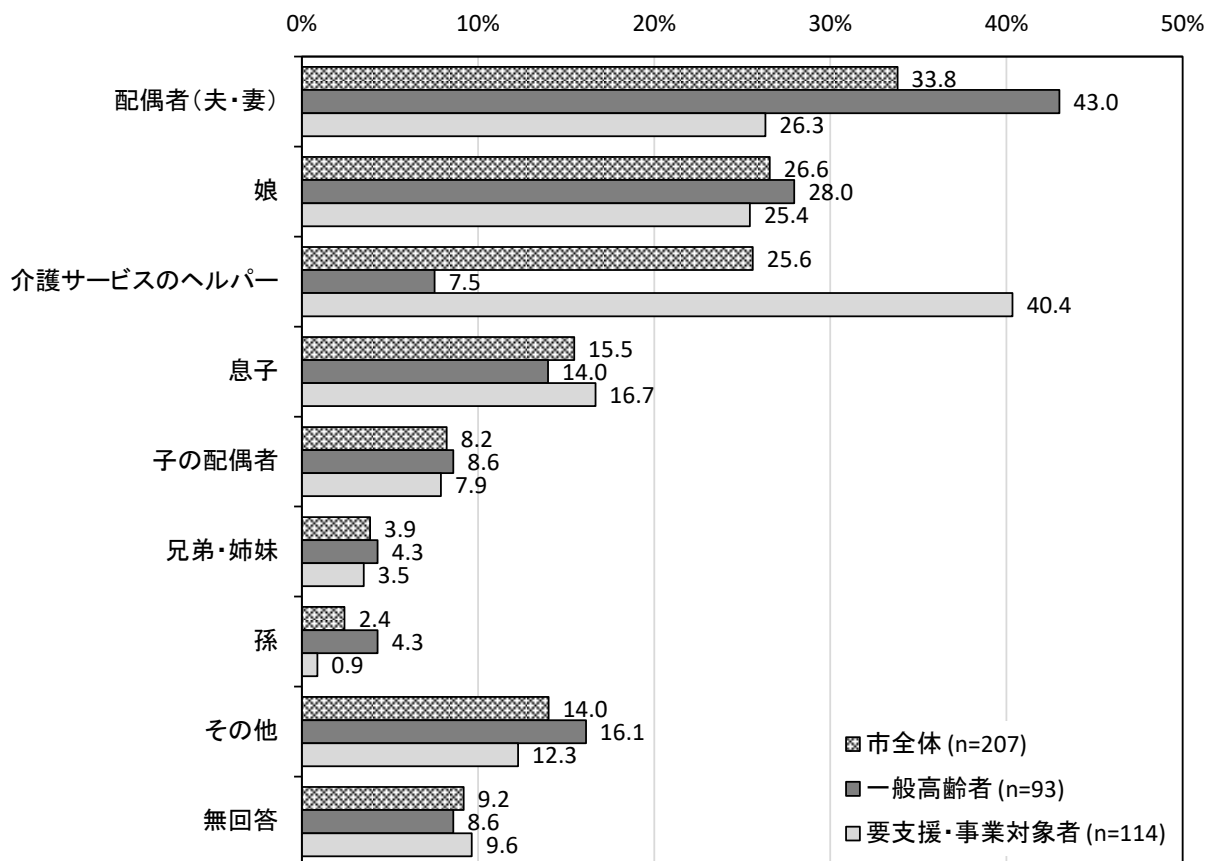
区分	認知症（アルツハイマー病など）	脊椎損傷	呼吸器の病気（肺炎など）	腎疾患（透析）	パーキンソン病	その他	不明	無回答	
市全体	9.1	7.3	6.9	4.1	2.2	17.2	0.8	9.3	
年齢階級別	65～69歳	6.9	0.0	3.4	3.4	6.9	20.7	3.4	0.0
	70～74歳	4.6	10.8	9.2	4.6	6.2	23.1	1.5	7.7
	75～79歳	11.1	8.9	5.6	5.6	2.2	14.4	1.1	5.6
	80～84歳	8.5	6.2	6.2	3.9	0.0	13.2	0.8	14.0
	85歳以上	10.6	7.2	7.8	3.3	1.7	18.9	0.0	10.0

【問2において「現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

問2-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか（あてはまるものすべてに☑）

市全体では「配偶者（夫・妻）」が33.8%と最も高く、次いで「娘」が26.6%、「介護サービスのヘルパー」が25.6%となっています。

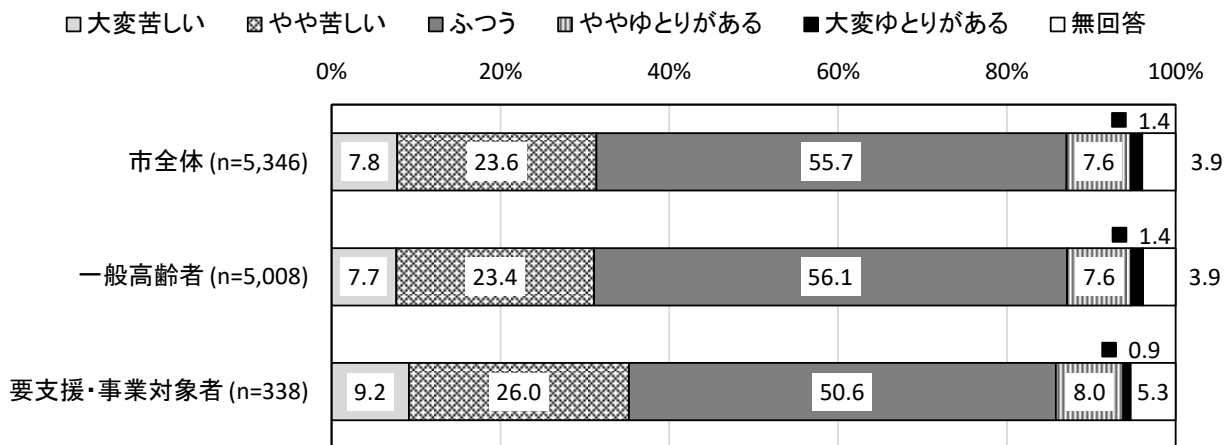
一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、「介護サービスのヘルパー」の割合は、一般高齢者で7.5%、要支援・事業対象者で40.4%と、32.9ポイント差となっています。



問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (☑は1つ)

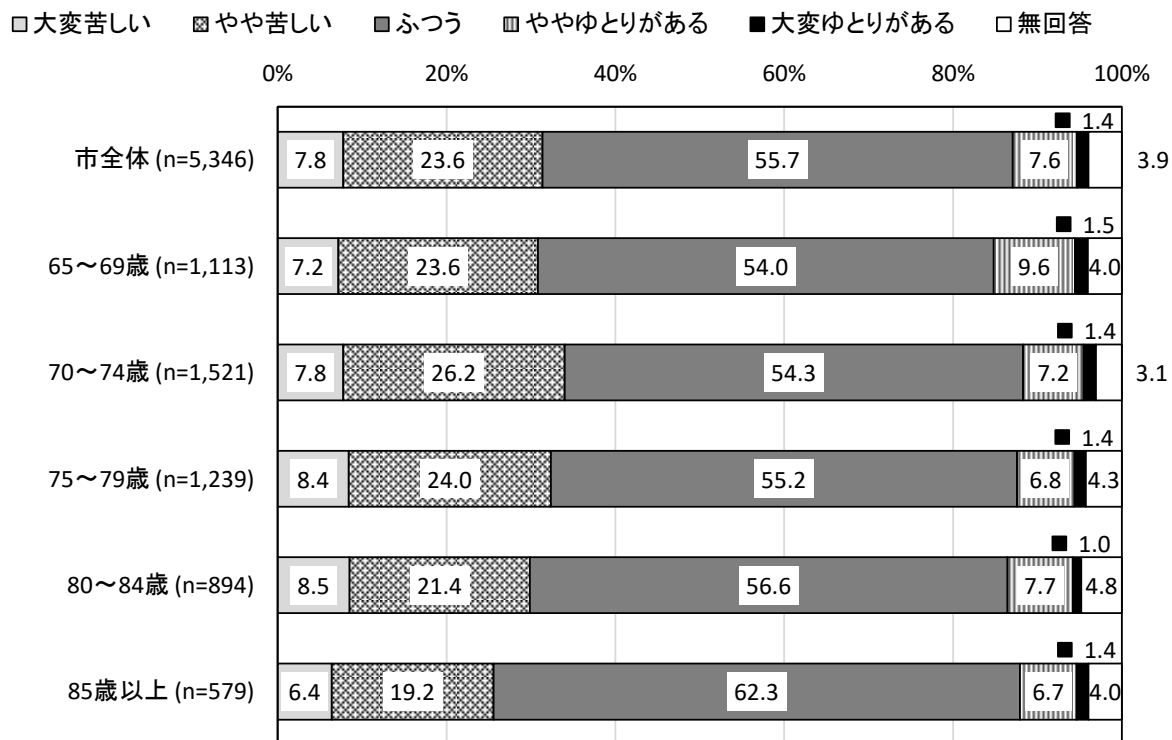
市全体では「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた『苦しい』の割合が31.4%、「ふつう」の割合が55.7%、「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」を合わせた『ゆとりがある』の割合が9.0%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、『苦しい』の割合は、一般高齢者で31.1%、要支援・事業対象者で35.2%と、4.1ポイント差となっています。



【年齢階級別】

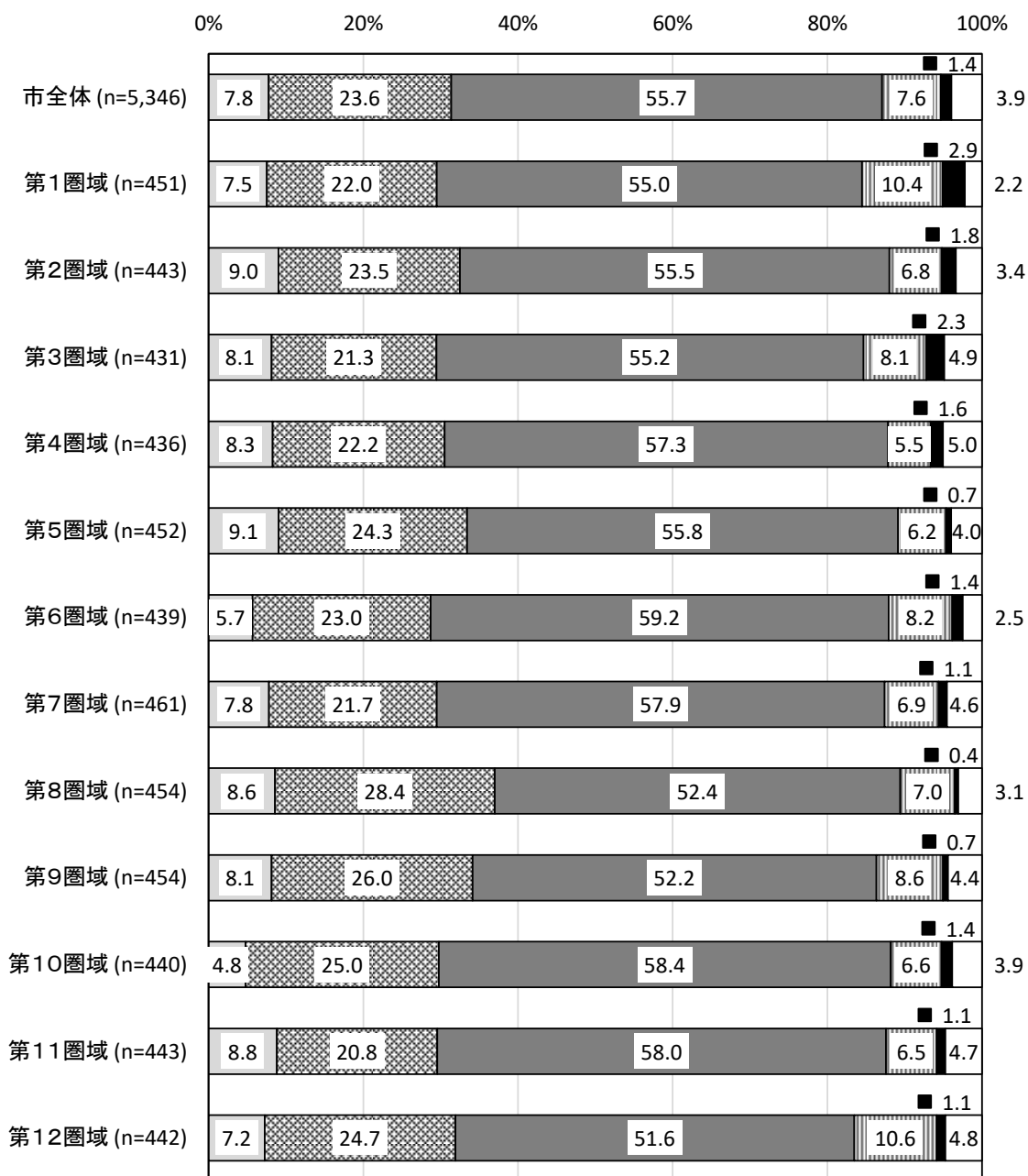
年齢階級別でみると、75歳以降は年齢が上がるにつれて『苦しい』の割合が低くなっています。



【圏域別】

圏域別でみると、『苦しい』は、第8圏域が37.0%と最も高く、次いで第9圏域が34.1%、第5圏域が33.4%となっています。『ゆとりがある』は、第1圏域が13.3%と最も高く、次いで第12圏域が11.7%、第3圏域が10.4%となっています。

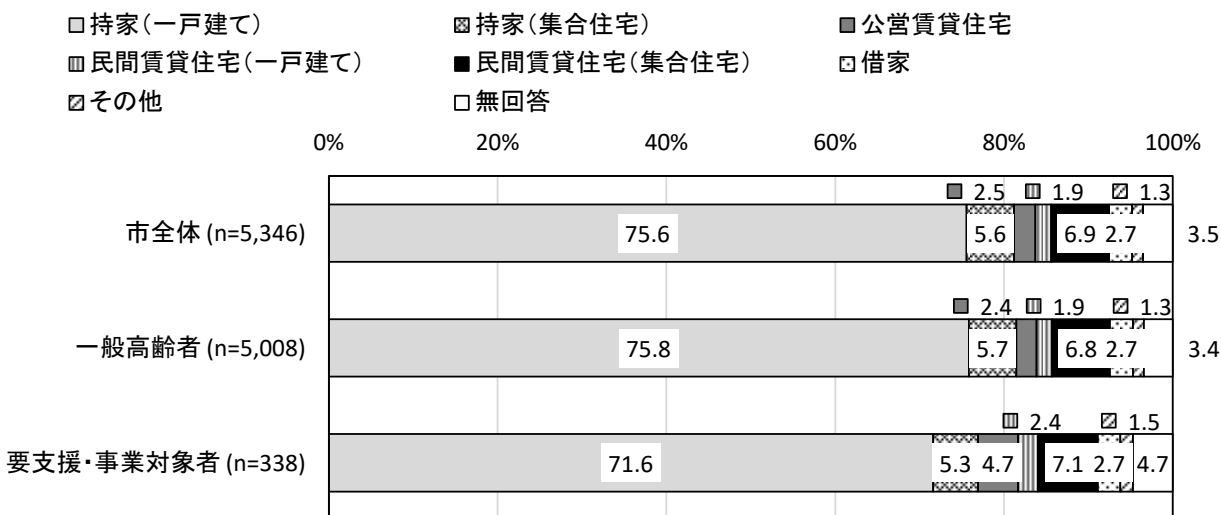
□大変苦しい ▨ やや苦しい ■ ふつう ▩ ややゆとりがある ■ 大変ゆとりがある □ 無回答



問4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (☑は1つ)

市全体では「持家（一戸建て）」が 75.6%と最も高く、次いで「民間賃貸住宅（集合住宅）」が 6.9%、「持家（集合住宅）」が 5.6%となっています。

一般高齢者に比べ、要支援・事業対象者では「持家（一戸建て）」が低くなっています。



【圏域別】

圏域別でみると、他に比べ、第1圏域、第2圏域、第8圏域で「持家（集合住宅）」、第5圏域で「公営賃貸住宅」、第4圏域、第5圏域で「民間賃貸住宅（集合住宅）」が高くなっています。

単位: %

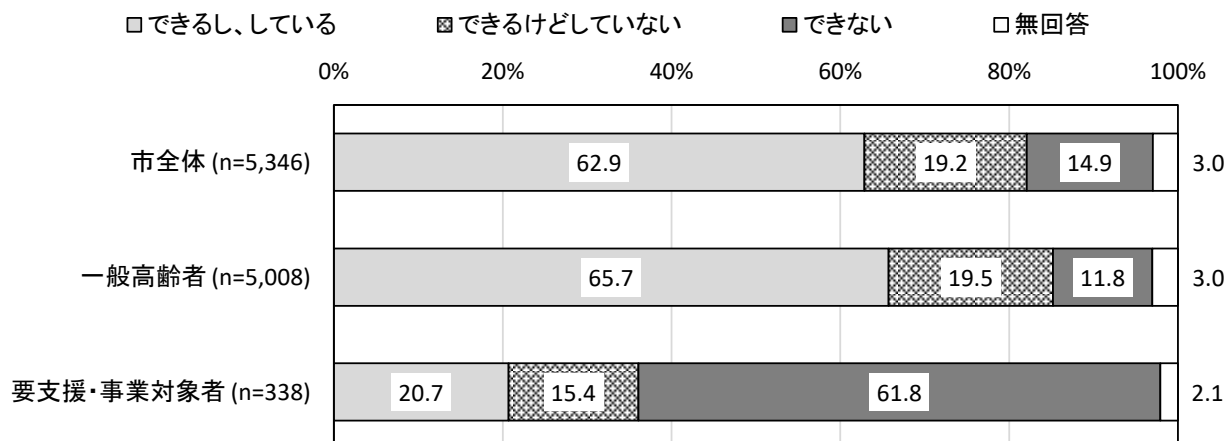
区分	有効回答数 (件)	持家 (一戸建て)	持家 (集合住宅)	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅 (一戸建て)	民間賃貸住宅 (集合住宅)	借家	その他	無回答	
市全体	5,346	<u>75.6</u>	5.6	2.5	1.9	6.9	2.7	1.3	3.5	
日常生活圏域別	第1圏域	451	<u>68.1</u>	15.5	0.7	1.3	8.2	2.9	1.6	1.8
	第2圏域	443	<u>68.6</u>	9.7	1.6	2.3	7.7	5.2	0.5	4.5
	第3圏域	431	<u>75.9</u>	5.3	0.7	2.1	8.4	3.0	1.2	3.5
	第4圏域	436	<u>72.7</u>	5.3	0.7	1.8	10.6	3.2	1.6	4.1
	第5圏域	452	<u>60.0</u>	2.7	11.7	2.2	14.4	4.6	1.8	2.7
	第6圏域	439	<u>80.4</u>	2.3	0.7	3.0	5.5	2.3	2.5	3.4
	第7圏域	461	<u>80.7</u>	1.3	2.0	1.7	6.3	3.3	1.5	3.3
	第8圏域	454	<u>69.6</u>	10.4	5.9	1.3	6.8	2.0	0.7	3.3
	第9圏域	454	<u>82.8</u>	2.4	0.0	2.2	6.4	2.0	0.9	3.3
	第10圏域	440	<u>90.0</u>	0.0	0.7	1.6	2.5	1.1	0.5	3.6
	第11圏域	443	<u>78.1</u>	3.2	4.1	2.3	4.7	1.6	1.4	4.7
	第12圏域	442	<u>80.1</u>	9.5	1.4	0.9	0.9	1.4	1.8	4.1

2 からだを動かすことについて

問5 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (☑は1つ)

市全体では「できるし、している」が62.9%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が19.2%、「できない」が14.9%となっています。

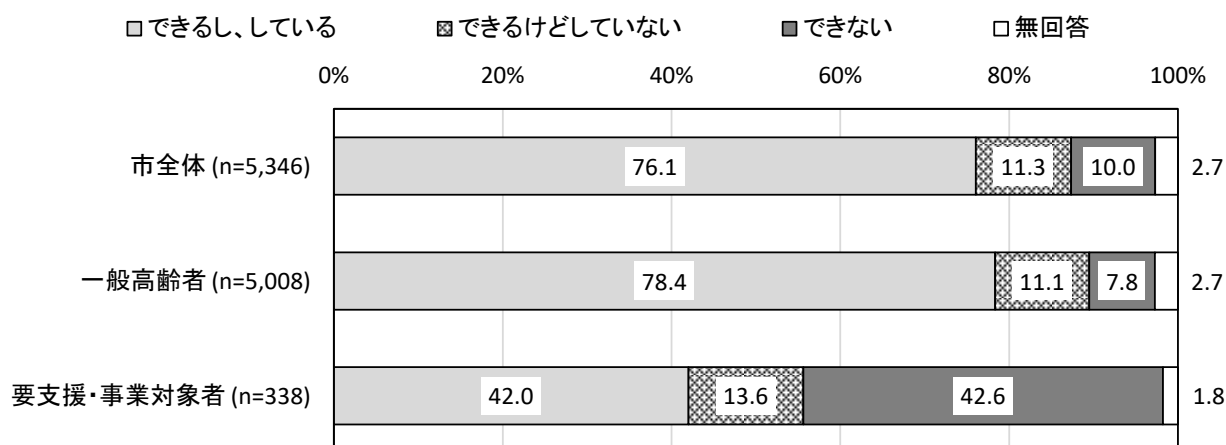
一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、「できない」の割合は、一般高齢者で11.8%、要支援・事業対象者で61.8%と、50.0ポイント差となっています。



問6 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (☑は1つ)

市全体では「できるし、している」が76.1%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が11.3%、「できない」が10.0%となっています。

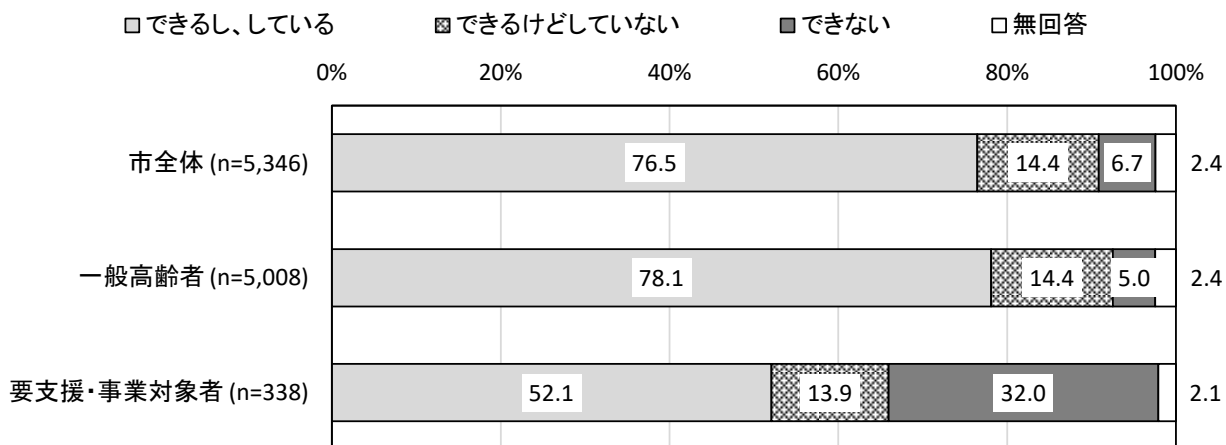
一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、「できない」の割合は、一般高齢者で7.8%、要支援・事業対象者で42.6%と、34.8ポイント差となっています。



問7 15分位続けて歩いていますか（☑は1つ）

市全体では「できるし、している」が76.5%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が14.4%、「できない」が6.7%となっています。

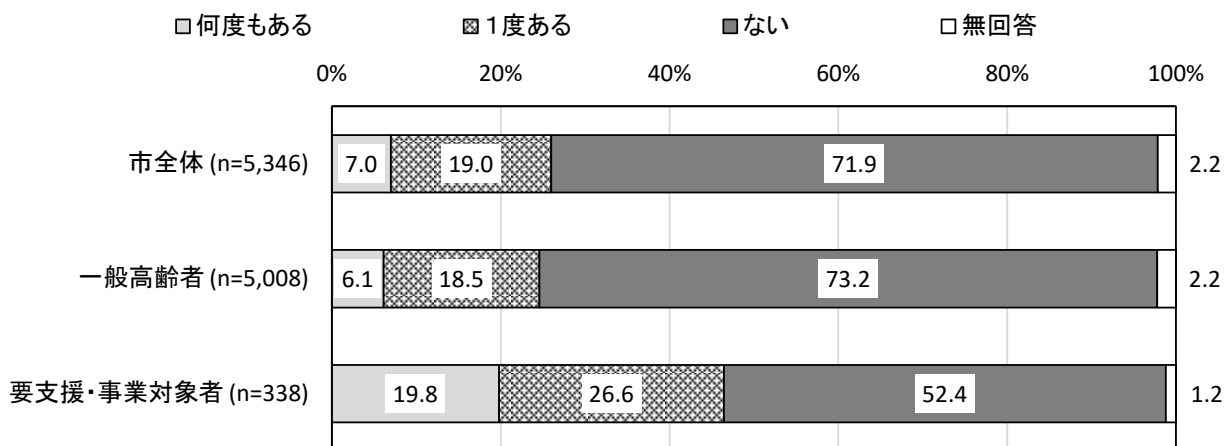
一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、「できない」の割合は、一般高齢者で5.0%、要支援・事業対象者で32.0%と、27.0ポイント差となっています。



問8 過去1年間に転んだ経験がありますか（☑は1つ）

市全体では「何度もある」と「1度ある」を合わせた『過去1年間に転んだ経験がある人』が26.0%、「ない」が71.9%となっています。

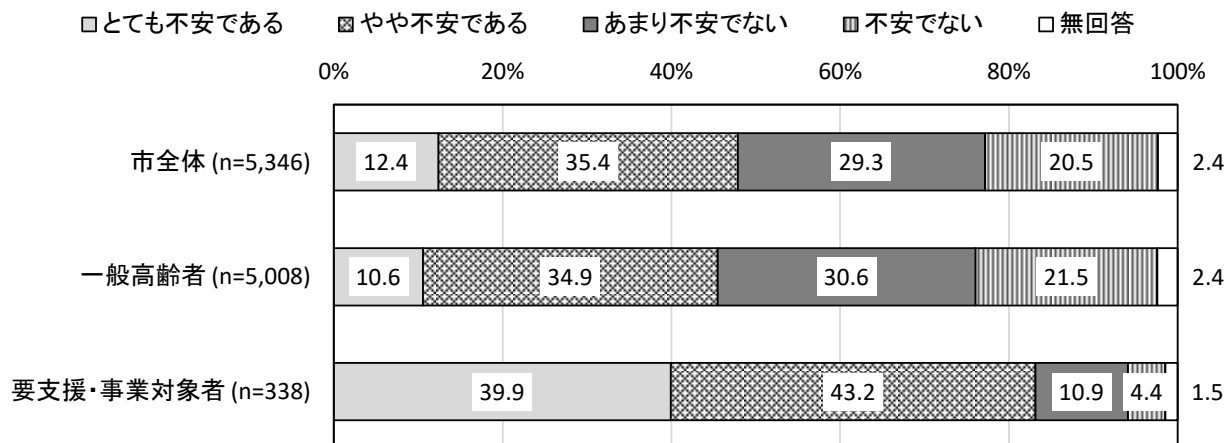
一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、『過去1年間に転んだ経験がある人』の割合は、一般高齢者で24.6%、要支援・事業対象者で46.4%と、21.8ポイント差となっています。



問9 転倒に対する不安は大きいですか (☑は1つ)

市全体では「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた『転倒に対して不安な人』が47.8%、「あまり不安でない」と「不安でない」を合わせた『転倒に対して不安でない人』が49.8%となっています。

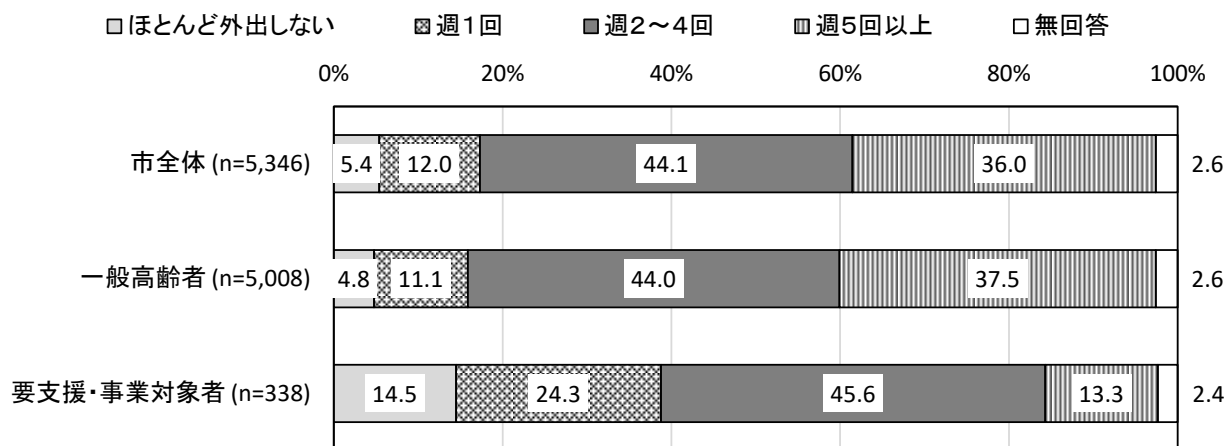
一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、『転倒に対して不安な人』の割合は、一般高齢者で45.5%、要支援・事業対象者で83.1%と、37.6ポイント差となっています。



問10 週に1回以上は外出していますか (☑は1つ)

市全体では「ほとんど外出しない」と「週1回」を合わせた『閉じこもり傾向のある人』が17.4%、「週2~4回」が44.1%、「週5回以上」が36.0%となっています。

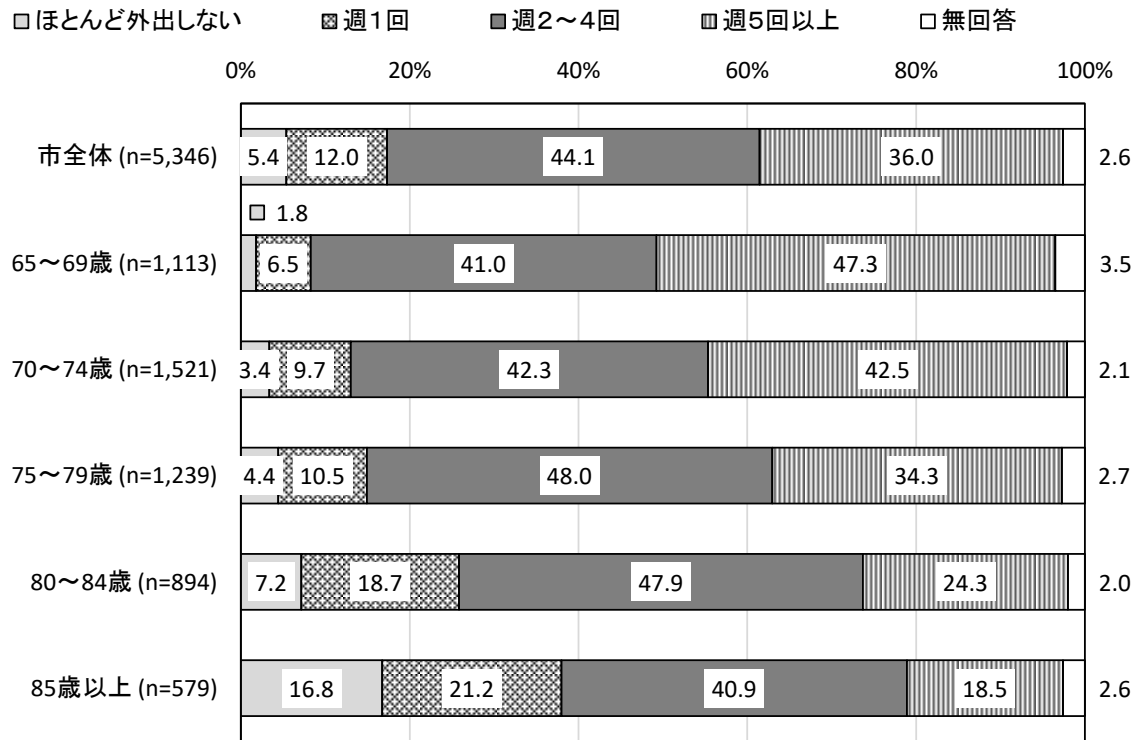
一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、『閉じこもり傾向のある人』の割合は、一般高齢者で15.9%、要支援・事業対象者で38.8%と、22.9ポイント差となっています。



II 調査結果

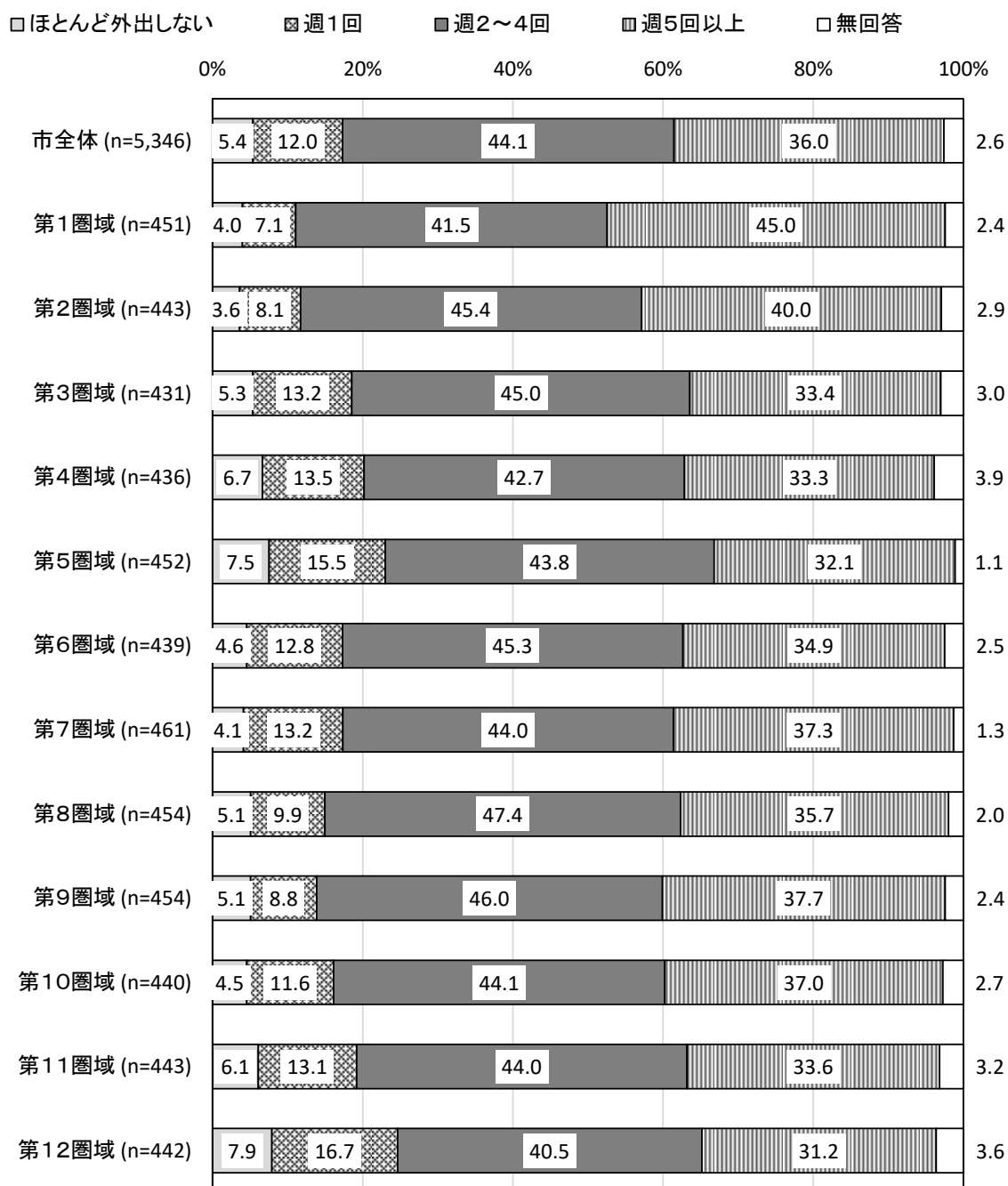
【年齢階級別】

年齢階級別でみると、年齢が上がるにつれて『閉じこもり傾向のある人』の割合が増えています。



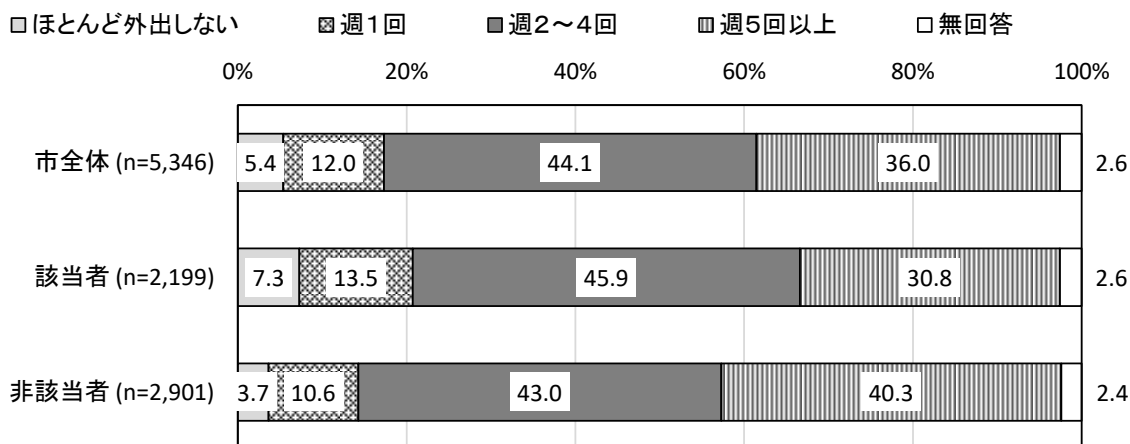
【圏域別】

圏域別でみると、他に比べ、第1圏域、第2圏域で「週5回以上」が高くなっています。また、『閉じこもり傾向のある人』は、第12圏域が24.6%と最も高く、次いで第5圏域が23.0%、第4圏域が20.2%となっています。



【うつ傾向リスク該当状況別】

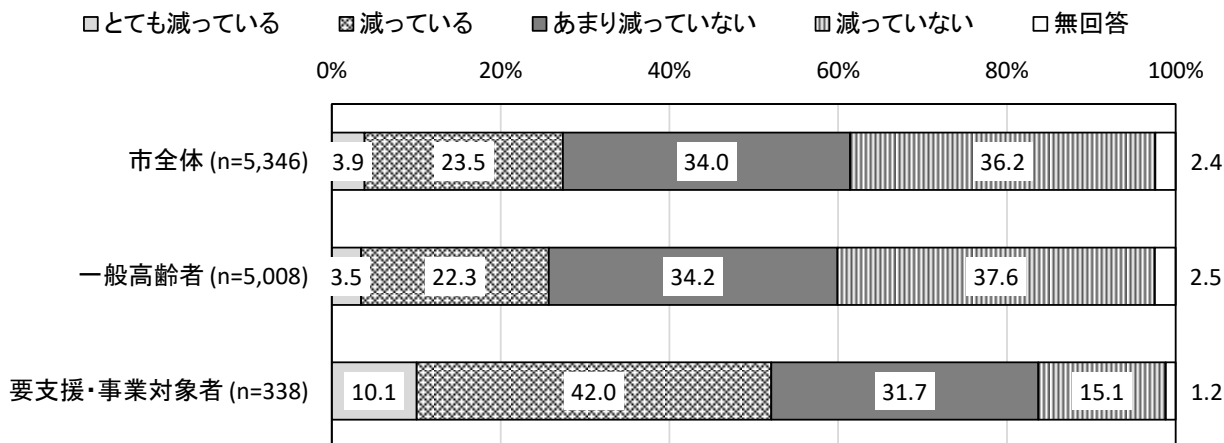
うつ傾向リスク該当状況別でみると、『閉じこもり傾向のある人』の割合は、該当者で 20.8%、非該当者で 14.3%と、6.5 ポイント差となっています。



問 11 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (☑は1つ)

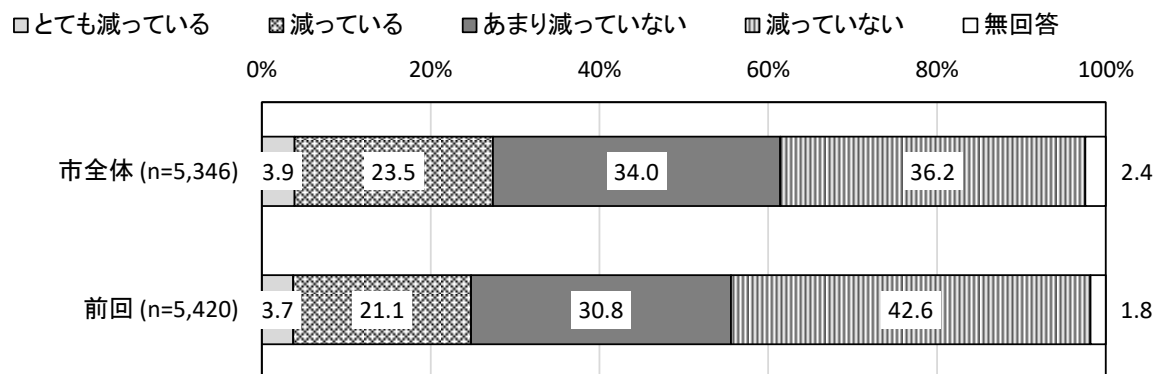
市全体では「とても減っている」と「減っている」を合わせた『外出の回数が減っている人』の割合が 27.4%、「あまり減っていない」と「減っていない」を合わせた『外出の回数が減っていない人』の割合が 70.2%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、『外出の回数が減っている人』の割合は、一般高齢者で 25.8%、要支援・事業対象者で 52.1%と、26.3 ポイント差となっています。



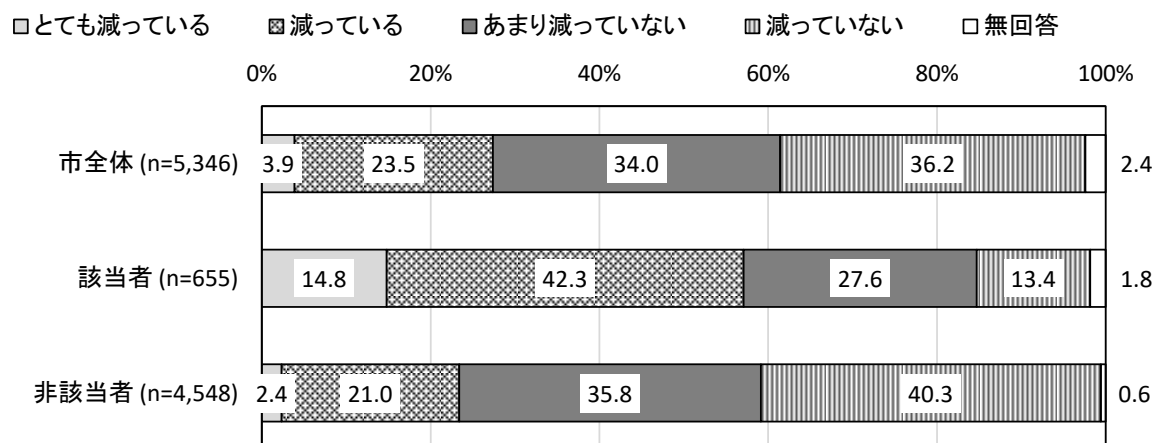
【前回比較】

前回令和元年度調査との比較でみると、『外出の回数が減っている人』が2.6ポイント高くなっており、『外出の回数が減っていない人』が3.2ポイント低くなっています。



【運動器リスク該当状況別】

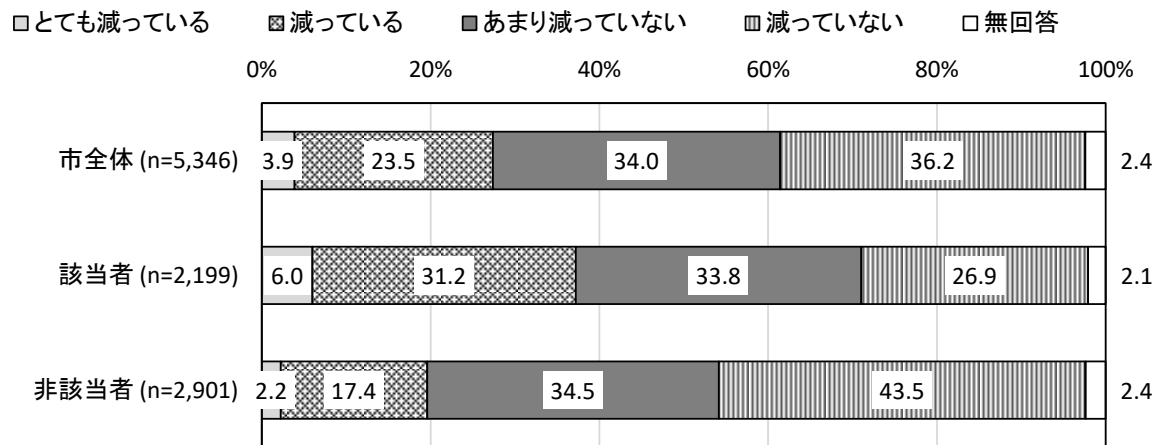
運動器リスク該当状況別でみると、『外出の回数が減っている人』の割合は、該当者で57.1%、非該当者で23.4%と、33.7ポイント差となっています。



※「運動器リスク該当者」とは、140 ページに掲載している「階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。」「椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。」「15 分位続けて歩いていますか。」「過去 1 年間に転んだ経験がありますか。」「転倒に対する不安は大きいですか。」で、5項目のうち3項目以上に該当する人を言います。

【うつ傾向リスク該当状況別】

うつ傾向リスク該当状況別でみると、『外出の回数が減っている人』の割合は、該当者で37.2%、非該当者で19.6%と、17.6ポイント差となっています。

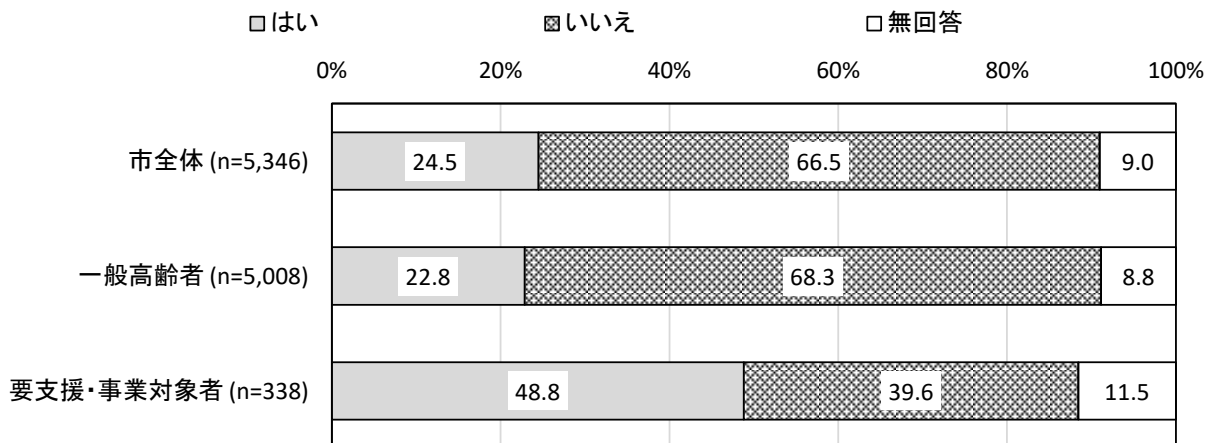


※「うつ傾向リスク該当者」とは、152 ページに掲載している「この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。」「この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。」で、2項目のうち1項目以上に該当する人を言います。

問12 外出を控えていますか (☑は1つ)

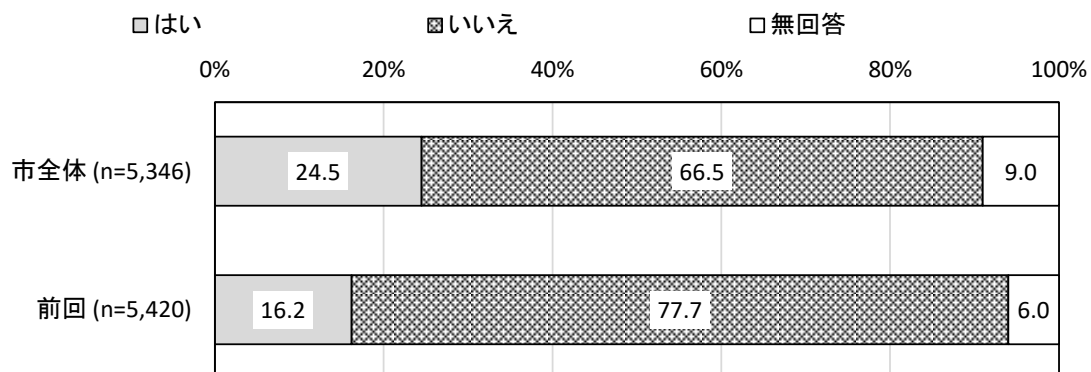
市全体では「はい」が24.5%、「いいえ」が66.5%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、「はい」の割合は、一般高齢者で22.8%、要支援・事業対象者で48.8%と、26.0ポイント差となっています。



【前回比較】

前回令和元年度調査との比較でみると、「はい」が8.3ポイント高くなっており、「いいえ」が11.2ポイント低くなっています。

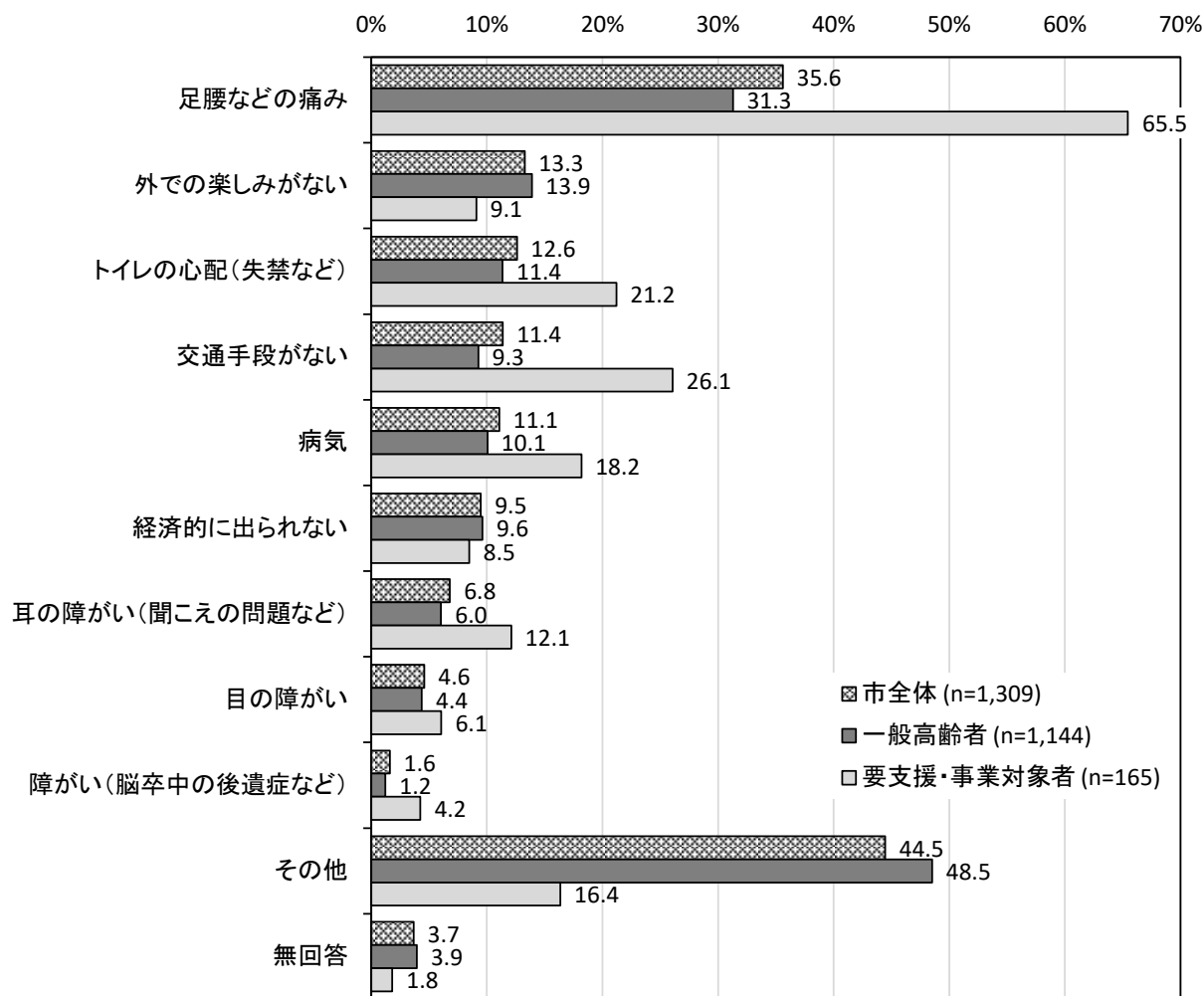


【問 12 で「はい」(外出を控えている)の方のみ】

問 12-1 外出を控えている理由は、次のどれですか(あてはまるものすべてに☑)

市全体では「その他」が44.5%と最も高く、次いで「足腰などの痛み」が35.6%、「外での楽しみがない」が13.3%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、一般高齢者では「外での楽しみがない」「経済的に出られない」「その他」が高くなっており、要支援・事業対象者では「足腰などの痛み」「トイレの心配(失禁など)」「交通手段がない」「病気」「耳の障がい(聞こえの問題など)」が高くなっています。



【年齢階級別】

年齢階級別でみると、65～79歳で「その他」、80歳以上で「足腰などの痛み」が高くなっています。

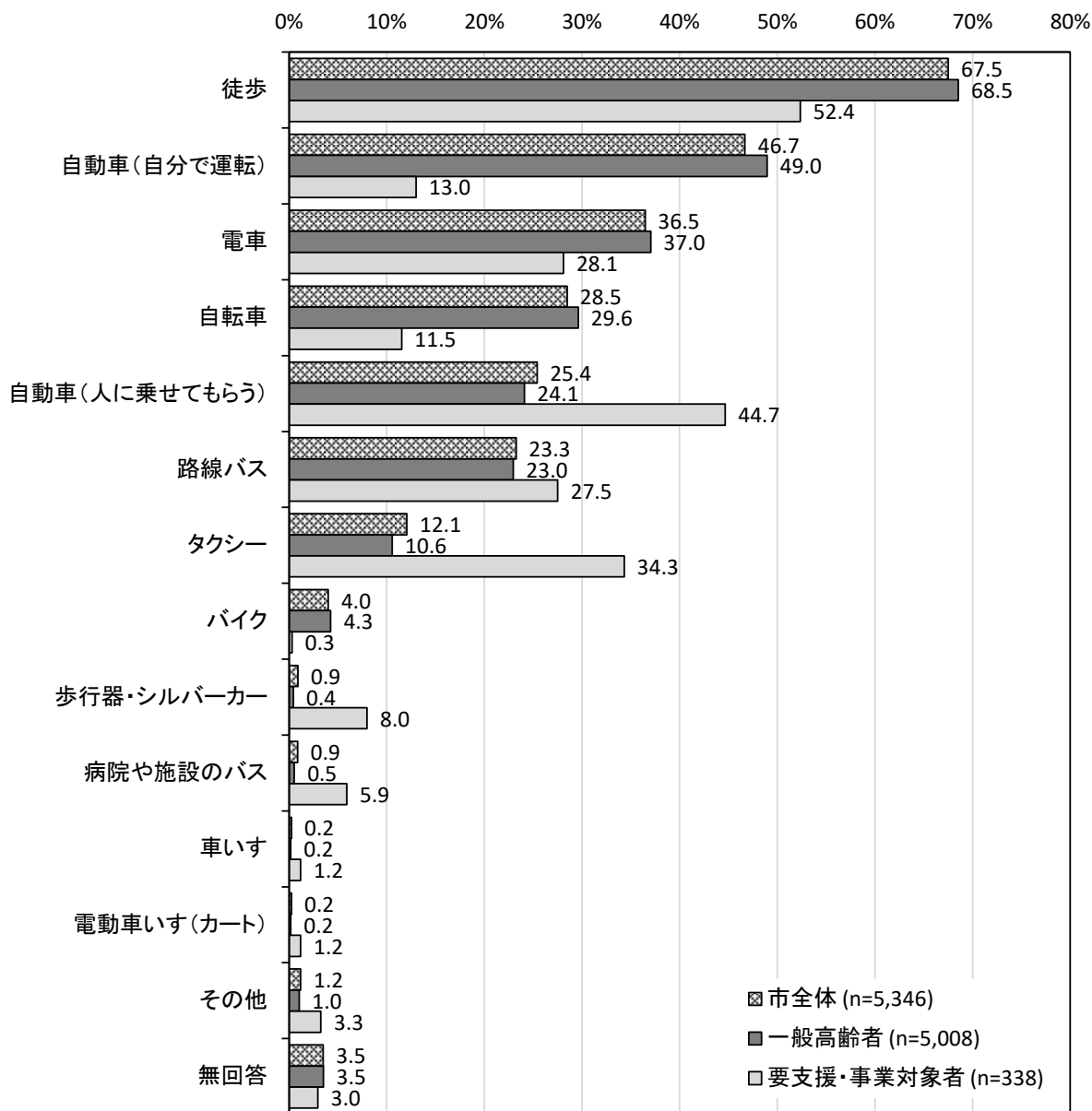
単位：%

区分	有効回答数（件）	足腰などの痛み	外での楽しみがない	トイレの心配（失禁など）	交通手段がない	病気	経済的に出られない	耳の障がい（聞こえの問題など）	目の障がい	障がい（脳卒中の後遺症など）	その他	無回答	
市全体	1,309	35.6	13.3	12.6	11.4	11.1	9.5	6.8	4.6	1.6	44.5	3.7	
年齢階級別	65～69歳	208	13.9	11.5	5.8	3.8	10.1	8.7	2.4	0.0	0.5	72.1	3.4
	70～74歳	319	20.7	11.9	9.4	4.7	10.7	11.0	2.5	2.8	0.9	55.5	5.0
	75～79歳	280	37.9	11.8	12.5	11.4	10.7	11.8	2.9	5.0	1.1	45.7	3.2
	80～84歳	248	47.2	19.8	17.3	19.4	14.9	8.9	9.3	5.6	2.8	26.6	5.2
	85歳以上	254	58.3	11.8	17.7	18.1	9.1	6.3	17.7	9.1	2.8	24.0	1.2

問 13 外出する際の移動手段は何ですか（あてはまるものすべてに☑）

市全体では「徒歩」が67.5%と最も高く、次いで「自動車（自分で運転）」が46.7%、「電車」が36.5%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、一般高齢者は「徒歩」「自動車（自分で運転）」「電車」「自転車」が高くなっており、要支援・事業対象者は「自動車（人に乗せてもらう）」「路線バス」「タクシー」「歩行器・シルバーカー」「病院や施設のバス」が高くなっています。



【年齢階級別】

年齢階級別でみると、すべての年齢階級で「徒歩」が最も高くなっていますが、年齢が上がるにつれて割合が低くなっています。一方、「自動車(人に乗せてもらう)」「路線バス」「タクシー」年齢が上がるにつれて割合が高くなる傾向があります。

単位：%

区分		有効回答数 (件)	徒歩	自動車 (自分で運転)	電車	自転車	自動車 (人に乗せても らう)	路線バス	タクシー
市全体		5,346	67.5	46.7	36.5	28.5	25.4	23.3	12.1
年齢階級別	65～69歳	1,113	70.9	66.4	39.4	29.9	19.9	18.8	5.2
	70～74歳	1,521	70.8	58.5	38.6	32.4	22.0	21.7	8.6
	75～79歳	1,239	67.8	43.7	36.0	30.8	23.6	24.7	10.5
	80～84歳	894	64.1	27.1	35.8	24.6	30.5	28.2	18.3
	85歳以上	579	57.0	14.5	27.5	16.4	40.8	25.2	28.0

区分		バイク	歩行器・ シルバーカー	病院や施設のバス	車いす	電動車いす (カート)	その他	無回答
市全体		4.0	0.9	0.9	0.2	0.2	1.2	3.5
年齢階級別	65～69歳	5.7	0.1	0.2	0.0	0.1	0.4	4.1
	70～74歳	5.7	0.2	0.7	0.1	0.0	0.5	3.2
	75～79歳	3.7	0.7	0.6	0.3	0.2	1.3	3.2
	80～84歳	1.8	1.3	1.8	0.3	0.4	2.2	3.1
	85歳以上	0.3	4.1	1.9	0.7	0.9	2.6	4.1

II 調査結果

【圏域別】

圏域別でみると、第10圏域を除くすべての圏域で「徒歩」が最も高く、第10圏域では「自動車（自分で運転）」が最も高くなっています。また、他に比べ、第5圏域、第6圏域、第7圏域で「電車」、第8圏域、第12圏域で「路線バス」が高くなっています。

単位：%

区分	(有効回答数)	徒歩	運自動車 （自分で	電車	自転車	せ自動車 （一人に 乗	路線バス	タクシー	
市全体	5,346	67.5	46.7	36.5	28.5	25.4	23.3	12.1	
日常生活圏域別	第1圏域	451	78.5	44.8	34.1	27.3	19.5	24.4	13.5
	第2圏域	443	69.3	40.4	23.3	36.8	25.3	30.7	12.0
	第3圏域	431	65.4	45.2	42.7	16.0	22.7	29.2	14.4
	第4圏域	436	60.1	42.2	28.4	18.3	26.8	28.9	14.0
	第5圏域	452	70.8	36.5	53.1	33.0	27.0	13.1	11.7
	第6圏域	439	72.2	48.1	54.0	22.3	24.8	9.3	9.8
	第7圏域	461	68.8	51.6	49.2	34.5	24.7	10.8	9.8
	第8圏域	454	74.2	46.0	33.3	35.0	28.2	36.1	11.5
	第9圏域	454	75.8	42.5	35.5	41.0	26.0	18.1	14.3
	第10圏域	440	56.4	59.1	20.7	38.2	24.5	18.4	9.5
	第11圏域	443	61.4	54.4	31.8	25.5	28.0	21.9	11.3
	第12圏域	442	56.3	49.5	31.0	12.4	27.1	38.7	13.1

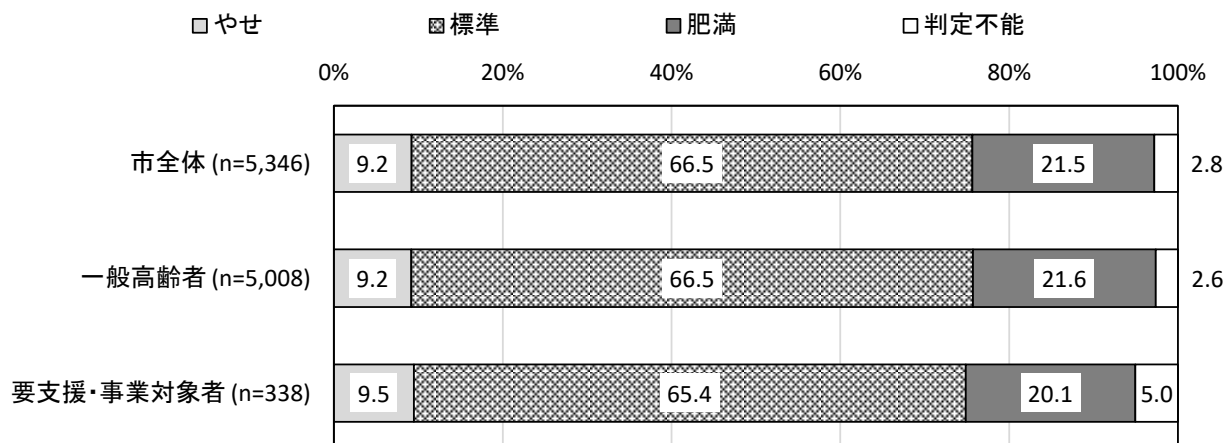
区分	バイク	歩 行 器 ・ シル	ス 病 院 や 施 設 の バ	車 い す	(電 動 車 い す ・ カ ー ト)	そ の 他	無 回 答	
市全体	4.0	0.9	0.9	0.2	0.2	1.2	3.5	
日常生活圏域別	第1圏域	3.1	0.2	0.9	0.2	0.4	1.3	2.4
	第2圏域	3.2	1.1	1.1	0.2	0.0	0.7	4.5
	第3圏域	3.2	0.0	0.7	0.0	0.0	2.1	4.2
	第4圏域	4.1	0.9	0.2	0.5	0.2	0.2	5.7
	第5圏域	4.2	1.3	0.7	0.4	0.0	1.3	1.5
	第6圏域	3.0	0.5	0.7	0.5	0.0	1.8	3.2
	第7圏域	2.6	0.7	0.9	0.2	0.7	1.5	2.4
	第8圏域	4.6	1.5	1.3	0.2	0.7	0.9	2.0
	第9圏域	4.2	1.3	0.9	0.0	0.2	0.7	4.0
	第10圏域	5.0	1.1	1.1	0.5	0.2	0.9	3.9
	第11圏域	4.3	0.9	0.2	0.0	0.2	0.5	3.6
	第12圏域	6.6	1.4	1.8	0.2	0.2	2.3	4.5

3 食べることについて

問14 身長・体重をご記入ください

身長と体重から算出したBMIをみると、市全体では「標準」が66.5%と最も高く、次いで「肥満」が21.5%、「やせ」が9.2%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者とで大きな差異は見られません。



【BMI（体格指数）】

BMIとは、体重と身長の関係から算出される肥満度を示す体格指数です。

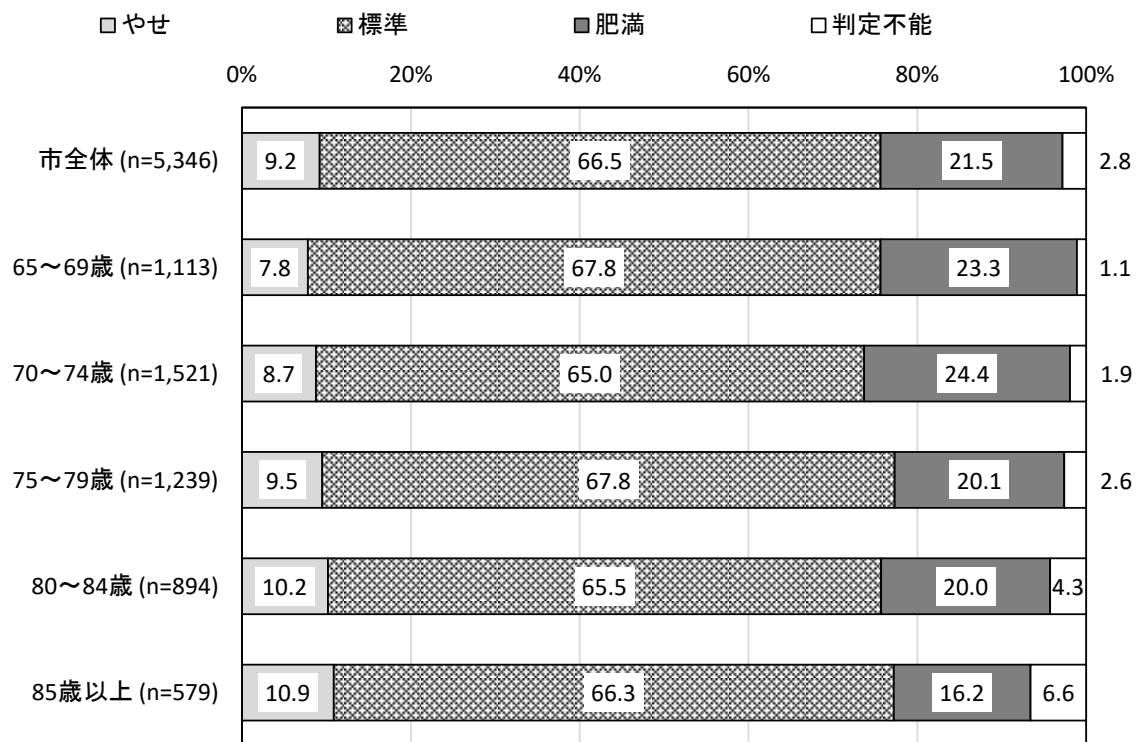
⇒ BMI = 体重 (kg) ÷ 身長 (m) ÷ 身長 (m)

BMI	肥満度測定
18.5未満	やせ
18.5以上25.0未満	標準
25.0以上	肥満

II 調査結果

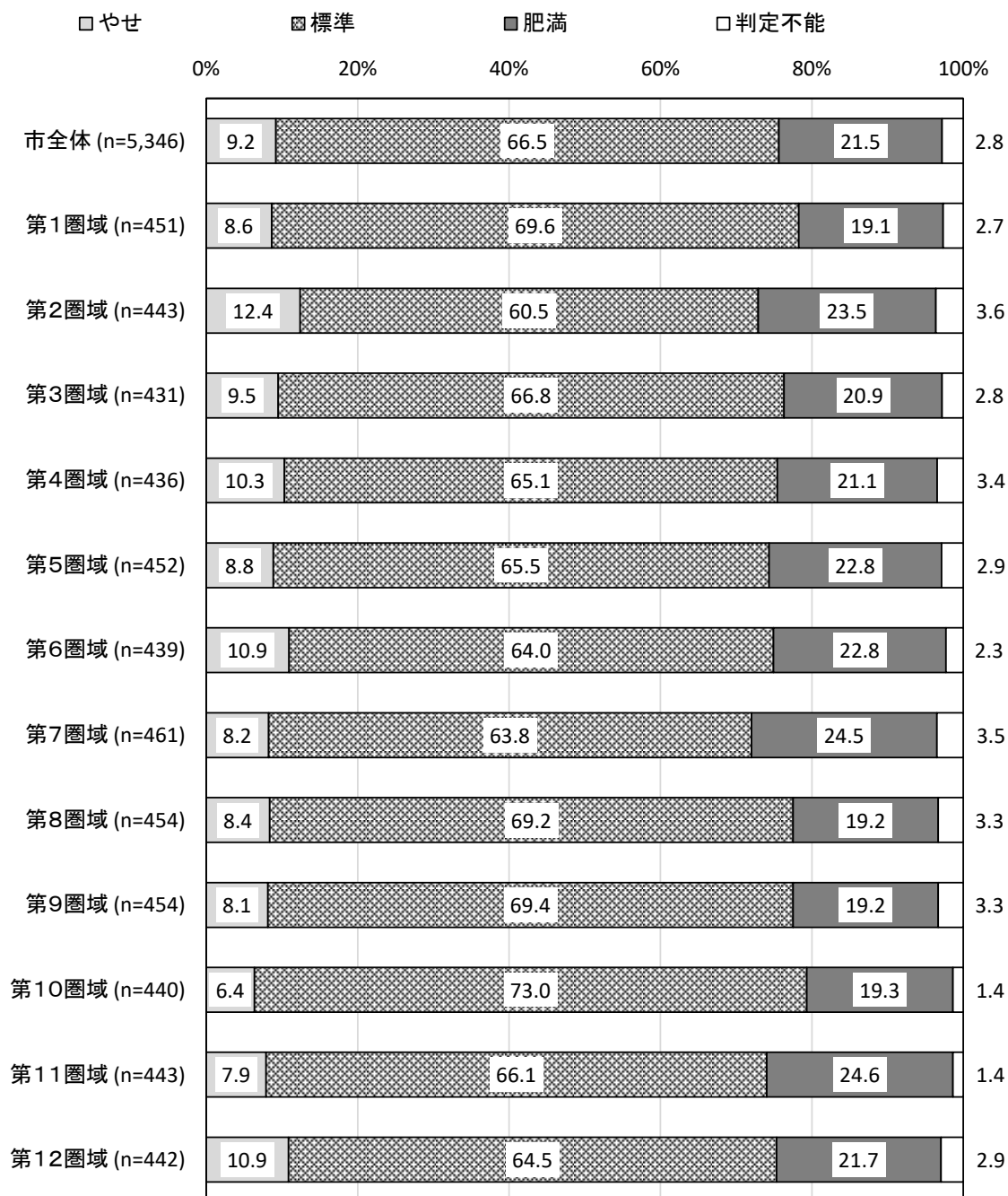
【年齢階級別】

年齢階級別でみると、年齢が上がるにつれて「やせ」の割合が高くなっています。



【圏域別】

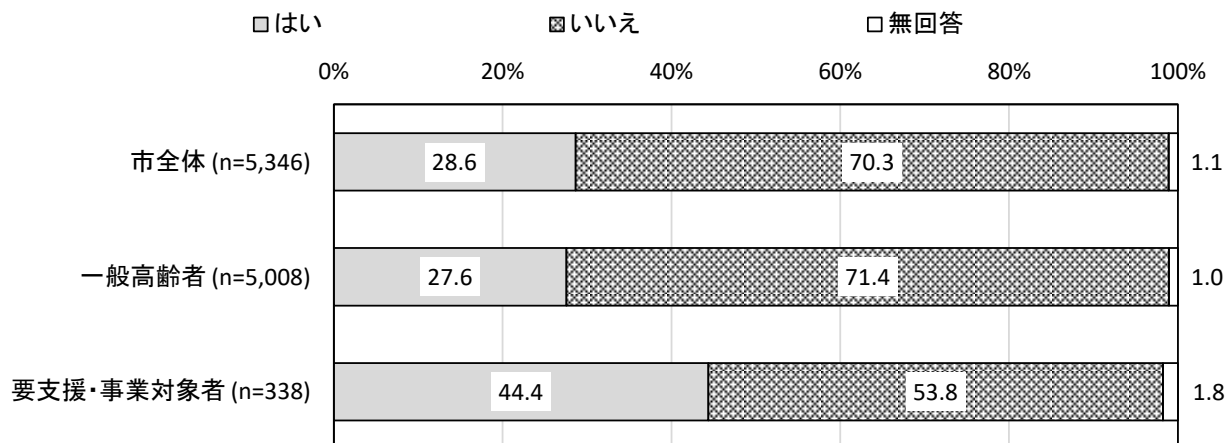
圏域別でみると、他に比べて、第2圏域、第4圏域、第6圏域、第12圏域で「やせ」の割合が高くなっています。



問 15 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (☑は1つ)

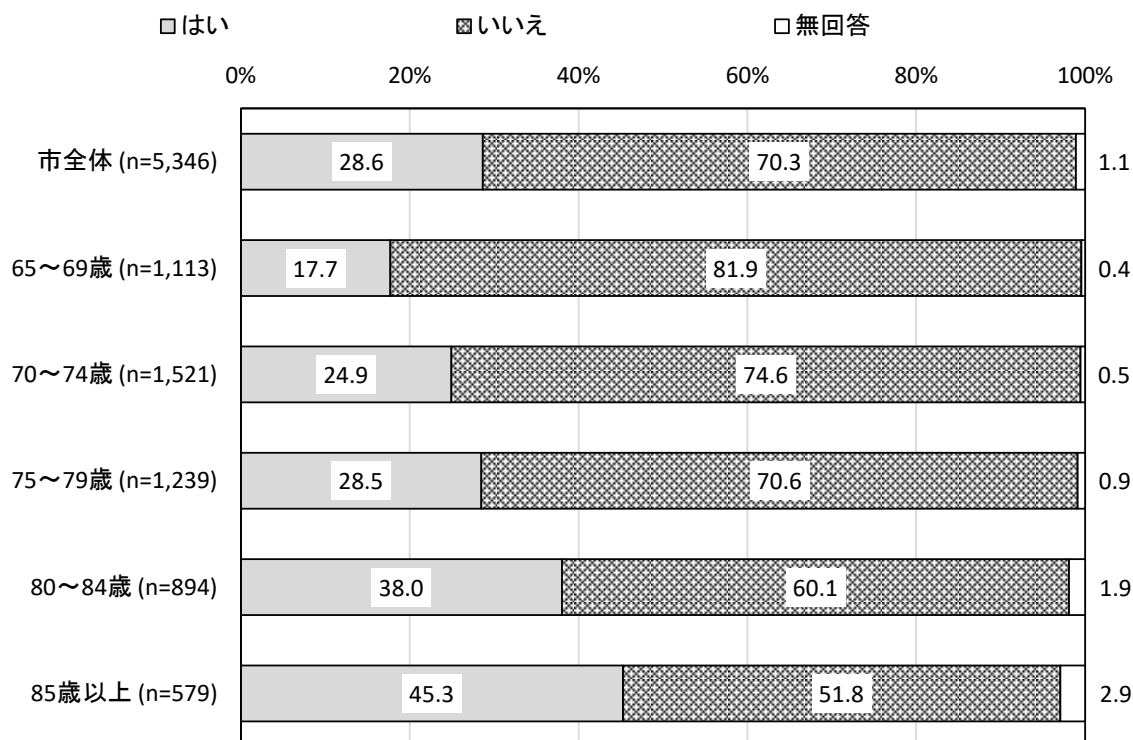
市全体では「はい」が28.6%、「いいえ」が70.3%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、「はい」の割合は、一般高齢者で27.6%、要支援・事業対象者で44.4%と、16.8ポイント差となっています。



【年齢階級別】

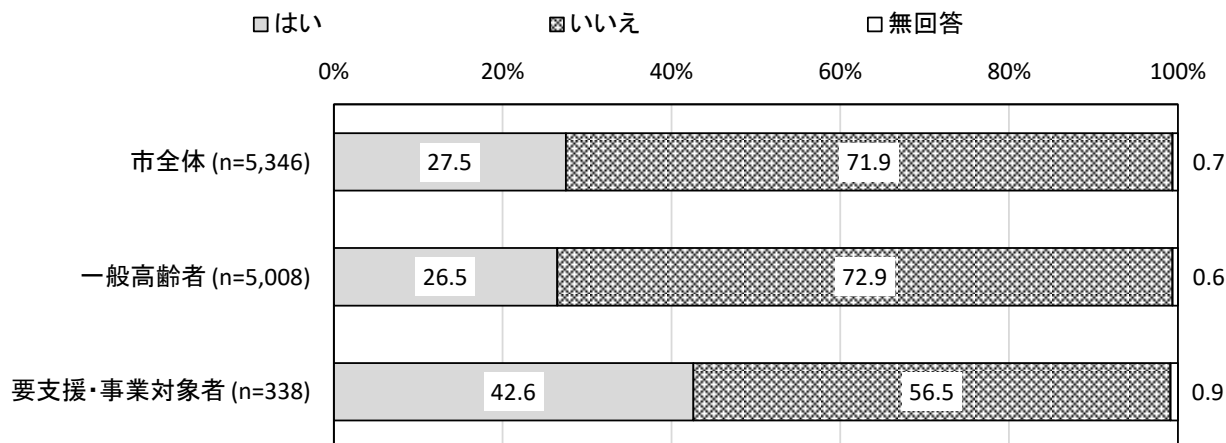
年齢階級別でみると、年齢が上がるにつれて「はい」の割合が高くなっており、85歳以上では45.3%と、75～79歳に比べて16.8ポイント上昇しています。



問 16 お茶や汁物などでむせることがありますか (☑は1つ)

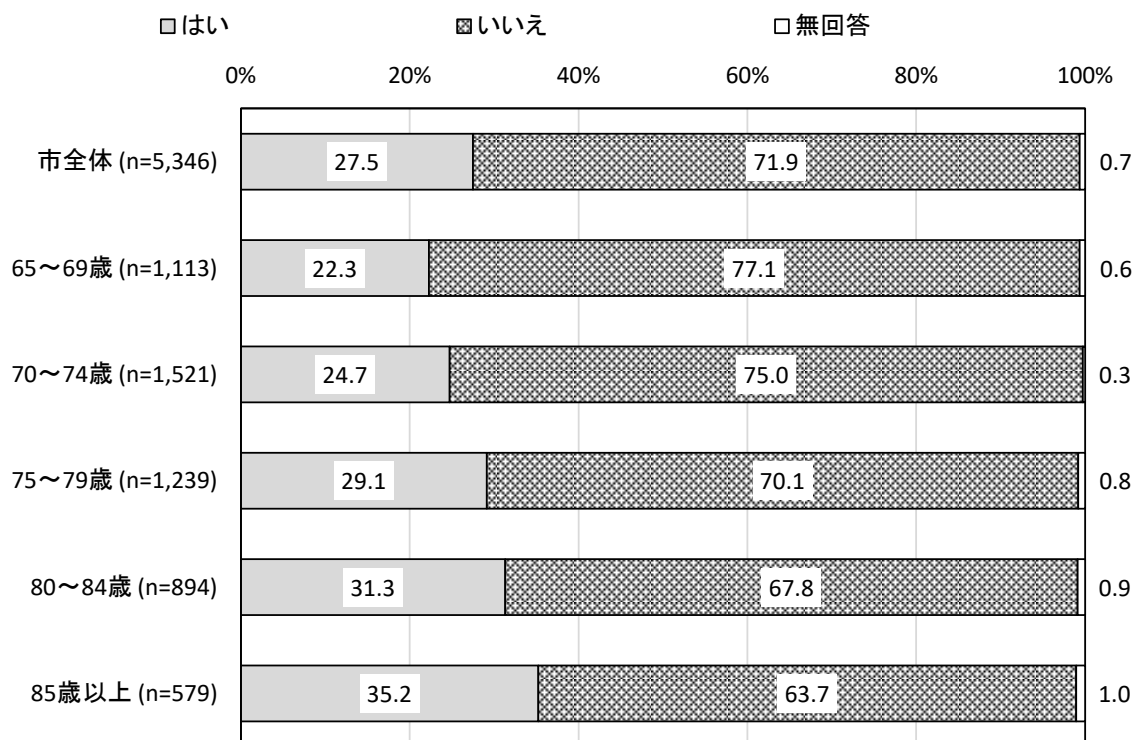
市全体では「はい」が27.5%、「いいえ」が71.9%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、「はい」の割合は、一般高齢者で26.5%、要支援・事業対象者で42.6%と、16.1ポイント差となっています。



【年齢階級別】

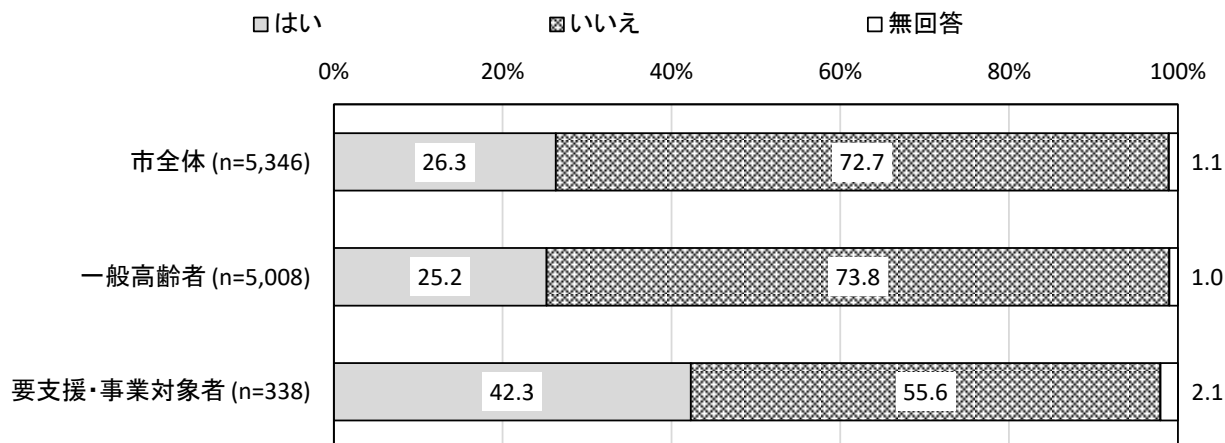
年齢階級別でみると、年齢が上がるにつれて「はい」の割合が高くなっており、85歳以上では35.2%と、75～79歳に比べて6.1ポイント上昇しています。



問 17 口の渇きが気になりますか (☑は1つ)

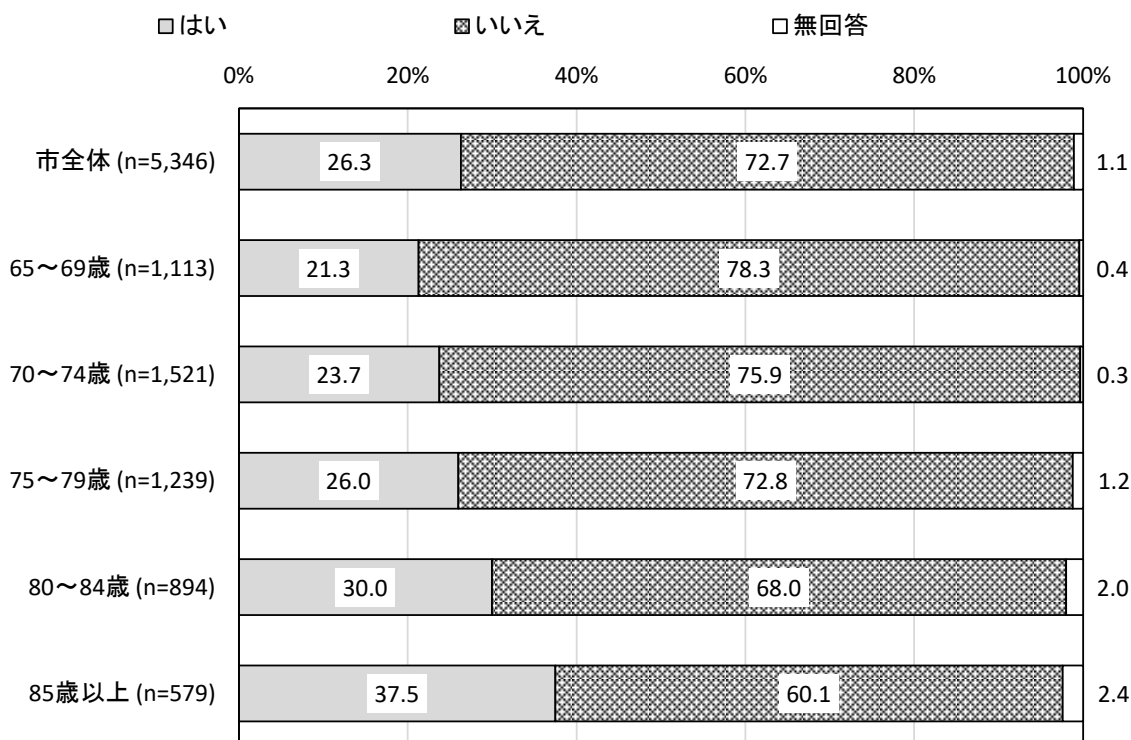
市全体では「はい」が26.3%、「いいえ」が72.7%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、「はい」の割合は、一般高齢者で25.2%、要支援・事業対象者で42.3%と、17.1ポイント差となっています。



【年齢階級別】

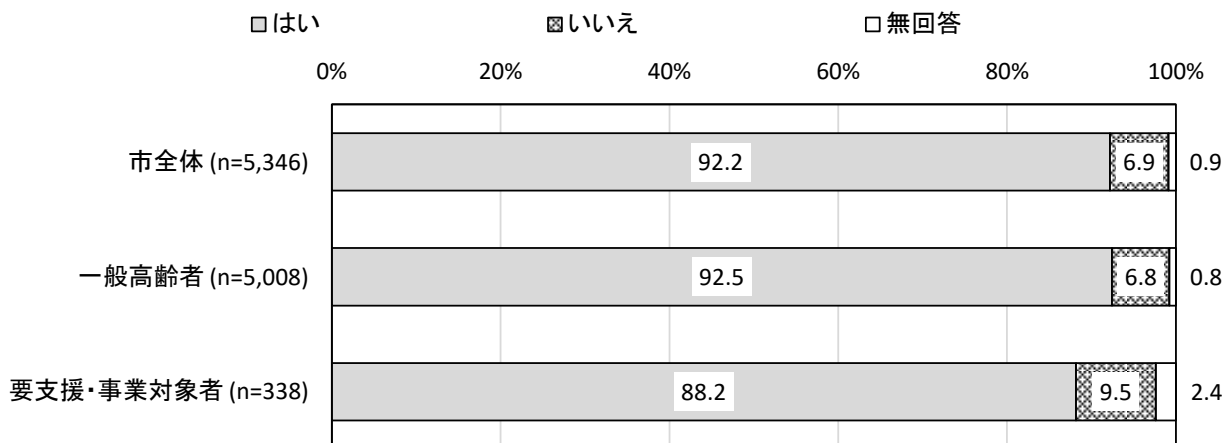
年齢階級別でみると、年齢が上がるにつれて「はい」の割合が高くなっており、85歳以上では37.5%と、75～79歳に比べて11.5ポイント上昇しています。



問 18 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか（☑は1つ）

市全体では「はい」が92.2%、「いいえ」が6.9%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、「いいえ」の割合は、一般高齢者で6.8%、要支援・事業対象者で9.5%と、2.7ポイント差となっています。



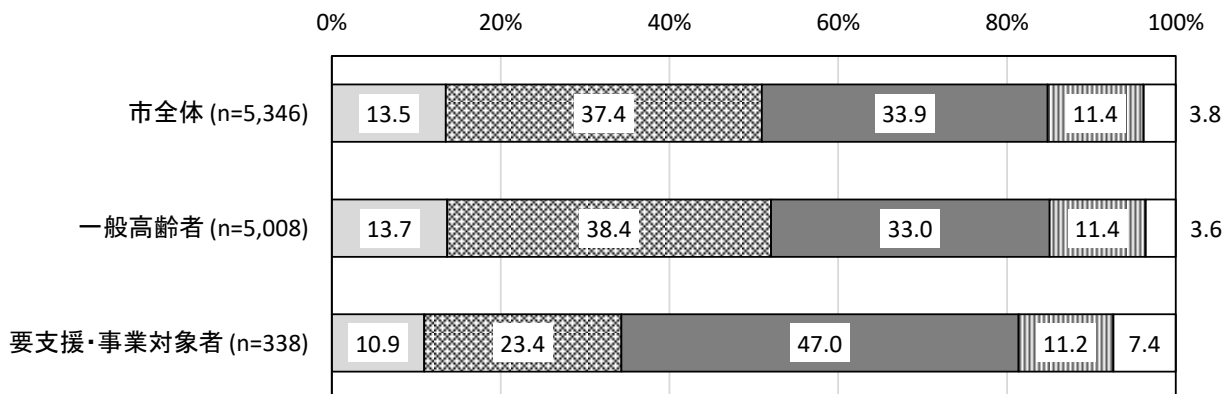
問 19 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。

(※成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です) (☑は1つ)

市全体では「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が37.4%と最も高く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が33.9%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が13.5%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」と「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」を合わせた『自分の歯は20本以上の人』の割合は、一般高齢者で52.1%、要支援・事業対象者で34.3%と、17.8ポイント差となっています。また、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」と「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」を合わせた『入れ歯を利用している人』の割合は、一般高齢者で46.7%、要支援・事業対象者で57.9%と、11.2ポイント差となっています。

- 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
- 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
- 無回答
- ☑ 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
- ▨ 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

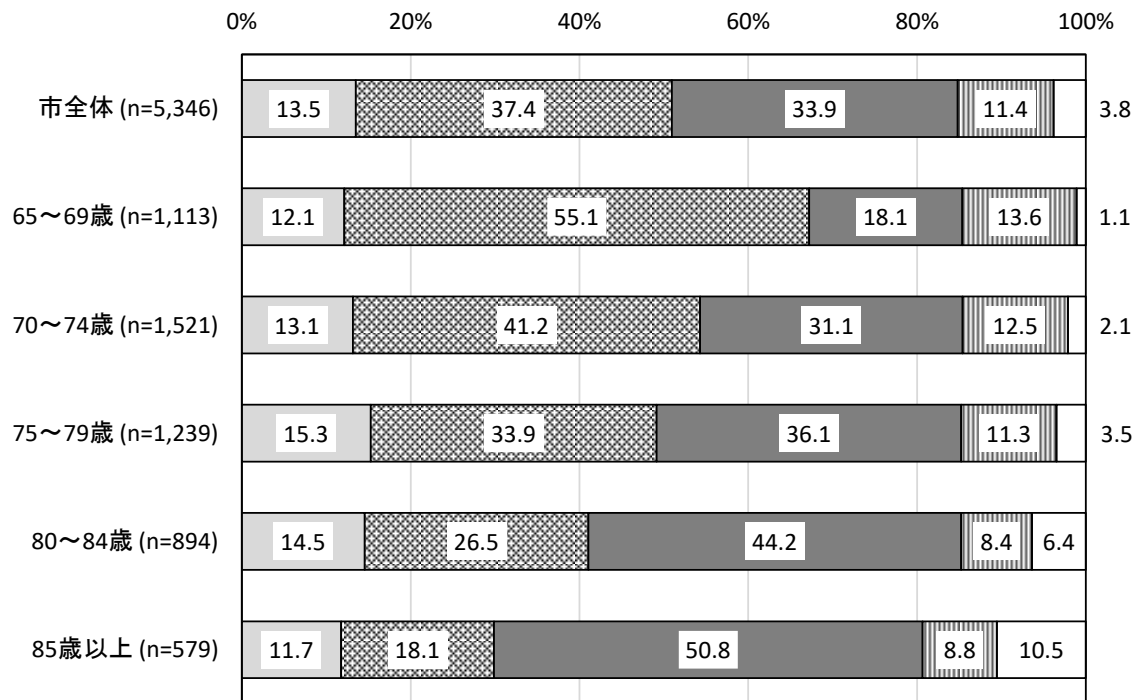


II 調査結果

【年齢階級別】

年齢階級別で見ると、年齢が上がるにつれて『自分の歯は20本以上の人』の割合が低くなっており、『入れ歯を利用している人』の割合は高くなっています。

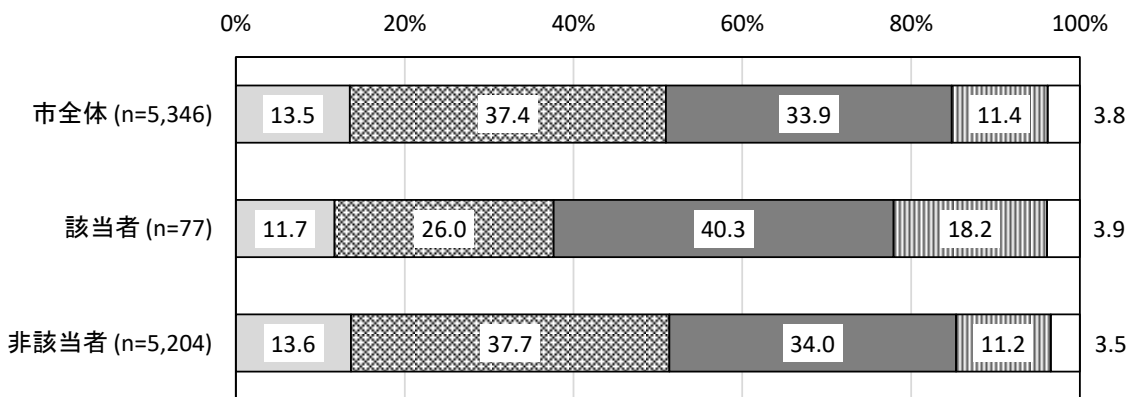
- 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
- 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
- 無回答
- ▣ 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
- ▤ 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし



【低栄養状態別】

低栄養状態別でみると、『自分の歯は 20 本以上の人』の割合は、該当者で 37.7%、非該当者で 51.3%と、13.6 ポイント差となっています。また、『入れ歯を利用している人』の割合は、該当者で 52.0%、非該当者で 47.6%と、4.4 ポイント差となっています。

- 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
- 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
- 無回答
- ▨ 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
- ▩ 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし



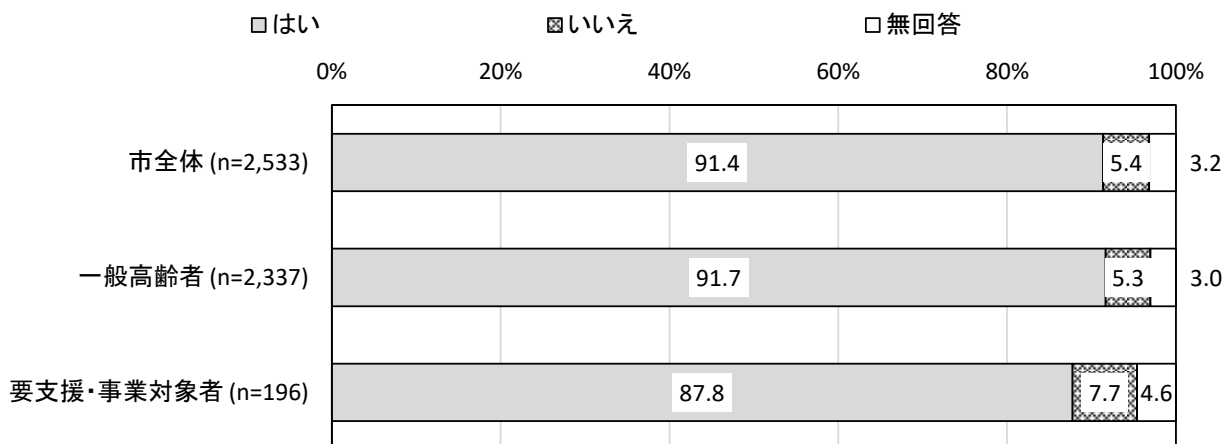
※「低栄養状態リスクの該当者」とは、146 ページに掲載しているBMI 18.5 未満及び6 か月間で2～3kg 以上の体重減少があった人を言います。

【問 19 で「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

問 19-1 毎日入れ歯の手入れをしていますか (☑は1つ)

市全体では「はい」が 91.4%、「いいえ」が 5.4%となっています。

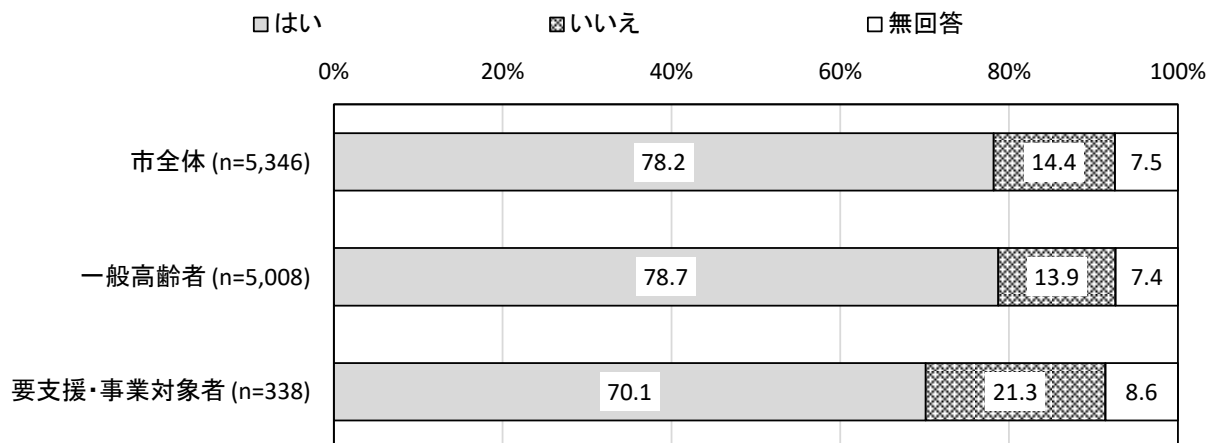
一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、「いいえ」の割合は、一般高齢者で 5.3%、要支援・事業対象者で 7.7%と、2.4 ポイント差となっています。



問 20 噛み合わせは良いですか (☑は1つ)

市全体では「はい」が78.2%、「いいえ」が14.4%となっています。

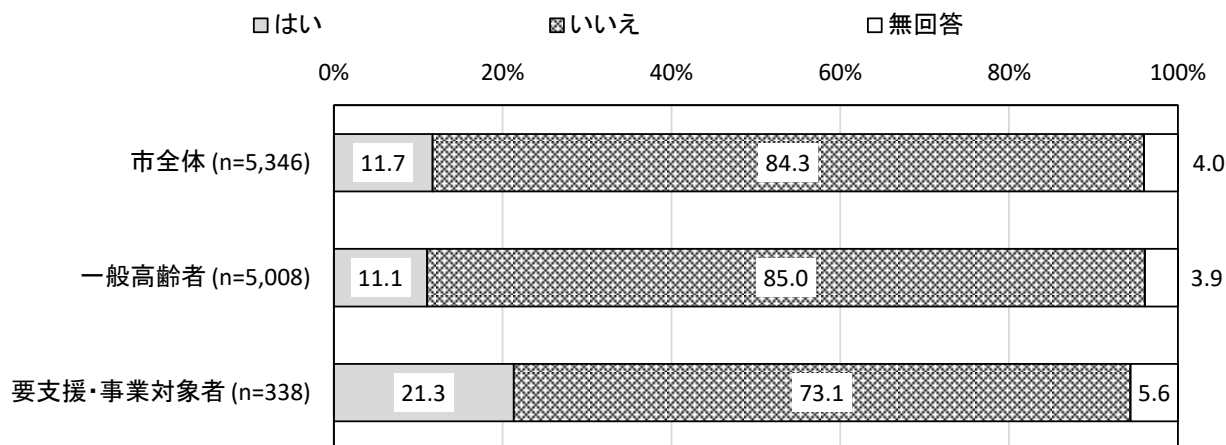
一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、「いいえ」の割合は、一般高齢者で13.9%、要支援・事業対象者で21.3%と、7.4ポイント差となっています。



問 21 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか (☑は1つ)

市全体では「はい」が11.7%、「いいえ」が84.3%となっています。

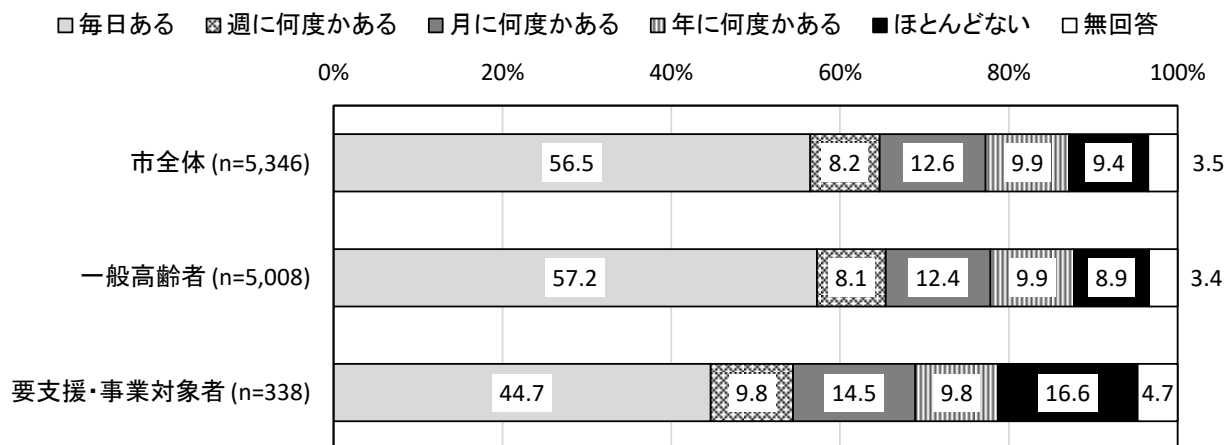
一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、「はい」の割合は、一般高齢者で11.1%、要支援・事業対象者で21.3%と、10.2ポイント差となっています。



問 22 どなたかと食事をともしる機会がありますか (☑は1つ)

市全体では「毎日ある」が56.5%と最も高く、次いで「月に何度かある」が12.6%、「年に何度かある」が9.9%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、「ほとんどない」の割合は、一般高齢者で8.9%、要支援・事業対象者で16.6%と、7.7ポイント差となっています。

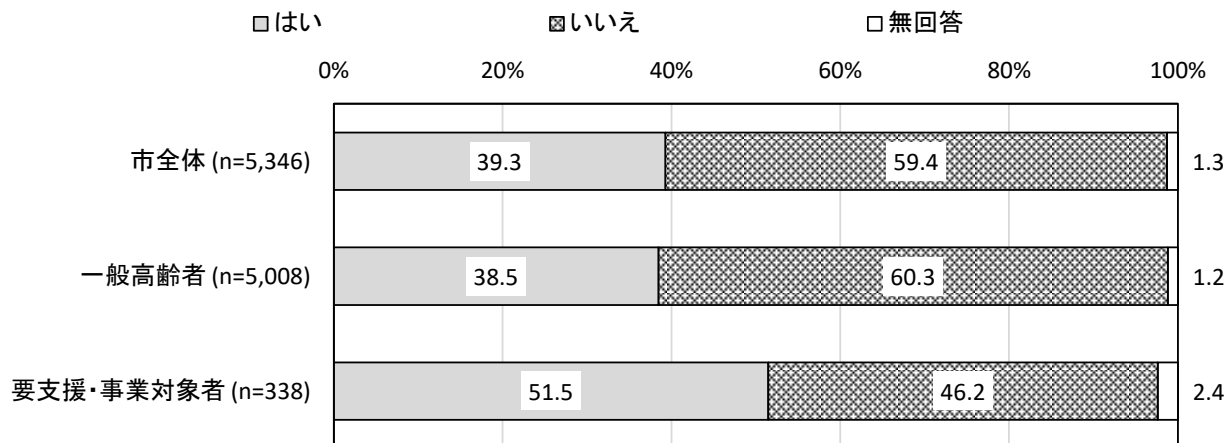


4 毎日の生活について

問 23 物忘れが多いと感じますか (☑は1つ)

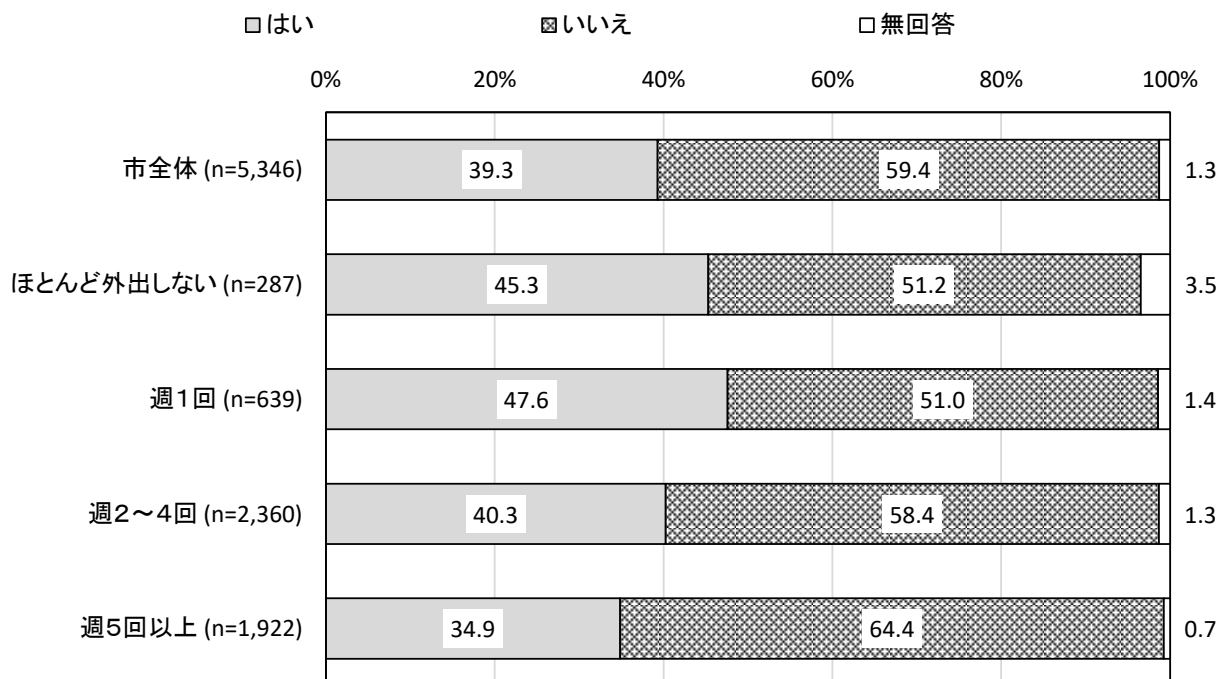
市全体では「はい」が39.3%、「いいえ」が59.4%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、「はい」の割合は、一般高齢者で38.5%、要支援・事業対象者で51.5%と、13.0ポイント差となっています。



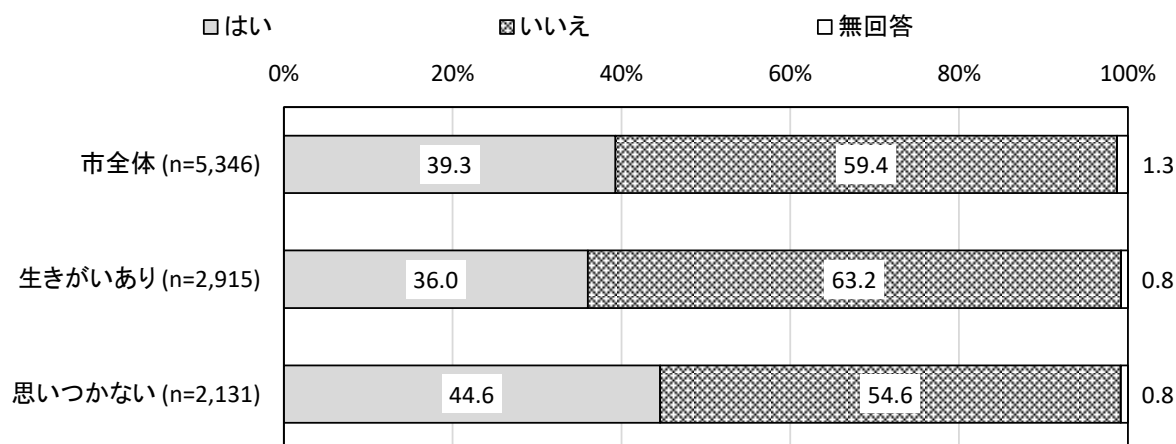
【外出頻度別】

外出頻度別でみると、外出頻度が多くなるにつれて「はい」の割合が低くなる傾向があります。



【生きがいの有無別】

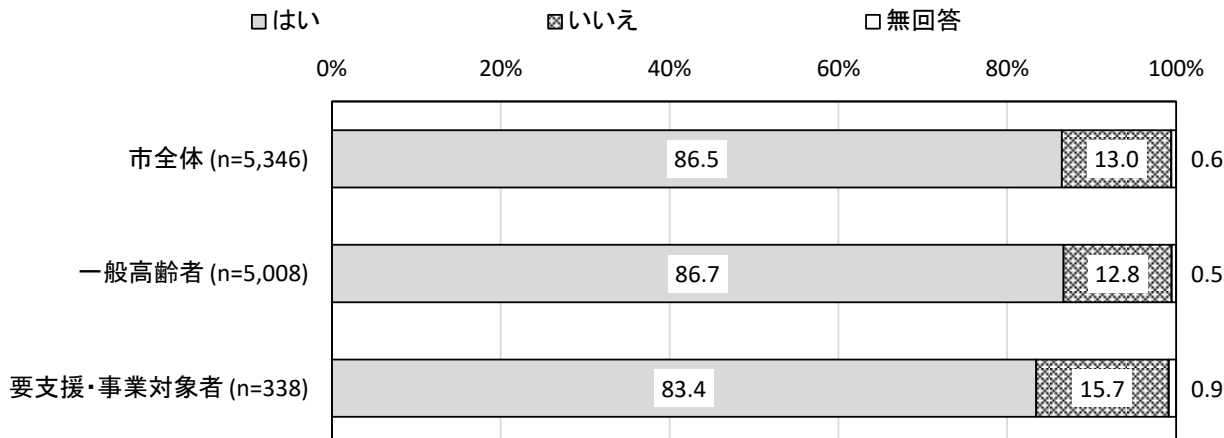
生きがいの有無別で見ると、「はい」の割合は、「生きがいあり」で36.0%、「思いつかない」で44.6%と、8.6ポイント差となっています。



問 24 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (☑は1つ)

市全体では「はい」が86.5%、「いいえ」が13.0%となっています。

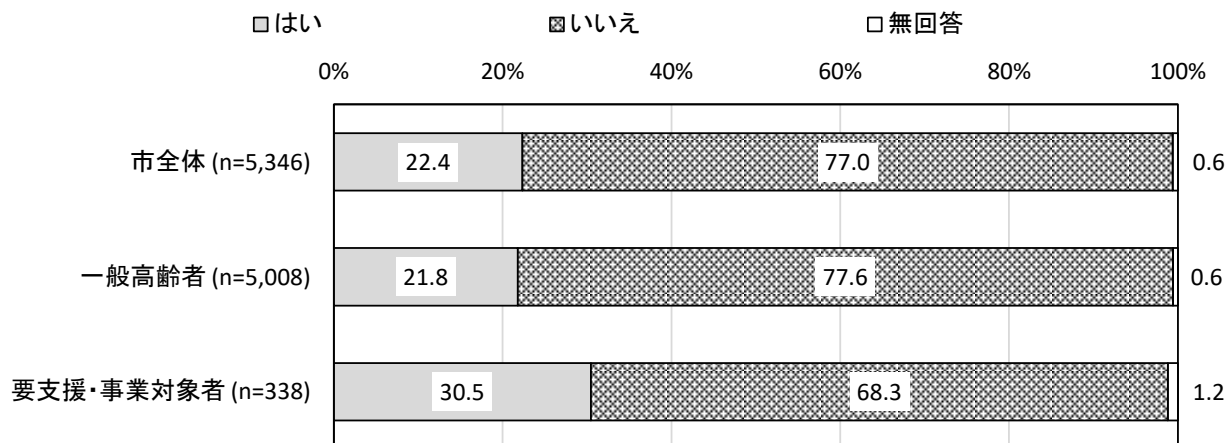
一般高齢者と要支援・事業対象者との比較で見ると、「いいえ」の割合は、一般高齢者で12.8%、要支援・事業対象者で15.7%と、2.9ポイント差となっています。



問 25 今日が何月何日かわからないときがありますか (☑は1つ)

市全体では「はい」が22.4%、「いいえ」が77.0%となっています。

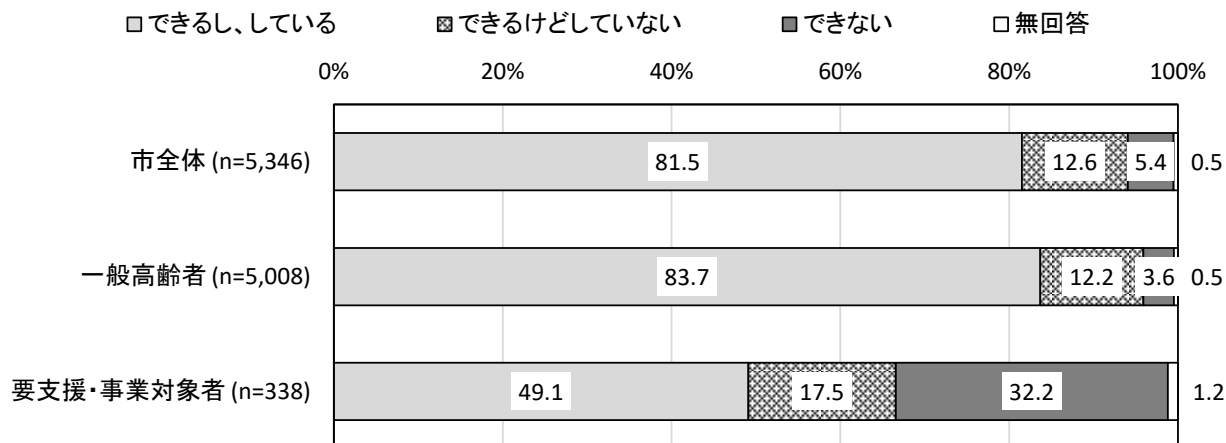
一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、「はい」の割合は、一般高齢者で21.8%、要支援・事業対象者で30.5%と、8.7ポイント差となっています。



問 26 バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (☑は1つ)

市全体では「できるし、している」が81.5%、「できるけどしていない」が12.6%、「できない」が5.4%となっています。

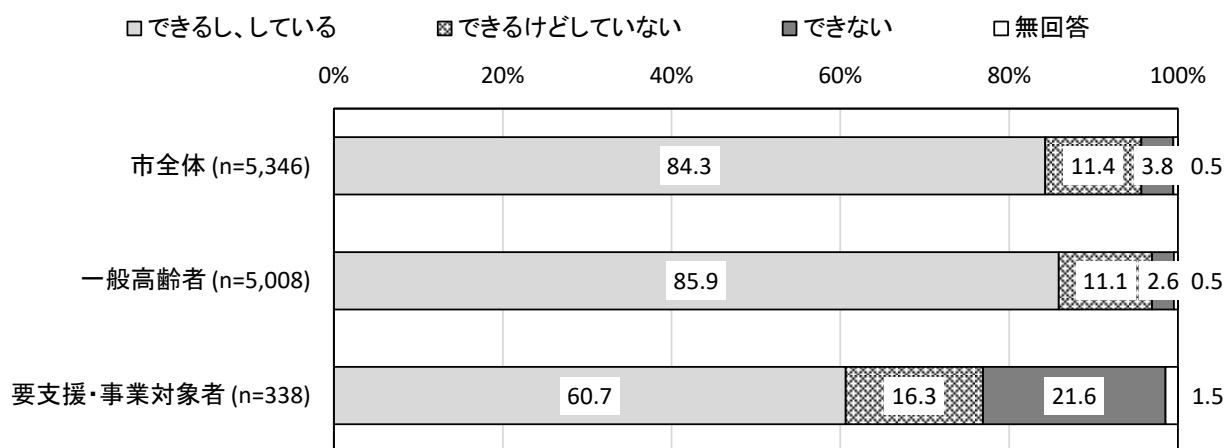
一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、「できない」の割合は、一般高齢者で3.6%、要支援・事業対象者で32.2%と、28.6ポイント差となっています。



問 27 自分で食品・日用品の買物をしていますか (☑は1つ)

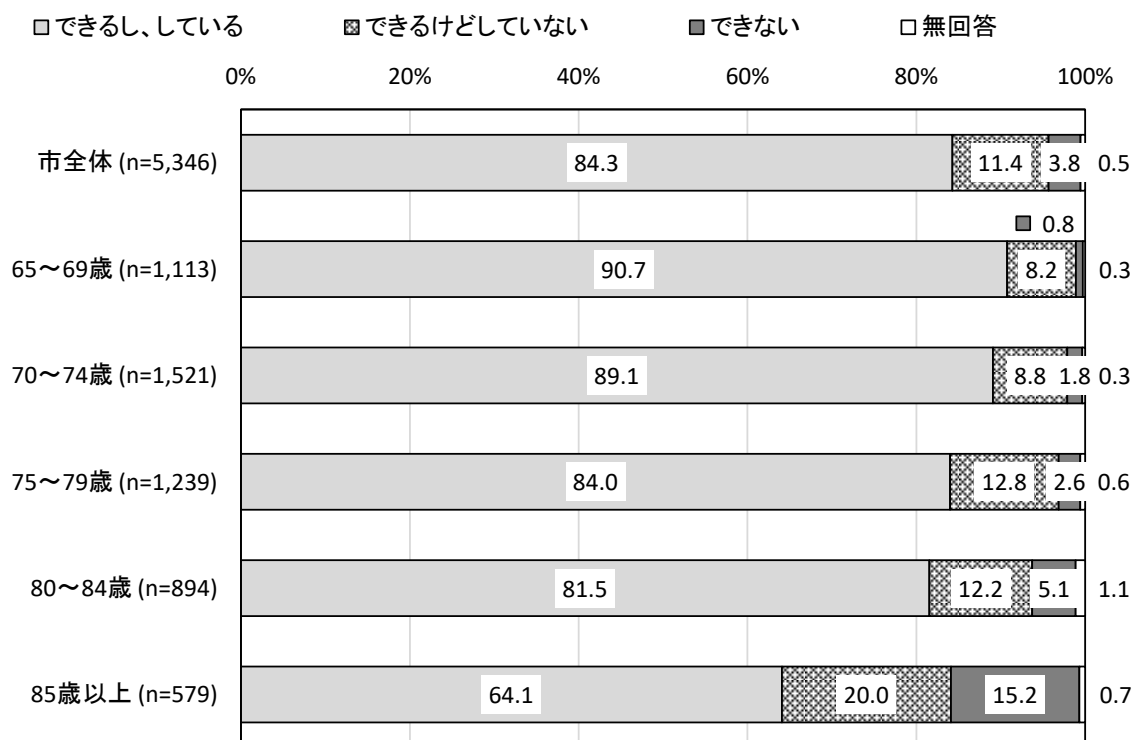
市全体では「できるし、している」が84.3%、「できるけどしていない」が11.4%、「できない」が3.8%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、「できない」の割合は、一般高齢者で2.6%、要支援・事業対象者で21.6%と、19.0ポイント差となっています。



【年齢階級別】

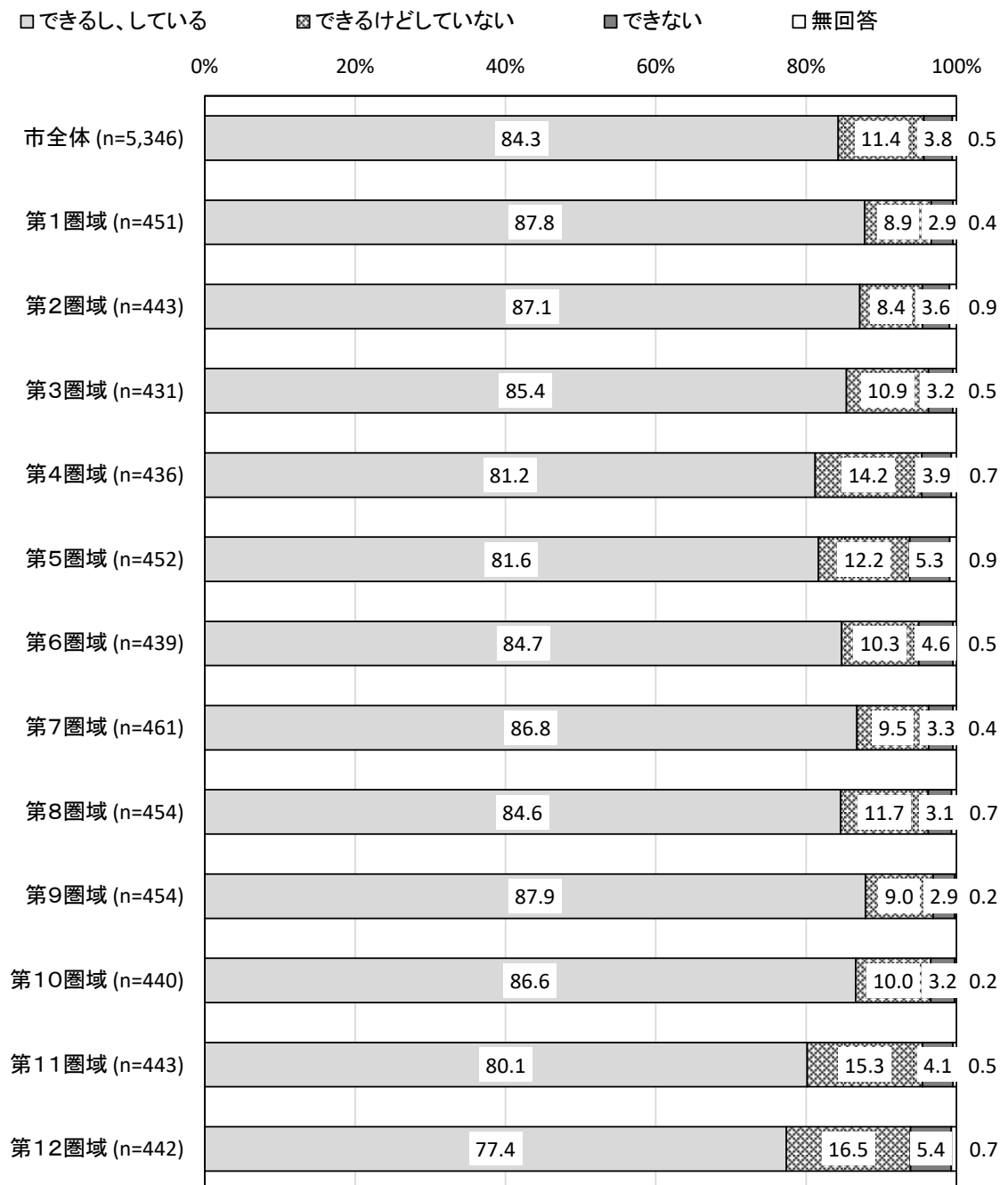
年齢階級別でみると、年齢が上がるにつれて「できるし、している」の割合が低くなっています。また、年齢が上がるにつれて「できるけどしていない」「できない」の割合が高くなっており、85歳以上ではそれぞれ20.0%、15.2%となっています。



II 調査結果

【圏域別】

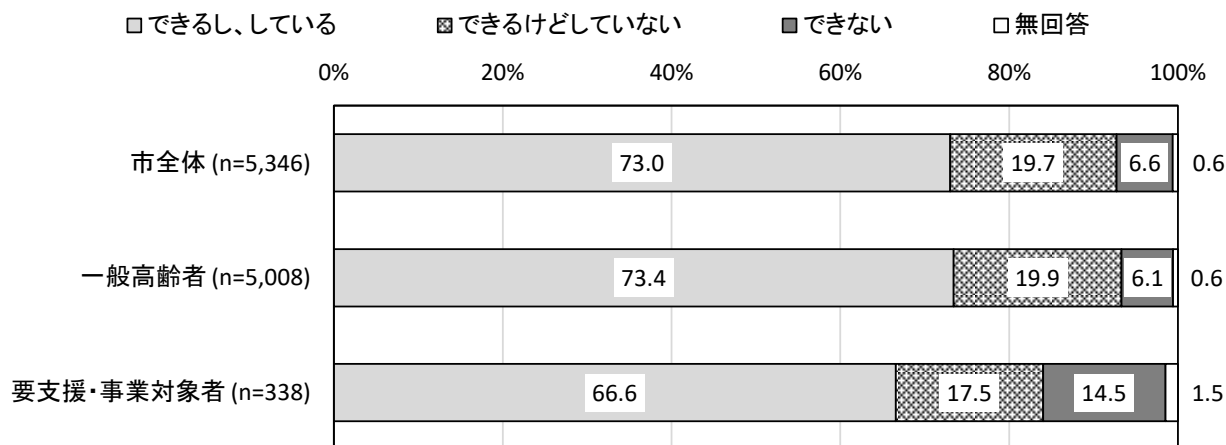
圏域別でみると、他に比べ、第4圏域、第11圏域、第12圏域で「できるけどしていない」が高くなっています。



問 28 自分で食事の用意をしていますか (☑は1つ)

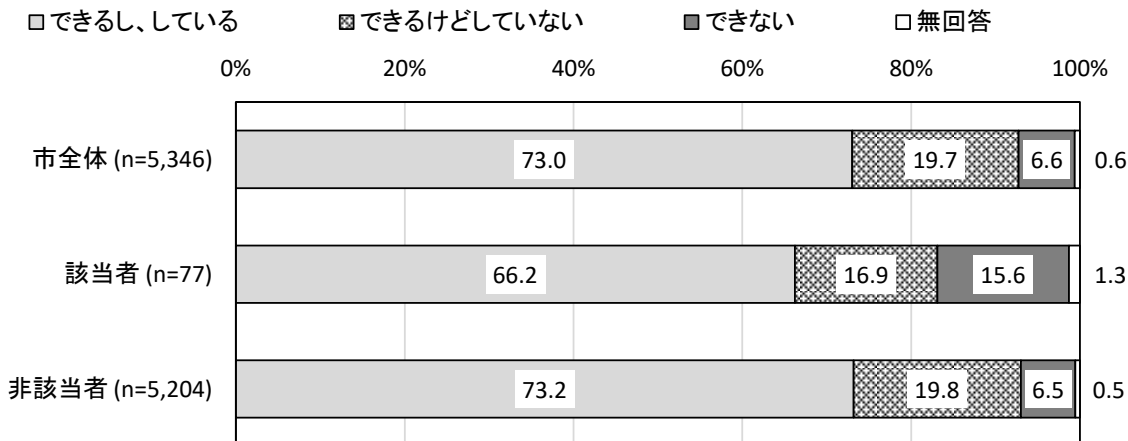
市全体では「できるし、している」が73.0%、「できるけどしていない」が19.7%、「できない」が6.6%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、「できない」の割合は、一般高齢者で6.1%、要支援・事業対象者で14.5%と、8.4ポイント差となっています。



【低栄養状態別】

低栄養状態別でみると、「できない」の割合は、該当者で15.6%、非該当者で6.5%と、9.1ポイント差となっています。

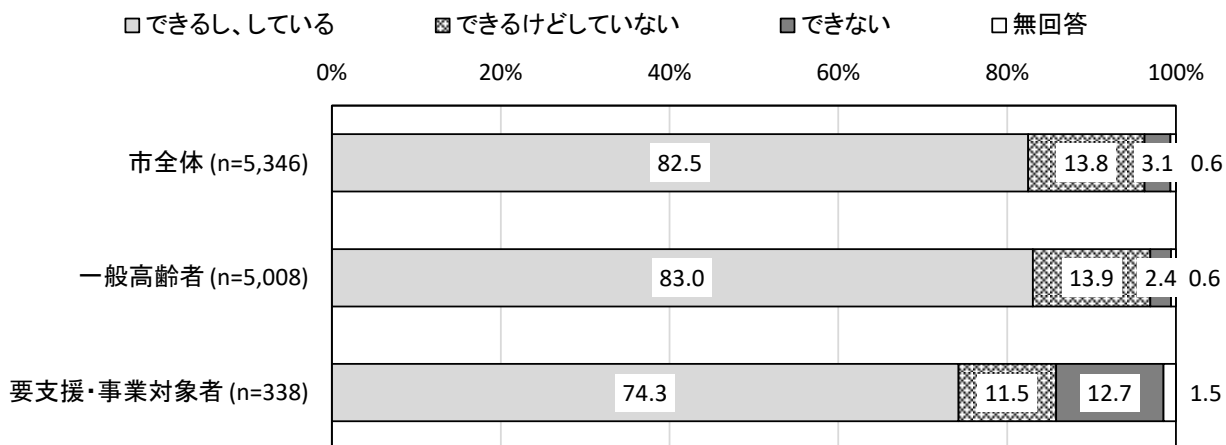


※「低栄養状態リスクの該当者」とは、146 ページに掲載しているBMI 18.5 未満及び6 か月間で2～3kg 以上の体重減少があった人を言います。

問 29 自分で請求書の支払いをしていますか (☑は1つ)

市全体では「できるし、している」が82.5%、「できるけどしていない」が13.8%、「できない」が3.1%となっています。

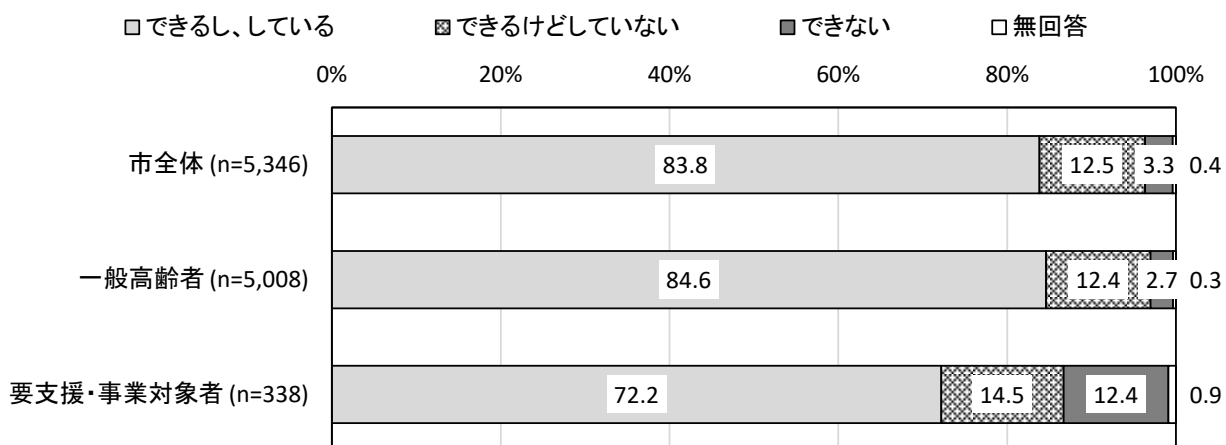
一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、「できない」の割合は、一般高齢者で2.4%、要支援・事業対象者で12.7%と、10.3ポイント差となっています。



問 30 自分で預貯金の出し入れをしていますか (☑は1つ)

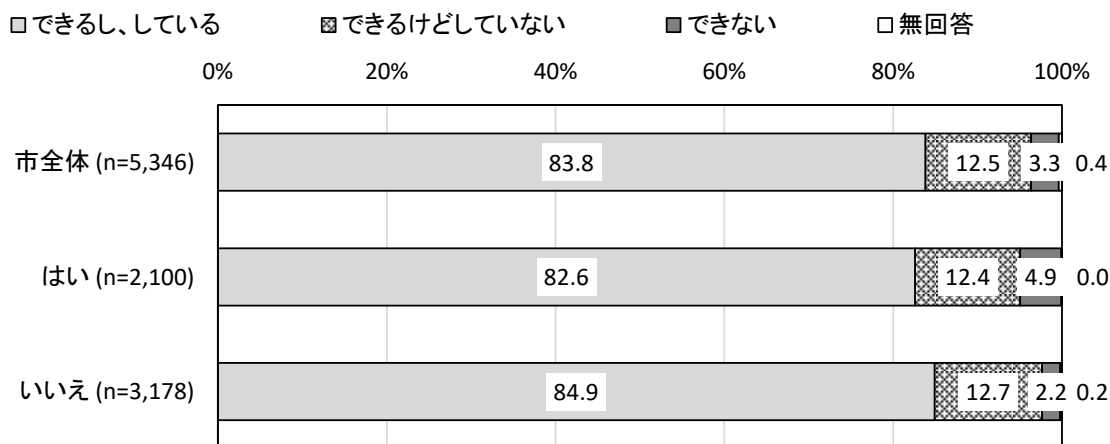
市全体では「できるし、している」が83.8%、「できるけどしていない」が12.5%、「できない」が3.3%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、「できない」の割合は、一般高齢者で2.7%、要支援・事業対象者で12.4%と、9.7ポイント差となっています。



【物忘れの状況別】

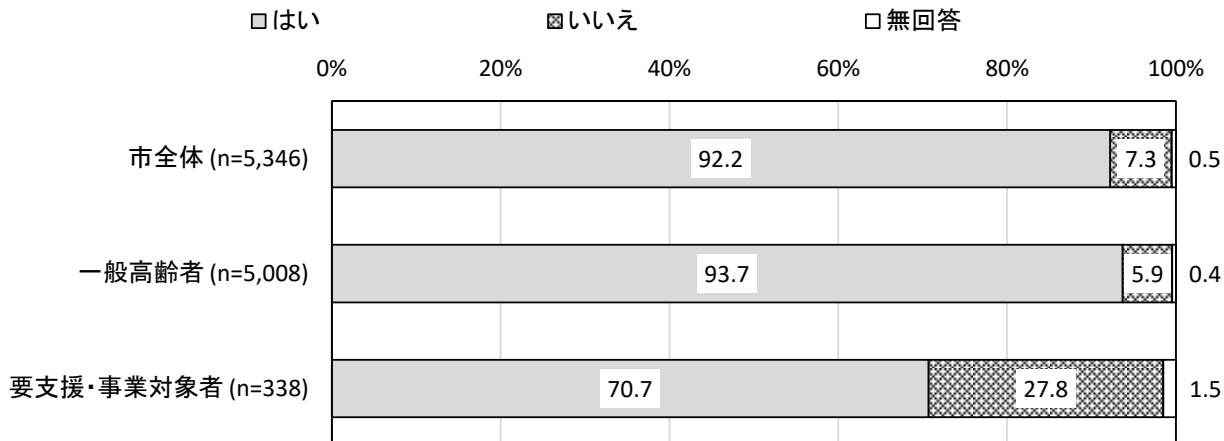
物忘れの状況別でみると、物忘れが多いと感じている人（はい）は、多いと感じていない人（いいえ）と比べ、「できない」の割合が高くなっています。



問 31 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか（☑は1つ）

市全体では「はい」が92.2%、「いいえ」が7.3%となっています。

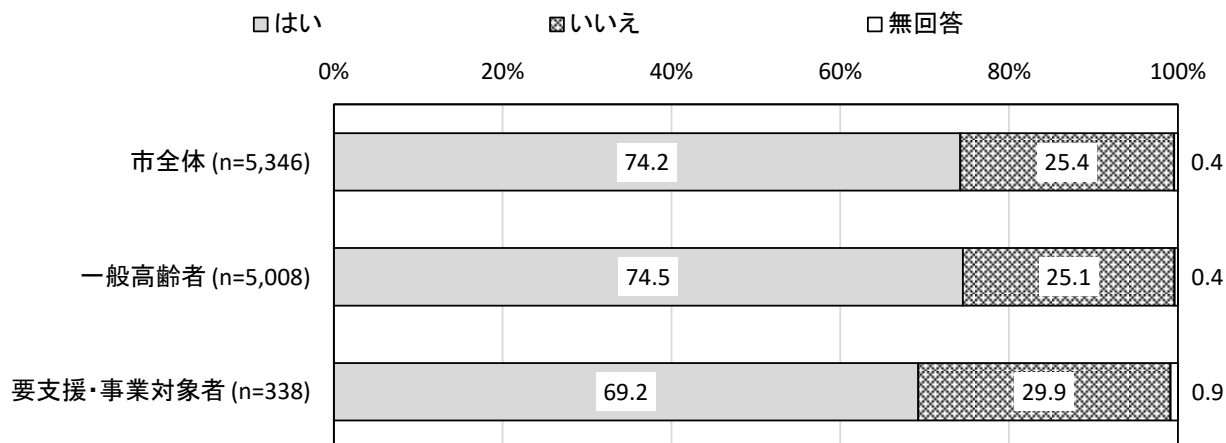
一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、「いいえ」の割合は、一般高齢者で5.9%、要支援・事業対象者で27.8%と、21.9ポイント差となっています。



問 32 新聞を読んでいますか (☑は1つ)

市全体では「はい」が74.2%、「いいえ」が25.4%となっています。

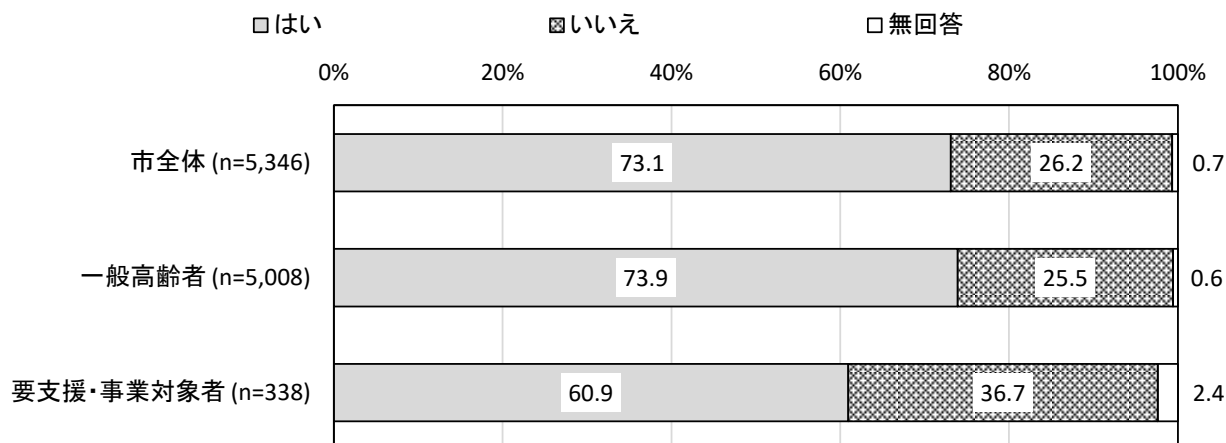
一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、「いいえ」の割合は、一般高齢者で25.1%、要支援・事業対象者で29.9%と、4.8ポイント差となっています。



問 33 本や雑誌を読んでいますか (☑は1つ)

市全体では「はい」が73.1%、「いいえ」が26.2%となっています。

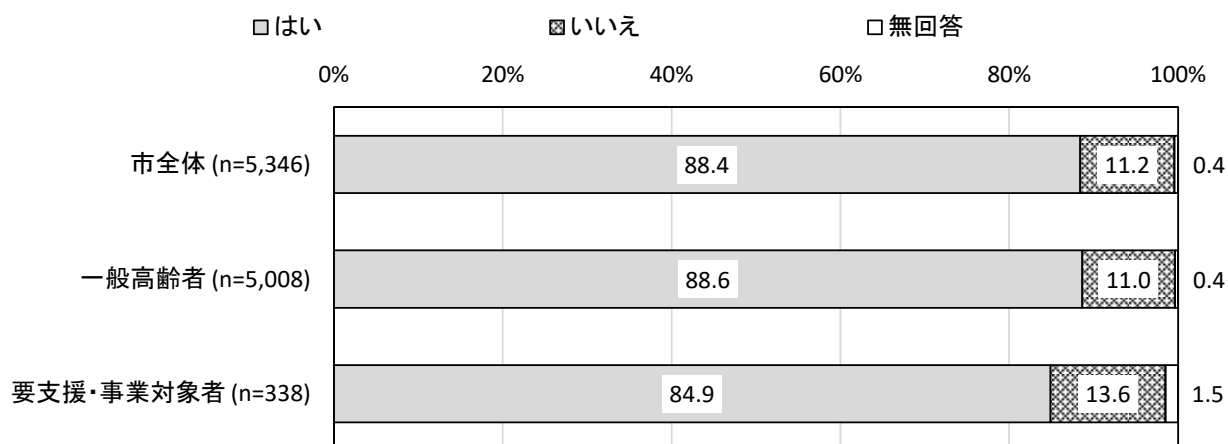
一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、「いいえ」の割合は、一般高齢者で25.5%、要支援・事業対象者で36.7%と、11.2ポイント差となっています。



問 34 健康についての記事や番組に関心がありますか (☑は1つ)

市全体では「はい」が88.4%、「いいえ」が11.2%となっています。

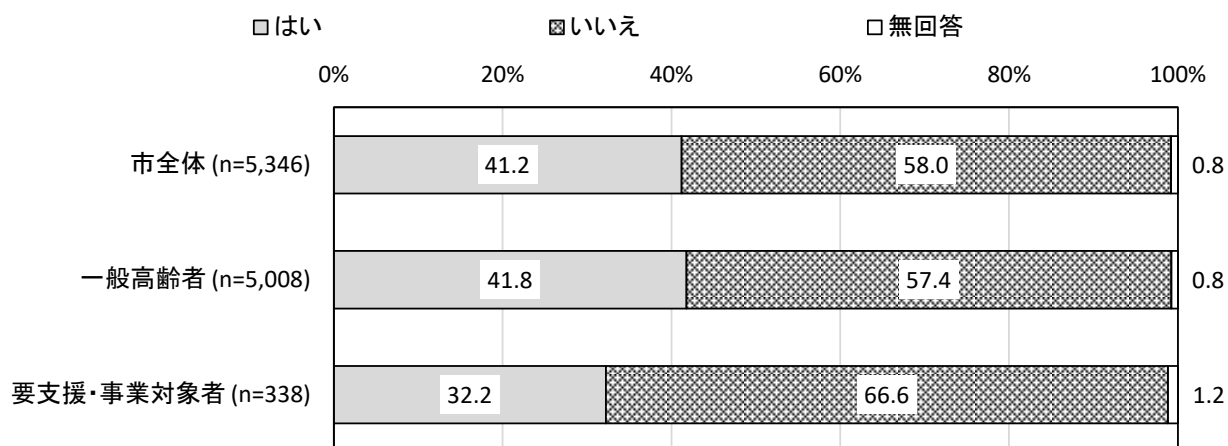
一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、「いいえ」の割合は、一般高齢者で11.0%、要支援・事業対象者で13.6%と、2.6ポイント差となっています。



問 35 友人の家を訪ねていますか (☑は1つ)

市全体では「はい」が41.2%、「いいえ」が58.0%となっています。

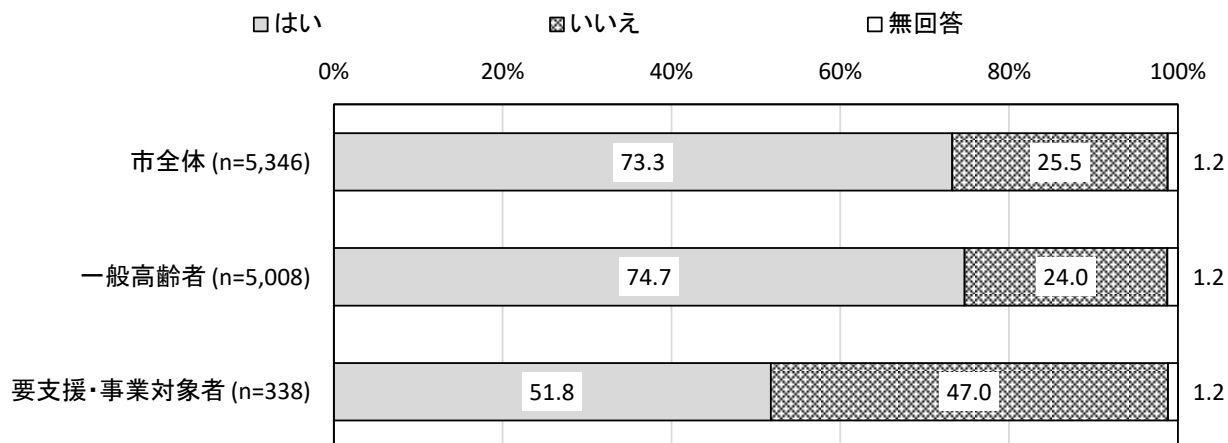
一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、「いいえ」の割合は、一般高齢者で57.4%、要支援・事業対象者で66.6%と、9.2ポイント差となっています。



問 36 家族や友人の相談にのっていますか (☑は1つ)

市全体では「はい」が73.3%、「いいえ」が25.5%となっています。

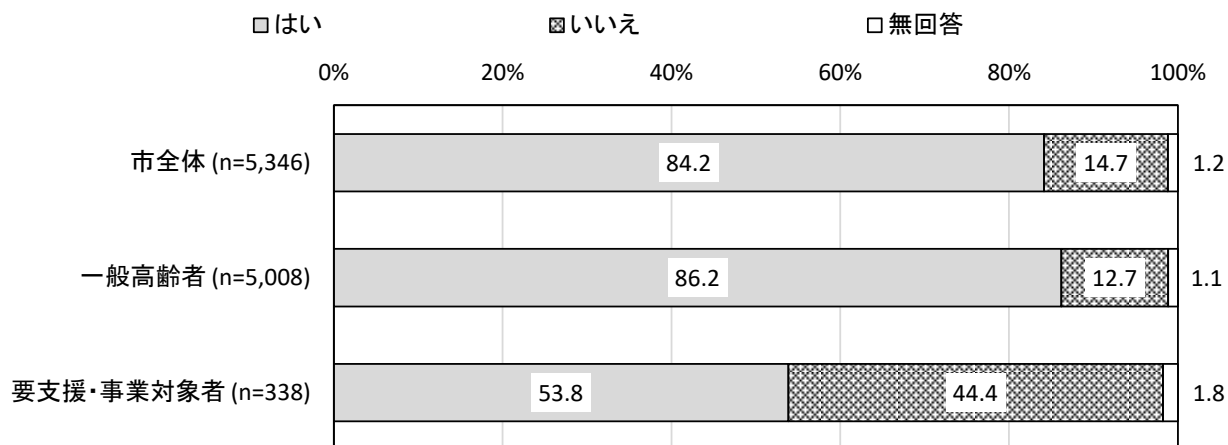
一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、「いいえ」の割合は、一般高齢者で24.0%、要支援・事業対象者で47.0%と、23.0ポイント差となっています。



問 37 病人を見舞うことができますか (☑は1つ)

市全体では「はい」が84.2%、「いいえ」が14.7%となっています。

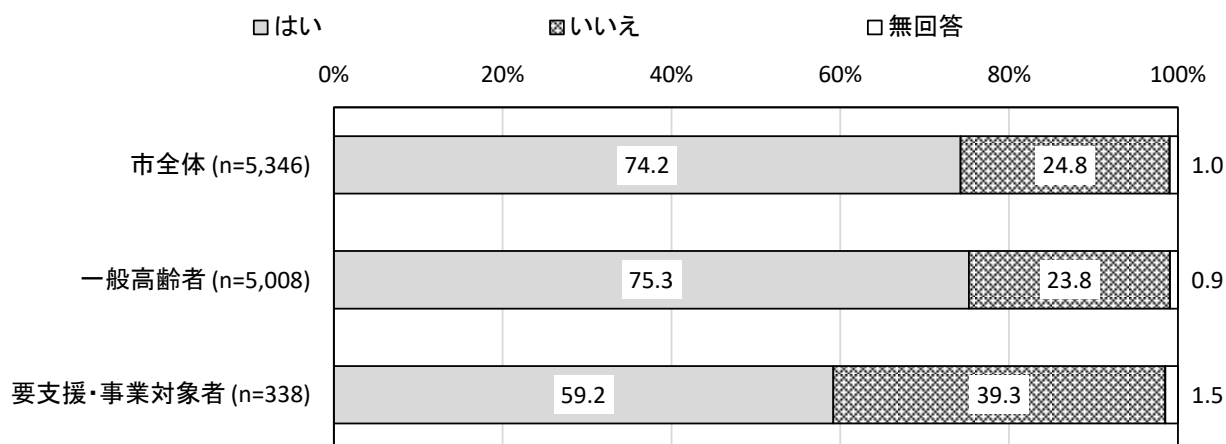
一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、「いいえ」の割合は、一般高齢者で12.7%、要支援・事業対象者で44.4%と、31.7ポイント差となっています。



問 38 若い人に自分から話しかけることがありますか（☑は1つ）

市全体では「はい」が74.2%、「いいえ」が24.8%となっています。

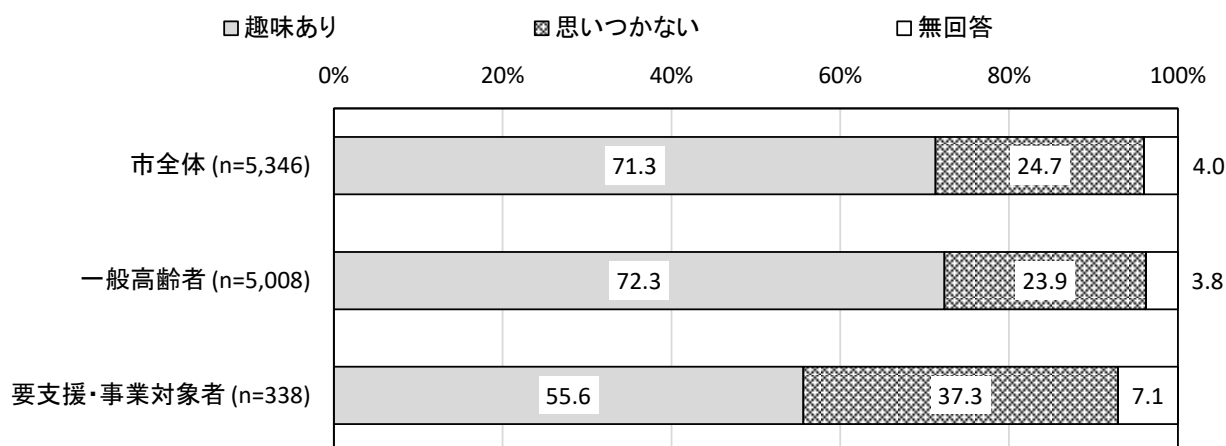
一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、「いいえ」の割合は、一般高齢者で23.8%、要支援・事業対象者で39.3%と、15.5ポイント差となっています。



問 39 趣味はありますか。ある場合は（ ）内にご記入ください（☑は1つ）

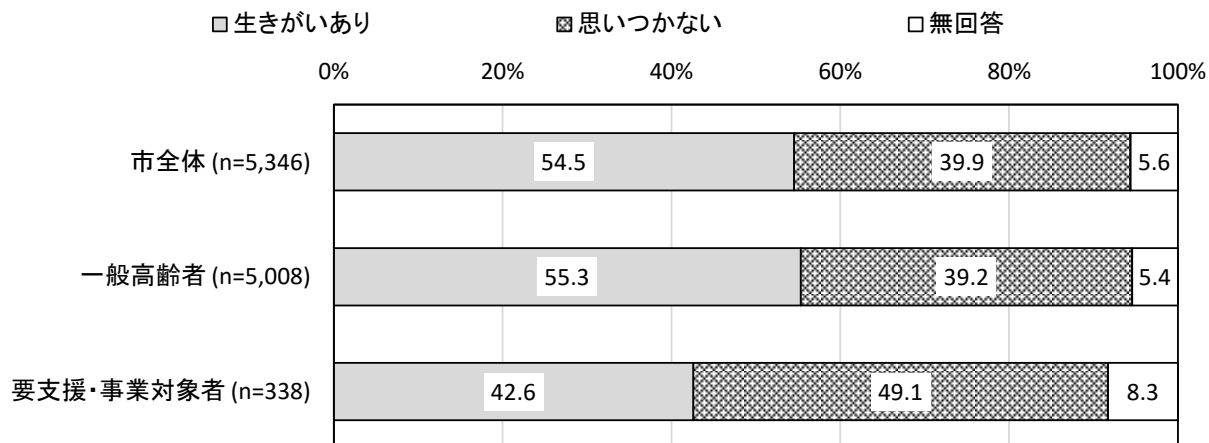
市全体では「趣味あり」が71.3%、「思いつかない」が24.7%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、「趣味あり」の割合は、一般高齢者で72.3%、要支援・事業対象者で55.6%と、16.7ポイント差となっています。



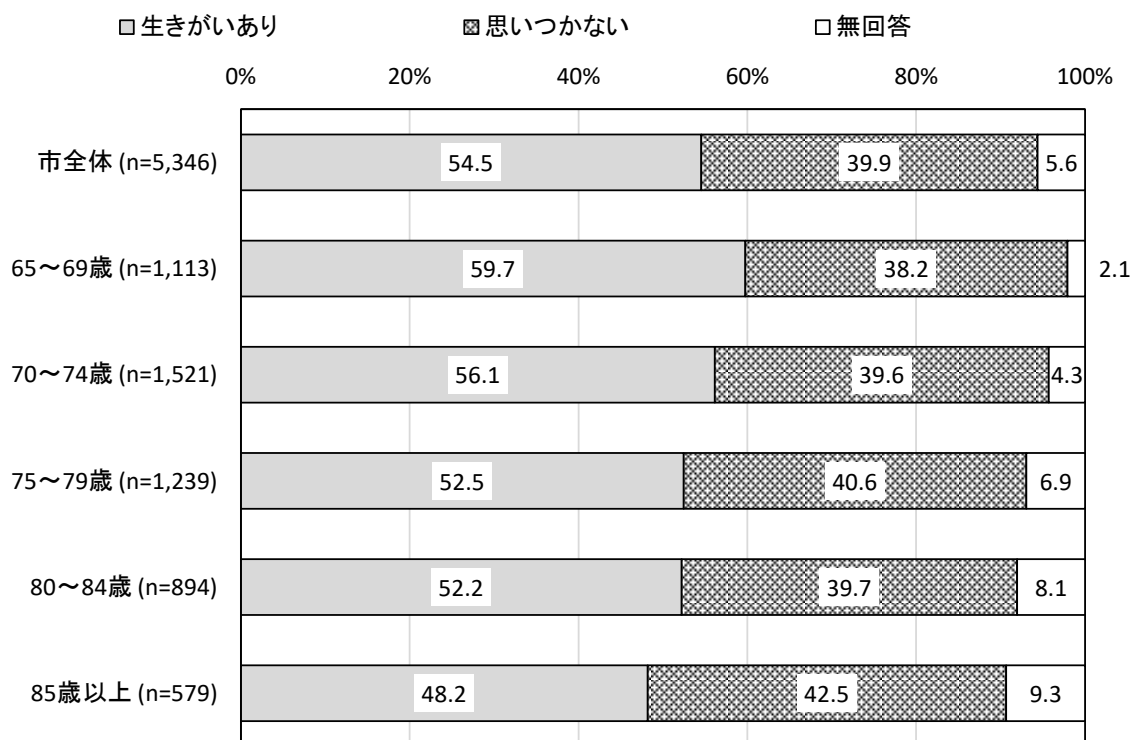
問 40 生きがいがありますか。ある場合は（ ）内にご記入ください（☑は1つ）

市全体では「生きがいあり」が54.5%、「思いつかない」が39.9%となっています。
 一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、「生きがいあり」の割合は、一般高齢者
 で55.3%、要支援・事業対象者で42.6%と、12.7ポイント差となっています。



【年齢階級別】

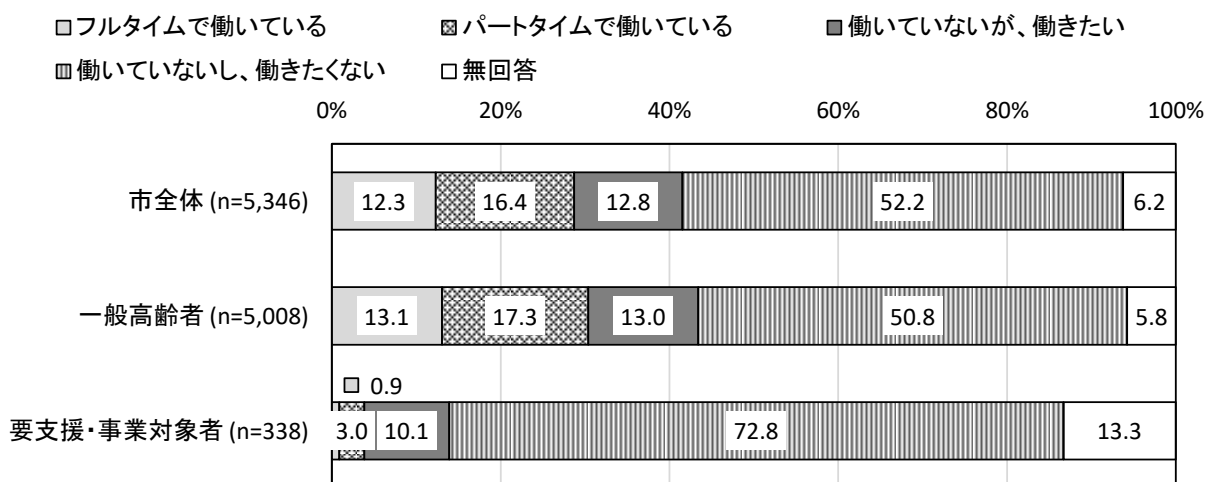
年齢階級別でみると、年齢が上がるにつれて「生きがいあり」が低くなっています。



問 41 現在働いていますか (☑は1つ)

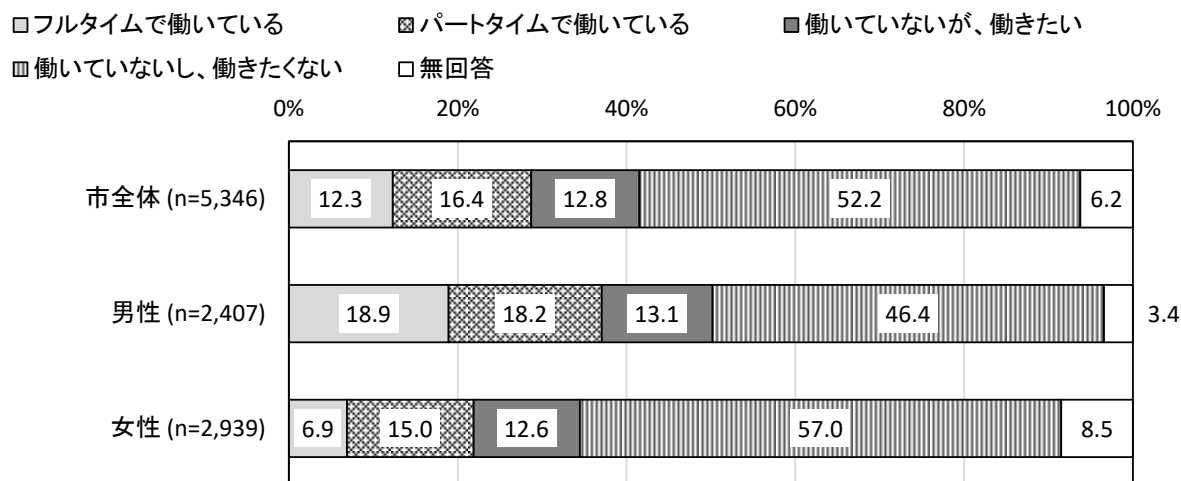
市全体では「フルタイムで働いている」と「パートタイムで働いている」を合わせた『働いている』が28.7%、「働いていないが、働きたい」が12.8%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、『働いている』の割合は、一般高齢者で30.4%、要支援・事業対象者で3.9%と、26.5ポイント差となっています。「働いていないが、働きたい」の割合は、一般高齢者で13.0%、要支援・事業対象者で10.1%と、2.9ポイント差となっています。



【性別】

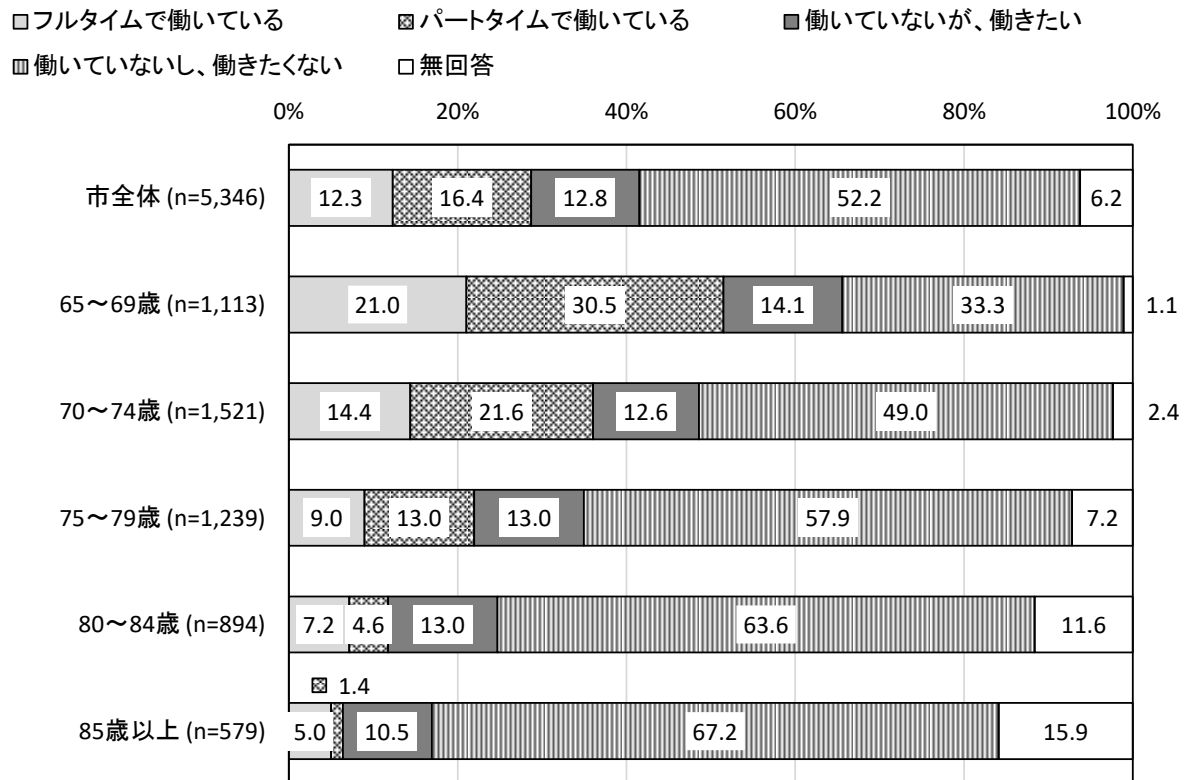
性別でみると、『働いている』の割合は、男性で37.1%、女性で21.9%と、15.2ポイント差となっています。



II 調査結果

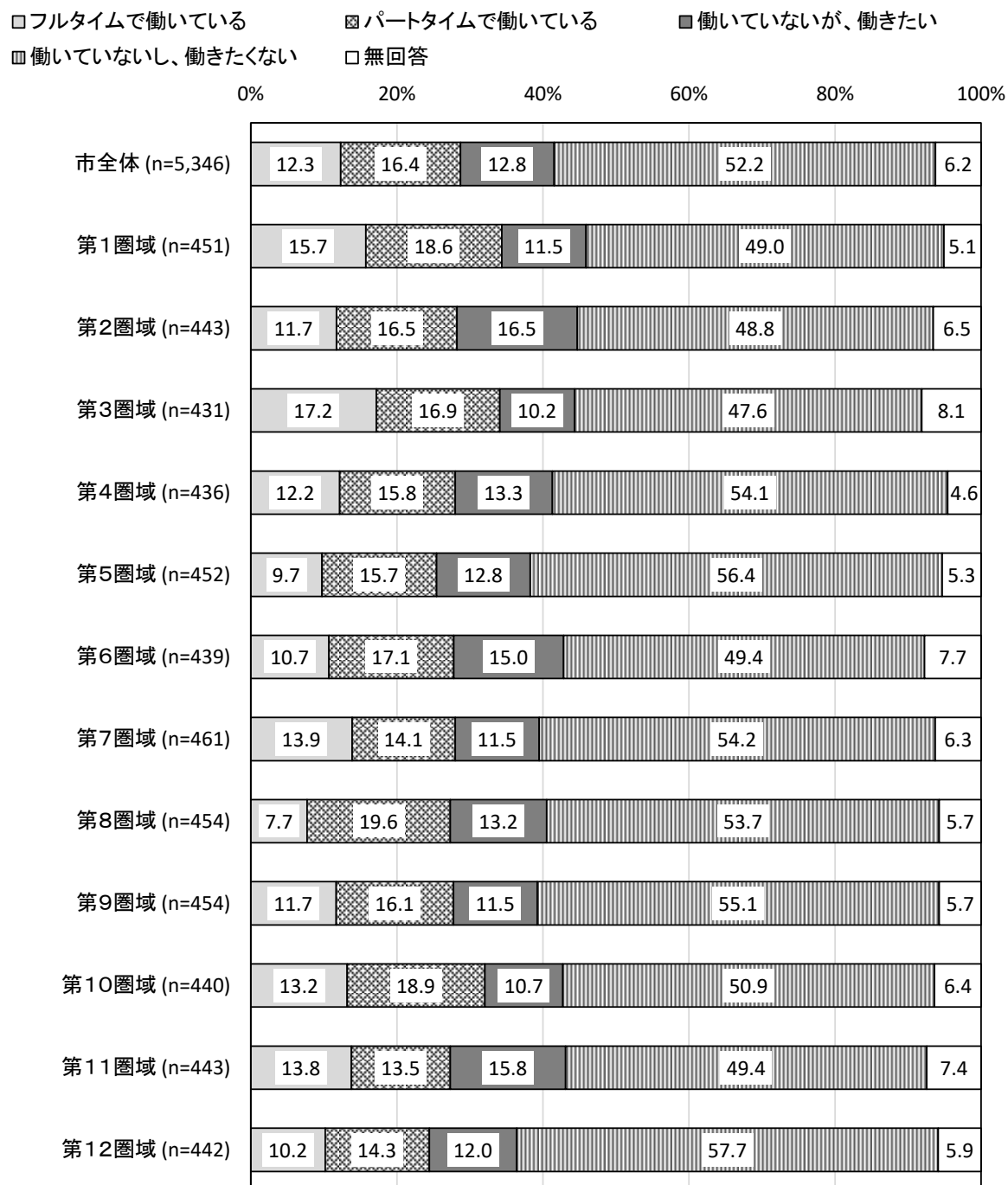
【年齢階級別】

年齢階級別でみると、年齢が上がるにつれて、「働いていないし、働きたくない」が高くなっています。



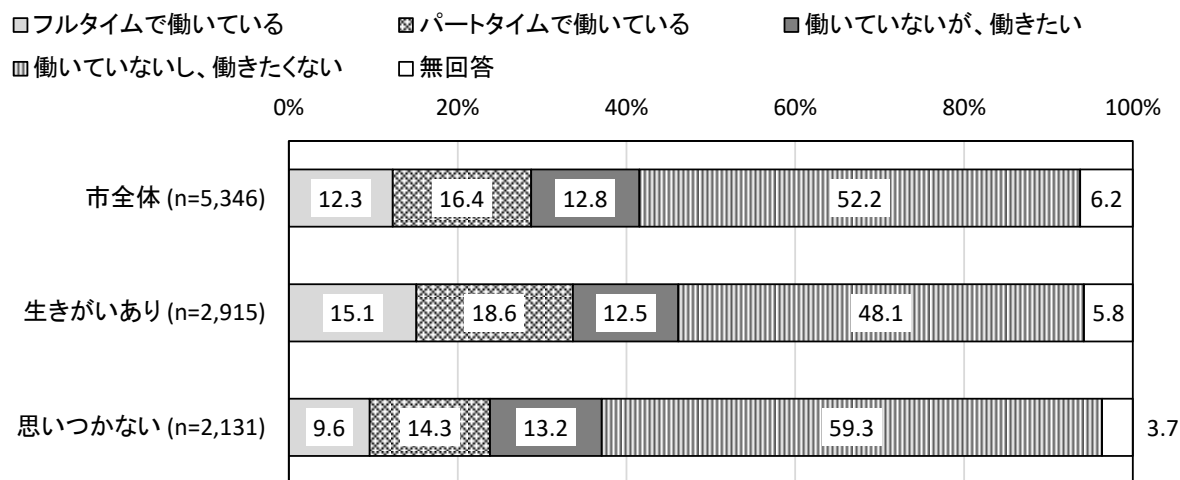
【圏域別】

圏域別でみると、『働いている』は、他に比べ、第1圏域で34.3%と最も高く、次いで第3圏域で34.1%、第10圏域で32.1%となっています。



【問 40 とのクロス集計 生きがいの有無別】

生きがいの有無別で見ると、「生きがいあり」では「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」が高くなっており、「思いつかない」では「働いていないし、働きたくない」が高くなっています。

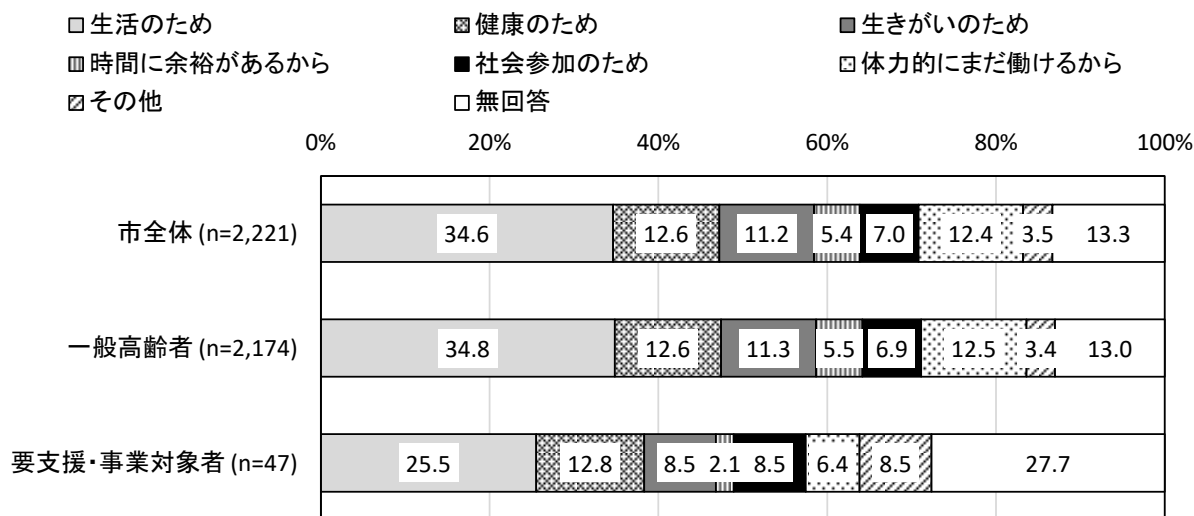


【問 41 で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」「働いていないが、働きたい」の方のみ】

問 41-1 働く理由、働きたい理由はなんですか (☑は1つ)

市全体では「生活のため」が34.6%と最も高く、次いで「健康のため」が12.6%、「体力的にまだ働けるから」が12.4%となっています。

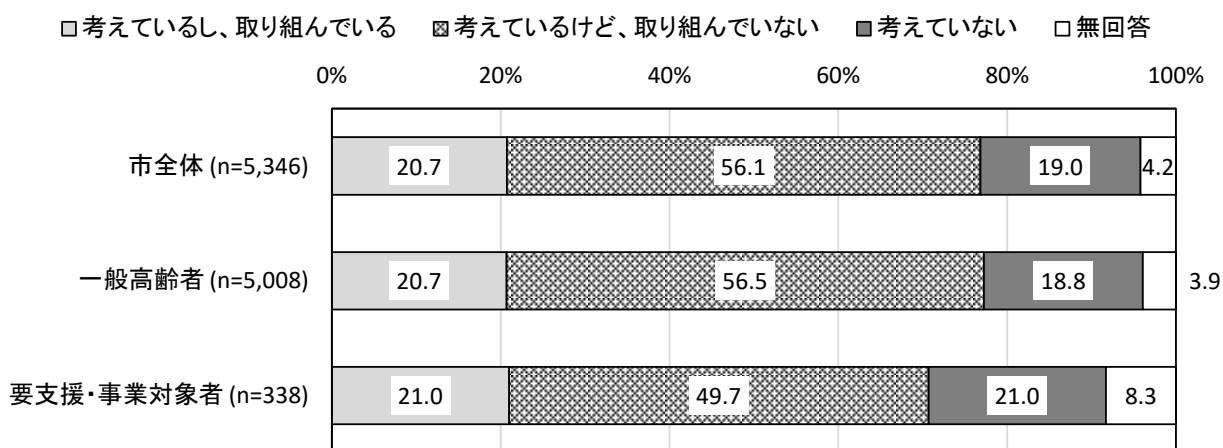
一般高齢者と要支援・事業対象者との比較で見ると、一般高齢者は「生活のため」「体力的にまだ働けるから」が高くなっており、要支援・事業対象者は「社会参加のため」「その他」が高くなっています。



問 42 終活について考えていますか (☑は1つ)

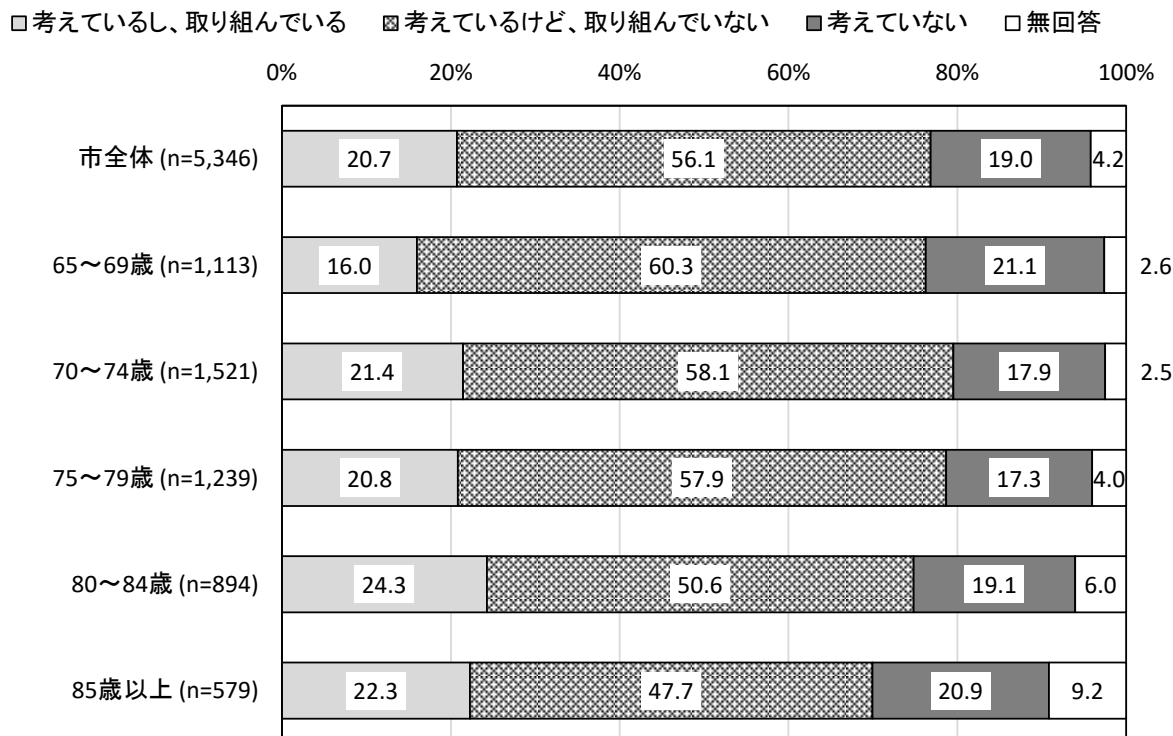
市全体では「考えているけど、取り組んでいない」が56.1%と最も高く、次いで「考えているし、取り組んでいる」が20.7%、「考えていない」が19.0%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較で見ると、一般高齢者では「考えているけど、取り組んでいない」が高くなっています。



【年齢階級別】

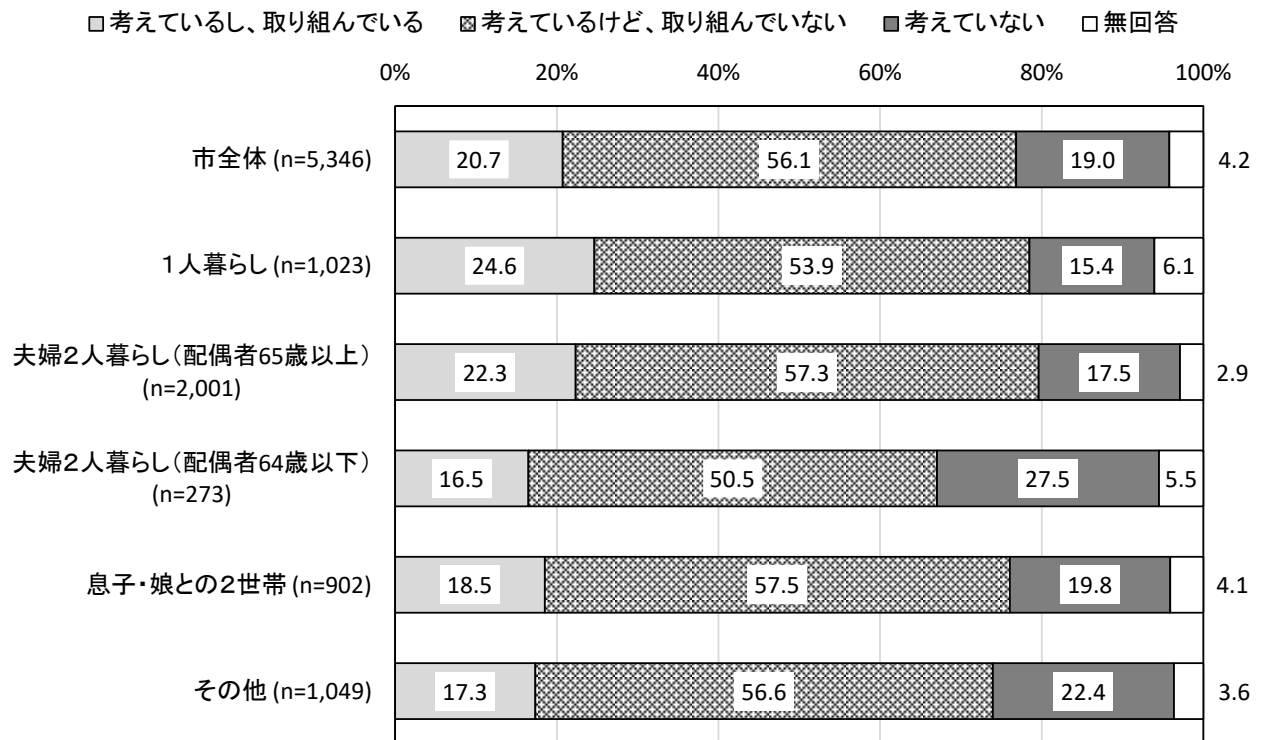
年齢階級別で見ると、「考えているし、取り組んでいる」は、80～84歳で24.3%と最も高くなっています。また、「考えていない」は、65～69歳で21.1%と最も高くなっています。



II 調査結果

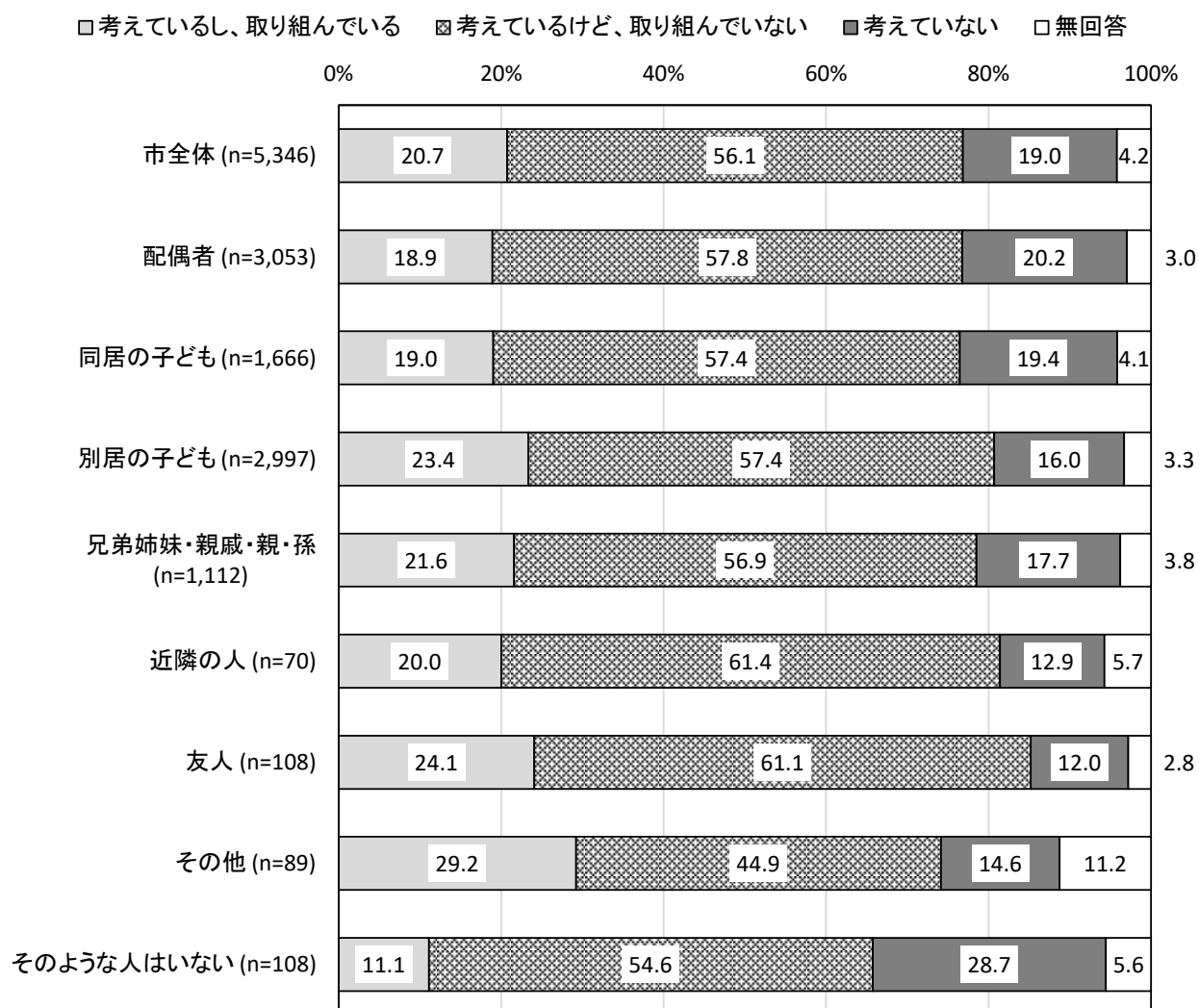
【家族構成別】

家族構成別でみると、「考えているし、取り組んでいる」は、1人暮らしで24.6%と最も高くなっています。また、「考えていない」は、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）で27.5%と最も高くなっています。



【亡くなった後の手続き等を担ってくれる人の有無別】

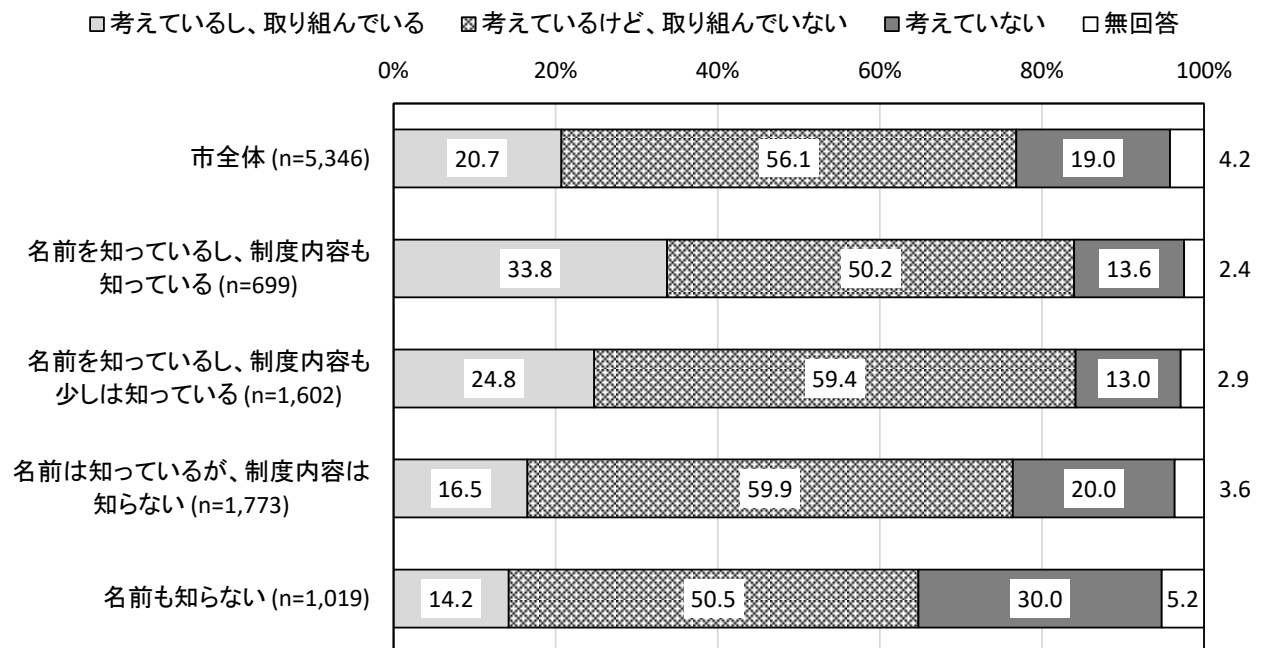
亡くなった後の手続き等を担ってくれる人の有無別でみると、他に比べ、そのような人はいないで「考えているし、取り組んでいる」が低くなっており、「考えていない」が高くなっています。



II 調査結果

【成年後見制度の認知度別】

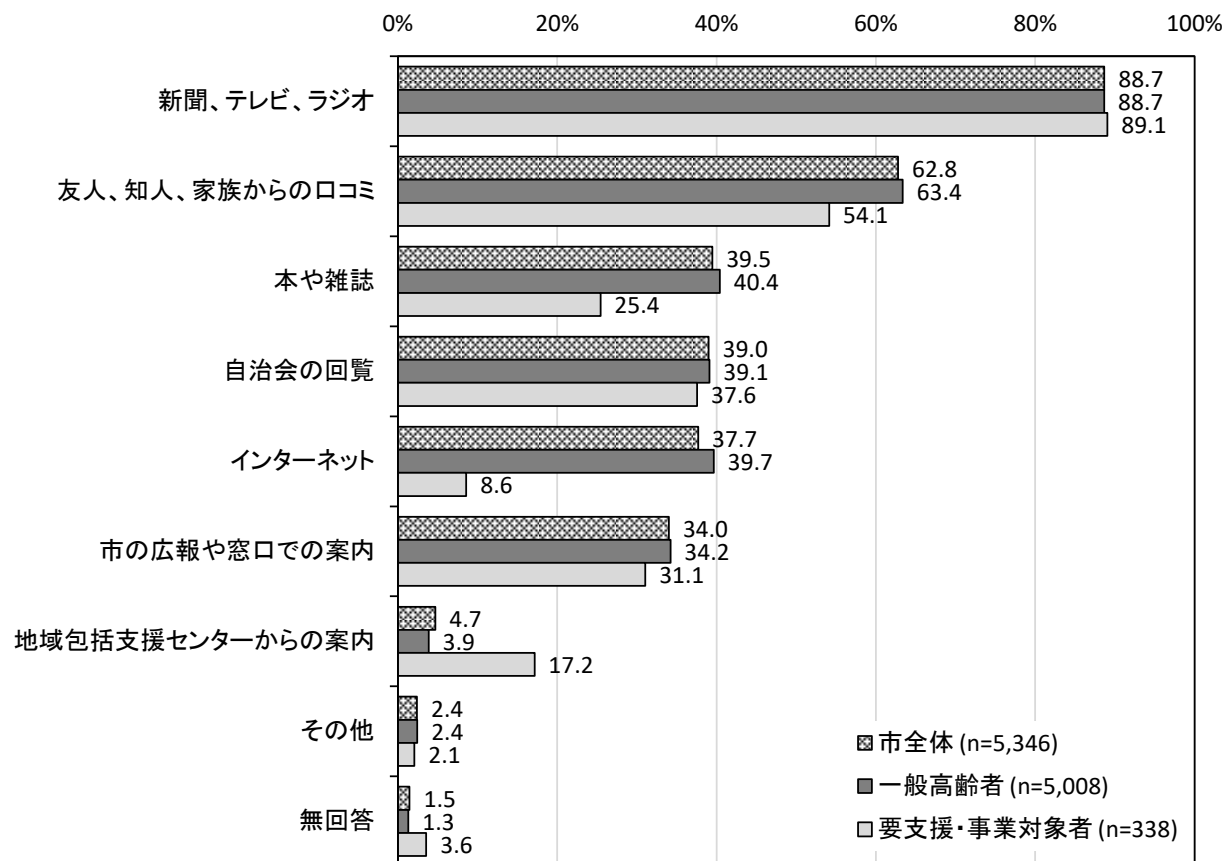
成年後見制度の認知度別でみると、制度を熟知しているほど「考えているし、取り組んでいる」の割合が高くなっています。



問 43 日ごろ、知りたい情報をどこで得ていますか（あてはまるものすべてに☑）

市全体では「新聞、テレビ、ラジオ」が88.7%と最も高く、次いで「友人、知人、家族からの口コミ」が62.8%、「本や雑誌」が39.5%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較で見ると、一般高齢者は「友人、知人、家族からの口コミ」「本や雑誌」「インターネット」が高くなっており要支援・事業対象者は「地域包括支援センターからの案内」が高くなっています。



II 調査結果

【年齢階級別】

年齢階級別でみると、すべての年齢階級で「新聞、テレビ、ラジオ」が高くなっています。また、「自治会の回覧」は年齢が上がるにつれて割合が高くなる傾向があるのに対し、「本や雑誌」「インターネット」は年齢が上がるにつれて割合が低くなっています。特に「インターネット」は、65～69歳で67.6%なのに対し、85歳以上では9.2%と、58.4ポイントの差となっています。

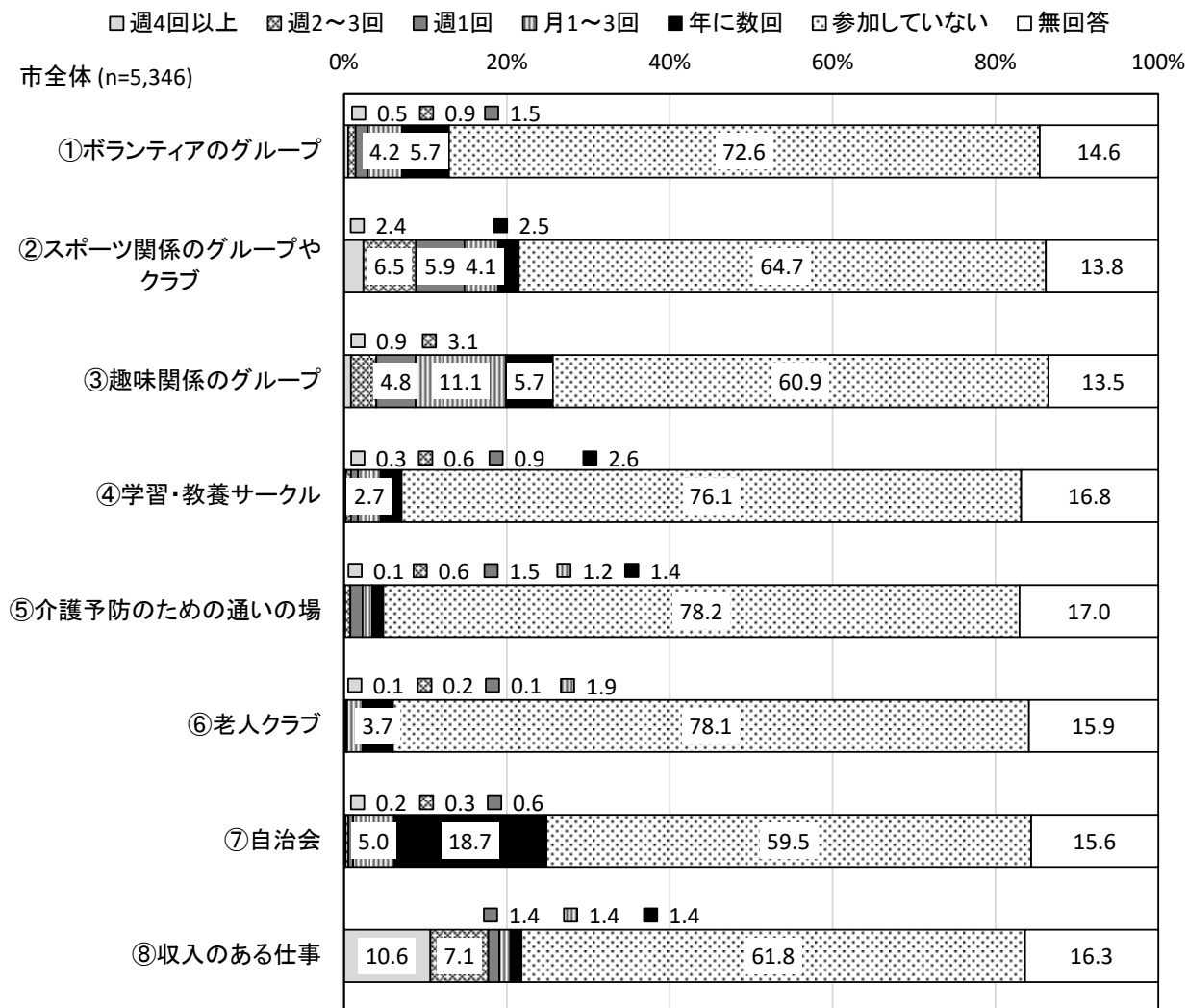
単位：%

区分	有効回答数（件）	新聞、テレビ、ラジオ	友人、知人、家族からの口コミ	本や雑誌	自治会の回覧	インターネット	市の広報や窓口での案内	地域包括支援センターからの案内	その他	無回答	
市全体	5,346	88.7	62.8	39.5	39.0	37.7	34.0	4.7	2.4	1.5	
年齢階級別	65～69歳	1,113	84.2	61.7	43.1	27.5	67.6	27.6	1.9	1.8	0.5
	70～74歳	1,521	88.2	62.5	42.0	36.8	49.0	34.5	3.5	2.6	0.9
	75～79歳	1,239	90.8	65.9	40.3	43.8	27.6	37.4	4.6	2.3	1.7
	80～84歳	894	90.7	64.4	34.2	48.4	13.6	37.9	6.4	2.3	2.1
	85歳以上	579	91.0	56.5	32.1	42.3	9.2	32.0	10.9	3.1	3.1

5 地域での活動について

問 44 以下のような会・グループなどにどのくらいの頻度で参加していますか
 ※①～⑧それぞれに回答してください（それぞれ☑は1つ）

「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」を合わせた『参加している』の割合でみると、③趣味関係のグループが25.6%と最も高く、次いで⑦自治会が24.8%、⑧収入のある仕事が21.9%となっています。

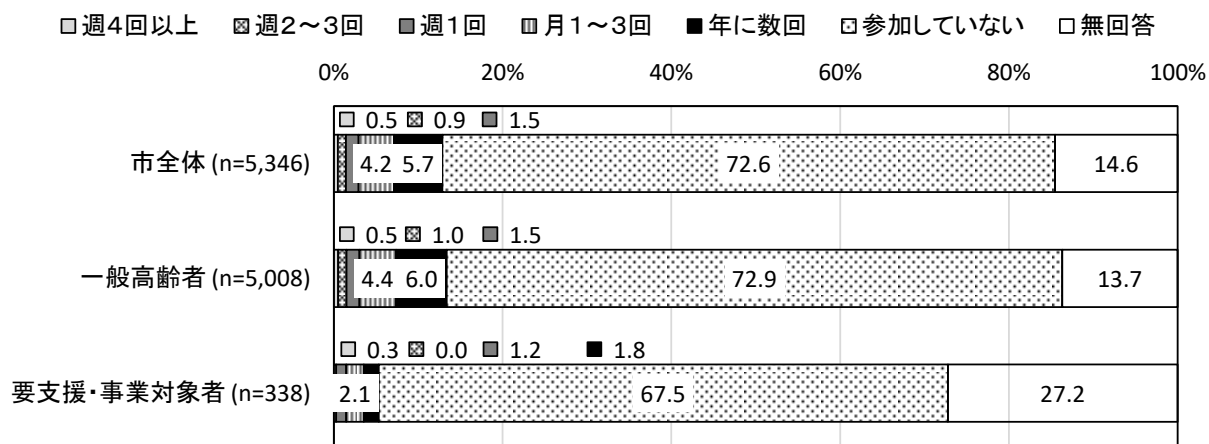


II 調査結果

① ボランティアのグループ

市全体では『参加している』が12.8%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、『参加している』の割合は、一般高齢者で13.4%、要支援・事業対象者で5.4%と、8.0ポイント差となっています。



【性別】

性別でみると、男性は女性に比べて「参加していない」が2.1ポイント高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答
市全体	5,346	0.5	0.9	1.5	4.2	5.7	<u>72.6</u>	14.6
性別								
男性	2,407	0.7	1.3	1.9	5.2	7.0	<u>73.7</u>	10.2
女性	2,939	0.4	0.6	1.2	3.4	4.7	<u>71.6</u>	18.1

【圏域別】

圏域別でみると、『参加している』の割合は、第11圏域で16.1%と最も高く、次いで第12圏域で15.4%、第1圏域で14.7%となっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	
市全体	5,346	0.5	0.9	1.5	4.2	5.7	72.6	14.6	
日常生活圏域別	第1圏域	451	0.2	0.9	1.8	4.9	6.9	72.3	13.1
	第2圏域	443	0.5	1.4	0.7	3.6	5.9	72.2	15.8
	第3圏域	431	0.0	0.2	1.6	4.2	5.1	72.2	16.7
	第4圏域	436	1.4	0.9	1.4	2.3	6.0	72.5	15.6
	第5圏域	452	0.4	1.1	2.2	4.6	4.9	72.6	14.2
	第6圏域	439	0.5	0.2	1.6	5.7	5.2	69.5	17.3
	第7圏域	461	0.2	0.9	1.1	3.5	4.6	76.1	13.7
	第8圏域	454	0.4	0.9	0.4	4.0	5.1	73.8	15.4
	第9圏域	454	0.7	1.1	1.5	5.1	5.1	72.7	13.9
	第10圏域	440	0.9	1.6	1.6	3.9	4.8	74.5	12.7
	第11圏域	443	0.5	1.4	2.5	4.3	7.4	72.5	11.5
	第12圏域	442	0.5	0.7	1.6	4.5	8.1	69.7	14.9

【問40とのクロス集計 生きがいの有無別】

生きがいの有無別でみると、「思いつかない」は「生きがいあり」に比べて「参加していない」が11.8ポイント高くなっています。

単位：%

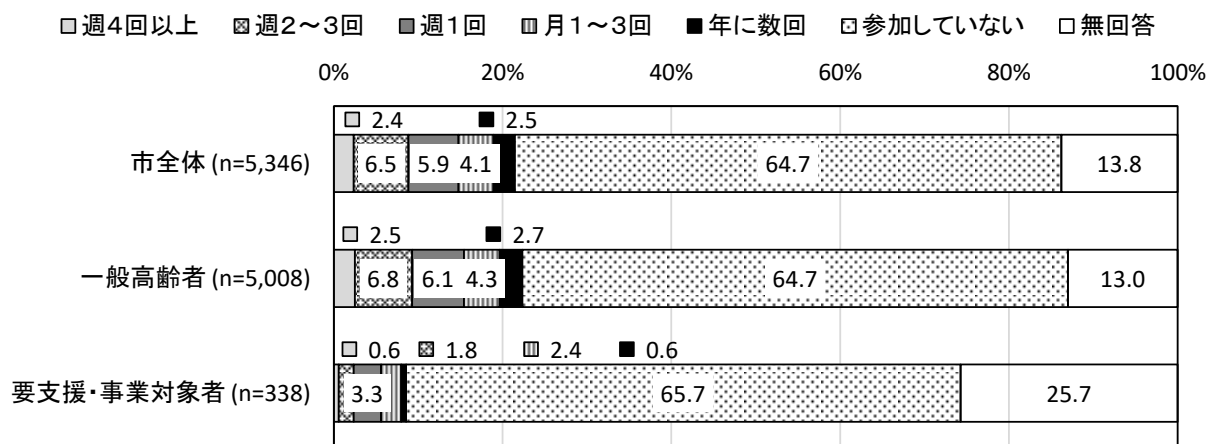
区分	有効回答数 (件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
市全体	5,346	0.5	0.9	1.5	4.2	5.7	72.6	14.6
生きがいあり	2,915	0.9	1.3	2.2	6.1	7.8	68.9	13.0
思いつかない	2,131	0.1	0.5	0.5	1.9	3.2	80.7	13.0

II 調査結果

② スポーツ関係のグループやクラブ

市全体では『参加している』が21.4%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、『参加している』の割合は、一般高齢者で22.4%、要支援・事業対象者で8.7%と、13.7ポイント差となっています。



【性別】

性別でみると、男性は女性に比べて「参加していない」が7.6ポイント高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
市全体	5,346	2.4	6.5	5.9	4.1	2.5	64.7	13.8
性別								
男性	2,407	2.1	5.0	4.2	5.2	4.5	68.9	10.1
女性	2,939	2.6	7.7	7.3	3.2	1.0	61.3	16.9

【圏域別】

圏域別でみると、『参加している』の割合は、第12圏域で25.6%と最も高く、次いで第9圏域で22.9%、第1圏域、第10圏域で22.8%となっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	
市全体	5,346	2.4	6.5	5.9	4.1	2.5	64.7	13.8	
日常生活圏域別	第1圏域	451	3.1	8.4	5.1	2.4	3.8	65.4	11.8
	第2圏域	443	3.4	6.1	6.1	3.2	3.4	63.7	14.2
	第3圏域	431	1.6	5.3	7.7	3.5	1.4	65.2	15.3
	第4圏域	436	3.0	6.9	5.3	4.8	2.5	62.6	14.9
	第5圏域	452	1.1	5.8	4.0	3.8	2.7	67.5	15.3
	第6圏域	439	1.1	6.2	5.9	3.6	3.9	62.4	16.9
	第7圏域	461	2.6	6.7	4.3	3.7	1.7	67.9	13.0
	第8圏域	454	2.6	5.7	6.8	3.7	2.2	64.5	14.3
	第9圏域	454	3.1	6.6	7.5	3.7	2.0	64.3	12.8
	第10圏域	440	3.2	7.3	5.0	5.7	1.6	65.0	12.3
	第11圏域	443	1.8	5.6	7.0	5.0	2.0	66.8	11.7
	第12圏域	442	1.8	7.0	6.8	6.6	3.4	61.1	13.3

【問40とのクロス集計 生きがいの有無別】

生きがいの有無別でみると、「思いつかない」は「生きがいあり」に比べて「参加していない」が12.6ポイント高くなっています。

単位：%

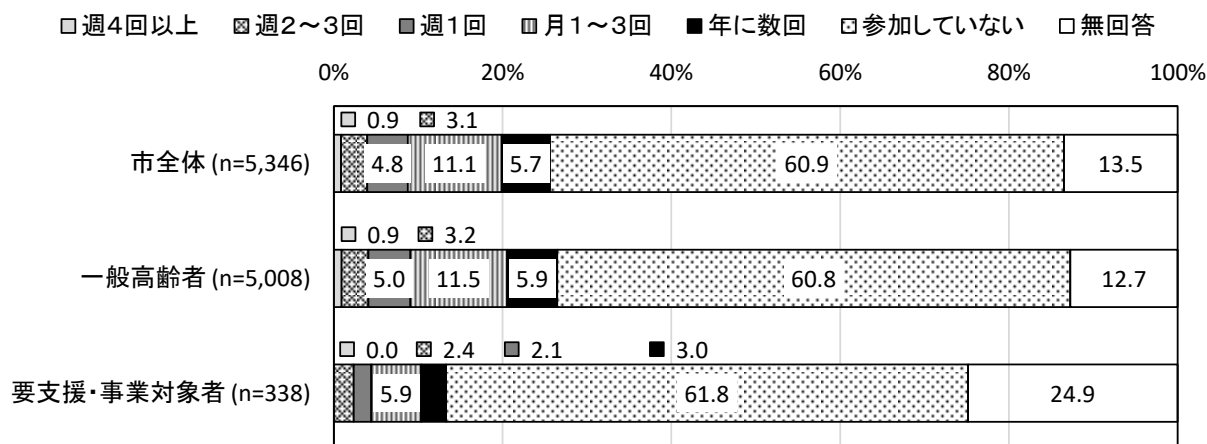
区分	有効回答数 (件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
市全体	5,346	2.4	6.5	5.9	4.1	2.5	64.7	13.8
生きがいあり	2,915	3.5	8.5	7.0	5.2	2.9	60.6	12.3
思いつかない	2,131	1.0	4.1	4.6	2.8	2.0	73.2	12.4

II 調査結果

③ 趣味関係のグループ

市全体では『参加している』が25.6%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、『参加している』の割合は、一般高齢者で26.5%、要支援・事業対象者で13.4%と、13.1ポイント差となっています。



【性別】

性別でみると、男性は女性に比べて「参加していない」が5.5ポイント高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答	
市全体	5,346	0.9	3.1	4.8	11.1	5.7	60.9	13.5	
性別	男性	2,407	1.2	2.8	4.7	9.1	8.9	63.9	9.4
	女性	2,939	0.6	3.4	4.9	12.8	3.2	58.4	16.8

【圏域別】

圏域別でみると、『参加している』の割合は、第12圏域で31.4%と最も高く、次いで第9圏域で28.9%、第4圏域で27.5%となっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	
市全体	5,346	0.9	3.1	4.8	11.1	5.7	60.9	13.5	
日常生活圏域別	第1圏域	451	0.2	3.1	7.5	8.6	6.9	61.0	12.6
	第2圏域	443	0.2	3.2	4.5	12.4	5.0	62.1	12.6
	第3圏域	431	0.9	2.1	3.2	10.0	5.8	61.5	16.5
	第4圏域	436	0.7	3.7	3.9	12.8	6.4	57.1	15.4
	第5圏域	452	0.9	2.9	3.8	10.0	4.9	63.1	14.6
	第6圏域	439	0.9	2.7	4.1	10.0	6.4	59.5	16.4
	第7圏域	461	1.5	2.4	6.3	9.8	5.2	60.5	14.3
	第8圏域	454	1.5	4.2	2.9	11.0	3.5	62.1	14.8
	第9圏域	454	0.9	4.0	6.2	11.2	6.6	60.8	10.4
	第10圏域	440	0.7	2.7	4.3	11.1	5.7	64.1	11.4
	第11圏域	443	0.9	2.7	4.5	12.6	6.1	62.3	10.8
	第12圏域	442	0.9	3.8	6.3	13.8	6.6	56.3	12.2

【問40とのクロス集計 生きがいの有無別】

生きがいの有無別でみると、「思いつかない」は「生きがいあり」に比べて「参加していない」が20.6ポイント高くなっています。

単位：%

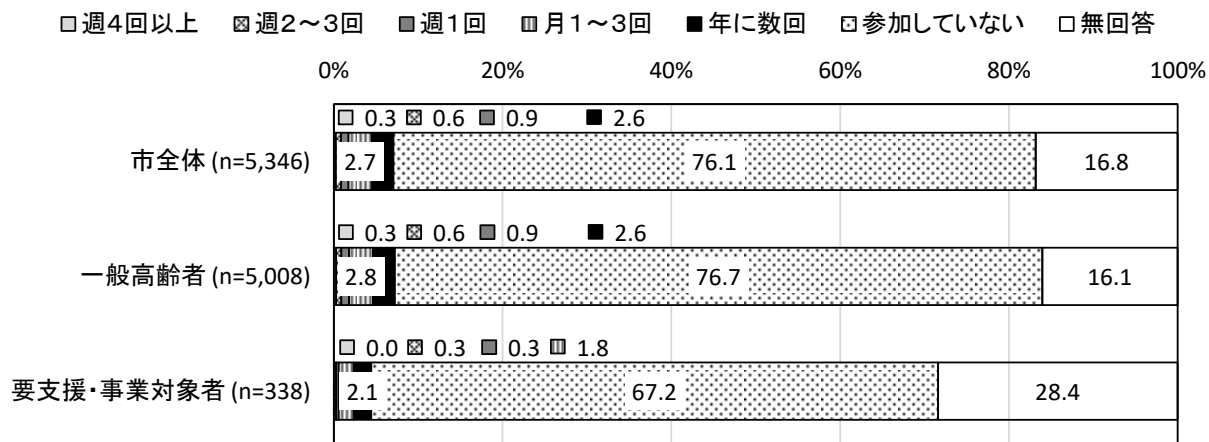
区分	有効回答数 (件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
市全体	5,346	0.9	3.1	4.8	11.1	5.7	60.9	13.5
生きがいあり	2,915	1.4	4.6	6.8	14.8	7.5	53.3	11.7
思いつかない	2,131	0.2	1.5	2.3	6.3	3.4	73.9	12.4

II 調査結果

④ 学習・教養サークル

市全体では『参加している』が7.1%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、『参加している』の割合は、一般高齢者で7.2%、要支援・事業対象者で4.5%と、2.7ポイント差となっています。



【性別】

性別でみると、男性は女性に比べて「参加していない」が9.7ポイント高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答	
市全体	5,346	0.3	0.6	0.9	2.7	2.6	<u>76.1</u>	16.8	
性別	男性	2,407	0.2	0.3	1.0	2.0	3.0	<u>81.4</u>	12.1
	女性	2,939	0.3	0.9	0.8	3.4	2.2	<u>71.7</u>	20.7

【圏域別】

圏域別でみると、『参加している』の割合は、第4圏域で9.1%と最も高く、次いで第1圏域で9.0%、第6圏域で8.7%となっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	
市全体	5,346	0.3	0.6	0.9	2.7	2.6	76.1	16.8	
日常生活圏域別	第1圏域	451	0.0	1.3	1.8	3.5	2.4	77.2	13.7
	第2圏域	443	0.5	0.7	0.5	2.5	3.8	75.6	16.5
	第3圏域	431	0.0	0.2	0.0	3.2	2.8	74.5	19.3
	第4圏域	436	1.1	0.0	0.7	4.8	2.5	72.7	18.1
	第5圏域	452	0.4	0.7	0.2	1.5	2.7	76.5	17.9
	第6圏域	439	0.0	0.5	1.4	3.4	3.4	71.8	19.6
	第7圏域	461	0.0	0.2	1.1	2.0	3.0	77.7	16.1
	第8圏域	454	0.2	1.1	1.8	2.2	1.8	76.0	17.0
	第9圏域	454	0.2	0.4	0.9	2.6	2.2	78.6	15.0
	第10圏域	440	0.0	0.7	0.7	1.6	1.8	79.3	15.9
	第11圏域	443	0.5	0.5	1.1	3.2	1.6	77.2	16.0
	第12圏域	442	0.2	0.9	0.7	2.5	2.7	75.8	17.2

【問40とのクロス集計 生きがいの有無別】

生きがいの有無別でみると、「思いつかない」は「生きがいあり」に比べて「参加していない」が10.1ポイント高くなっています。

単位：%

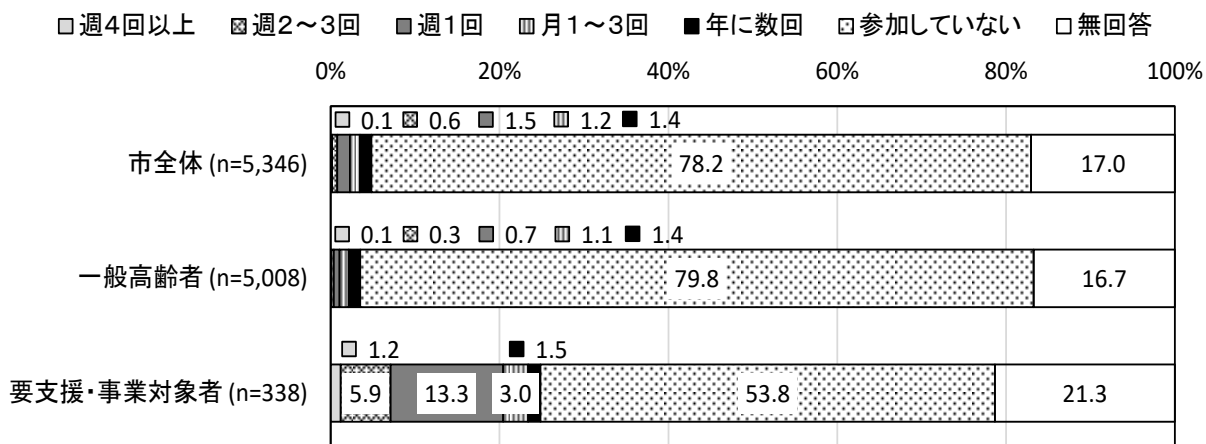
区分	有効回答数 (件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
市全体	5,346	0.3	0.6	0.9	2.7	2.6	76.1	16.8
生きがいあり	2,915	0.4	1.0	1.4	4.3	3.8	73.5	15.6
思いつかない	2,131	0.0	0.2	0.2	0.8	0.9	83.6	14.3

II 調査結果

⑤ 介護予防のための通いの場（上記①～④を除く、地域のサロンやグループなど）

市全体では『参加している』が4.8%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、『参加している』の割合は、一般高齢者で3.6%、要支援・事業対象者で24.9%と、21.3ポイント差となっています。



【性別】

性別でみると、男性は女性に比べて「参加していない」が10.6ポイント高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答
市全体	5,346	0.1	0.6	1.5	1.2	1.4	78.2	17.0
性別								
男性	2,407	0.1	0.4	1.1	0.7	0.9	84.0	12.8
女性	2,939	0.2	0.8	1.8	1.6	1.7	73.4	20.5

【圏域別】

圏域別でみると、『参加している』の割合は、第10圏域で7.1%と最も高く、次いで第6圏域で6.9%、第12圏域で6.1%となっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	
市全体	5,346	0.1	0.6	1.5	1.2	1.4	78.2	17.0	
日常生活圏域別	第1圏域	451	0.0	0.4	0.9	0.4	1.8	82.0	14.4
	第2圏域	443	0.2	1.1	1.8	1.1	0.9	77.4	17.4
	第3圏域	431	0.0	0.5	1.2	1.6	1.2	76.6	19.0
	第4圏域	436	0.2	0.7	1.8	0.2	0.9	78.4	17.7
	第5圏域	452	0.0	0.2	0.7	0.9	1.3	78.3	18.6
	第6圏域	439	0.2	0.5	2.5	2.3	1.4	73.1	20.0
	第7圏域	461	0.0	0.2	1.3	0.9	1.5	79.8	16.3
	第8圏域	454	0.0	0.7	2.4	1.8	0.2	77.5	17.4
	第9圏域	454	0.4	0.7	1.3	0.7	1.3	79.5	16.1
	第10圏域	440	0.0	0.9	0.9	2.3	3.0	77.3	15.7
	第11圏域	443	0.5	1.1	1.1	1.1	0.7	80.8	14.7
	第12圏域	442	0.2	0.7	2.0	0.9	2.3	76.7	17.2

【問40とのクロス集計 生きがいの有無別】

生きがいの有無別でみると、「思いつかない」は「生きがいあり」に比べて「参加していない」が4.4ポイント高くなっています。

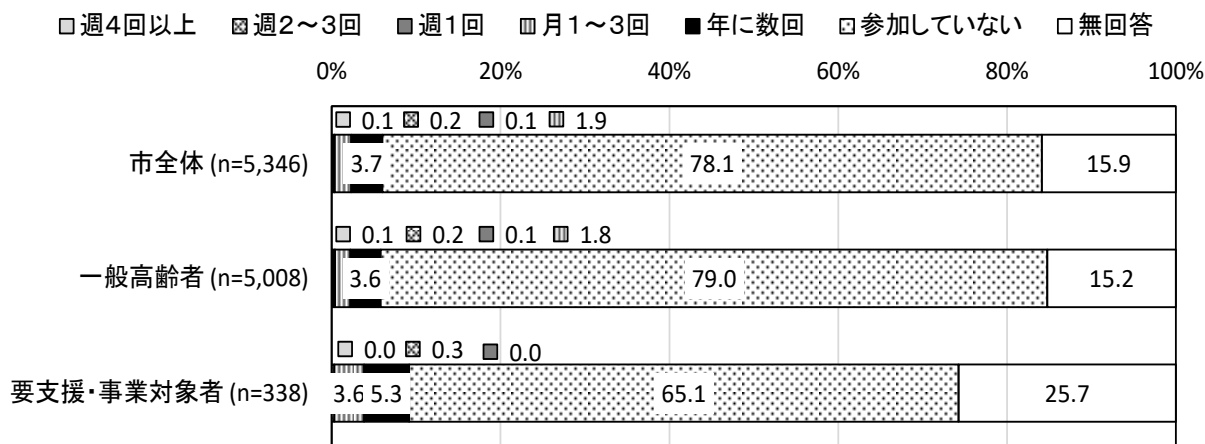
単位：%

区分	有効回答数 (件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
市全体	5,346	0.1	0.6	1.5	1.2	1.4	78.2	17.0
生きがいあり	2,915	0.1	0.6	1.7	1.6	1.7	77.9	16.3
思いつかない	2,131	0.1	0.5	1.1	0.8	0.9	82.3	14.3

⑥ 老人クラブ

市全体では『参加している』が6.0%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、『参加している』の割合は、一般高齢者で5.8%、要支援・事業対象者で9.2%と、3.4ポイント差となっています。



【性別】

性別でみると、男性は女性に比べて「参加していない」が6.6ポイント高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答
市全体	5,346	0.1	0.2	0.1	1.9	3.7	78.1	15.9
性別								
男性	2,407	0.1	0.3	0.2	2.2	4.2	81.7	11.3
女性	2,939	0.1	0.1	0.0	1.7	3.3	75.1	19.7

【問40とのクロス集計 生きがいの有無別】

生きがいの有無別でみると、「思いつかない」は「生きがいあり」に比べて「参加していない」が4.8ポイント高くなっています。

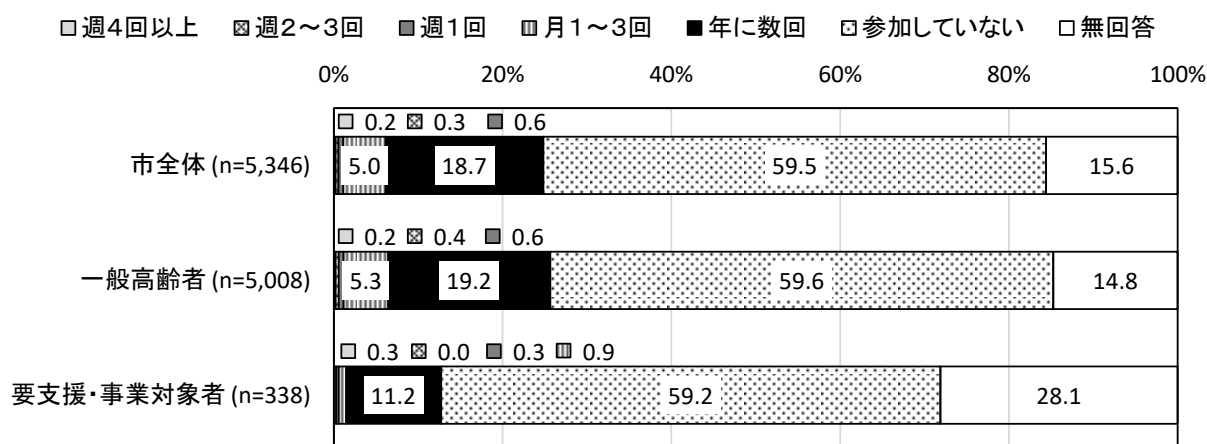
単位：%

区分	有効回答数 (件)	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答
市全体	5,346	0.1	0.2	0.1	1.9	3.7	78.1	15.9
生きがいあり	2,915	0.1	0.3	0.2	2.3	4.6	77.7	14.9
思いつかない	2,131	0.0	0.1	0.0	1.4	2.4	82.5	13.6

⑦ 自治会

市全体では『参加している』が24.8%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、『参加している』の割合は、一般高齢者で25.7%、要支援・事業対象者で12.7%と、13.0ポイント差となっています。



【性別】

性別でみると、女性は男性に比べて「参加していない」が1.9ポイント高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答
市全体	5,346	0.2	0.3	0.6	5.0	18.7	59.5	15.6
性別								
男性	2,407	0.3	0.7	1.0	7.5	22.1	58.5	9.8
女性	2,939	0.1	0.1	0.2	3.0	15.9	60.4	20.3

【問40とのクロス集計 生きがいの有無別】

生きがいの有無別でみると、「思いつかない」は「生きがいあり」に比べて「参加していない」が11.3ポイント高くなっています。

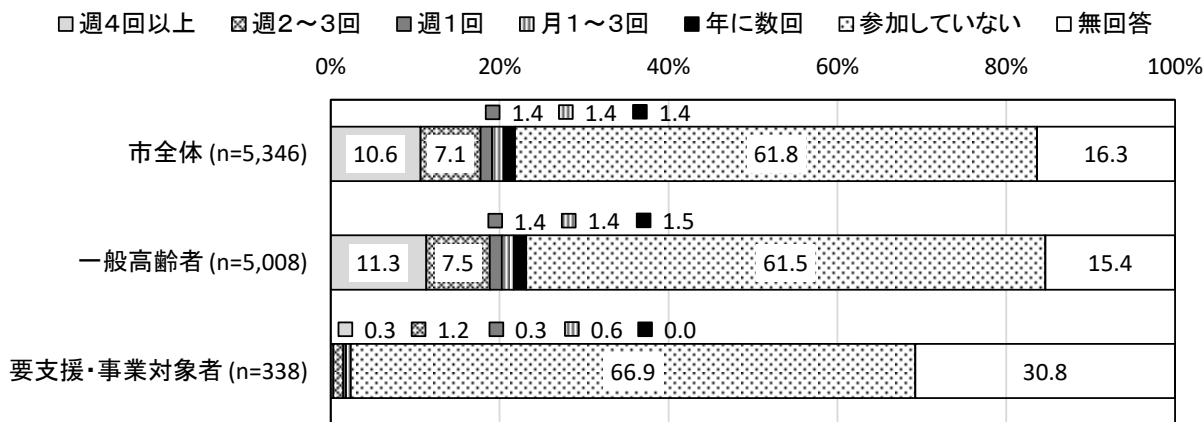
単位：%

区分	有効回答数(件)	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答
市全体	5,346	0.2	0.3	0.6	5.0	18.7	59.5	15.6
生きがいあり	2,915	0.3	0.5	0.6	6.2	22.0	56.0	14.4
思いつかない	2,131	0.1	0.1	0.6	3.5	15.3	67.3	13.1

⑧ 収入のある仕事

市全体では『参加している』が21.9%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、『参加している』の割合は、一般高齢者で23.1%、要支援・事業対象者で2.4%と、20.7ポイント差となっています。



【性別】

性別でみると、女性は男性に比べて「参加していない」が1.6ポイント高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
市全体	5,346	10.6	7.1	1.4	1.4	1.4	61.8	16.3
性別								
男性	2,407	14.5	8.1	1.7	1.5	2.0	60.9	11.3
女性	2,939	7.5	6.3	1.1	1.3	0.8	62.5	20.5

【問40とのクロス集計 生きがいの有無別】

生きがいの有無別でみると、「思いつかない」は「生きがいあり」に比べて「参加していない」が9.7ポイント高くなっています。

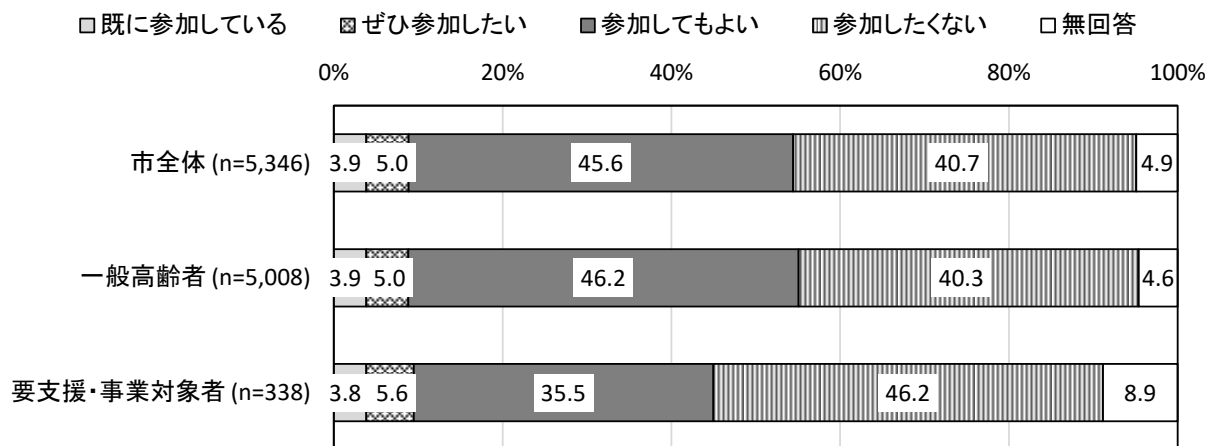
単位：%

区分	有効回答数(件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
市全体	5,346	10.6	7.1	1.4	1.4	1.4	61.8	16.3
生きがいあり	2,915	12.9	8.4	1.8	1.8	1.5	58.9	14.6
思いつかない	2,131	8.5	5.7	0.8	0.8	1.0	68.6	14.6

問 45 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味などのグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか (☑は1つ)

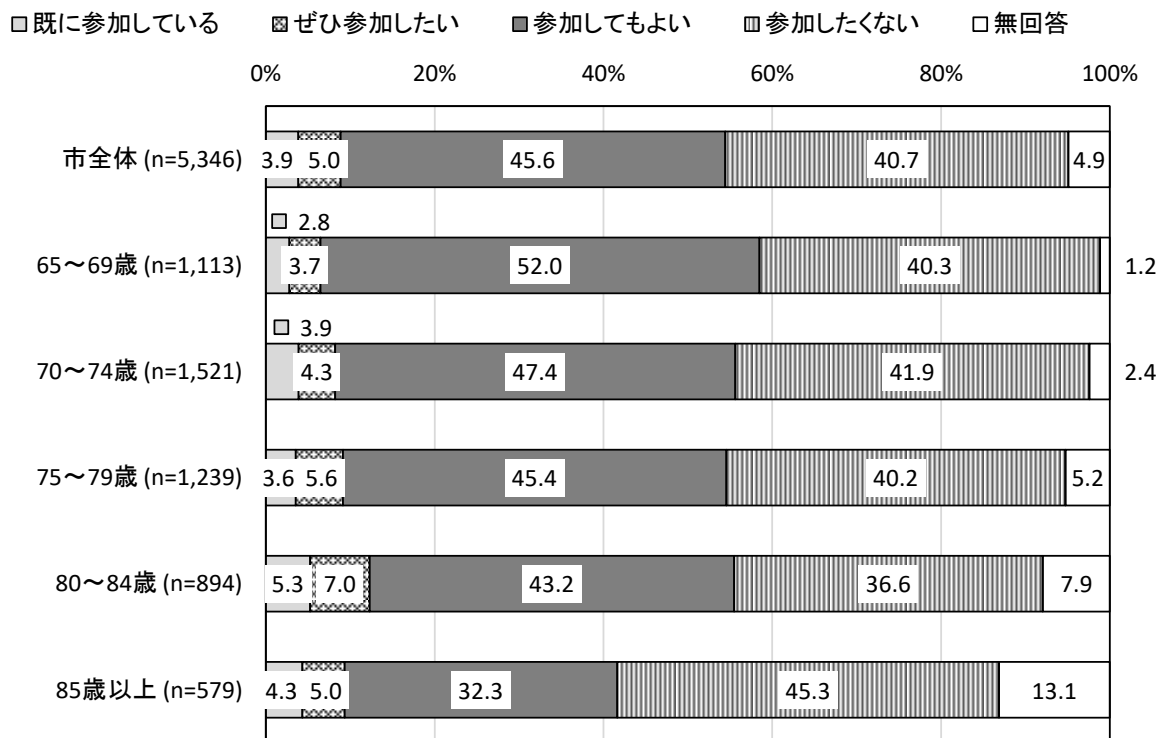
市全体では「参加してもよい」が45.6%と最も高く、次いで「参加したくない」が40.7%、「ぜひ参加したい」が5.0%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、一般高齢者では「参加してもよい」が高くなっており、要支援・事業対象者では「参加したくない」が高くなっています。



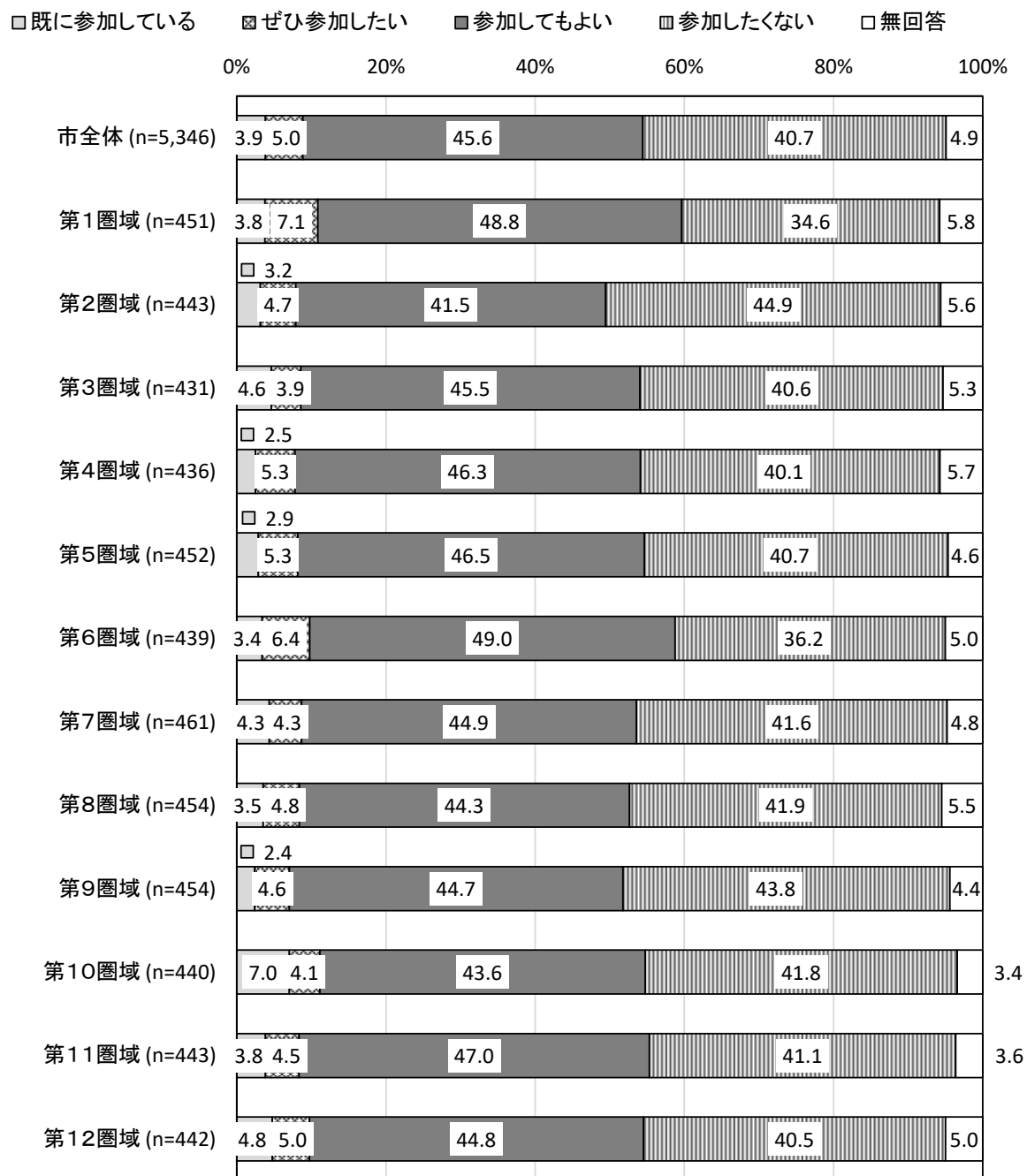
【年齢階級別】

年齢階級別でみると、年齢が上がるにつれて「参加してもよい」が低くなっています。



【圏域別】

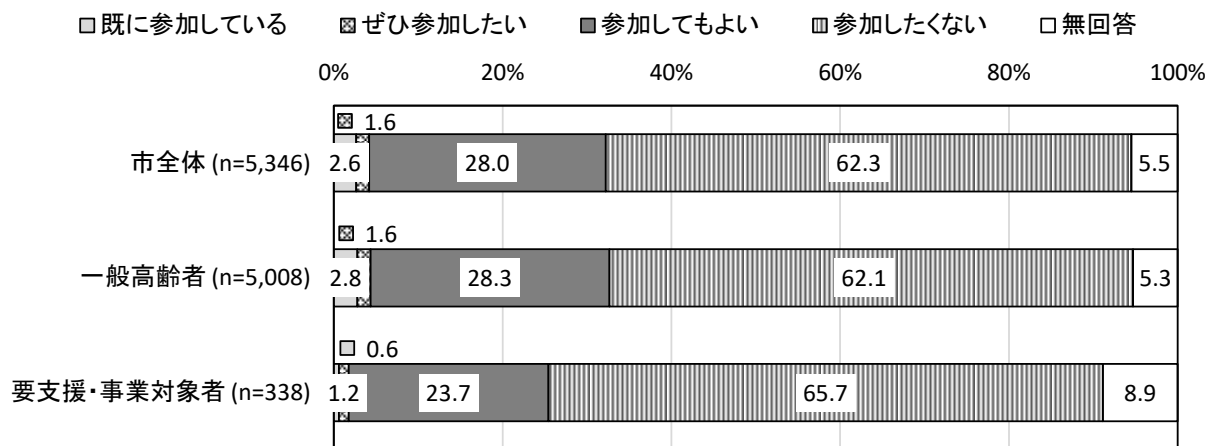
圏域別でみると、「ぜひ参加したい」「参加してもよい」を合わせた『参加意欲のある人』は、第1圏域が59.7%と最も高く、次いで第6圏域が58.8%、第11圏域が55.3%となっています。



問 46 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味などのグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（☑は1つ）

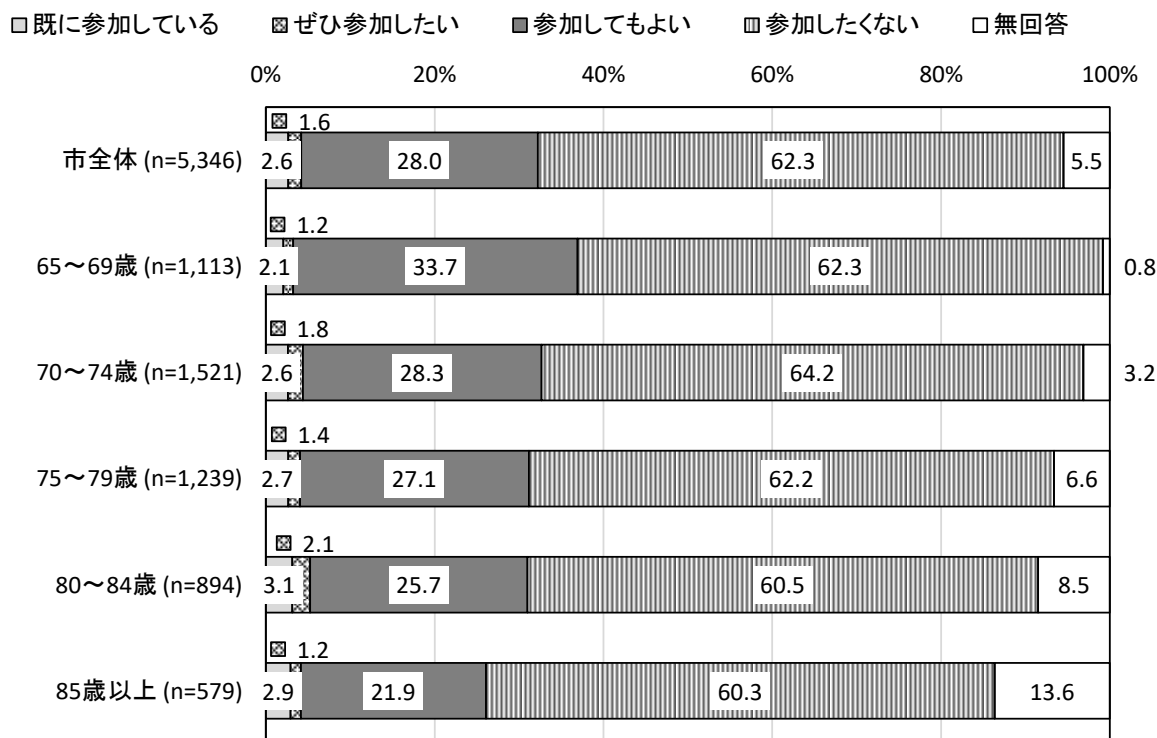
市全体では「参加したくない」が62.3%と最も高く、次いで「参加してもよい」が28.0%、「既に参加している」が2.6%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、一般高齢者では「参加してもよい」が高くなっており、要支援・事業対象者では「参加したくない」が高くなっています。



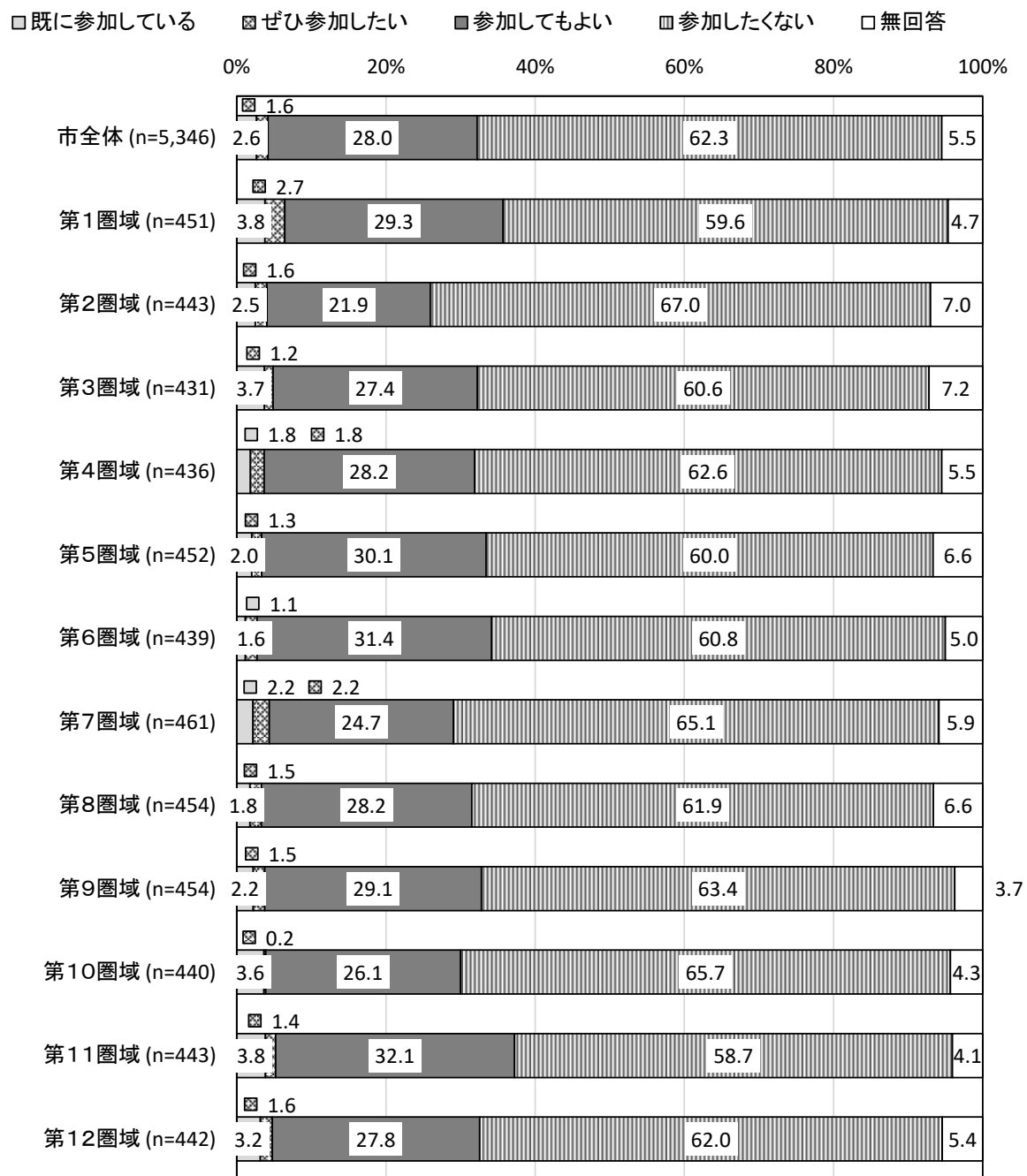
【年齢階級別】

年齢階級別でみると、年齢階級別でみると、年齢が上がるにつれて「参加してもよい」が低くなっています。なお、「参加したくない」はすべての年齢階級で6割以上となっています。



【圏域別】

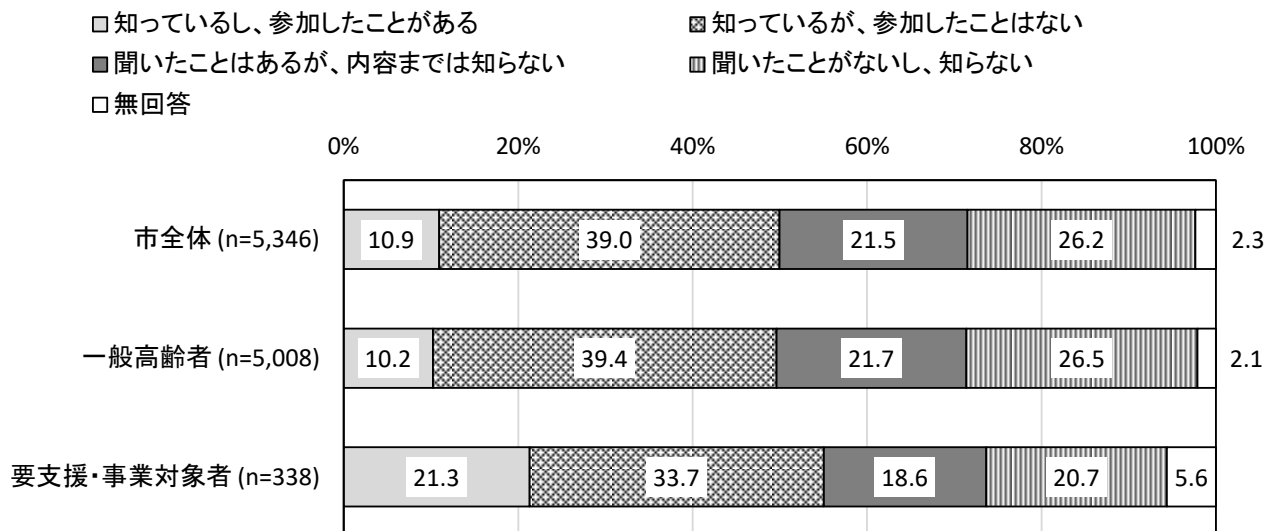
圏域別でみると、「ぜひ参加したい」「参加してもよい」「既に参加している」を合わせた『参加意欲のある人』は、第11圏域が37.3%と最も高く、次いで第1圏域が35.8%、第6圏域が34.1%となっています。



問 47 市が開催している介護予防事業（65 歳からの筋トレ教室、食で生き生き！栄養教室など）を知っていますか（☑は1つ）

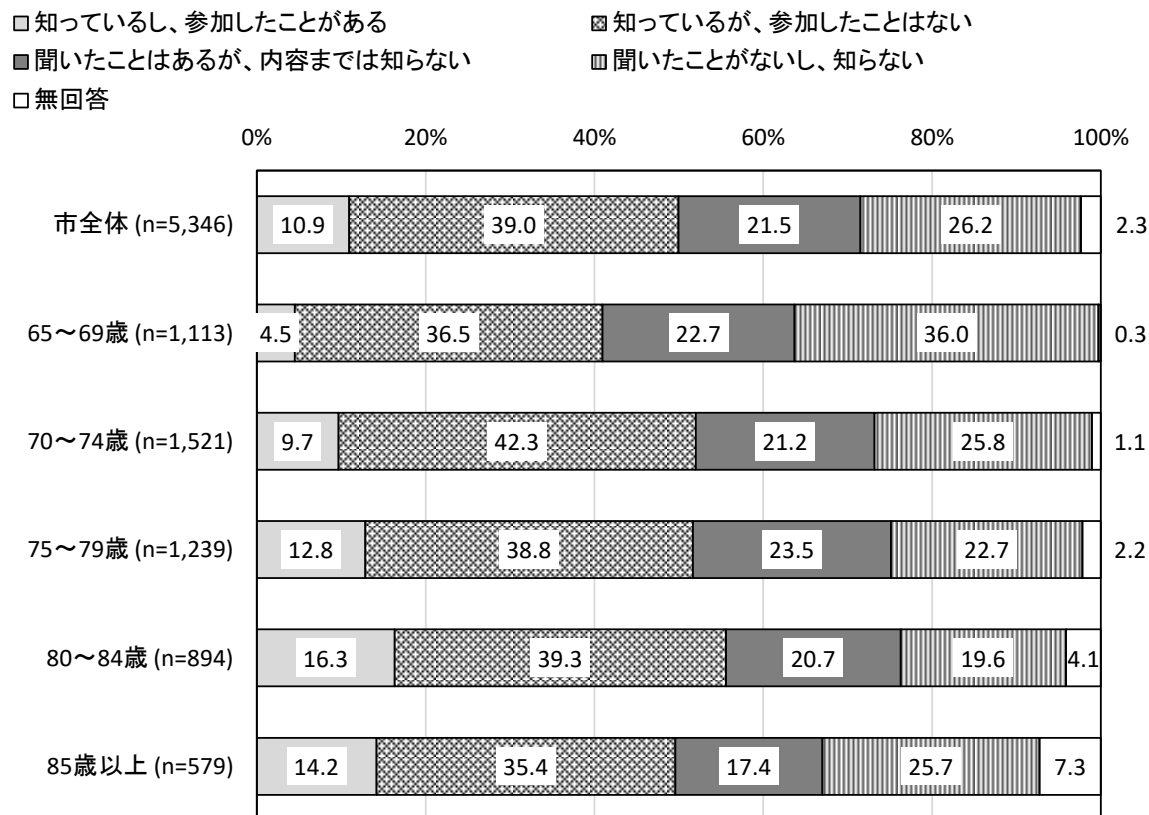
市全体では「知っているが、参加したことはない」が39.0%と最も高く、次いで「聞いたことがないし、知らない」が26.2%、「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が21.5%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、「知っているが、参加したことはない」の割合は、一般高齢者で39.4%、要支援・事業対象者で33.7%と、5.7ポイント差となっています。



【年齢階級別】

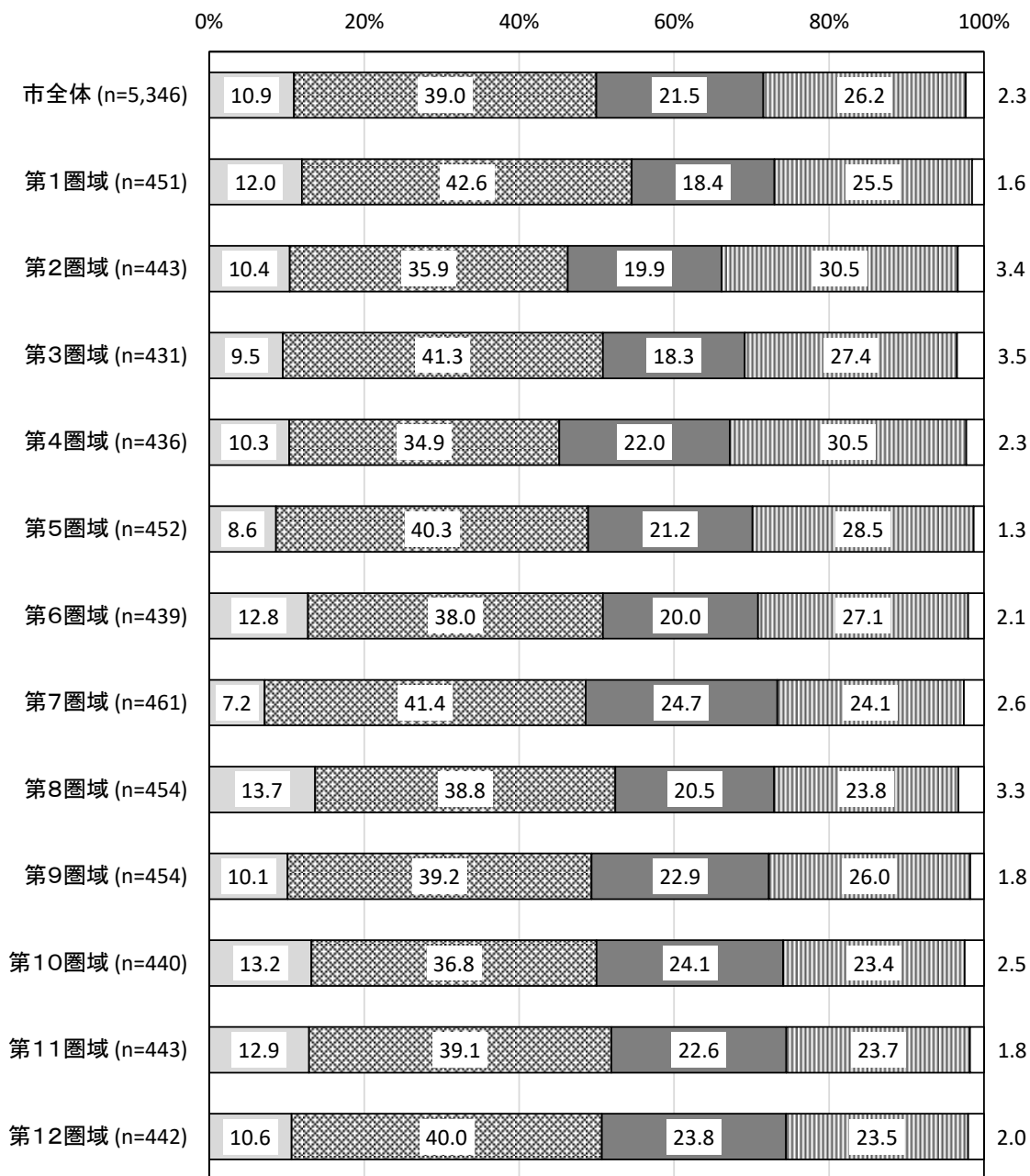
年齢階級別でみると、84歳までは年齢が上がるにつれて「知っているし、参加したことがある」が高くなっています。また、「聞いたことがないし、知らない」は65～69歳が最も高くなっています。



【圏域別】

圏域別でみると、「知っているし、参加したことがある」は第8圏域が13.7%と最も高く、次いで第10圏域が13.2%、第11圏域が12.9%となっています。

- 知っているし、参加したことがある
- 知っているが、参加したことはない
- ▨ 聞いたことはあるが、内容までは知らない
- ▩ 聞いたことがないし、知らない
- 無回答

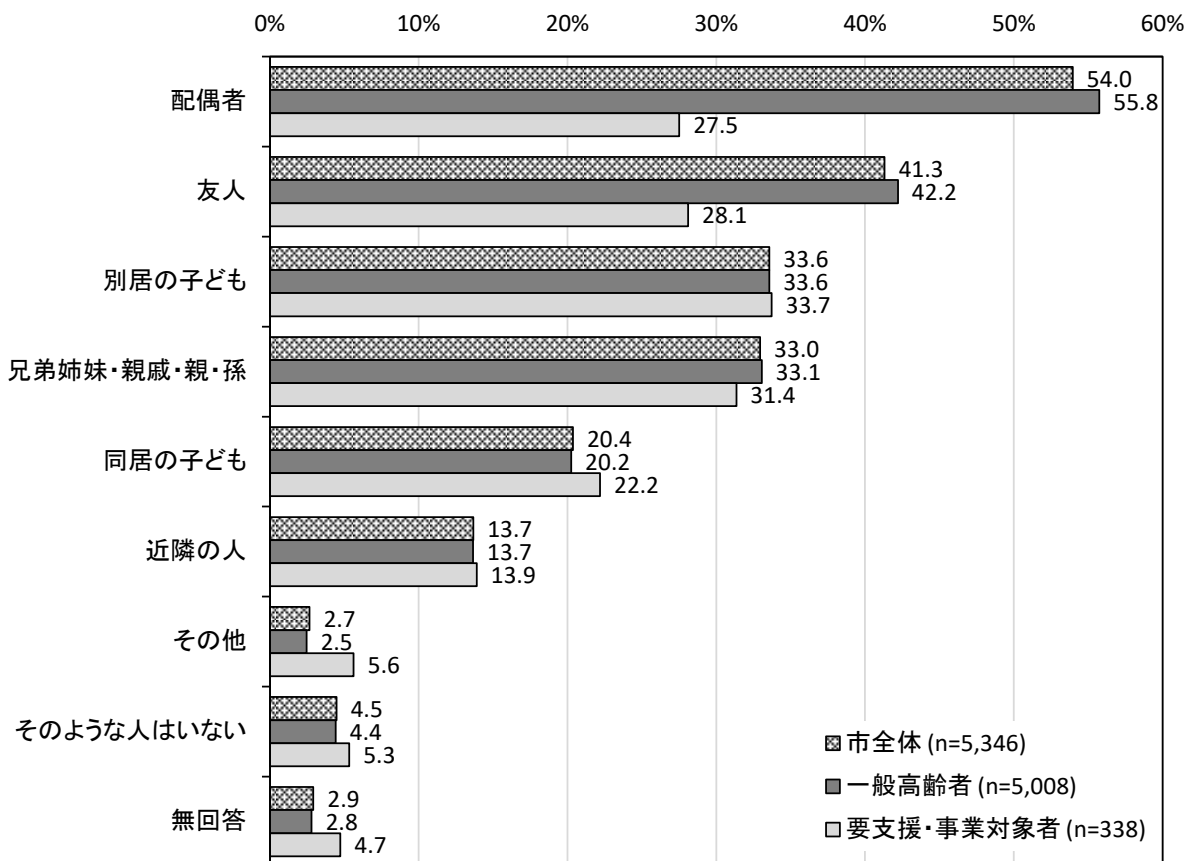


6 あなたとまわりの人の「たすけあい」

問 48 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人はだれですか（あてはまるものすべてに☑）

市全体では「配偶者」が54.0%と最も高く、次いで「友人」が41.3%、「別居の子ども」が33.6%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、要支援・事業対象者では「同居の子ども」「そのような人はいない」が高くなっています。



【年齢階級別】

年齢階級別でみると、すべての年齢階級で「配偶者」が最も高くなっています。また、年齢が上がるにつれて「友人」が低くなるのに対し、「同居の子ども」は高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	配偶者	友人	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	同居の子ども	近隣の人	その他	そのような人はいない	無回答
市全体	5,346	54.0	41.3	33.6	33.0	20.4	13.7	2.7	4.5	2.9
年齢階級別	65～69歳	1,113	62.9	47.0	31.9	32.8	19.3	9.6	3.5	2.0
	70～74歳	1,521	59.4	46.5	33.3	35.1	17.8	12.6	2.9	2.6
	75～79歳	1,239	54.1	41.6	34.6	33.7	18.6	16.4	1.9	3.1
	80～84歳	894	46.0	36.9	34.9	32.6	23.6	16.0	2.2	3.2
	85歳以上	579	34.7	23.0	33.3	26.8	27.8	14.9	2.8	3.8

【圏域別】

圏域別でみると、すべての圏域で「配偶者」が最も高くなっています。また、他と比べ、第5圏域と第9圏域で「そのような人はいない」が高くなっています。

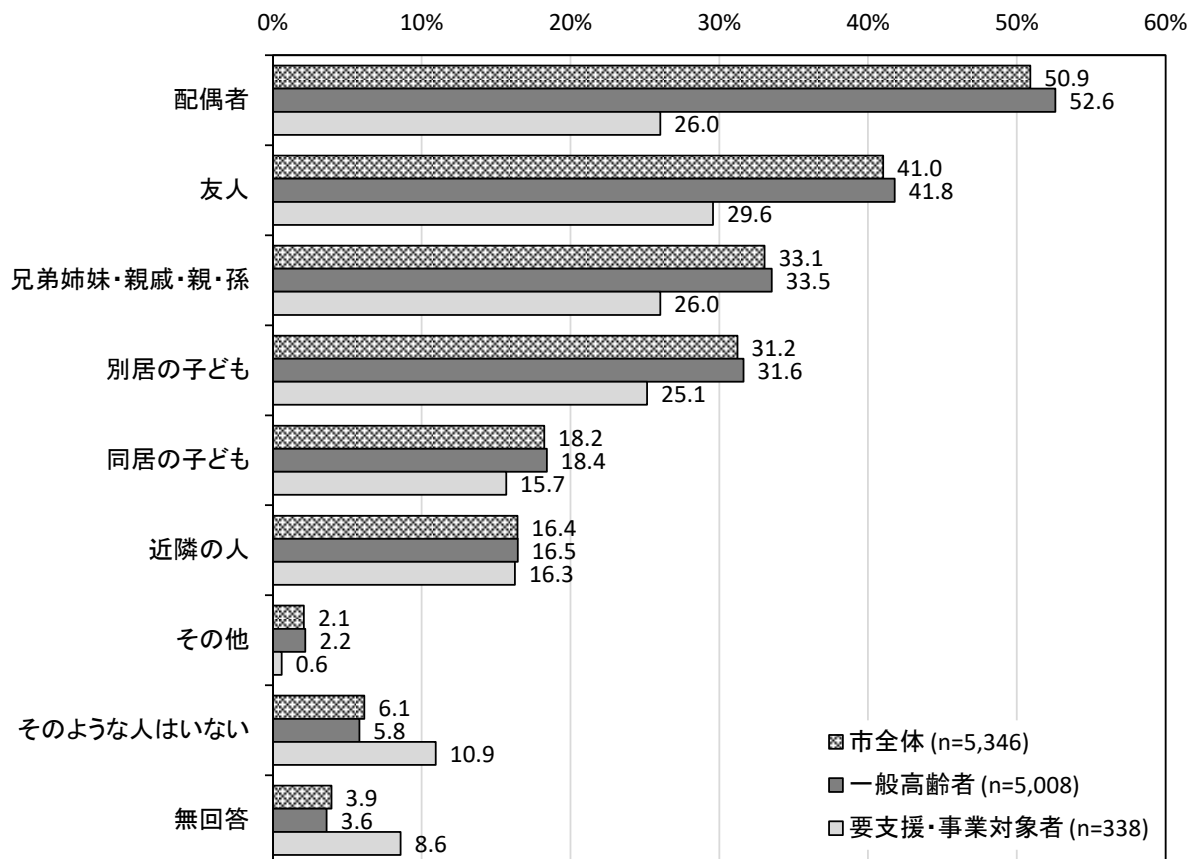
単位：%

区分	有効回答数 (件)	配偶者	友人	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	同居の子ども	近隣の人	その他	そのような人はいない	無回答
市全体	5,346	54.0	41.3	33.6	33.0	20.4	13.7	2.7	4.5	2.9
日常生活圏域別	第1圏域	451	52.5	46.3	32.6	33.3	19.7	13.3	4.2	3.5
	第2圏域	443	52.1	39.5	30.0	30.5	21.0	11.7	2.7	2.9
	第3圏域	431	51.7	43.6	32.0	33.4	16.0	13.5	4.2	2.6
	第4圏域	436	50.7	39.9	33.3	34.9	20.6	12.6	2.8	5.0
	第5圏域	452	47.6	37.2	33.2	30.3	21.0	12.2	3.3	6.0
	第6圏域	439	52.8	41.5	36.7	35.8	20.7	15.3	2.7	3.2
	第7圏域	461	56.8	41.2	35.6	34.7	22.3	14.8	3.3	3.0
	第8圏域	454	54.6	43.4	33.5	30.6	18.3	9.3	2.0	4.6
	第9圏域	454	54.8	45.8	36.1	34.1	22.0	15.6	1.5	5.1
	第10圏域	440	61.6	40.2	33.6	33.0	20.0	14.8	1.6	3.4
	第11圏域	443	56.4	37.5	34.1	34.1	22.6	14.4	1.1	4.5
	第12圏域	442	55.7	39.6	32.1	31.0	19.9	16.7	2.5	4.8

問 49 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人はだれですか（あてはまるものすべてに☑）

市全体では「配偶者」が50.9%と最も高く、次いで「友人」が41.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が33.1%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、要支援・事業対象者では「そのような人はいない」が高くなっています。



【年齢階級別】

年齢階級別でみると、すべての年齢階級で「配偶者」が最も高くなっています。また、年齢が上がるにつれて「友人」が低くなるのに対し、「そのような人はいない」は高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	配偶者	友人	兄弟姉妹・親戚・親・孫	別居の子ども	同居の子ども	近隣の人	その他	そのような人はいない	無回答	
市全体	5,346	50.9	41.0	33.1	31.2	18.2	16.4	2.1	6.1	3.9	
年齢階級別	65～69歳	1,113	60.9	46.1	34.8	35.5	19.1	11.9	3.3	4.7	2.4
	70～74歳	1,521	57.0	45.8	34.8	32.2	17.3	16.2	2.4	4.8	3.6
	75～79歳	1,239	49.9	41.5	34.1	31.4	16.4	20.1	1.4	5.7	4.0
	80～84歳	894	40.7	36.5	31.5	29.6	20.4	19.2	1.8	7.0	4.7
	85歳以上	579	33.7	24.7	25.4	22.5	19.7	13.6	0.9	11.9	6.4

【圏域別】

圏域別でみると、すべての圏域で「配偶者」が最も高くなっています。また、他と比べ、第3圏域、第5圏域、第8圏域で「そのような人はいない」が高くなっています。

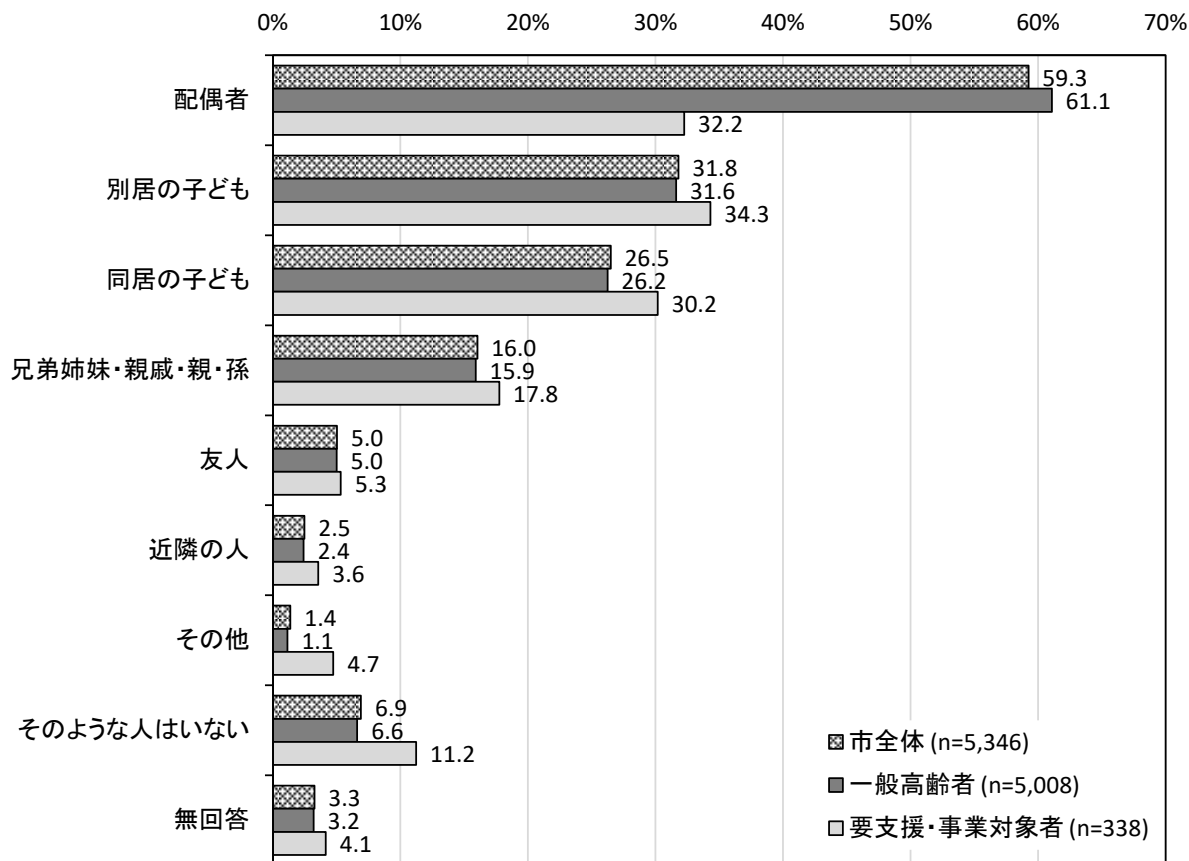
単位：%

区分	有効回答数 (件)	配偶者	友人	兄弟姉妹・親戚・親・孫	別居の子ども	同居の子ども	近隣の人	その他	そのような人はいない	無回答	
市全体	5,346	50.9	41.0	33.1	31.2	18.2	16.4	2.1	6.1	3.9	
日常生活圏域別	第1圏域	451	48.3	45.5	34.4	32.8	17.5	18.4	2.9	5.5	4.7
	第2圏域	443	46.5	39.1	34.1	28.9	20.1	15.3	2.7	6.1	4.1
	第3圏域	431	47.6	42.5	32.0	29.0	15.8	16.7	3.9	7.0	2.8
	第4圏域	436	48.6	41.1	35.1	28.4	15.8	15.6	1.4	6.7	5.0
	第5圏域	452	43.6	39.2	32.7	29.2	18.1	16.8	2.4	7.7	4.9
	第6圏域	439	52.2	41.5	32.6	33.7	20.3	17.5	2.3	5.9	4.6
	第7圏域	461	55.1	41.2	31.5	32.5	19.1	16.7	2.6	4.1	3.7
	第8圏域	454	51.1	40.5	31.5	30.4	17.0	12.6	1.1	7.3	4.4
	第9圏域	454	53.1	44.5	34.8	31.9	19.4	17.8	1.3	5.5	3.3
	第10圏域	440	56.6	40.0	34.5	32.3	19.3	15.7	1.8	5.0	3.9
	第11圏域	443	53.5	38.4	35.9	32.5	19.4	15.6	0.9	6.3	3.4
	第12圏域	442	54.8	38.9	27.6	32.8	17.0	18.6	1.6	6.6	2.5

**問 50 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はだれですか
(あてはまるものすべてに☑)**

市全体では「配偶者」が59.3%と最も高く、次いで「別居の子ども」が31.8%、「同居の子ども」が26.5%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、要支援・事業対象者では「別居の子ども」「同居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「そのような人はいない」が高くなっています。



【年齢階級別】

年齢階級別でみると、85歳以上では「同居の子ども」が最も高くなっています。なお、「別居の子ども」「同居の子ども」は年齢が上がるにつれて割合が高くなる傾向があります。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	友人	近隣の人	その他	そのような人はいない	無回答	
市全体	5,346	59.3	31.8	26.5	16.0	5.0	2.5	1.4	6.9	3.3	
年齢階級別	65～69歳	1,113	69.3	26.0	23.6	16.2	5.5	1.4	1.3	7.3	2.5
	70～74歳	1,521	66.7	30.0	24.1	15.3	6.1	2.1	1.0	6.4	3.0
	75～79歳	1,239	60.4	34.1	23.0	15.8	4.5	2.2	0.9	6.9	3.7
	80～84歳	894	48.1	36.9	30.9	17.3	4.7	3.6	1.8	9.1	3.4
	85歳以上	579	35.4	34.9	39.0	16.2	2.8	4.3	2.9	4.3	4.3

【圏域別】

圏域別でみると、すべての圏域で「配偶者」が最も高くなっています。また、他と比べ、第1圏域、第3圏域、第5圏域で「そのような人はいない」が高くなっています。

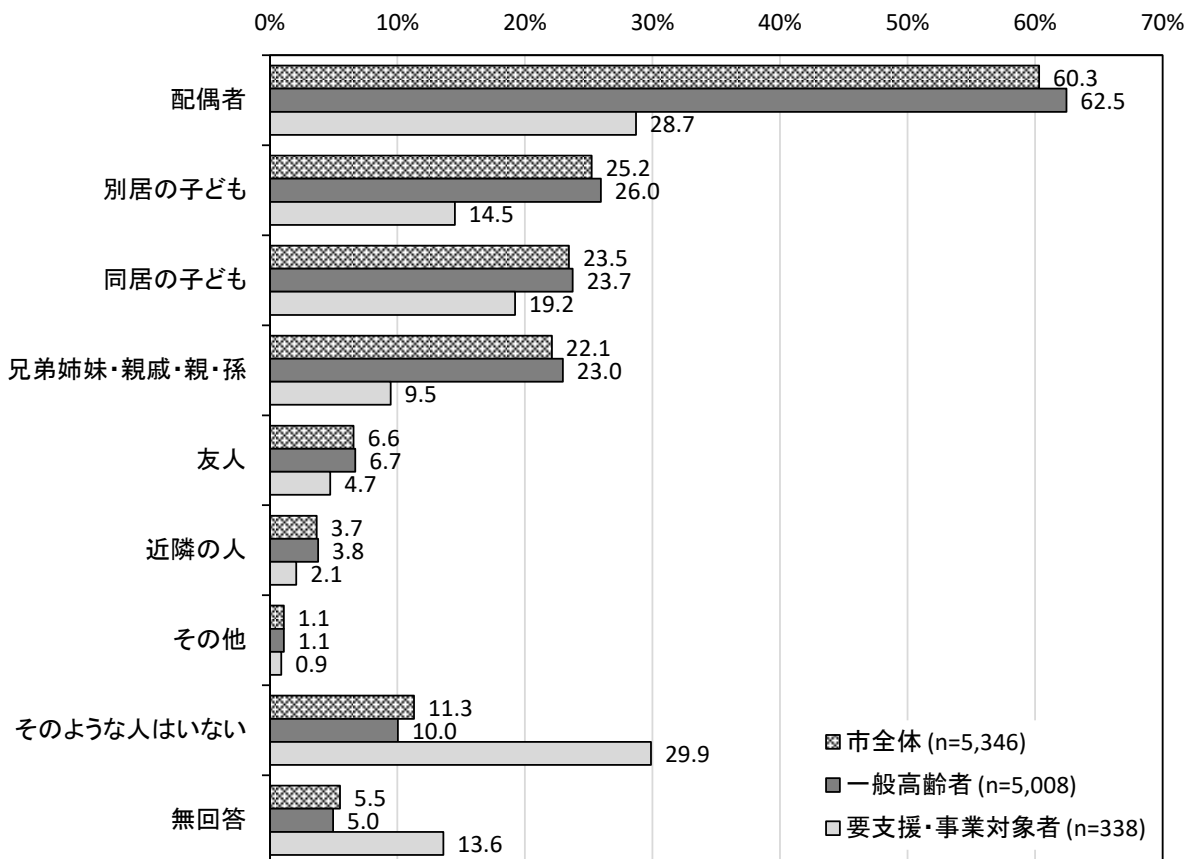
単位：%

区分	有効回答数 (件)	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	友人	近隣の人	その他	そのような人はいない	無回答	
市全体	5,346	59.3	31.8	26.5	16.0	5.0	2.5	1.4	6.9	3.3	
日常生活圏域別	第1圏域	451	55.9	31.5	22.8	19.1	6.2	2.2	2.0	8.0	3.8
	第2圏域	443	58.5	31.6	27.5	18.5	5.2	3.6	0.7	6.8	2.5
	第3圏域	431	58.2	32.0	23.0	17.2	5.1	2.3	2.1	10.7	2.6
	第4圏域	436	55.0	30.0	27.3	15.4	5.7	3.0	1.1	7.8	5.5
	第5圏域	452	52.4	30.5	25.2	16.6	5.5	2.4	2.7	9.1	3.3
	第6圏域	439	59.5	31.4	27.6	17.8	3.2	1.4	1.1	6.4	4.8
	第7圏域	461	59.4	33.0	26.9	15.0	5.0	2.6	0.7	6.7	3.5
	第8圏域	454	59.5	29.3	25.3	13.7	5.3	2.2	0.9	6.8	3.5
	第9圏域	454	59.7	32.6	27.8	16.3	4.4	2.9	1.3	7.0	1.3
	第10圏域	440	64.8	37.0	30.0	13.9	4.8	2.0	1.1	3.6	3.9
	第11圏域	443	63.9	30.7	30.2	15.6	4.7	2.0	1.1	4.7	2.9
	第12圏域	442	64.5	31.9	24.2	13.6	5.0	2.9	1.6	5.2	1.6

問 51 反対に、看病や世話をしてあげる人はだれですか（あてはまるものすべてに☑）

市全体では「配偶者」が60.3%と最も高く、次いで「別居の子ども」が25.2%、「同居の子ども」が23.5%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、要支援・事業対象者では「そのような人はいない」が高くなっています。



【年齢階級別】

年齢階級別でみると、すべての年齢階級で「配偶者」が最も高くなっています。また、年齢が上がるにつれて「そのような人はいない」が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	友人	近隣の人	その他	そのような人はいない	無回答	
市全体	5,346	60.3	25.2	23.5	22.1	6.6	3.7	1.1	11.3	5.5	
年齢階級別	65～69歳	1,113	69.4	30.0	24.3	29.6	7.6	2.7	2.0	7.8	2.5
	70～74歳	1,521	68.0	27.8	23.0	24.1	7.0	4.1	1.1	9.0	3.8
	75～79歳	1,239	61.3	26.0	22.6	20.3	6.5	4.0	0.6	10.0	5.6
	80～84歳	894	50.3	21.3	24.3	17.7	6.0	4.3	1.1	13.9	8.1
	85歳以上	579	36.1	13.8	23.5	13.1	4.3	2.8	0.5	22.8	11.4

【圏域別】

圏域別でみると、すべての圏域で「配偶者」が最も高くなっています。また、他と比べ、第2圏域、第4圏域、第5圏域、第12圏域で「そのような人はいない」が高くなっています。

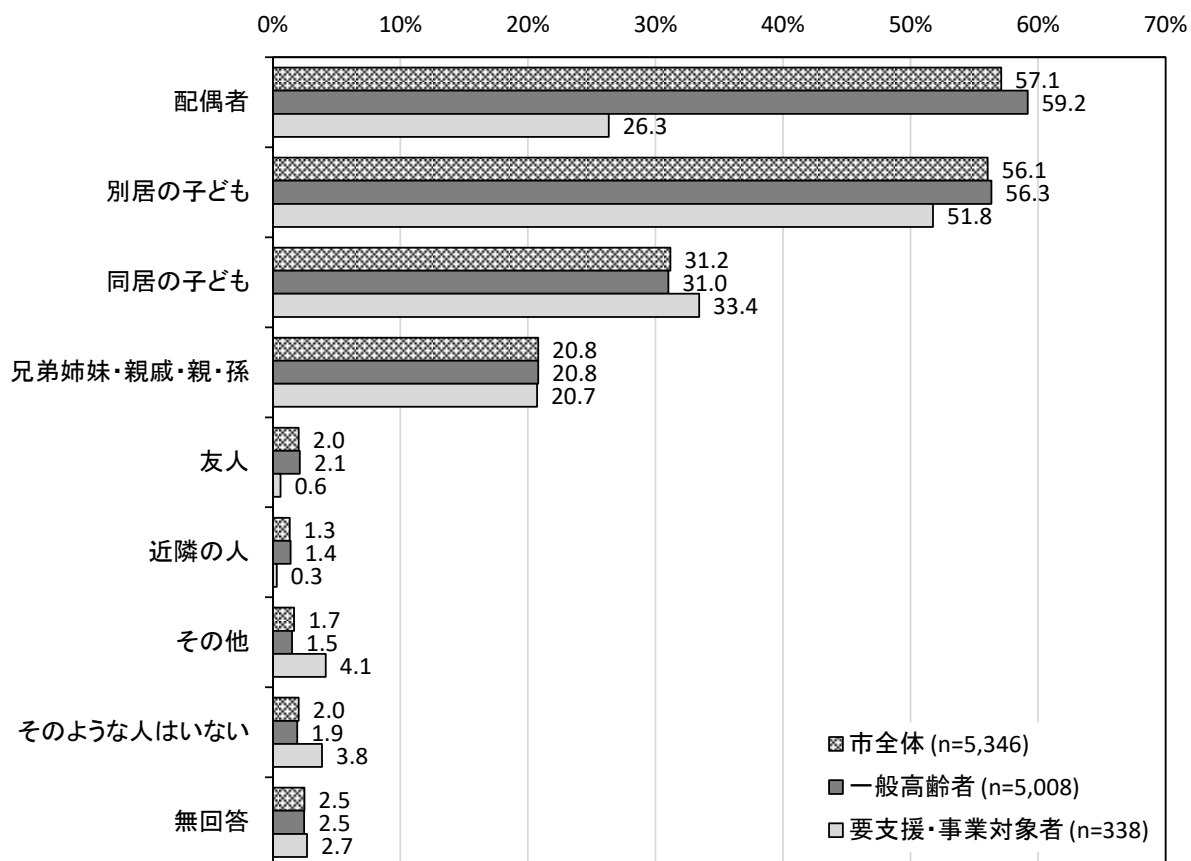
単位：%

区分	有効回答数 (件)	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	友人	近隣の人	その他	そのような人はいない	無回答	
市全体	5,346	60.3	25.2	23.5	22.1	6.6	3.7	1.1	11.3	5.5	
日常生活圏域別	第1圏域	451	57.6	27.3	22.2	24.2	8.4	4.4	1.1	11.3	6.4
	第2圏域	443	58.2	22.1	23.7	23.7	5.2	3.8	1.1	13.8	5.6
	第3圏域	431	58.9	26.2	20.2	23.0	7.4	3.9	2.6	12.5	4.6
	第4圏域	436	56.0	23.4	22.0	21.8	6.7	2.3	1.1	13.1	6.0
	第5圏域	452	55.5	23.7	23.7	22.8	8.0	3.3	1.3	13.3	5.8
	第6圏域	439	61.7	26.9	25.1	24.4	6.2	3.9	0.5	11.2	7.1
	第7圏域	461	61.4	26.7	24.1	22.6	5.6	3.7	1.1	7.8	6.7
	第8圏域	454	61.0	24.0	22.7	17.4	7.3	3.7	1.1	8.6	5.7
	第9圏域	454	61.2	25.3	26.7	22.9	6.8	2.9	0.4	12.1	3.3
	第10圏域	440	65.0	28.4	24.8	21.4	6.6	4.5	1.4	9.1	5.5
	第11圏域	443	64.6	23.7	24.8	23.5	4.3	2.5	1.4	9.7	4.7
	第12圏域	442	62.7	25.1	21.5	17.9	6.3	5.0	0.0	13.3	4.5

問 52 あなたが将来亡くなった後に、葬儀の手配や各種支払い・事務手続きなどを担ってくれそうな人はだれですか（あてはまるものすべてに☑）

市全体では「配偶者」が57.1%と最も高く、次いで「別居の子ども」が56.1%、「同居の子ども」が31.2%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、要支援・事業対象者では「同居の子ども」「そのような人はいない」が高くなっています。



【年齢階級別】

年齢階級別でみると、65～74歳では「配偶者」が最も高く、75歳以上では「別居の子ども」が最も高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	友人	近隣の人	その他	そのような人はいない	無回答
市全体	5,346	57.1	56.1	31.2	20.8	2.0	1.3	1.7	2.0	2.5
年齢階級別	65～69歳	1,113	68.5	56.2	27.6	22.3	2.3	0.4	1.1	2.2
	70～74歳	1,521	65.5	55.8	29.3	20.2	2.5	1.1	1.5	2.4
	75～79歳	1,239	58.1	59.2	27.7	19.5	2.2	1.4	2.1	2.7
	80～84歳	894	45.7	55.9	36.4	21.3	1.5	1.8	1.9	1.9
	85歳以上	579	28.7	50.3	42.5	21.6	0.7	2.8	1.9	0.7

【圏域別】

圏域別でみると、すべての圏域で「配偶者」と「別居の子ども」が高くなっています。また、他と比べ、第3圏域、第5圏域で「そのような人はいない」が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	友人	近隣の人	その他	そのような人はいない	無回答	
市全体	5,346	57.1	56.1	31.2	20.8	2.0	1.3	1.7	2.0	2.5	
日常生活圏域別	第1圏域	451	56.1	57.0	26.6	24.4	2.2	1.1	2.4	1.1	3.8
	第2圏域	443	56.0	52.4	32.3	21.7	2.0	1.4	1.6	1.8	1.8
	第3圏域	431	56.1	55.2	25.3	23.7	2.3	2.3		3.9	0.9
	第4圏域	436	53.0	54.1	30.7	21.6	2.3	0.9	1.4	3.4	4.4
	第5圏域	452	51.1	54.4	30.5	19.0	3.1	1.1	2.4	4.2	2.9
	第6圏域	439	56.0	56.5	31.4	24.1	1.1	1.6	1.6	2.1	2.3
	第7圏域	461	57.7	59.2	32.8	20.6	1.7	2.2	0.9	1.1	3.0
	第8圏域	454	55.7	57.9	31.7	19.2	2.0	0.4	1.8	1.8	3.1
	第9圏域	454	57.9	56.8	35.2	21.4	2.0	0.4	0.9	0.9	1.5
	第10圏域	440	61.1	57.0	34.1	16.8	1.8	1.6	1.1	0.9	3.0
	第11圏域	443	61.9	52.6	35.0	21.0	1.6	2.0	1.4	2.0	1.8
	第12圏域	442	62.7	59.3	28.1	16.3	2.0	0.7	2.3	1.1	1.1

II 調査結果

【家族構成別】

家族構成別でみると、1人暮らしで「別居の子ども」、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）で「配偶者」、息子・娘との2世帯、その他で「同居の子ども」が高くなっています。

単位：%

区分		有効回答数 (件)	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	親・孫 兄弟姉妹・親戚・	友人	近隣の人	その他	ない そのような人は	無回答
市全体		5,346	57.1	56.1	31.2	20.8	2.0	1.3	1.7	2.0	2.5
家族構成別	1人暮らし	1,023	1.4	57.0	1.9	35.2	4.5	1.6	4.7	8.9	3.7
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	2,001	86.5	73.6	5.0	18.8	1.3	1.5	0.8	0.3	1.9
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	273	90.1	55.3	13.6	16.1	1.5	0.7	0.4	0.7	2.2
	息子・娘との2世帯	902	48.4	34.6	87.8	11.6	0.8	1.0	0.0	0.0	2.8
	その他	1,049	54.6	42.0	62.8	20.8	2.3	1.0	2.0	0.8	1.9

【成年後見制度の認知度別】

成年後見制度の認知度別でみると、制度の内容を知っている人は「別居の子ども」が最も高く、制度の内容を把握していない人は「配偶者」が最も高くなっています。

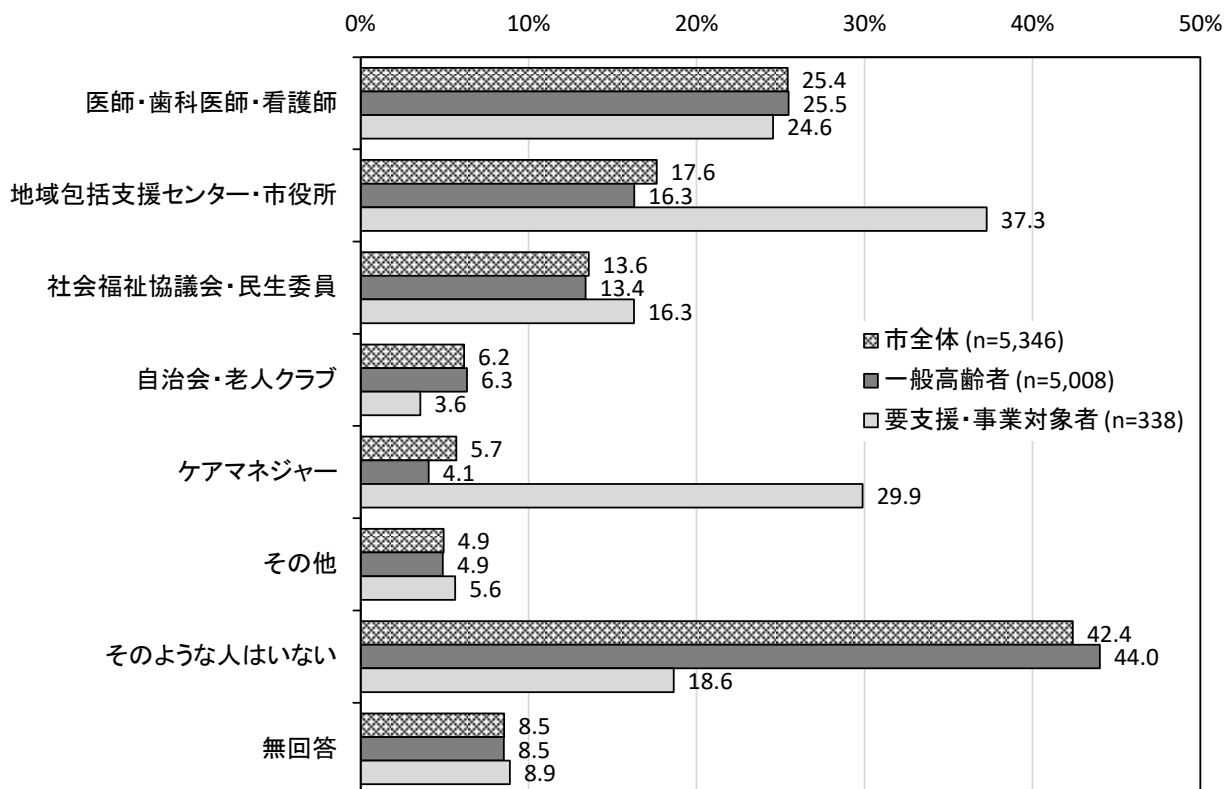
単位：%

区分		有効回答数 (件)	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	親・孫 兄弟姉妹・親戚・	友人	近隣の人	その他	ない そのような人は	無回答
市全体		5,346	57.1	56.1	31.2	20.8	2.0	1.3	1.7	2.0	2.5
成年後見制度認知度別	名前を知っているし、制度内容も知っている	699	58.5	60.9	32.2	18.3	2.7	1.6	3.1	1.1	1.3
	名前を知っているし、制度内容も少しは知っている	1,602	61.7	61.8	29.8	21.8	1.7	1.4	1.8	0.9	1.4
	名前は知っているが、制度内容は知らない	1,773	59.9	56.4	32.1	20.5	2.2	1.4	0.9	1.7	2.7
	名前も知らない	1,019	48.4	45.6	32.3	21.6	1.9	1.0	1.9	4.5	2.0

**問 53 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
(あてはまるものすべてに☑)**

市全体では「そのような人はいない」が42.4%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が25.4%、「地域包括支援センター・市役所」が17.6%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、一般高齢者では「そのような人はいない」が高くなっており、要支援・事業対象者は「地域包括支援センター・市役所」「社会福祉協議会・民生委員」「ケアマネジャー」が高くなっています。



II 調査結果

【年齢階級別】

年齢階級別でみると、すべての年齢階級で「そのような人はいない」が最も高くなっています。また、年齢が上がるにつれて「そのような人はいない」が低くなるのに対し、他の項目は高くなる傾向があります。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	看護師・ 医師・ 歯科医師・ 看 護 師	地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー ・ 市 役 所	民 生 委 員 ・ 社 会 福 祉 協 議 会	ブ 自 治 会 ・ 老 人 ク ラ	ケ ア マ ネ ジ ャ ー	そ の 他	な い そ の よ う な 人 は い ない	無 回 答	
市全体	5,346	25.4	17.6	13.6	6.2	5.7	4.9	42.4	8.5	
年齢階級別	65～69歳	1,113	24.9	13.8	7.4	5.4	4.1	5.7	52.4	4.3
	70～74歳	1,521	23.1	16.2	10.3	5.2	4.4	4.8	48.6	7.8
	75～79歳	1,239	26.0	19.0	16.2	6.7	4.4	3.5	37.4	11.5
	80～84歳	894	27.4	20.1	18.9	6.8	7.9	5.0	33.0	10.3
	85歳以上	579	28.3	21.6	20.2	7.9	11.2	6.9	32.3	9.7

【圏域別】

圏域別でみると、すべての圏域で「そのような人はいない」が最も高くなっています。また、他と比べ、第3圏域で「医師・歯科医師・看護師」、第7圏域で「社会福祉協議会・民生委員」、第12圏域で「地域包括支援センター・市役所」が高くなっています。

単位：%

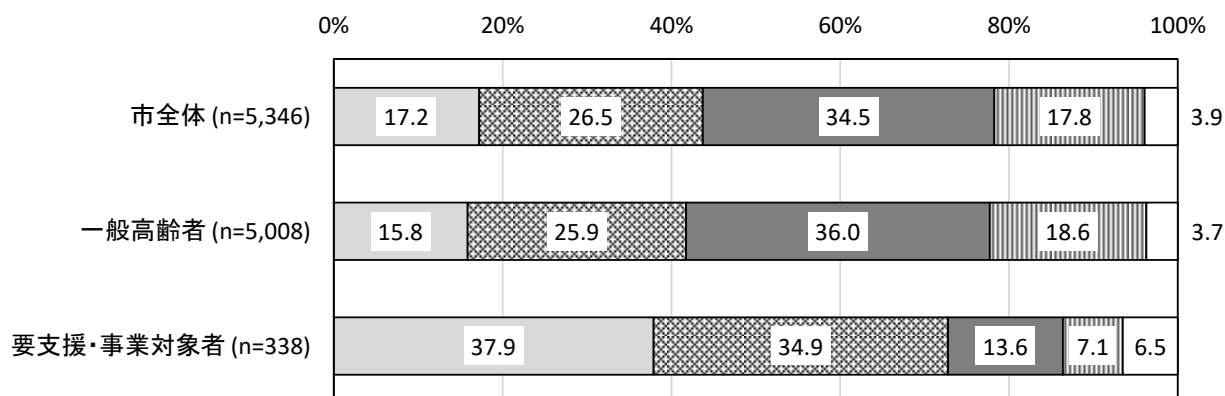
区分	有効回答数 (件)	看護師・ 医師・ 歯科医師・ 看 護 師	地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー ・ 市 役 所	民 生 委 員 ・ 社 会 福 祉 協 議 会	ブ 自 治 会 ・ 老 人 ク ラ	ケ ア マ ネ ジ ャ ー	そ の 他	な い そ の よ う な 人 は い ない	無 回 答	
市全体	5,346	25.4	17.6	13.6	6.2	5.7	4.9	42.4	8.5	
日常生活圏域別	第1圏域	451	27.9	16.4	13.5	8.0	3.5	4.9	41.5	8.9
	第2圏域	443	25.3	15.8	13.8	4.7	5.6	5.2	40.6	9.7
	第3圏域	431	29.7	14.6	15.1	6.7	5.8	7.2	41.1	7.2
	第4圏域	436	25.0	19.5	9.6	3.0	7.6	6.4	43.3	9.2
	第5圏域	452	22.3	17.9	14.8	4.9	6.0	3.8	44.5	8.0
	第6圏域	439	26.0	18.7	12.8	5.5	5.7	2.7	42.8	8.4
	第7圏域	461	24.9	17.6	16.9	5.2	5.2	3.7	41.9	8.7
	第8圏域	454	24.2	18.1	10.1	4.8	4.8	2.9	48.5	7.9
	第9圏域	454	25.6	18.1	12.1	6.6	6.8	4.2	42.7	8.4
	第10圏域	440	24.5	18.9	15.2	8.6	6.8	6.1	38.9	9.3
	第11圏域	443	25.1	15.8	15.8	9.3	4.3	5.2	44.9	8.4
	第12圏域	442	24.7	20.1	13.1	6.6	6.1	7.2	38.0	8.6

問 54 地域包括支援センターを知っていますか (☑は1つ)

市全体では「名前は知っているが、業務内容は知らない」が34.5%と最も高く、次いで「名前を知っているし、業務内容も少しは知っている」が26.5%、「名前も知らない」が17.8%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、一般高齢者では「名前は知っているが、業務内容は知らない」「名前も知らない」が高くなっており、要支援・事業対象者では「名前を知っているし、業務内容も大体知っている」「名前を知っているし、業務内容も少しは知っている」が高くなっています。

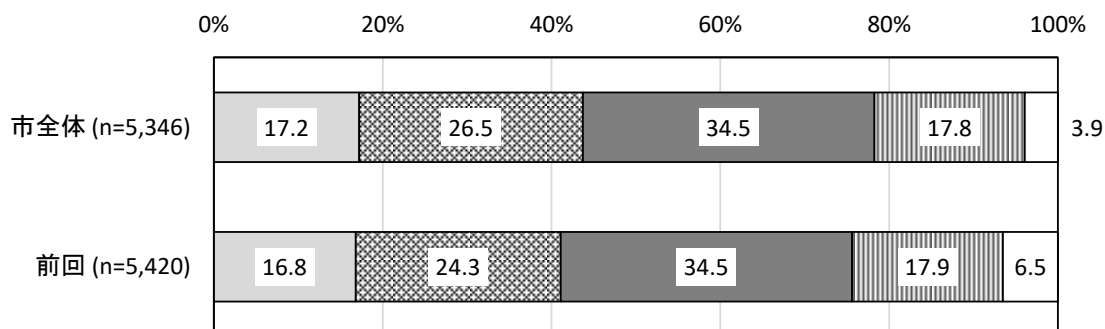
- 名前を知っているし、業務内容も大体知っている
- 名前を知っているし、業務内容も少しは知っている
- 名前を知っているが、業務内容は知らない
- 名前も知らない
- 無回答



【前回比較】

前回令和元年度調査との比較でみると、「名前を知っているし、業務内容も大体知っている」が0.4ポイント、「名前を知っているし、業務内容も少しは知っている」が2.2ポイント高くなっています。

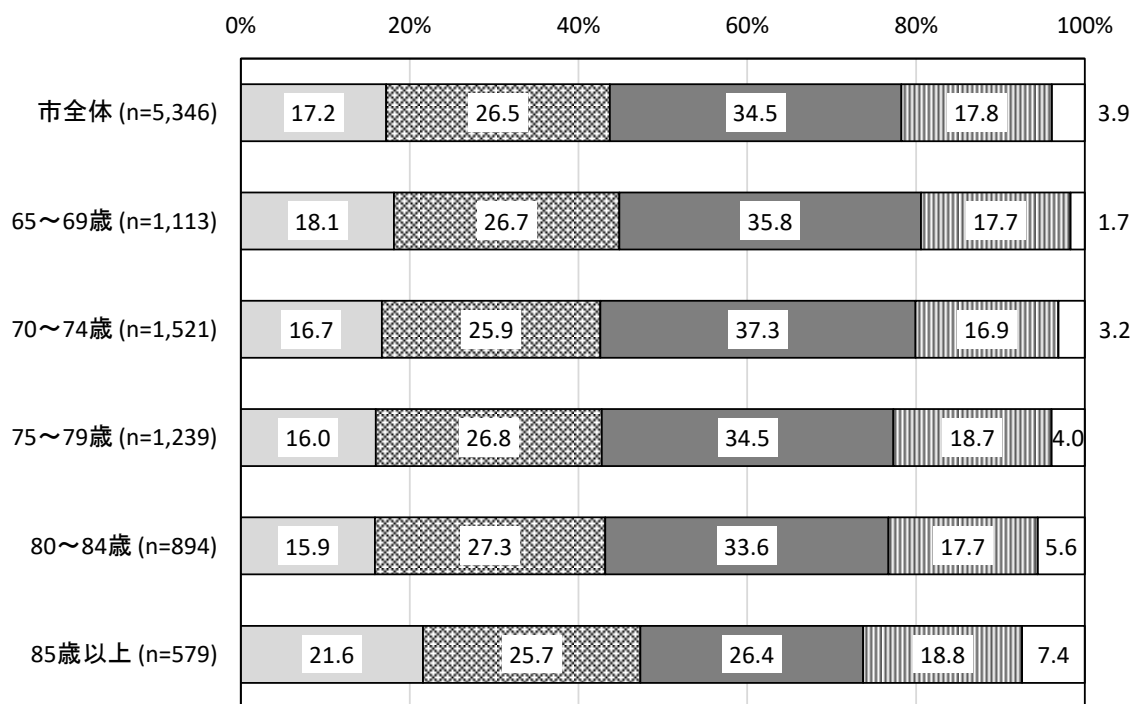
- 名前を知っているし、業務内容も大体知っている
- 名前を知っているし、業務内容も少しは知っている
- 名前を知っているが、業務内容は知らない
- 名前も知らない
- 無回答



【年齢階級別】

年齢階級別でみると、「名前を知っているし、業務内容も大体知っている」「名前を知っているし、業務内容も少しは知っている」、「名前は知っているが、業務内容は知らない」を合わせた『名前を知っている』は、65～69歳で80.6%と最も高く、次いで70～74歳で79.9%となっています。

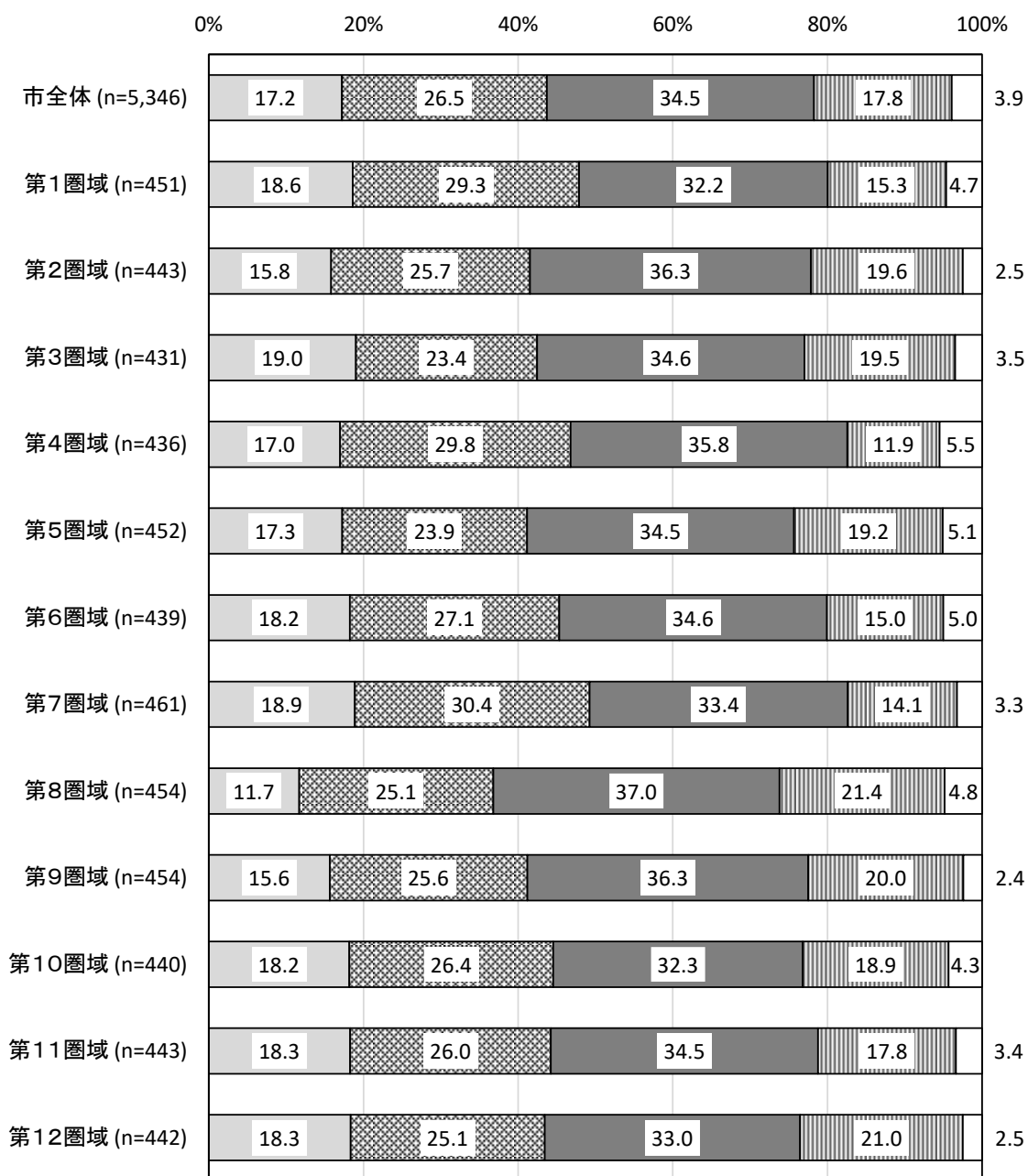
- 名前を知っているし、業務内容も大体知っている
- 名前を知っているし、業務内容も少しは知っている
- 名前は知っているが、業務内容は知らない
- 名前も知らない
- 無回答



【圏域別】

圏域別でみると、『名前を知っている』は、第7圏域が82.7%と最も高く、次いで第4圏域が82.6%、第1圏域が80.1%となっています。一方、「名前も知らない」は第8圏域が21.4%と最も高くなっています。

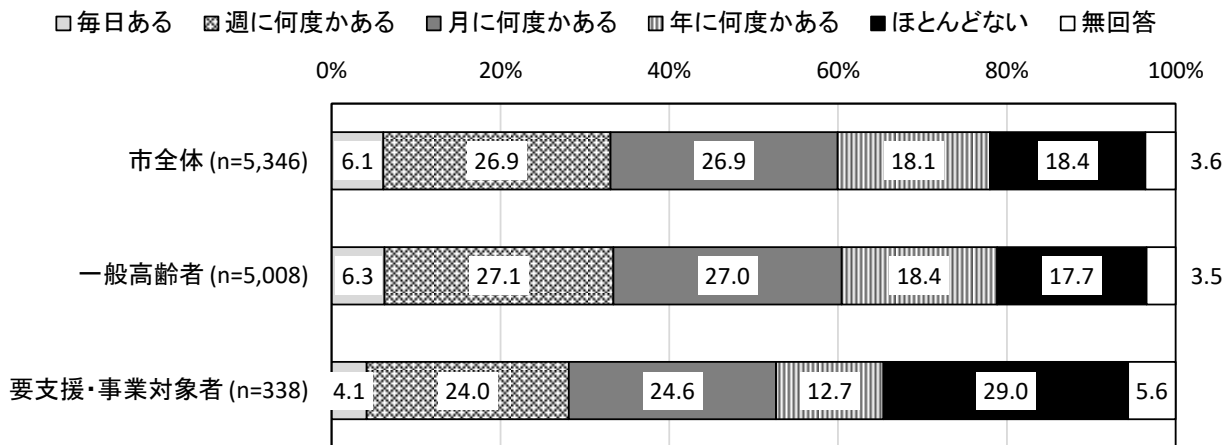
- 名前を知っているし、業務内容も大体知っている
- 名前を知っているが、業務内容は知らない
- 無回答
- ▨名前を知っているし、業務内容も少しは知っている
- ▩名前も知らない



問 55 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (☑は1つ)

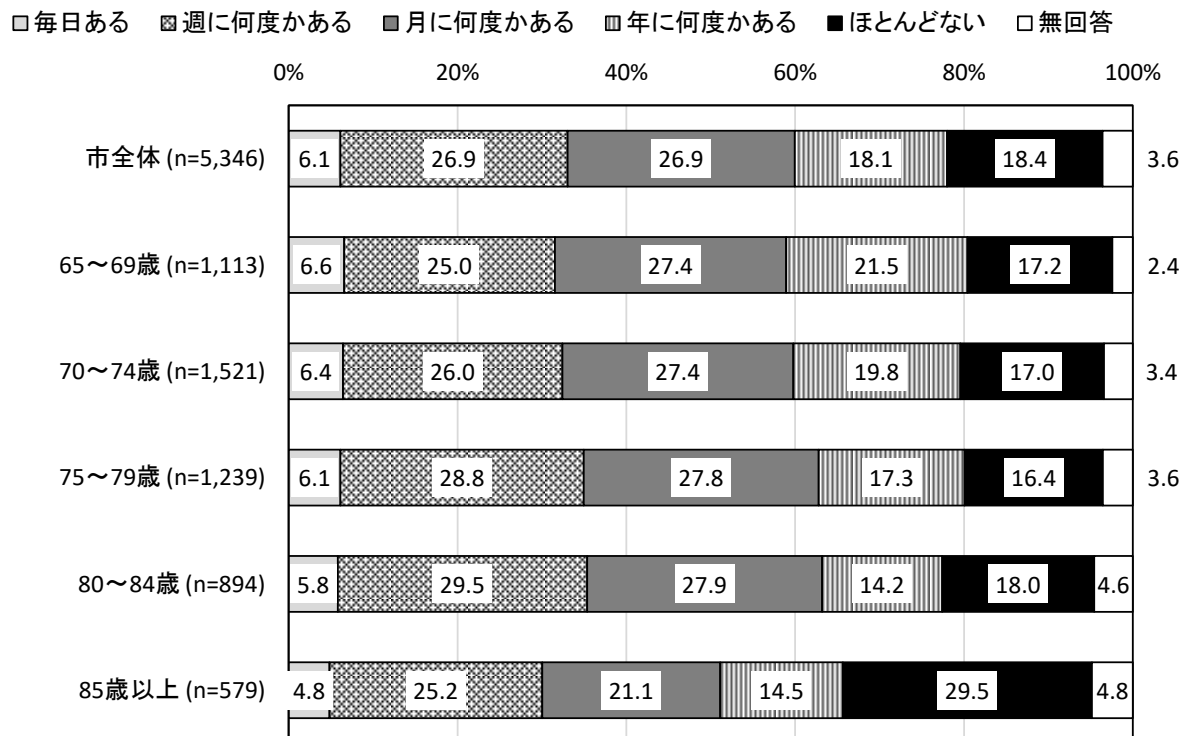
市全体では「週に何度かある」「月に何度かある」がそれぞれ 26.9%と最も高く、次いで「ほとんどない」が 18.4%、「年に何度かある」が 18.1%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、要支援・事業対象者では「ほとんどない」が高くなっています。



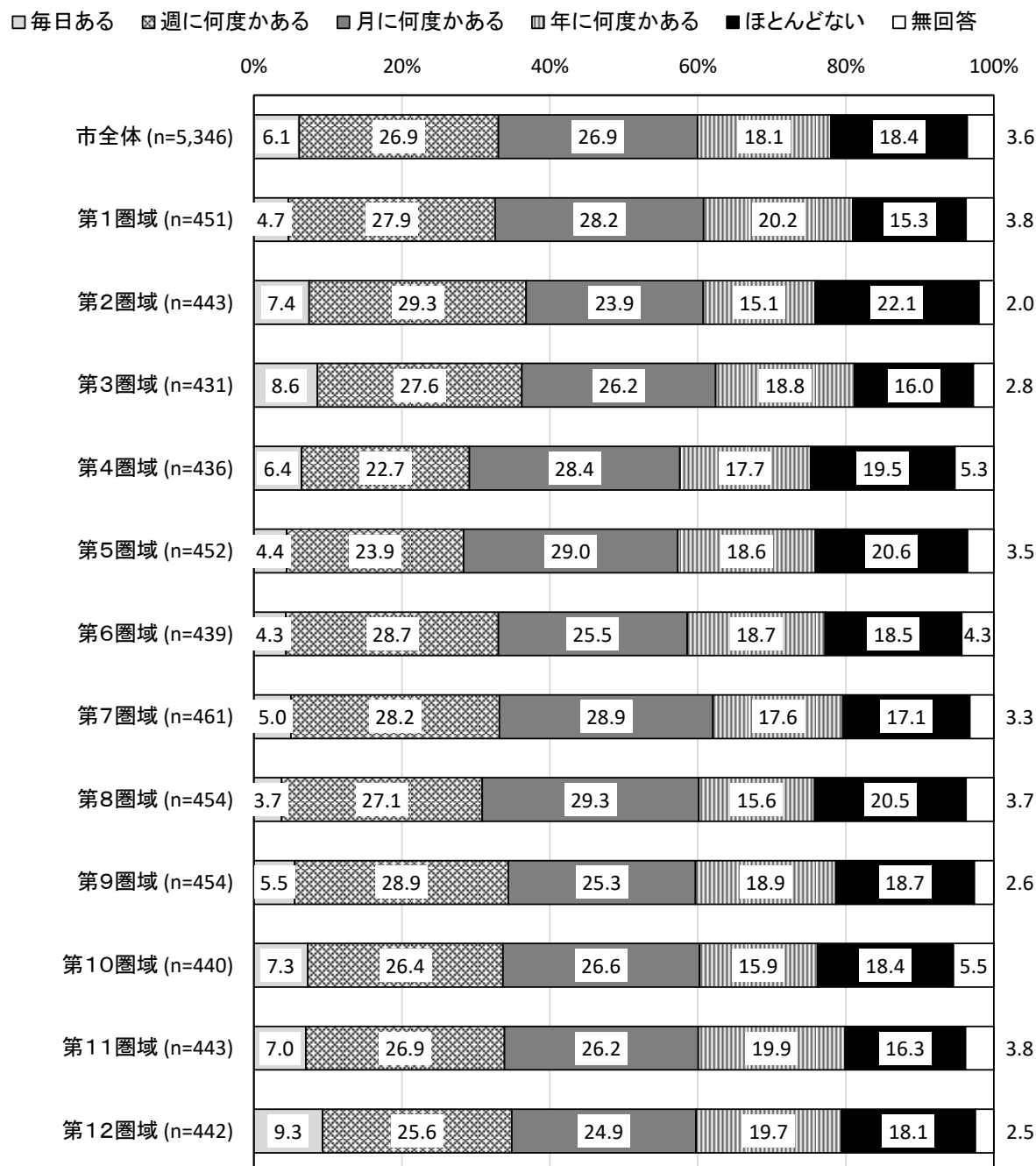
【年齢階級別】

年齢階級別でみると、「週に何度かある」は 80～84 歳までは高くなっています。また、85 歳以上で「ほとんどない」が約 3 割となっています。



【圏域別】

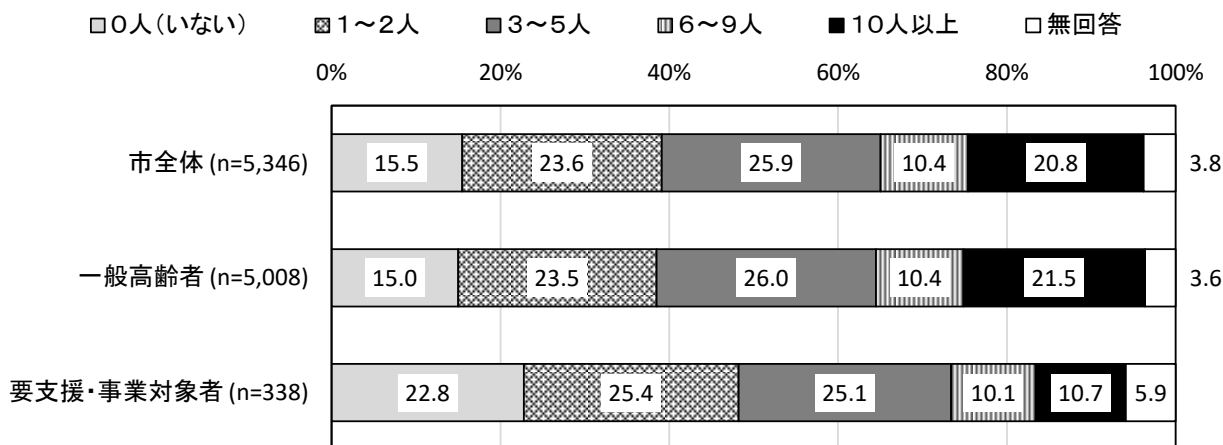
圏域別でみると、「毎日ある」と「週に何度かある」を合わせた『毎週ある』は、第2圏域が36.7%と最も高く、次いで第3圏域が36.2%、第12圏域が34.9%となっています。一方、「ほとんどない」も第2圏域が22.1%と最も高く、次いで第5圏域が20.6%、第8圏域が20.5%となっています。



**問 56 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか
同じ人には何度会っても1人と数えることとします (☑は1つ)**

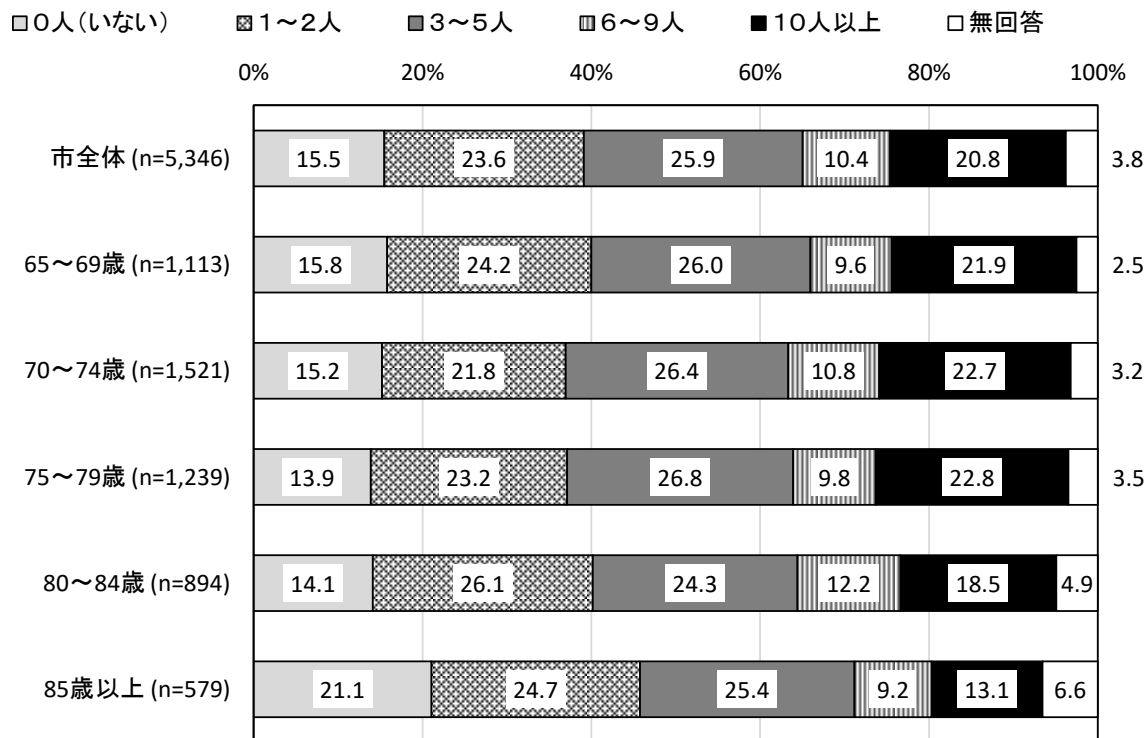
市全体では「3～5人」が25.9%と最も高く、次いで「1～2人」が23.6%、「10人以上」が20.8%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、一般高齢者では「10人以上」が高くなっており、要支援・事業対象者では「0人(いない)」「1～2人」が高くなっています。



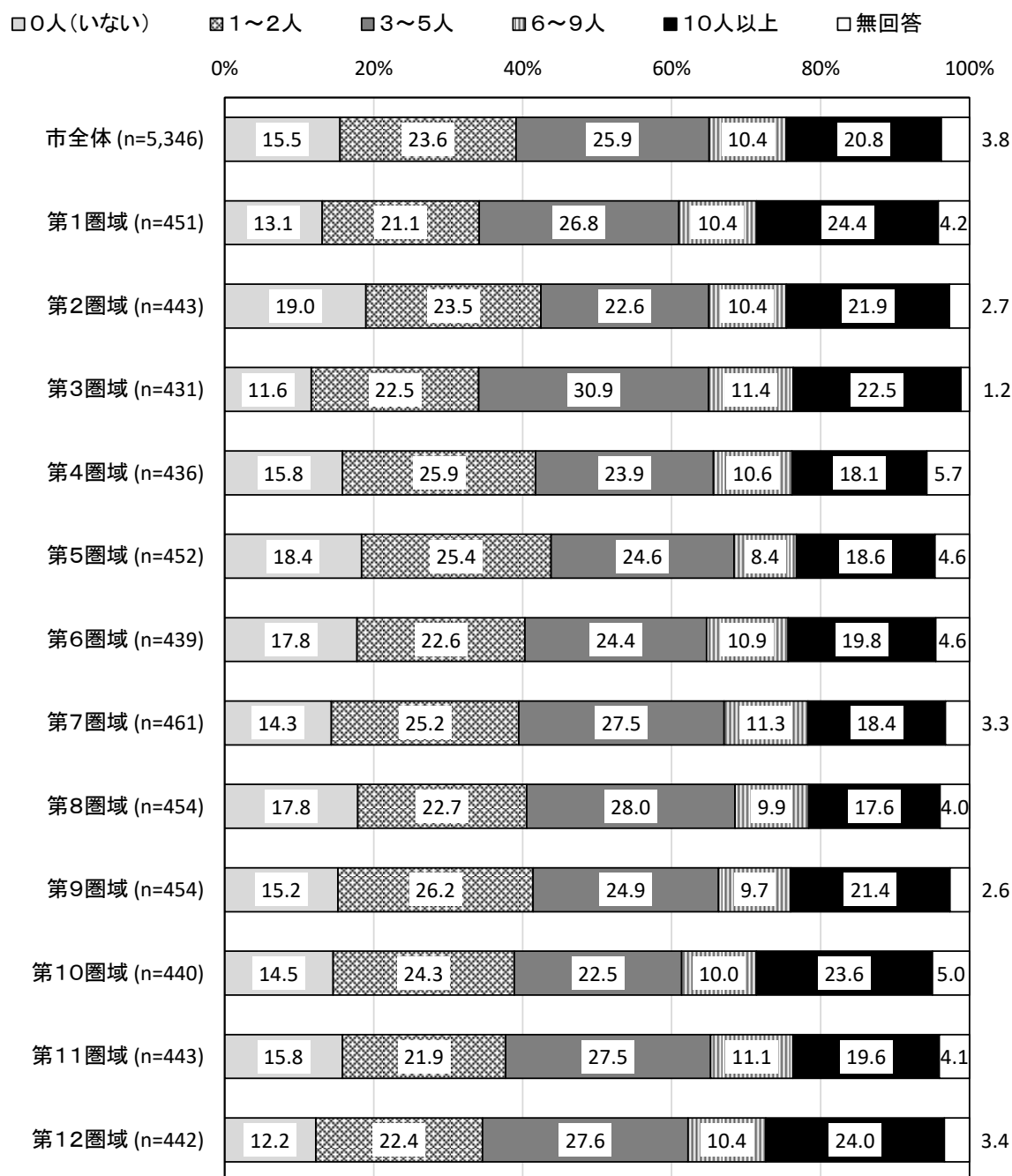
【年齢階級別】

年齢階級別でみると、「10人以上」は年齢が上がるにつれて低くなっています。また、他と比べ、85歳以上で「0人(いない)」が高くなっています。



【圏域別】

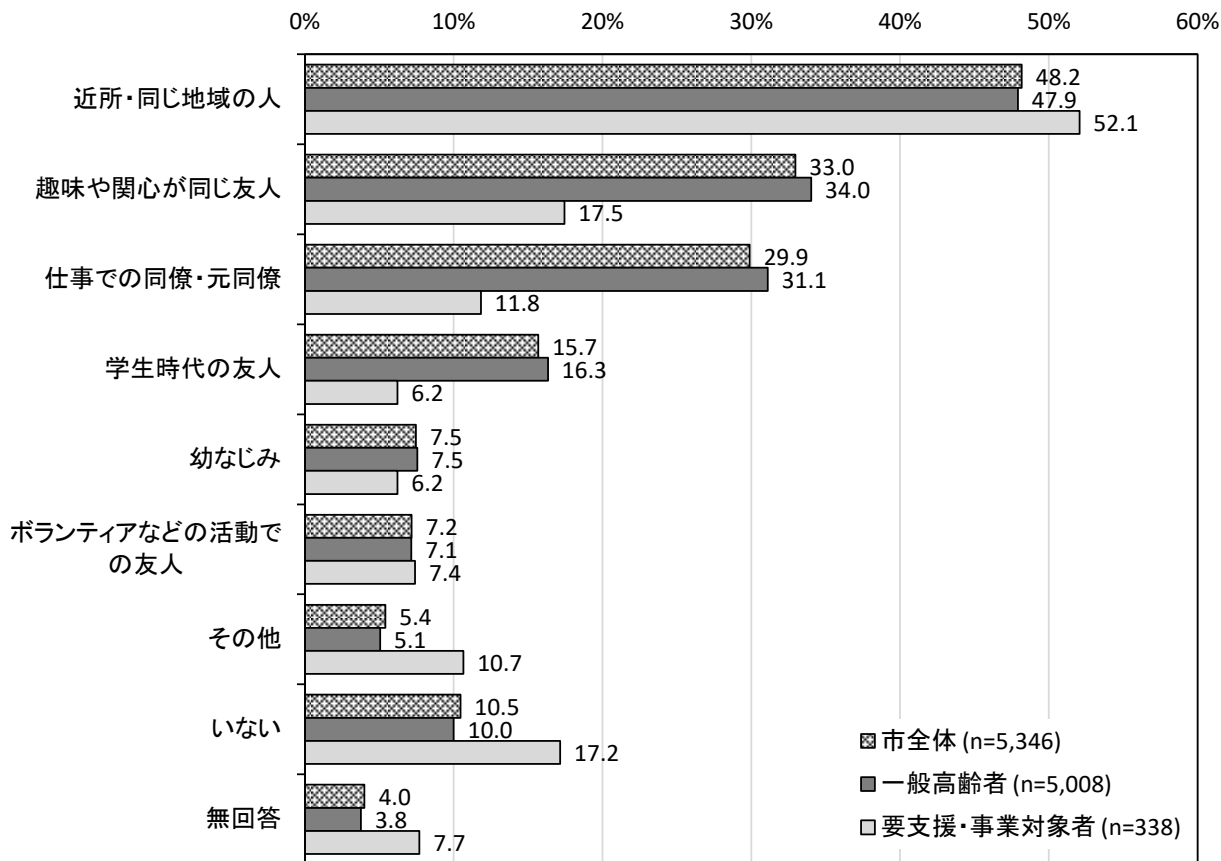
圏域別でみると、「10人以上」は第1圏域が24.4%と最も高く、次いで第12圏域が24.0%、第10圏域が23.6%となっています。一方、「0人(いない)」は第2圏域が19.0%と最も高く、次いで第5圏域が18.4%、第6圏域、第8圏域が17.8%となっています。



問 57 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（あてはまるものすべてに☑）

市全体では「近所・同じ地域の人」が 48.2%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が 33.0%、「仕事での同僚・元同僚」が 29.9%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、一般高齢者では「趣味や関心が同じ友人」「仕事での同僚・元同僚」「学生時代の友人」が高くなっており、要支援・事業対象者では「近所・同じ地域の人」「ボランティアなどの活動での友人」「いない」が高くなっています。



【年齢階級別】

年齢階級別でみると、年齢が上がるにつれて「仕事での同僚・元同僚」が低くなっているのに対し、「いない」は高くなっています。

単位：%

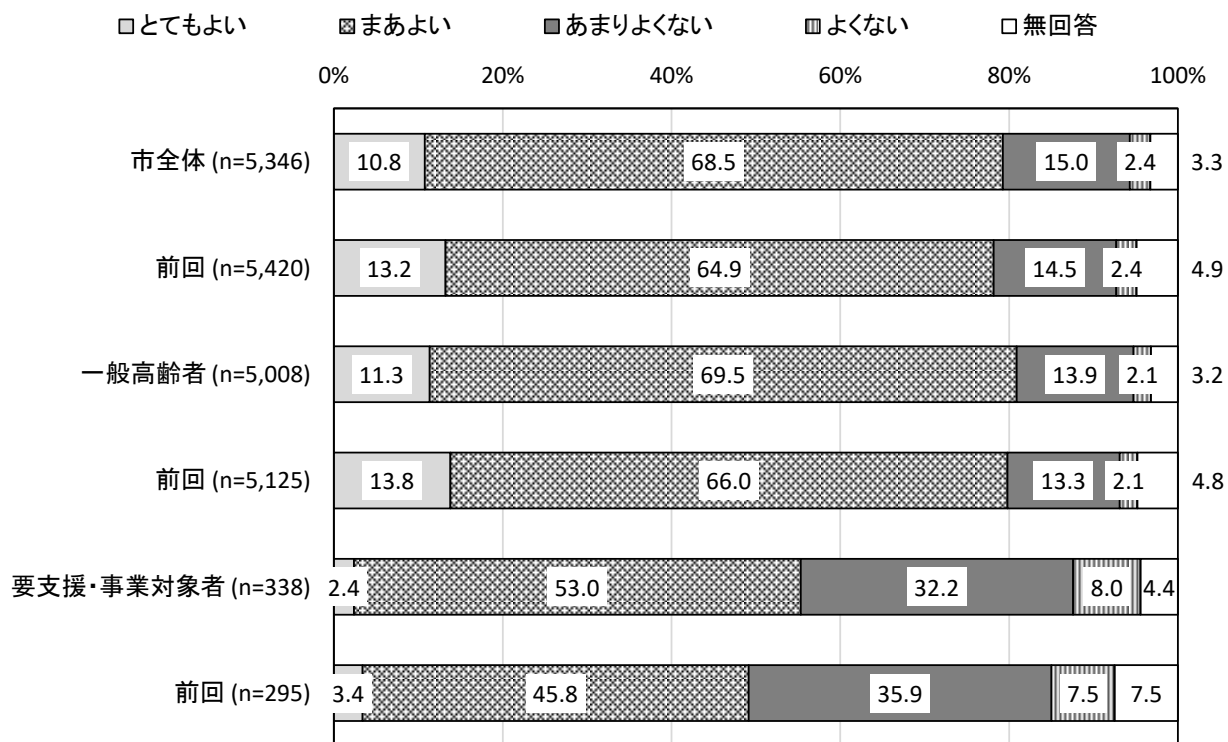
区分	有効回答数 (件)	近所・同じ地域の人	趣味や関心が同じ友人	仕事での同僚・元同僚	学生時代の友人	幼なじみ	ボランティアなどの活動 での友人	その他	いない	無回答	
市全体	5,346	48.2	33.0	29.9	15.7	7.5	7.2	5.4	10.5	4.0	
年齢階級別	65～69歳	1,113	36.9	31.6	45.5	20.6	8.0	5.6	5.6	9.8	2.1
	70～74歳	1,521	44.2	34.5	35.5	18.0	8.7	8.6	5.5	9.3	3.6
	75～79歳	1,239	53.1	36.4	24.8	13.3	7.5	7.5	4.6	9.9	5.0
	80～84歳	894	58.2	32.4	19.2	13.3	6.5	6.5	5.5	10.7	4.3
	85歳以上	579	54.4	25.2	12.6	9.0	4.7	6.7	6.6	15.4	6.2

7 健康について

問 58 現在のあなたの健康状態はいかがですか (☑は1つ)

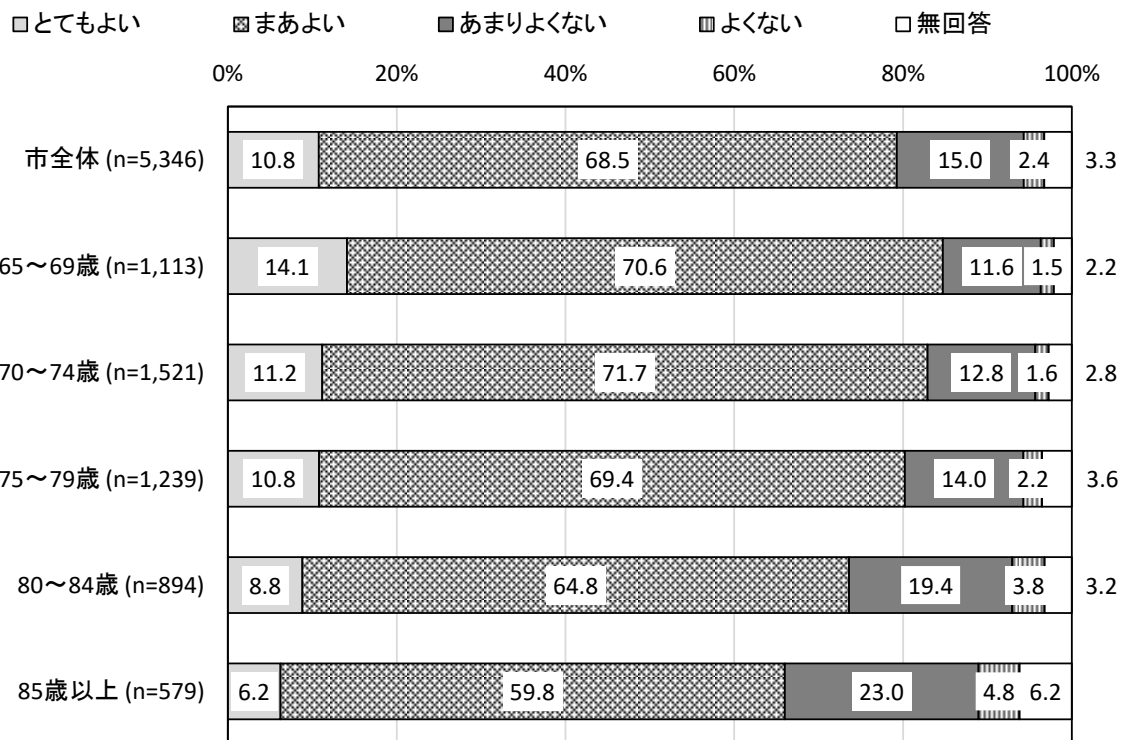
市全体では「とてもよい」と「まあよい」を合わせた『よい』が79.3%、「あまりよくない」と「よくない」を合わせた『よくない』が17.4%となっています。また、前回令和元年度調査との比較でみると、『よい』が1.2ポイント高くなっており、『よくない』は0.5ポイント高くなっていきます。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、『よい』の割合は、一般高齢者では80.8%、要支援・事業対象者では55.4%と、25.4ポイントの差となっています。また、『よくない』の割合は、一般高齢者では16.0%、要支援・事業対象者では40.2%と、24.2ポイントの差となっています。前回調査との比較でみると、『よい』は一般高齢者で1.0ポイント、要支援・事業対象者で6.2ポイント、それぞれ高くなっていきます。また、『よくない』は一般高齢者で0.6ポイント高くなっており、要支援・事業対象者で3.2ポイント低くなっていきます。



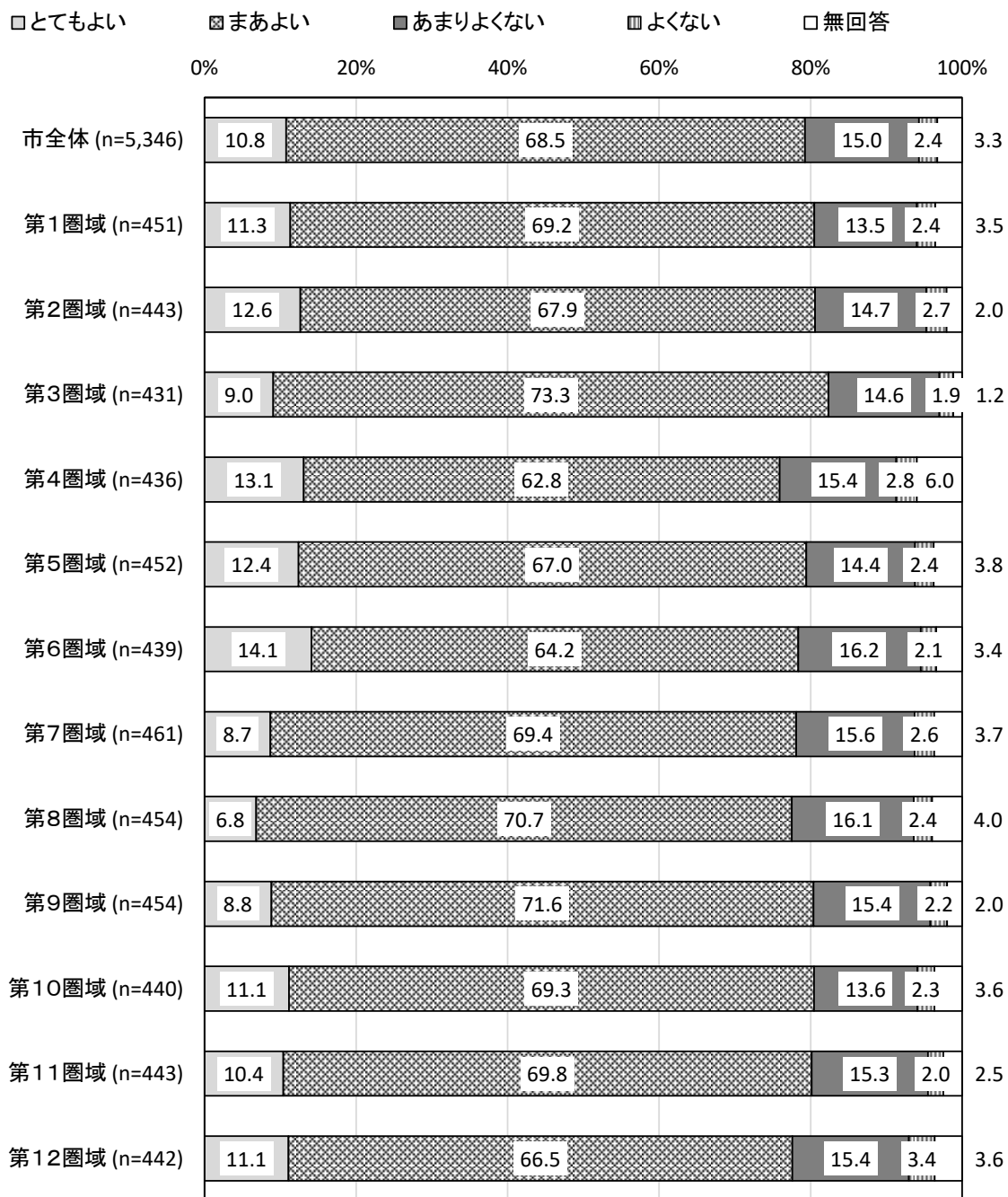
【年齢階級別】

年齢階級別でみると、年齢が上がるにつれて『よい』が低くなり、『よくない』は高くなっていきます。



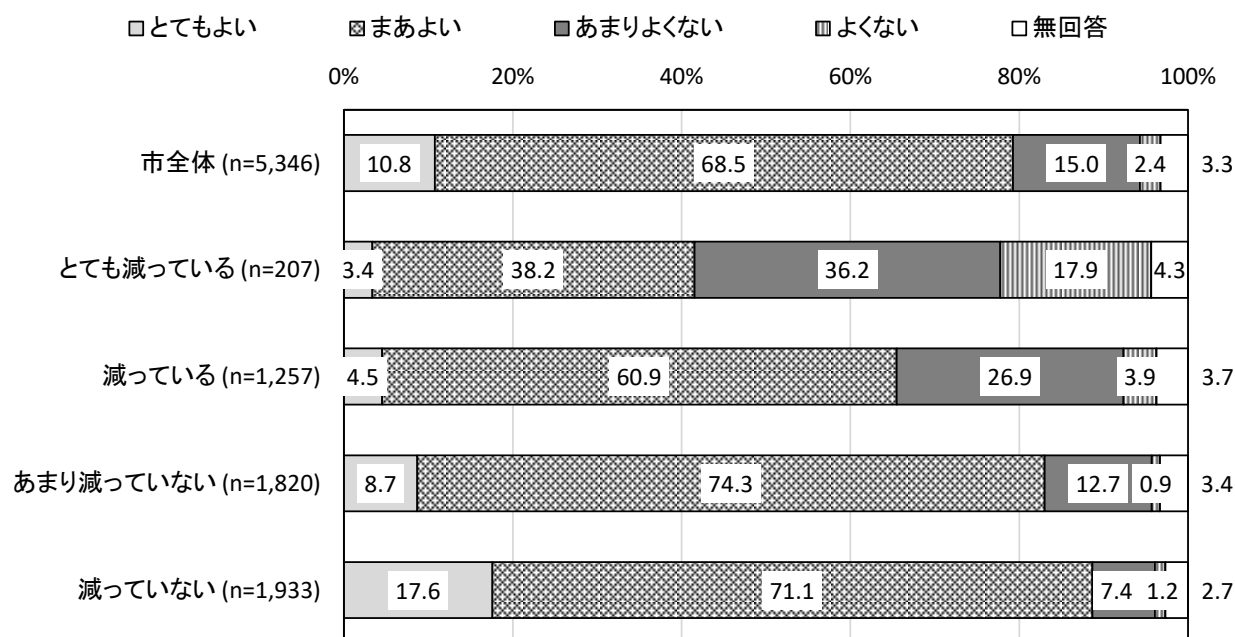
【圏域別】

圏域別でみると、『よい』は第3圏域が 82.3%と最も高く、次いで第1圏域、第2圏域が 80.5%、第9圏域、第10圏域が 80.4%となっています。一方、『よくない』は第12圏域が 18.8%と最も高く、次いで第8圏域が 18.5%、第6圏域が 18.3%となっています。



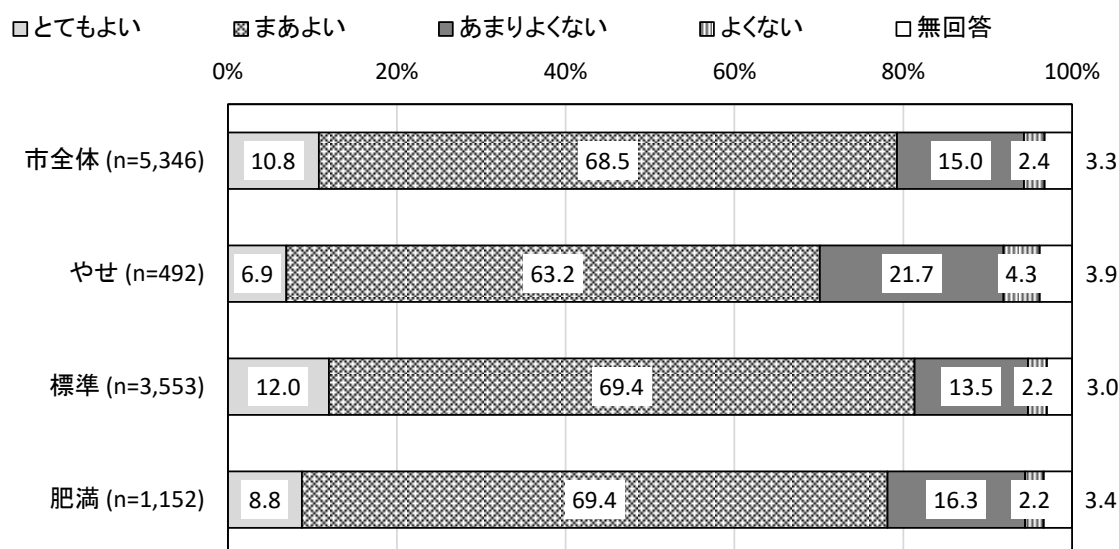
【外出の状況別】

外出の状況別でみると、外出が減っている人ほど『よい』が低くなり、『よくない』は高くなっています。



【肥満度別】

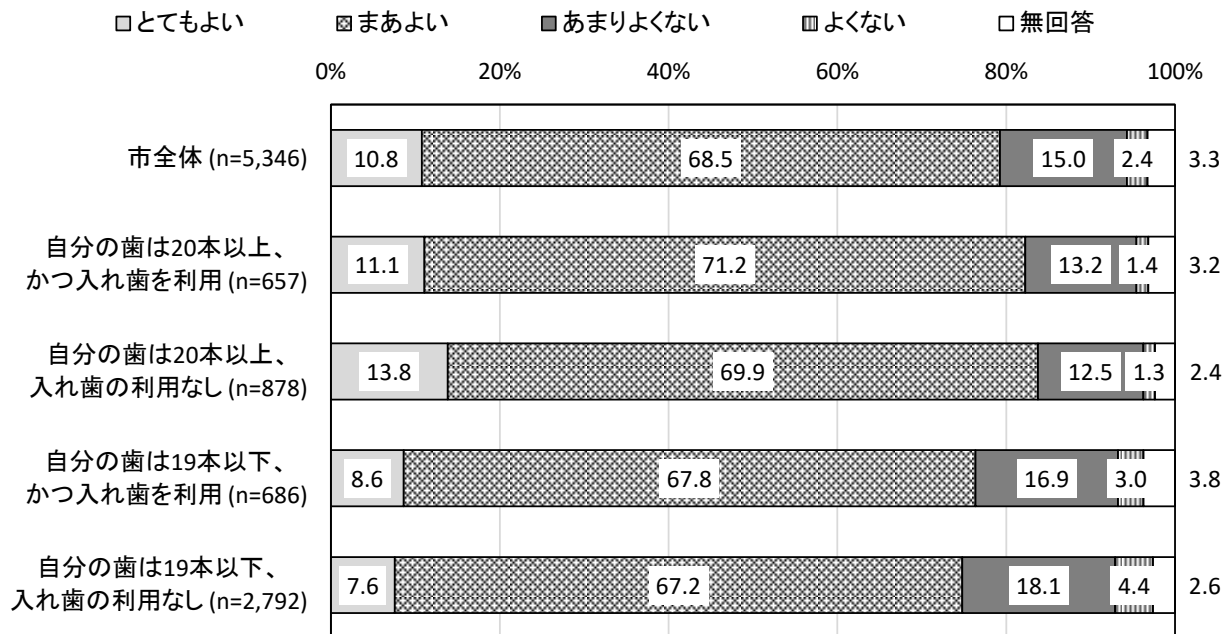
肥満度別でみると、『よい』は標準で81.4%と最も高く、『よくない』はやせで26.0%と最も高くなっています。



II 調査結果

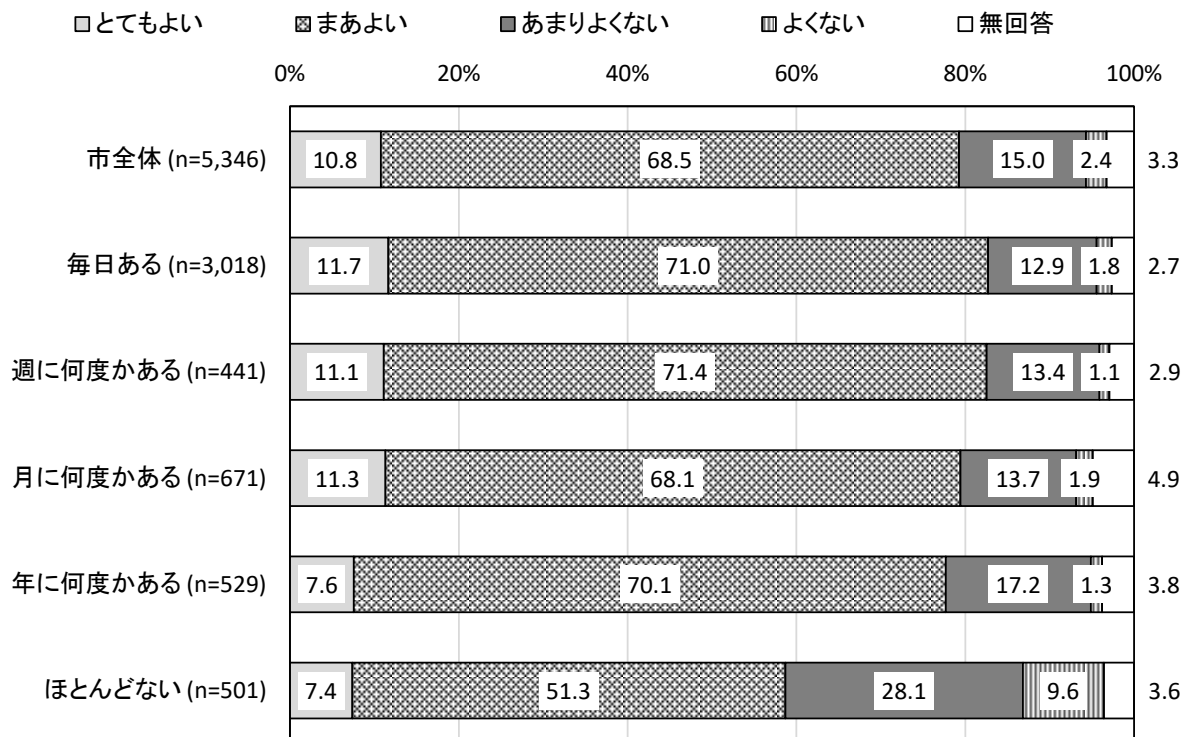
【歯の数と入れ歯の利用状況別】

歯の数と入れ歯の利用状況別でみると、自分の歯が20本以上ある人のほうが『よい』の割合が高くなっています。



【共食の頻度別】

共食の頻度別でみると、頻度が多い人ほど『よい』が高くなり、『よくない』は低くなっています。

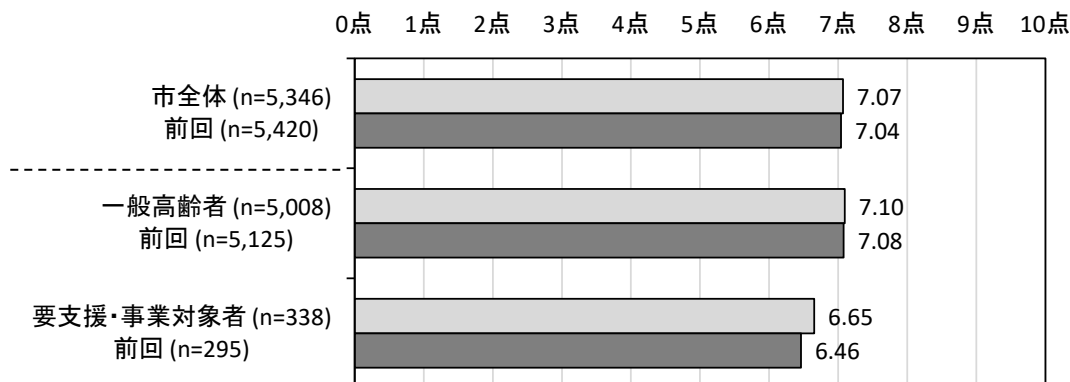


問 59 あなたは、現在どの程度幸せですか（☑は1つ）
 （「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）

【認定区分別平均点】

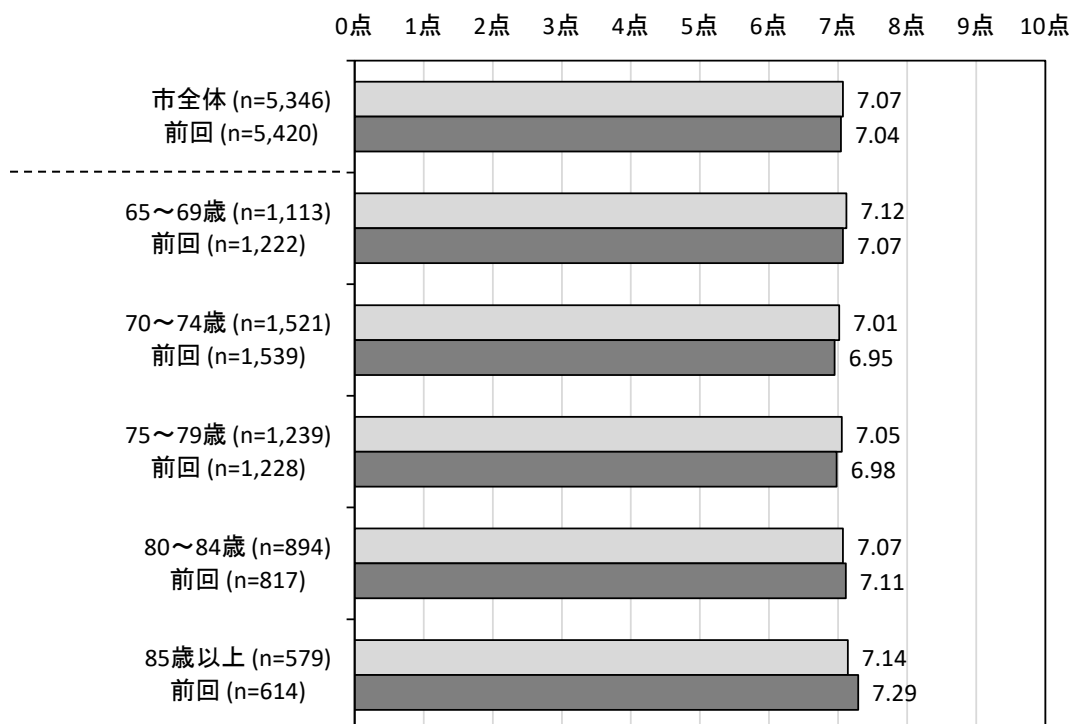
市全体では平均点が7.07点となっています。前回令和元年度調査と比較して0.03点高くなっています。

一般高齢者は7.10点で、要支援・事業対象者は6.65点となっています。



【年齢階級別平均点】

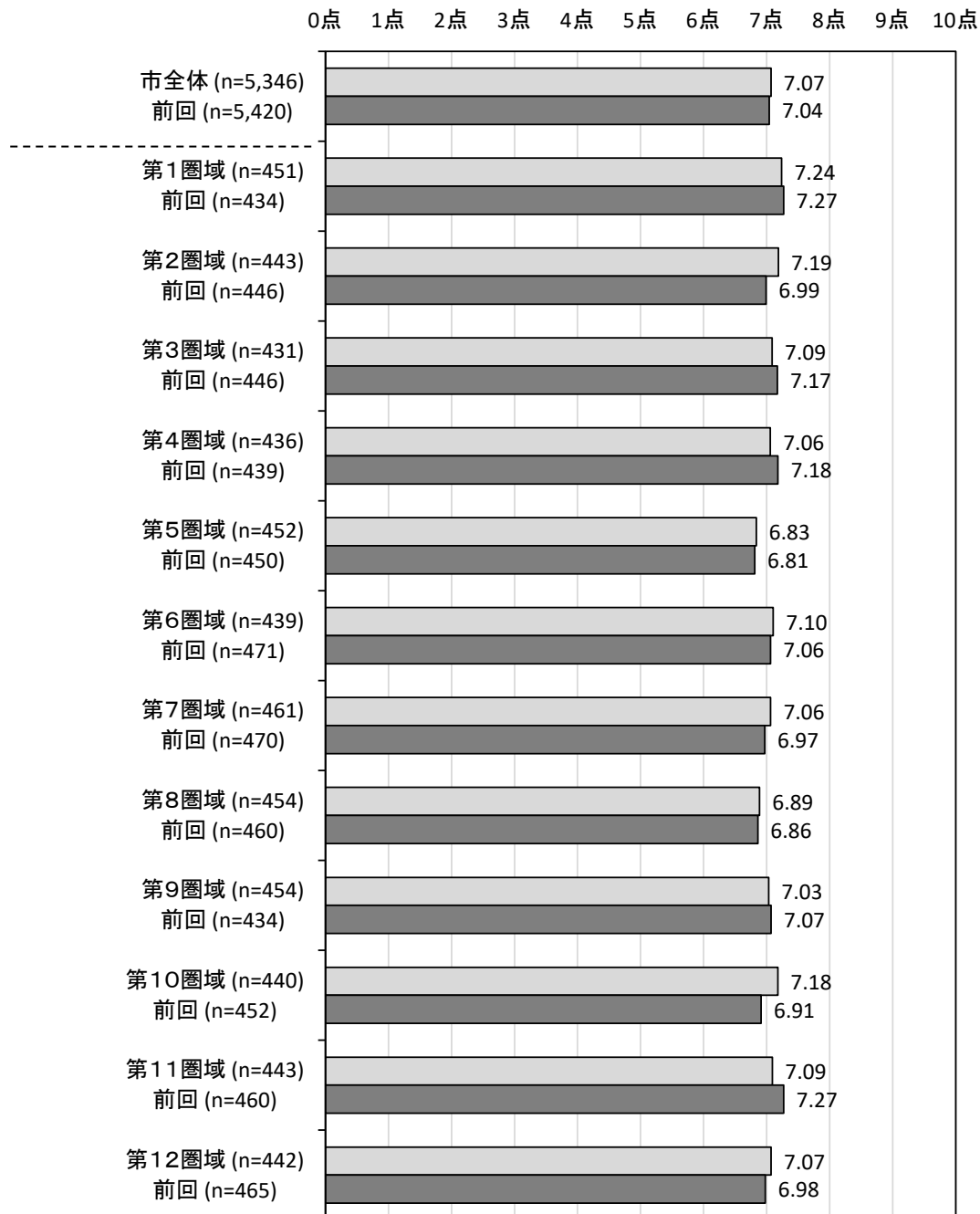
年齢階級別で見ると、他と比較して85歳以上が高くなっています。また、前回との比較で見ると、65～79歳は高くなったものの、80歳以上は低くなっています。



【圏域別平均点】

圏域別で見ると、他と比較して第1圏域・第2圏域・第6圏域・第10圏域で平均点が高くなっています。

前回との比較で見ると、第2圏域・第5圏域・第6圏域・第7圏域・第8圏域・第10圏域・第12圏域で高くなっています。



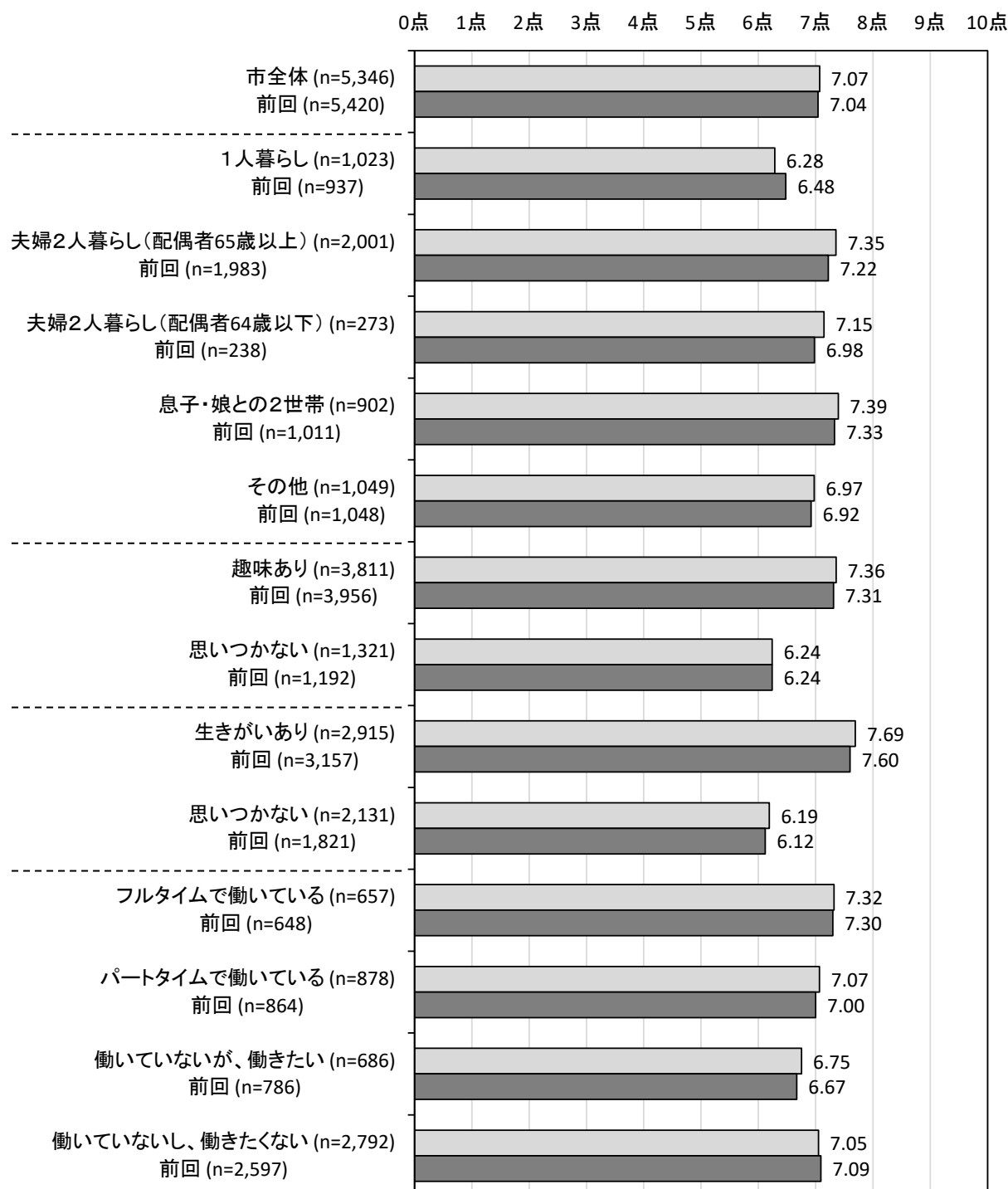
【クロス集計：問1 家族構成別、問39 趣味の有無別、問40 生きがいの有無別、問41 就労状況別の各平均点】

家族構成別でみると、他と比較して息子・娘との2世帯で平均点が高くなっています。

趣味の有無別でみると、「趣味あり」のほうが平均点が高くなっています。

生きがいの有無別でみると、「生きがいあり」のほうが平均点が高くなっています。

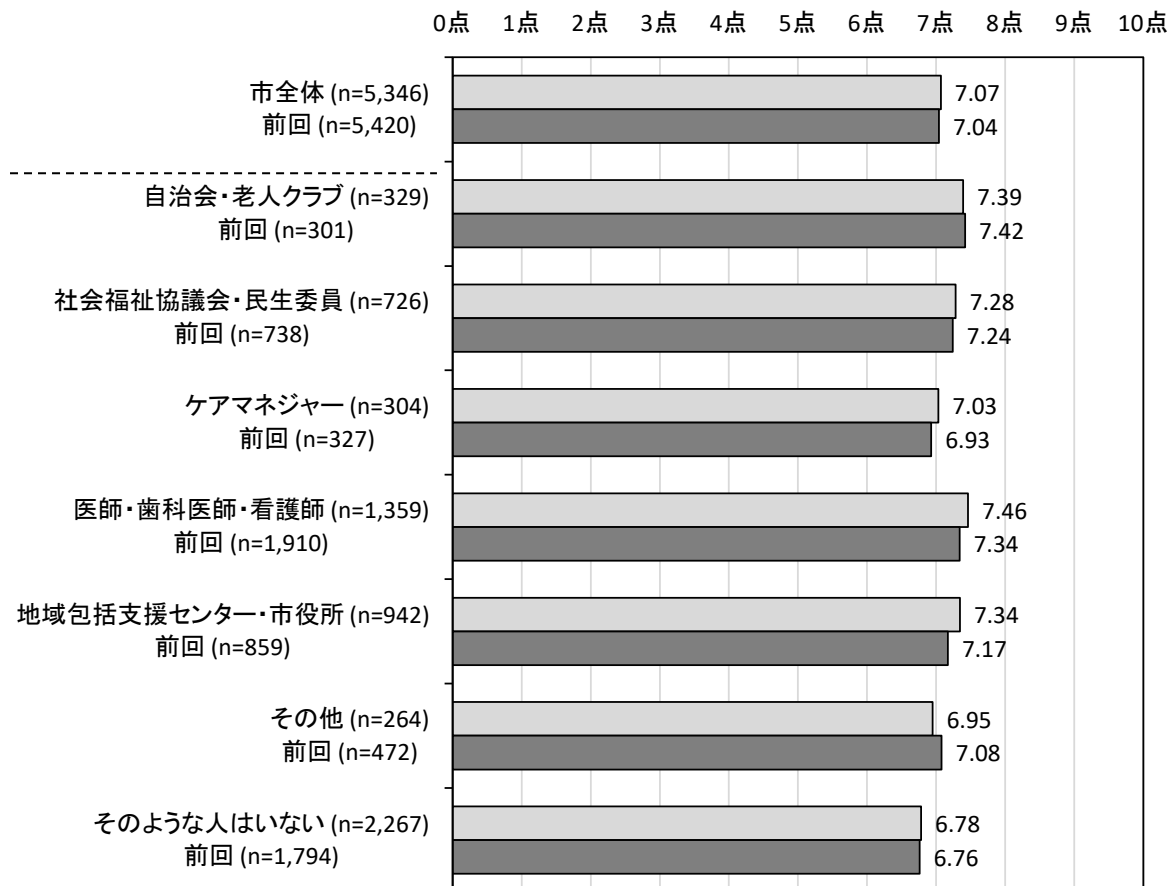
就労状況別でみると、「フルタイムで働いている」のほうが平均点が高くなっています。



II 調査結果

【クロス集計：問 53 相談者の有無別平均点】

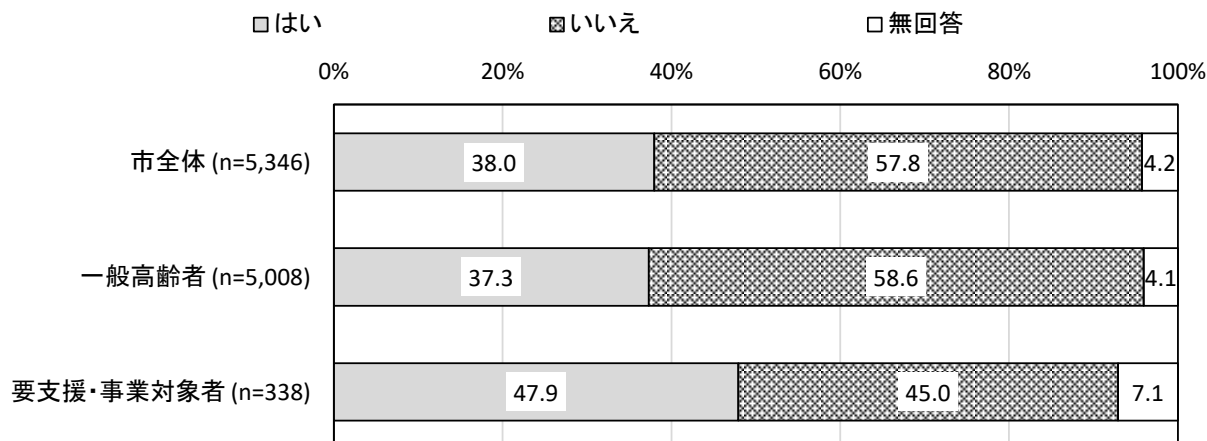
相談者の有無別でみると、自治会・老人クラブ、医師・歯科医師・看護師、地域包括支援センター・市役所で平均点が高くなっています。



問 60 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (☑は1つ)

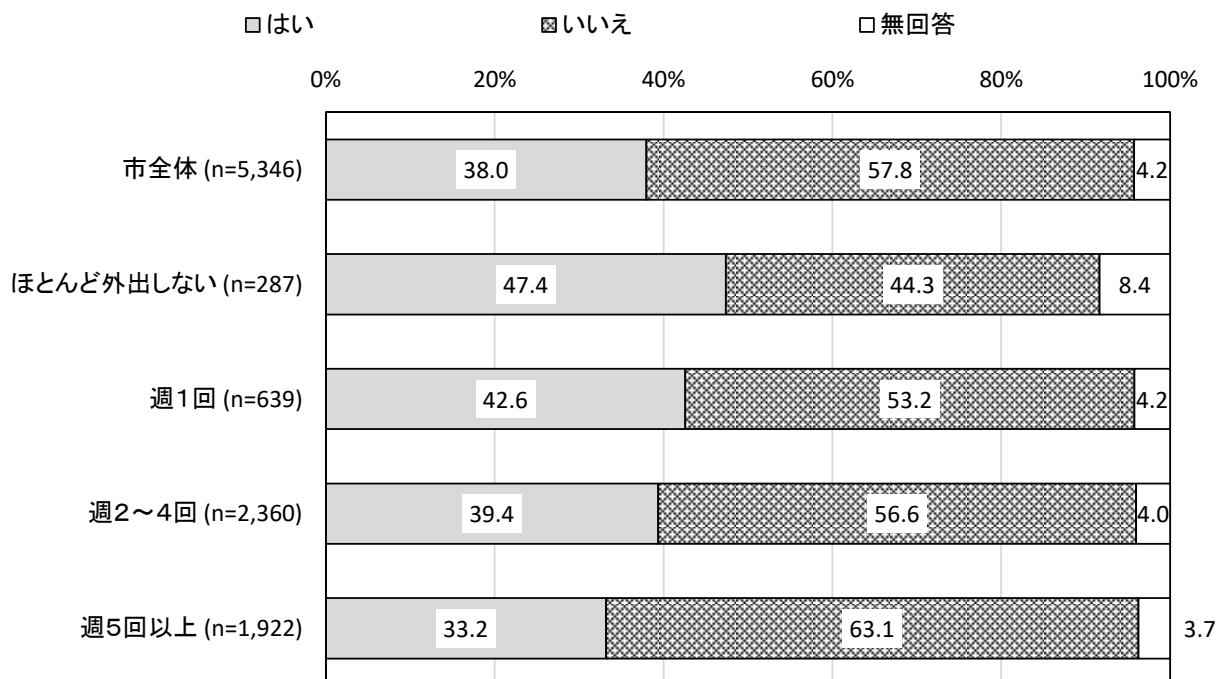
市全体では「はい」が38.0%、「いいえ」が57.8%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、「はい」の割合は、一般高齢者で37.3%、要支援・事業対象者で47.9%と、10.6ポイント差となっています。



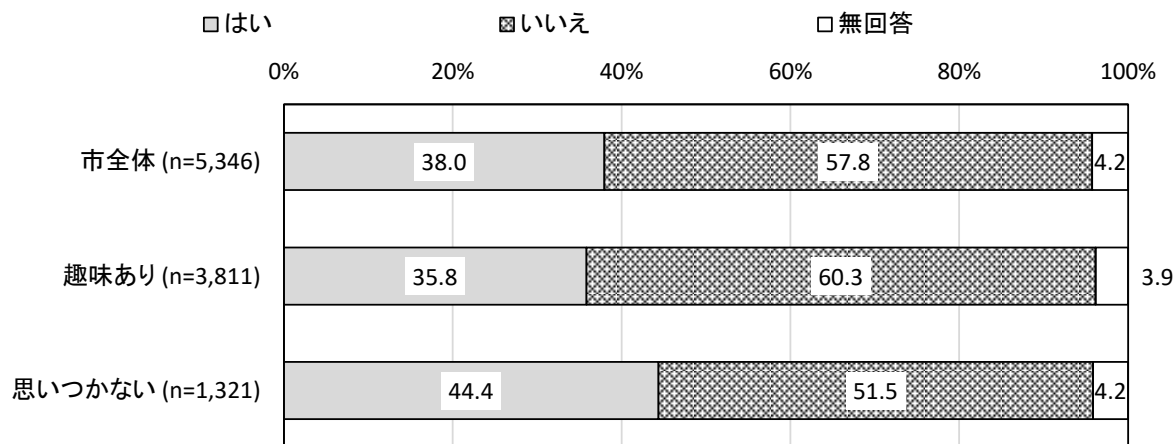
【外出頻度別】

外出頻度別でみると、外出頻度が多くなるにつれて「はい」の割合が低くなる傾向があります。



【趣味の有無別】

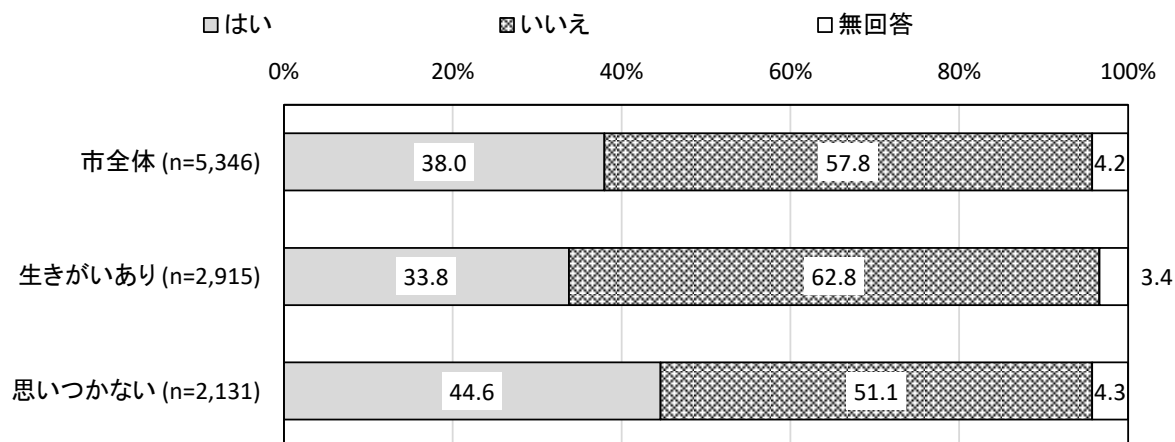
趣味の有無別でみると、「はい」の割合は、「趣味あり」で35.8%、「思いつかない」で44.4%と、8.6ポイントの差となっています。



II 調査結果

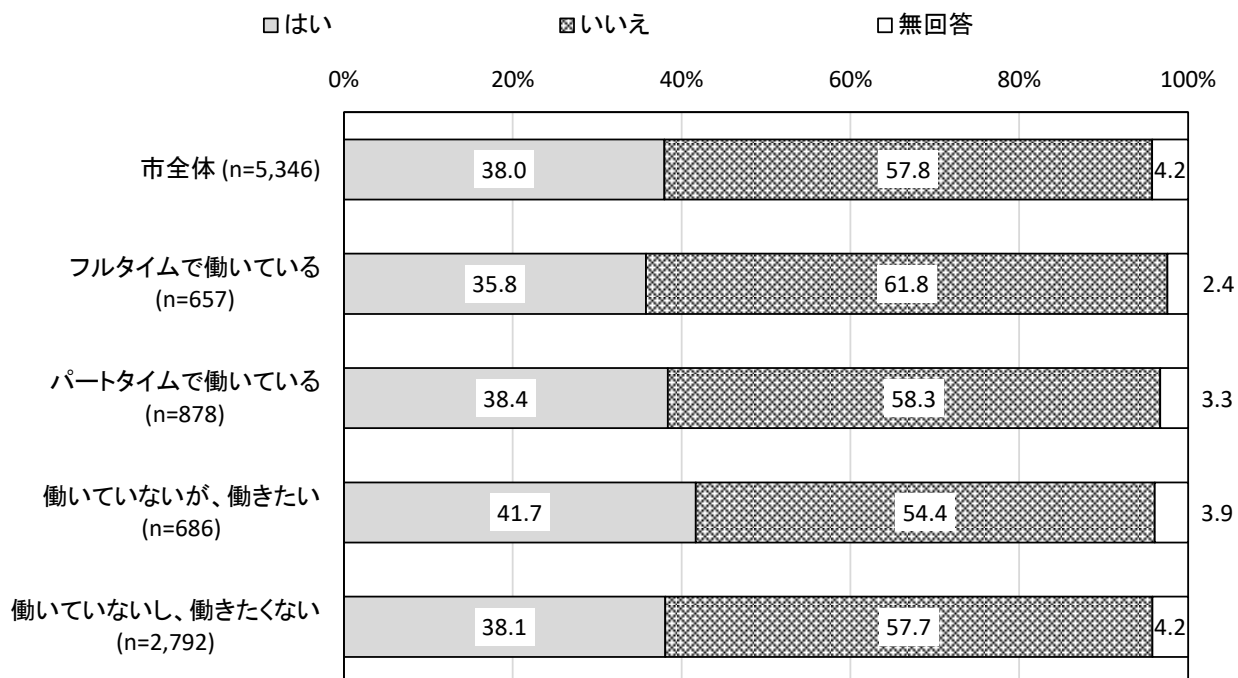
【生きがいの有無別】

生きがいの有無別で見ると、「はい」の割合は、「生きがいあり」で33.8%、「思いつかない」で44.6%と、10.8ポイントの差となっています。



【就労状況別】

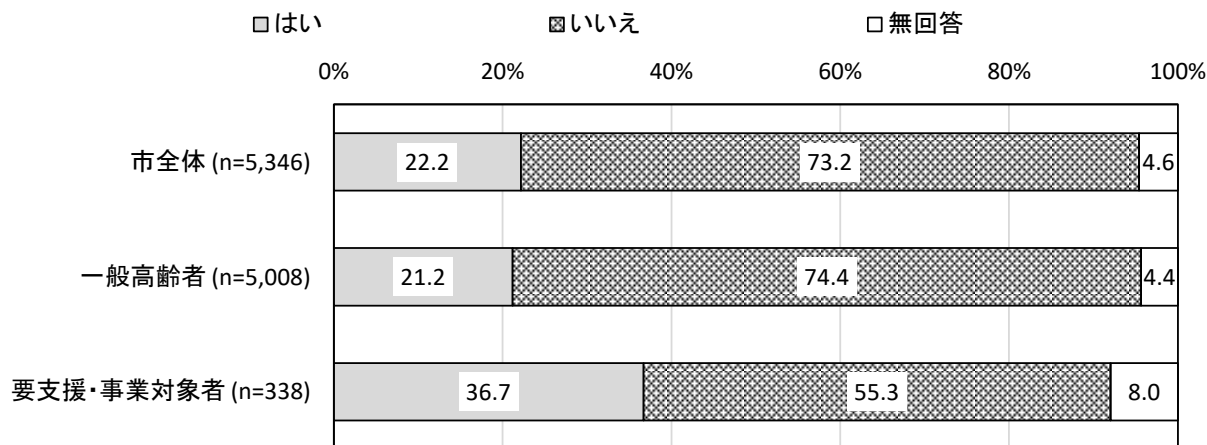
就労状況別で見ると、「はい」の割合は、「働いていないが、働きたい」で41.7%と最も高くなっています。



問 61 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (☑は1つ)

市全体では「はい」が22.2%、「いいえ」が73.2%となっています。

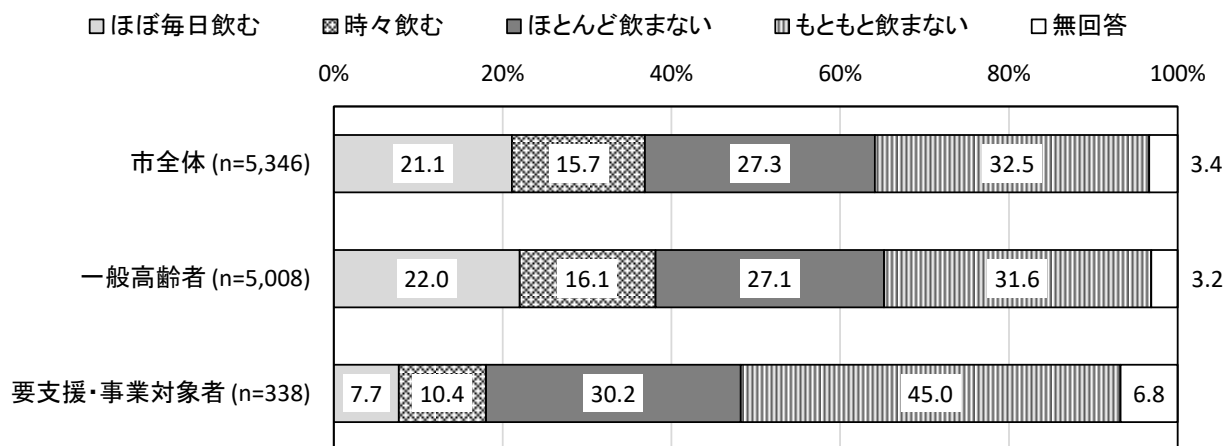
一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、「はい」の割合は、一般高齢者で21.2%、要支援・事業対象者で36.7%と、15.5ポイント差となっています。



問 62 お酒は飲みますか (☑は1つ)

市全体では「もともと飲まない」が32.5%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」が27.3%、「ほぼ毎日飲む」が21.1%となっています。

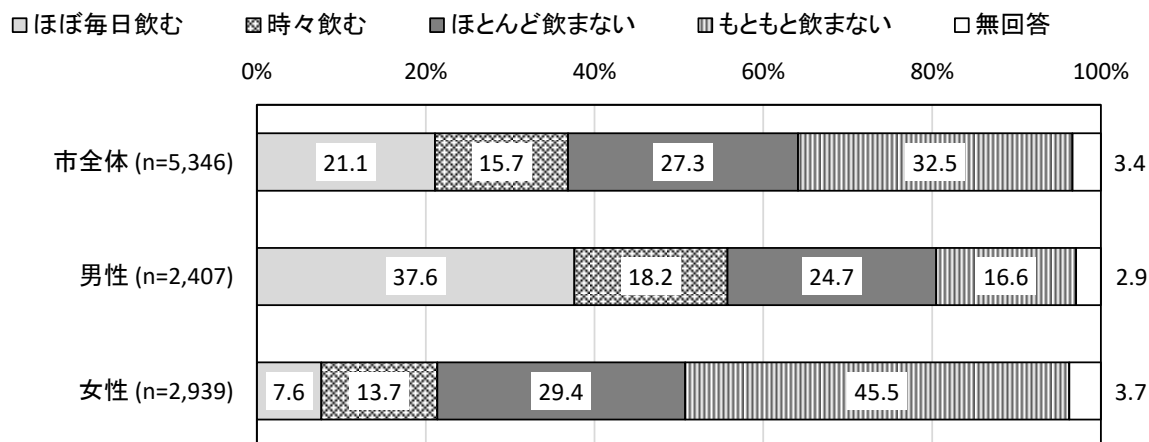
一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、「ほぼ毎日飲む」の割合は、一般高齢者で22.0%、要支援・事業対象者で7.7%と、14.3ポイント差となっています。



II 調査結果

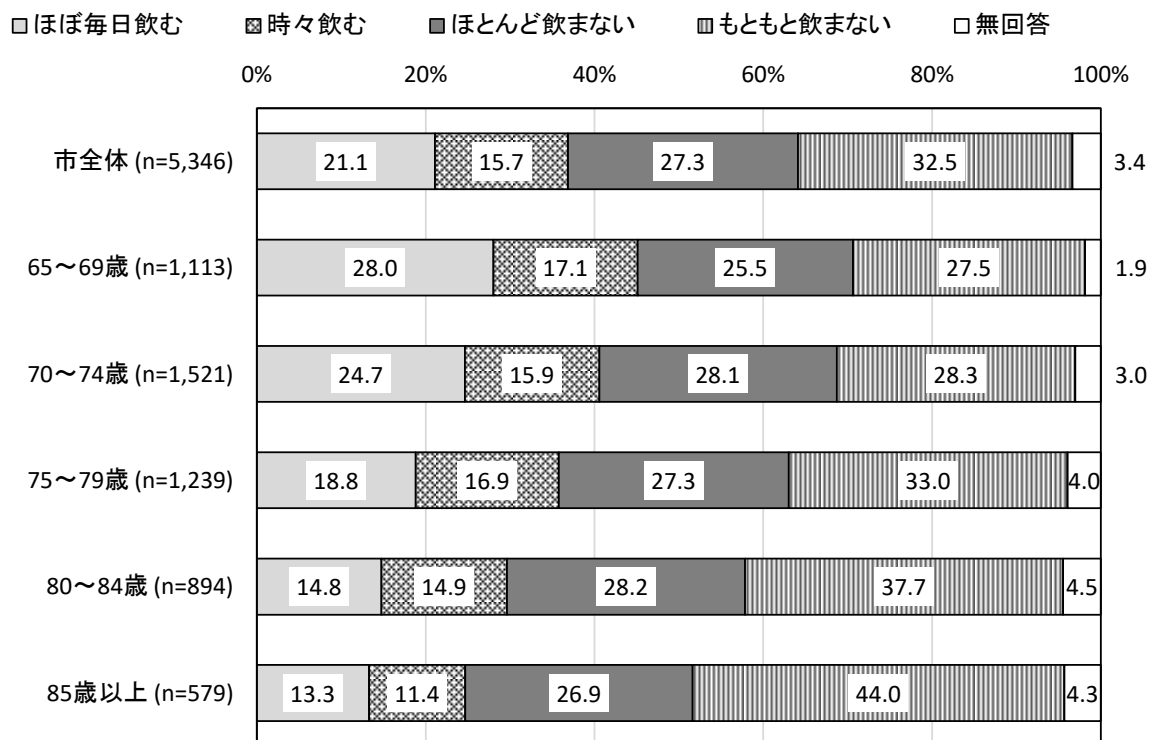
【性別】

性別で見ると、男性は女性に比べて「ほぼ毎日飲む」が高くなっています。女性は男性に比べて「もともと飲まない」が高くなっています。



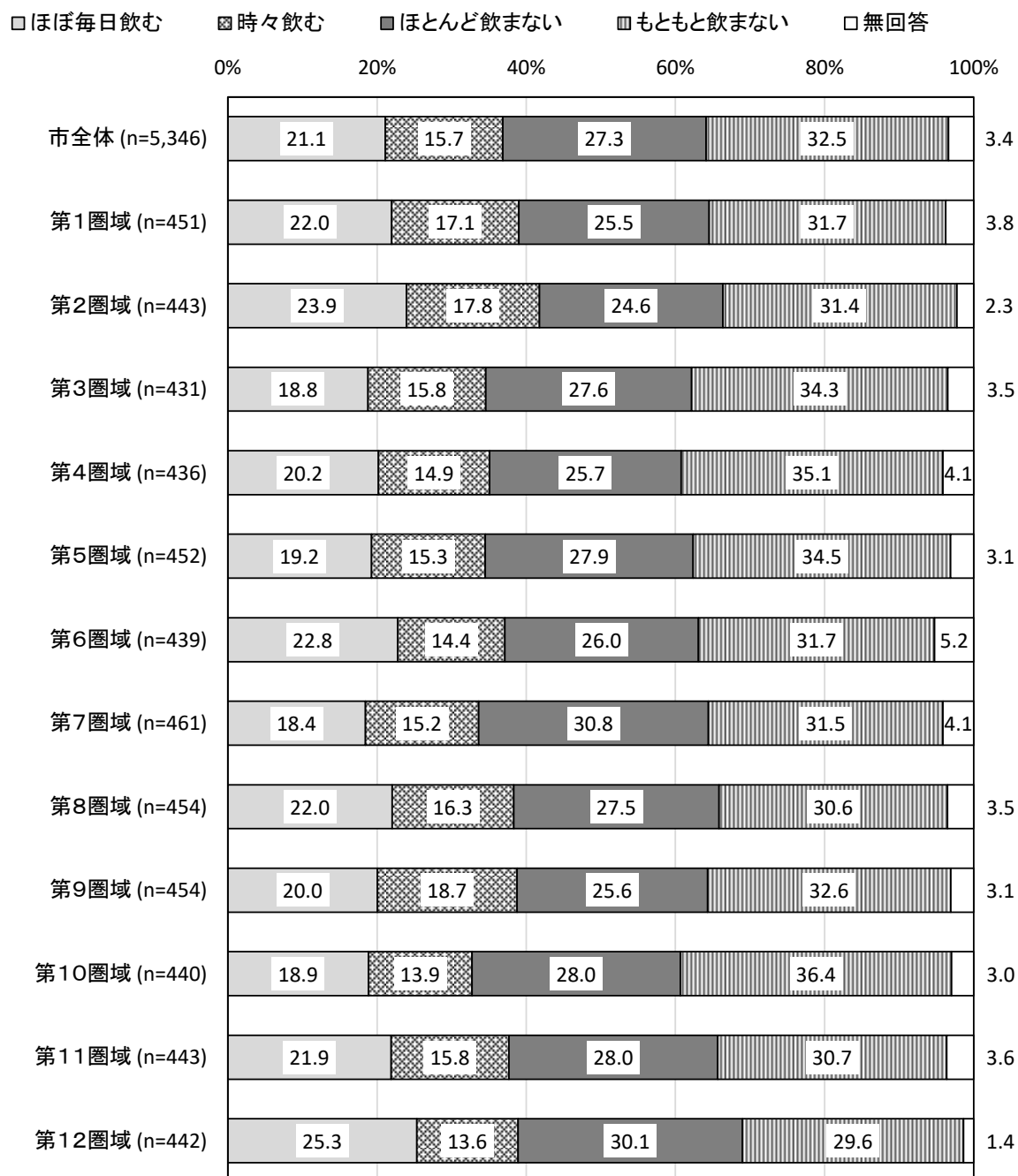
【年齢階級別】

年齢階級別で見ると、年齢が上がるにつれて「ほぼ毎日飲む」が低くなり、「もともと飲まない」が高くなっています。



【圏域別】

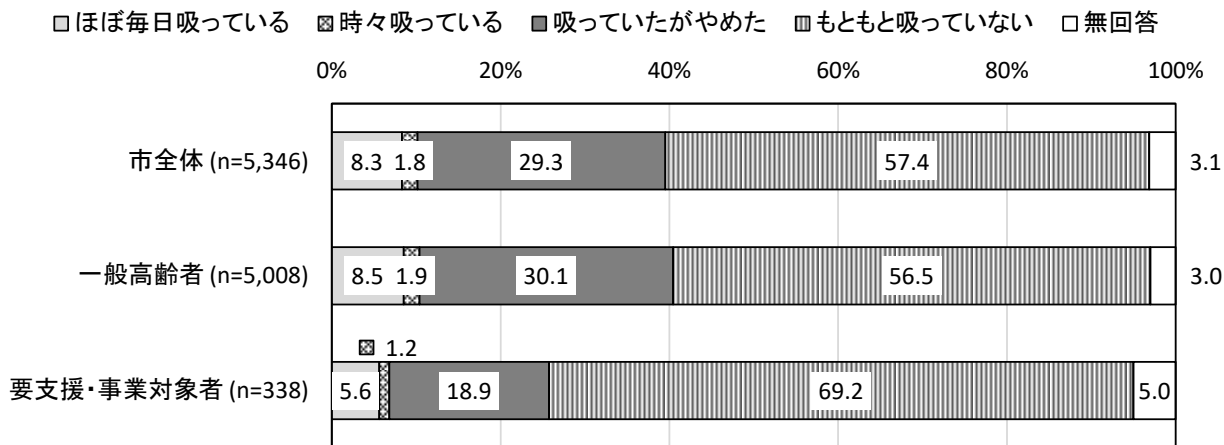
圏域別でみると、「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」を合わせた『飲む』の割合は、第2圏域が41.7%と最も高く、次いで第1圏域が39.1%、第12圏域が38.9%となっています。



問 63 タバコは吸っていますか (☑は1つ)

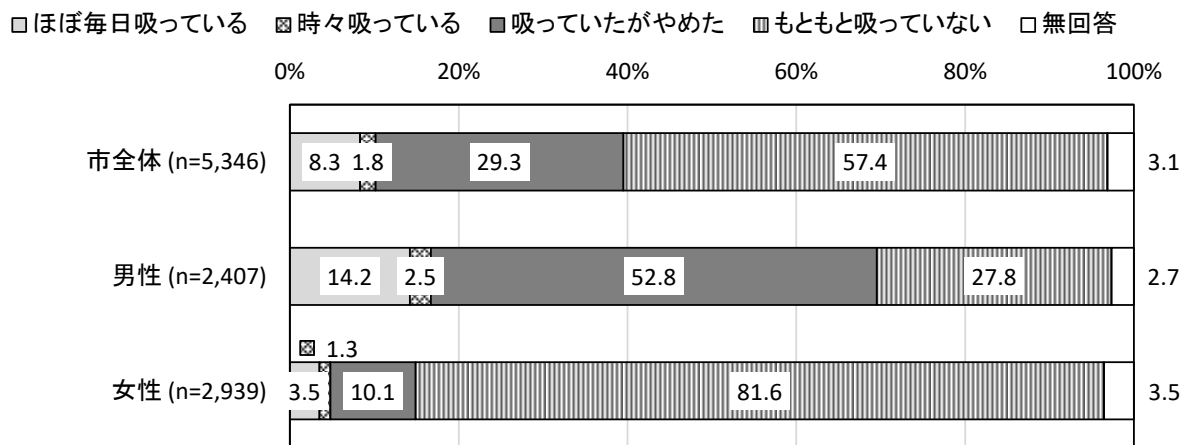
市全体では「もともと吸っていない」が57.4%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が29.3%、「ほぼ毎日吸っている」が8.3%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較で見ると、「ほぼ毎日吸っている」の割合は、一般高齢者で8.5%、要支援・事業対象者で5.6%と、2.9ポイント差となっています。



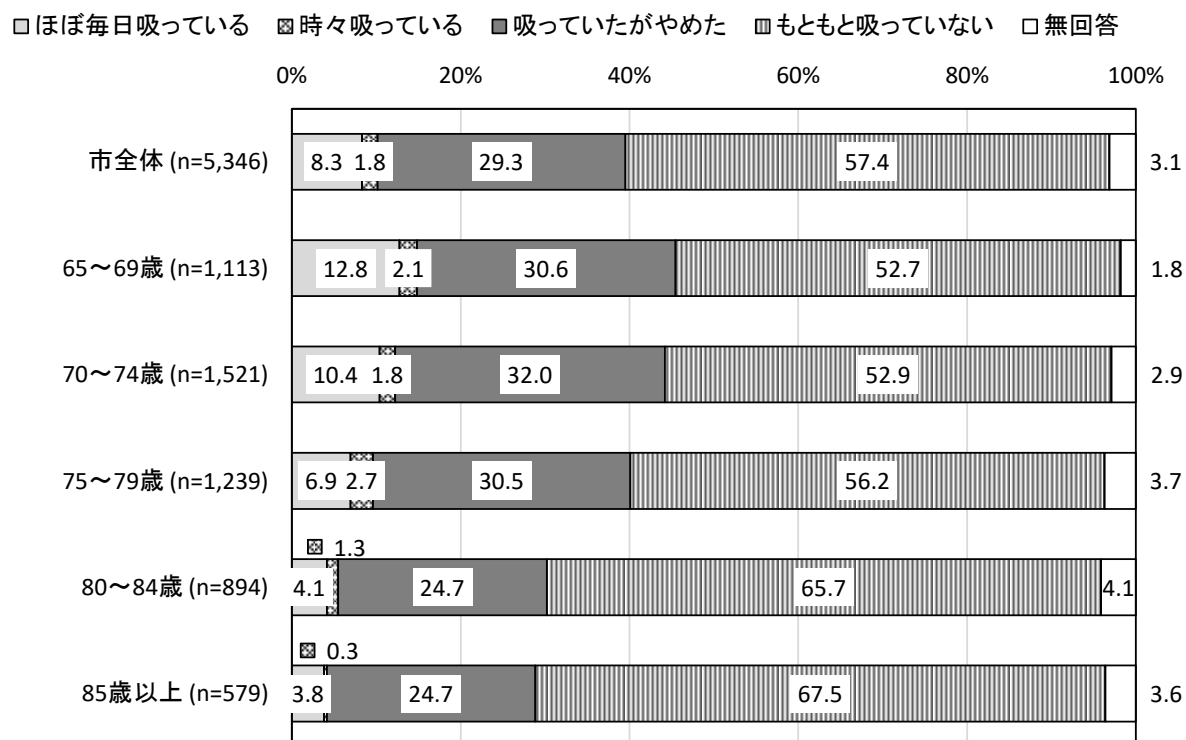
【性別】

性別で見ると、女性は「もともと吸っていない」が8割を超えています。



【年齢階級別】

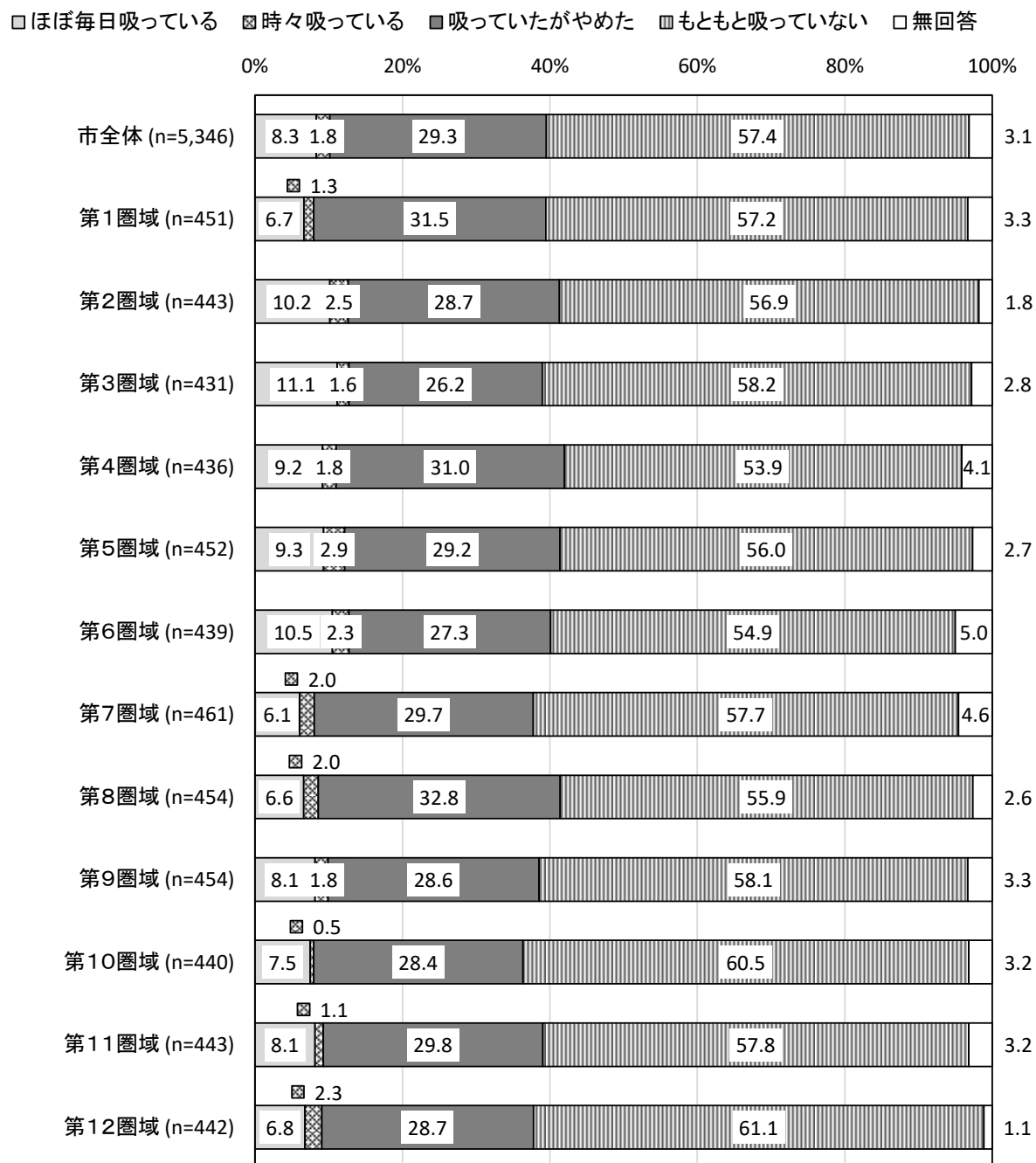
年齢階級別で見ると、年齢が上がるにつれて、「ほぼ毎日吸っている」が低くなり、「もともと吸っていない」が高くなっています。



II 調査結果

【圏域別】

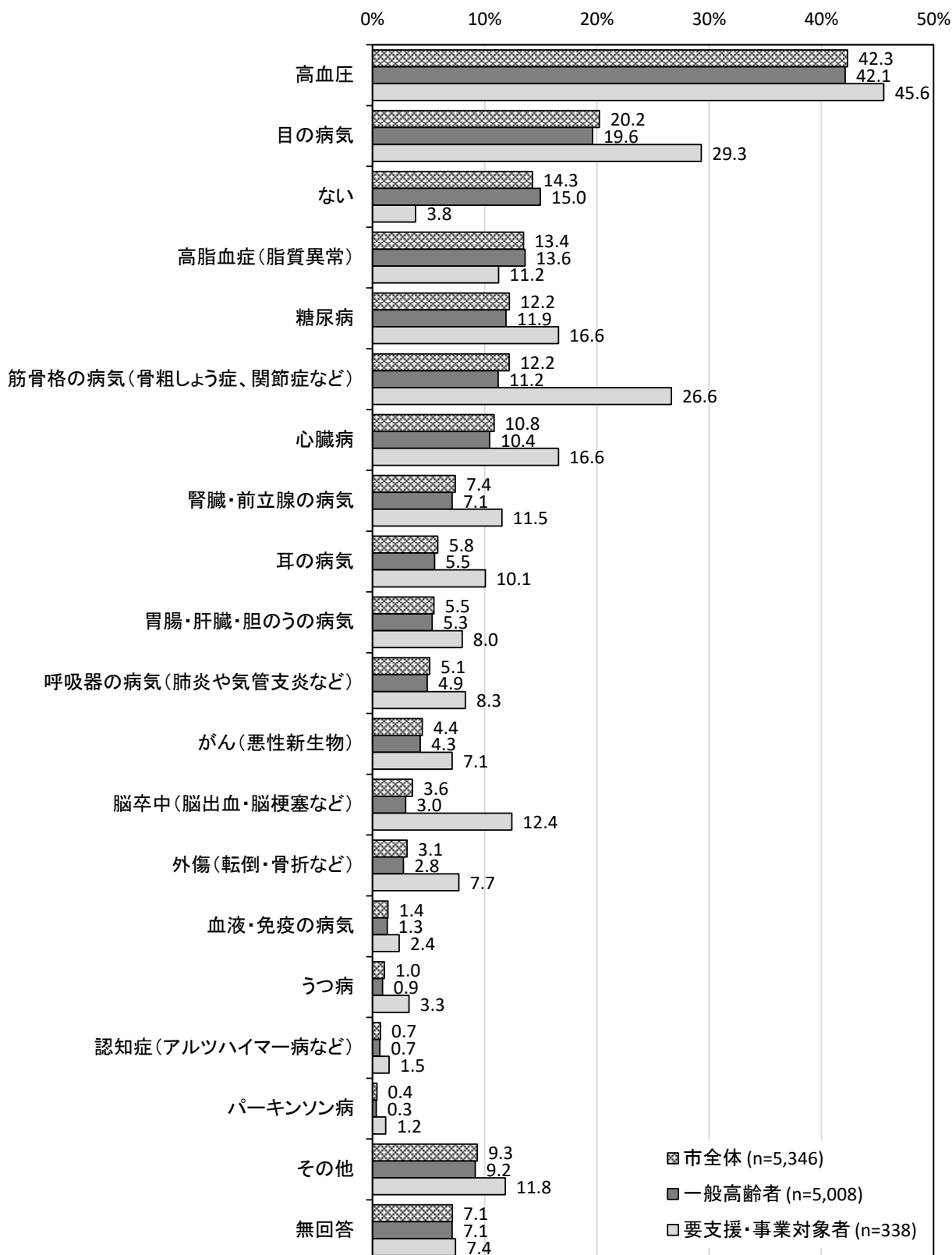
圏域別でみると、「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合わせた『吸っている』の割合は、第6圏域が12.8%と最も高く、次いで第2圏域、第3圏域が12.7%、第5圏域が12.2%となっています。



問 64 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（あてはまるものすべてに☑）

市全体では「高血圧」が42.3%と最も高く、次いで「目の病気」が20.2%、「ない」が14.3%となっています。

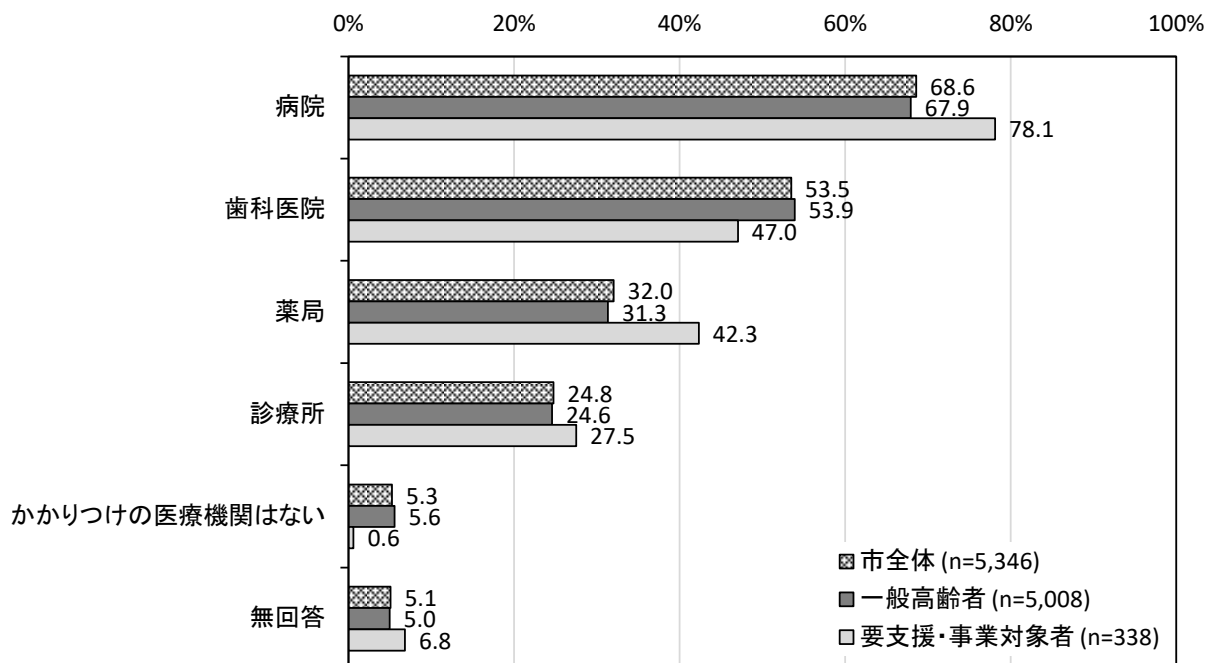
一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、一般高齢者では「ない」が高くなっており、要支援・事業対象者では「目の病気」「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症など）」「心臓病」「脳卒中（脳出血・脳梗塞など）」が高くなっています。



問 65 かかりつけの医療機関はありますか（あてはまるものすべてに☑）

市全体では「病院」が68.6%と最も高く、次いで「歯科医院」が53.5%、「薬局」が32.0%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、一般高齢者では「歯科医院」が高くなっており、要支援・事業対象者では「病院」「薬局」が高くなっています。



【年齢階級別】

年齢階級別でみると、すべての年齢階級で「病院」が最も高くなっています。また、年齢が上がるにつれて「薬局」が高くなっています。

単位：%

区分		有効回答数 (件)	病院	歯科医院	薬局	診療所	かかりつけの医療機関はない	無回答
市全体		5,346	68.6	53.5	32.0	24.8	5.3	5.1
年齢階級別	65～69歳	1,113	62.0	52.1	24.8	25.0	10.0	4.2
	70～74歳	1,521	66.4	54.2	31.7	25.1	6.5	4.7
	75～79歳	1,239	70.8	56.6	33.6	24.5	3.2	5.5
	80～84歳	894	73.3	54.3	36.0	24.0	2.6	5.5
	85歳以上	579	75.0	46.5	37.5	25.0	1.4	6.0

【圏域別】

圏域別でみると、すべての圏域で「病院」が最も高くなっています。また、他に比べ、第8圏域、第12圏域で「かかりつけの医療機関はない」が高くなっています。

単位：%

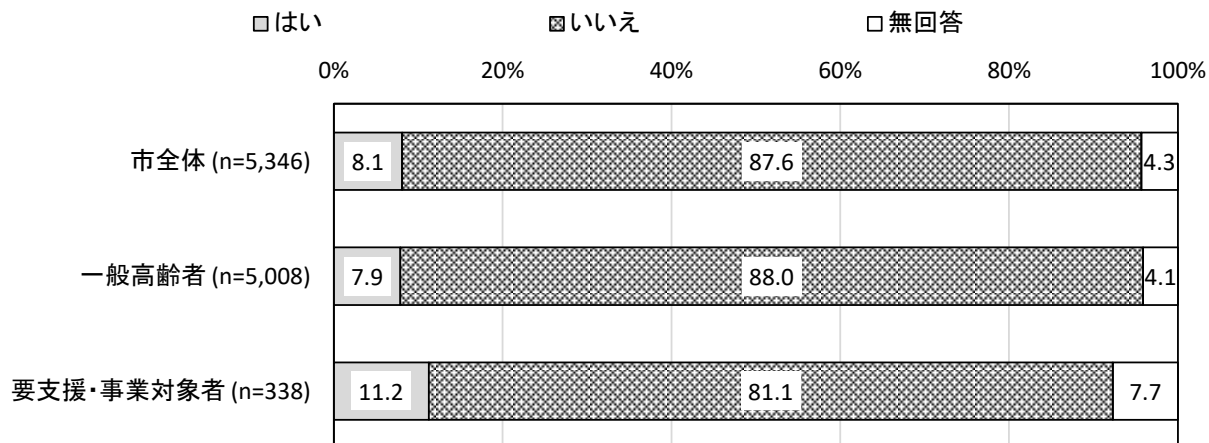
区分		有効回答数 (件)	病院	歯科 医院	薬局	診療所	かかりつけの 医療機関 はない	無 回 答
市全体		5,346	68.6	53.5	32.0	24.8	5.3	5.1
日常生活圏域別	第1圏域	451	68.1	50.3	35.0	21.5	5.3	7.8
	第2圏域	443	68.2	54.4	39.5	25.7	5.4	5.2
	第3圏域	431	71.7	60.3	37.8	22.0	5.1	3.9
	第4圏域	436	65.8	50.2	28.9	29.1	5.3	6.0
	第5圏域	452	56.6	48.7	30.1	38.9	6.2	5.3
	第6圏域	439	65.1	52.8	26.7	30.5	3.9	5.9
	第7圏域	461	63.1	58.1	31.2	29.9	4.3	5.6
	第8圏域	454	70.7	55.9	33.3	20.9	6.8	3.7
	第9圏域	454	73.1	53.7	31.3	18.7	6.2	5.3
	第10圏域	440	72.3	55.7	33.4	22.7	3.2	5.9
	第11圏域	443	75.8	52.4	31.4	18.7	3.8	3.8
	第12圏域	442	72.6	49.1	26.0	18.1	7.5	2.3

8 認知症にかかる相談窓口の把握について

問 66 認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人はいますか（☑は1つ）

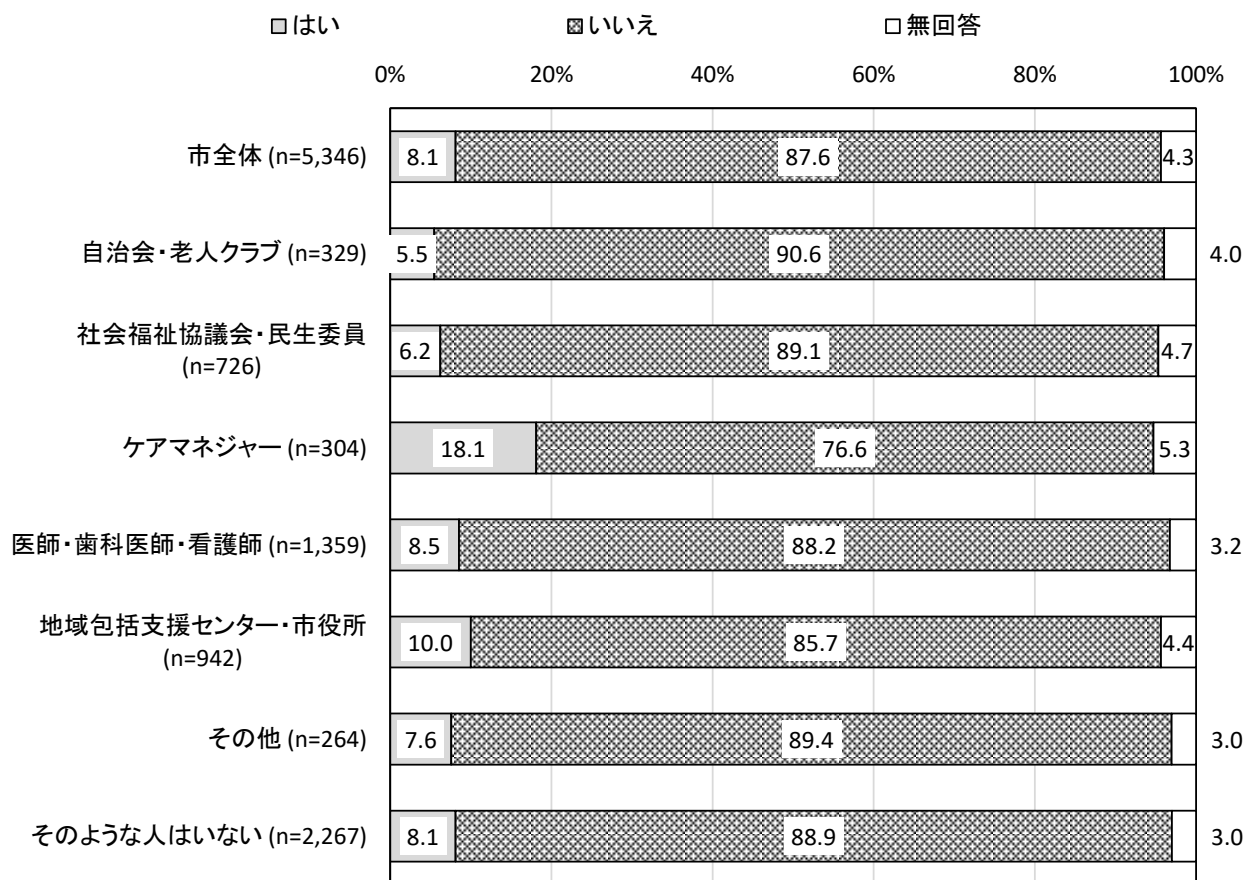
市全体では「はい」が8.1%、「いいえ」が87.6%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、「はい」の割合は、一般高齢者で7.9%、要支援・事業対象者で11.2%と、3.3ポイント差となっています。



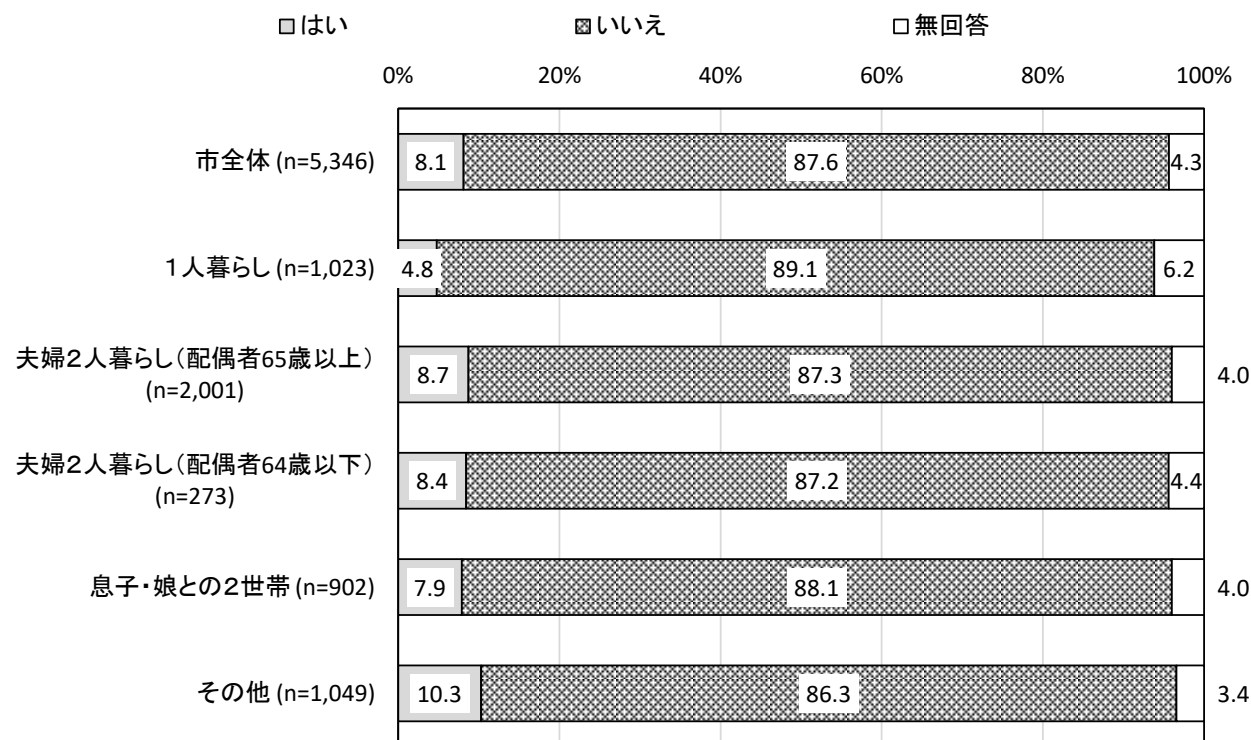
【相談者の有無別】

相談者の有無別でみると、他と比べ、ケアマネジャーで「はい」が高くなっています。



【家族構成別】

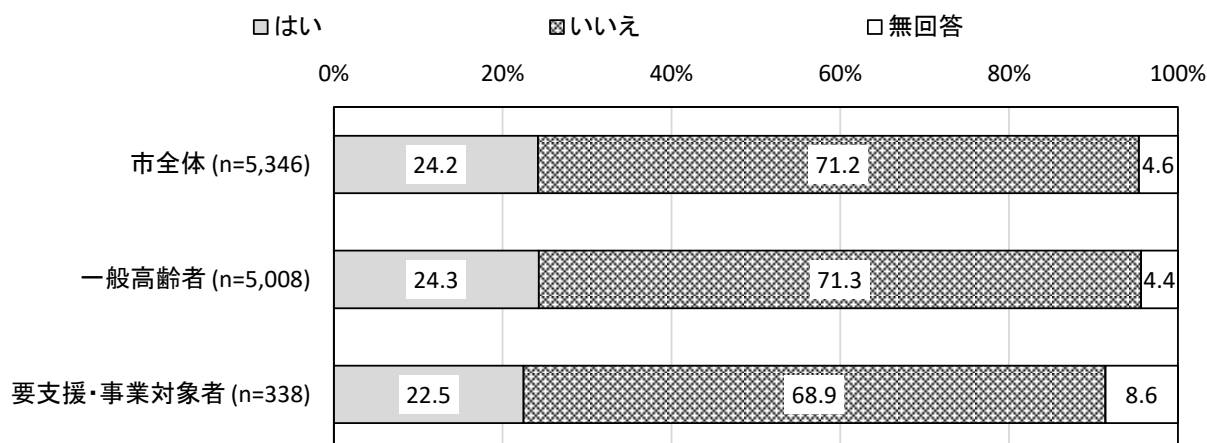
家族構成別でみると、他に比べ、その他で「はい」が高く、1人暮らしでは「はい」が低くなっています。



問 67 認知症に関する相談窓口を知っていますか (☑は1つ)

市全体では「はい」が24.2%、「いいえ」が71.2%となっています。

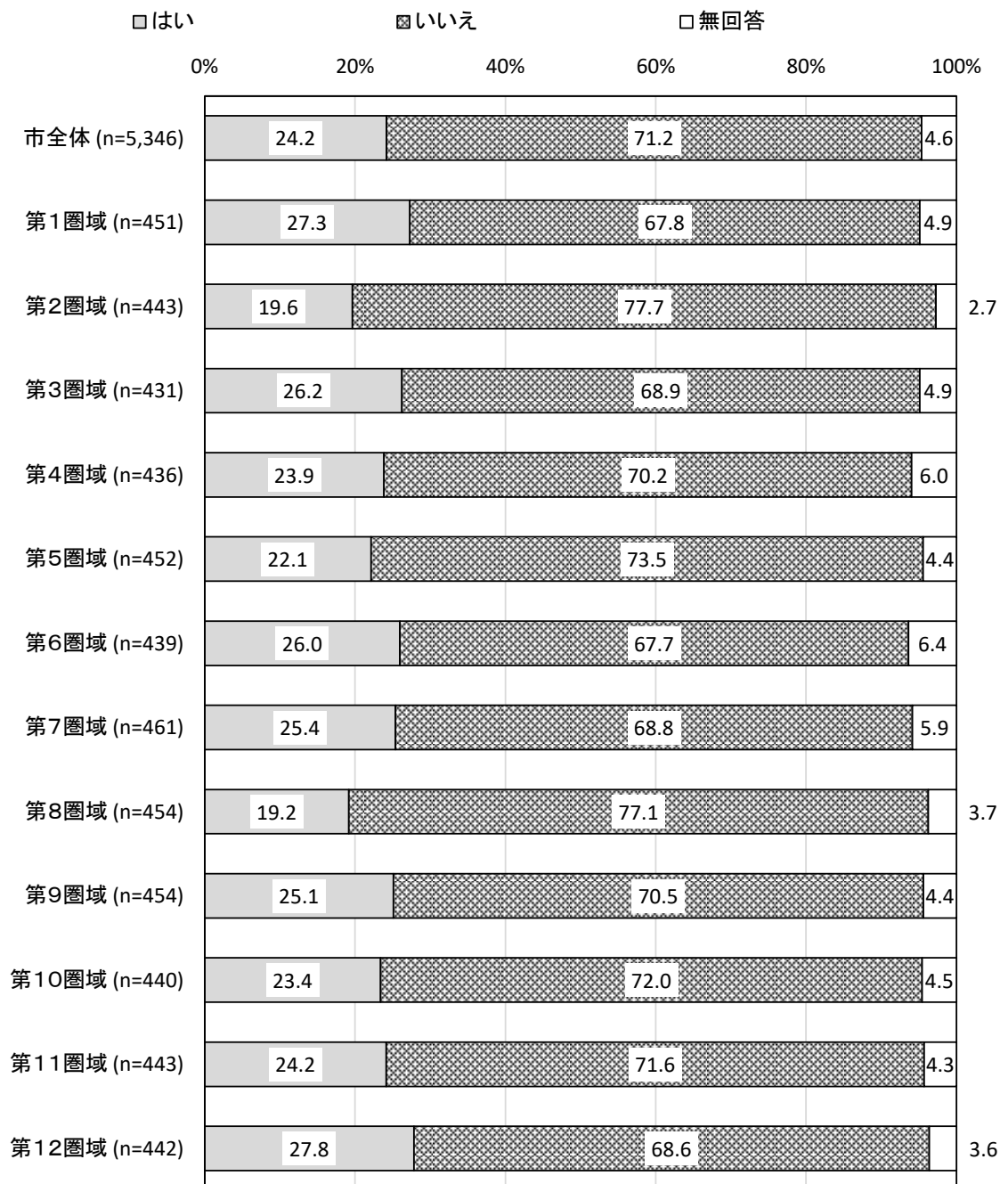
一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、「いいえ」の割合は、一般高齢者で71.3%、要支援・事業対象者で68.9%と、2.4ポイント差となっています。



II 調査結果

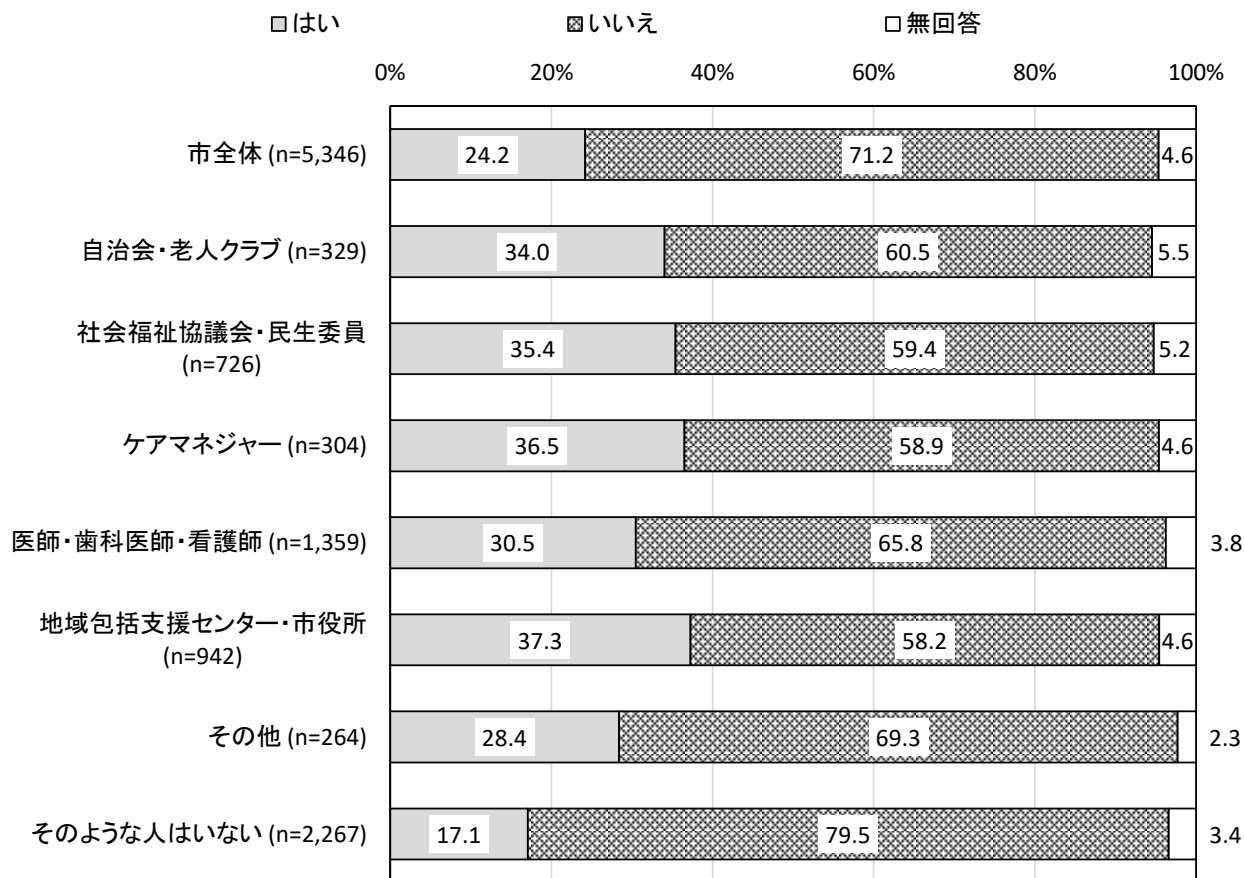
【圏域別】

圏域別でみると、「いいえ」は第2圏域で77.7%と最も高く、次いで第8圏域で77.1%、第5圏域で73.5%となっています。



【相談者の有無別】

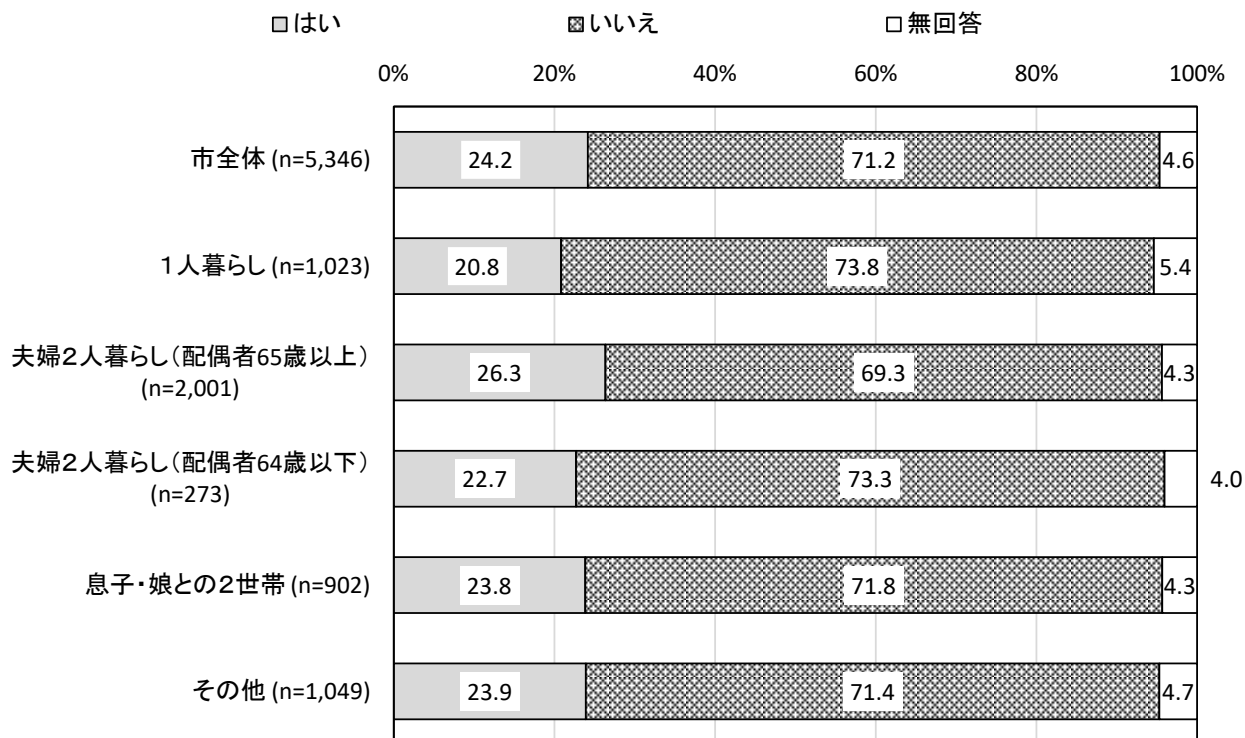
相談者の有無別でみると、他に比べ、そのような人はいないで「いいえ」が高くなっています。



II 調査結果

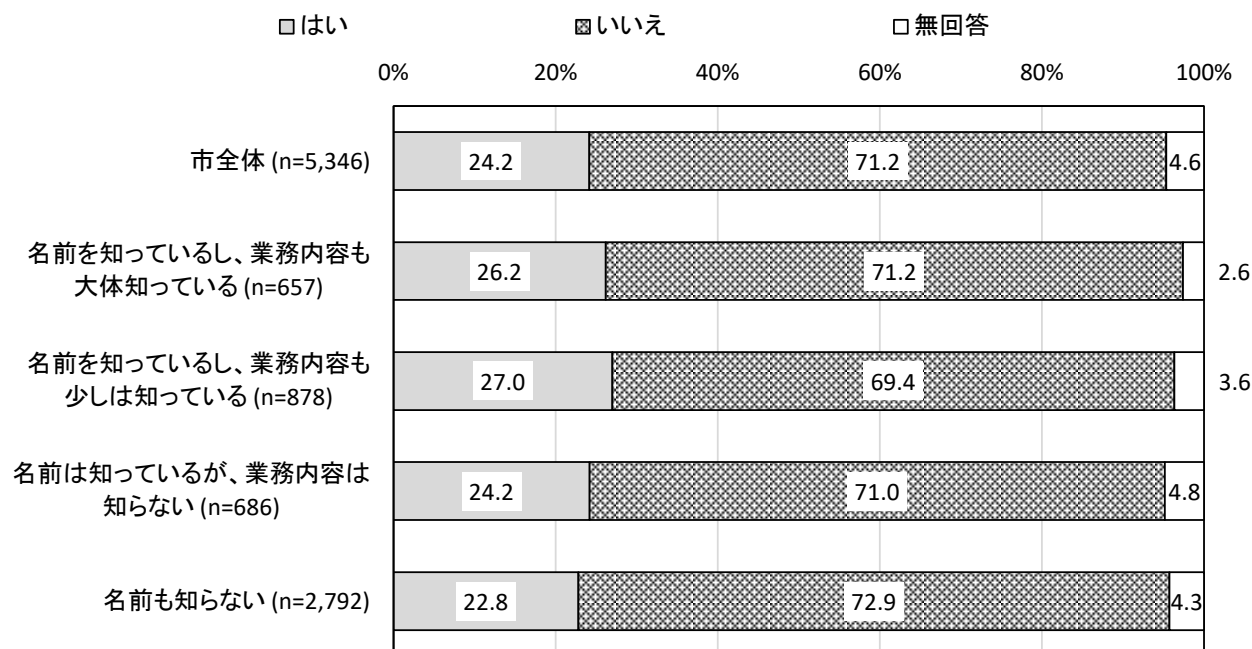
【家族構成別】

家族構成別でみると、他に比べ、1人暮らしと夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）で「いいえ」が高くなっています。



【地域包括支援センターの認知度別】

地域包括支援センターの認知度別でみると、「名前も知らない」という人で「いいえ」が72.9%と最も高くなっています。

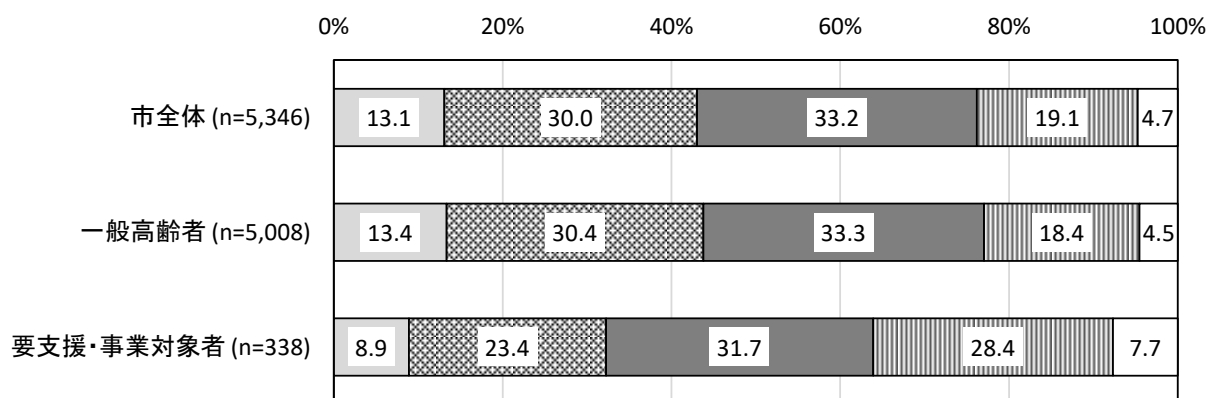


問 68 成年後見制度を知っていますか (☑は1つ)

市全体では「名前は知っているが、制度内容は知らない」が33.2%と最も高く、次いで「名前を知っているし、制度内容も少しは知っている」が30.0%、「名前も知らない」が19.1%となっています。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、一般高齢者では「名前を知っているし、制度内容も知っている」「名前を知っているし、制度内容も少しは知っている」が高くなっており、要支援・事業対象者では「名前も知らない」が高くなっています。

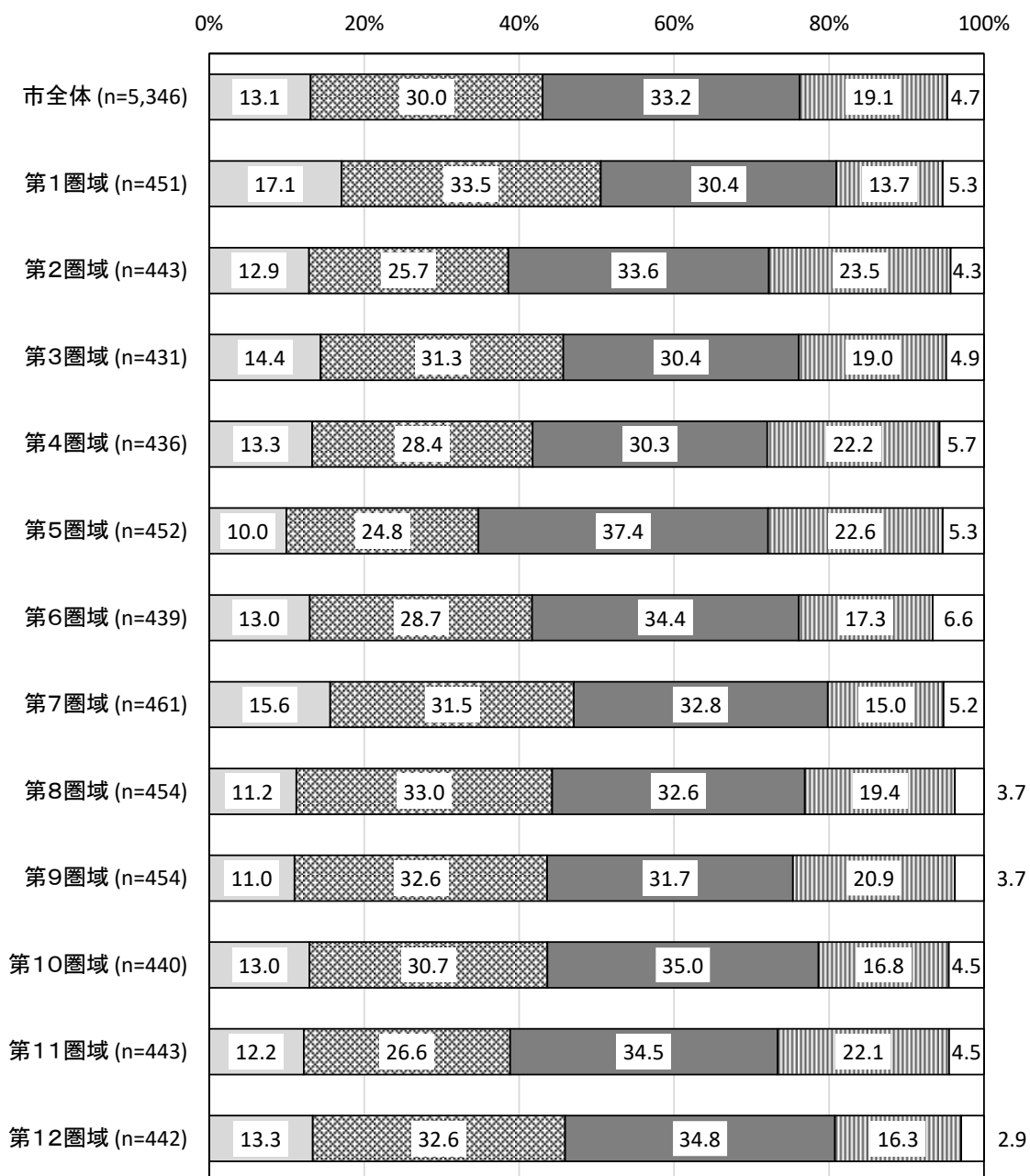
- 名前を知っているし、制度内容も知っている
- 名前を知っているが、制度内容は知らない
- 無回答
- ▨ 名前を知っているし、制度内容も少しは知っている
- ▩ 名前も知らない



【圏域別】

圏域別でみると、「名前を知っているし、制度内容も知っている」「名前を知っているし、制度内容も少しは知っている」、「名前は知っているが、制度内容は知らない」を合わせた『名前を知っている』は、第1圏域が81.0%と最も高く、次いで第12圏域が80.7%、第7圏域が79.9%となっています。一方、「名前も知らない」は第2圏域が23.5%と最も高くなっています。

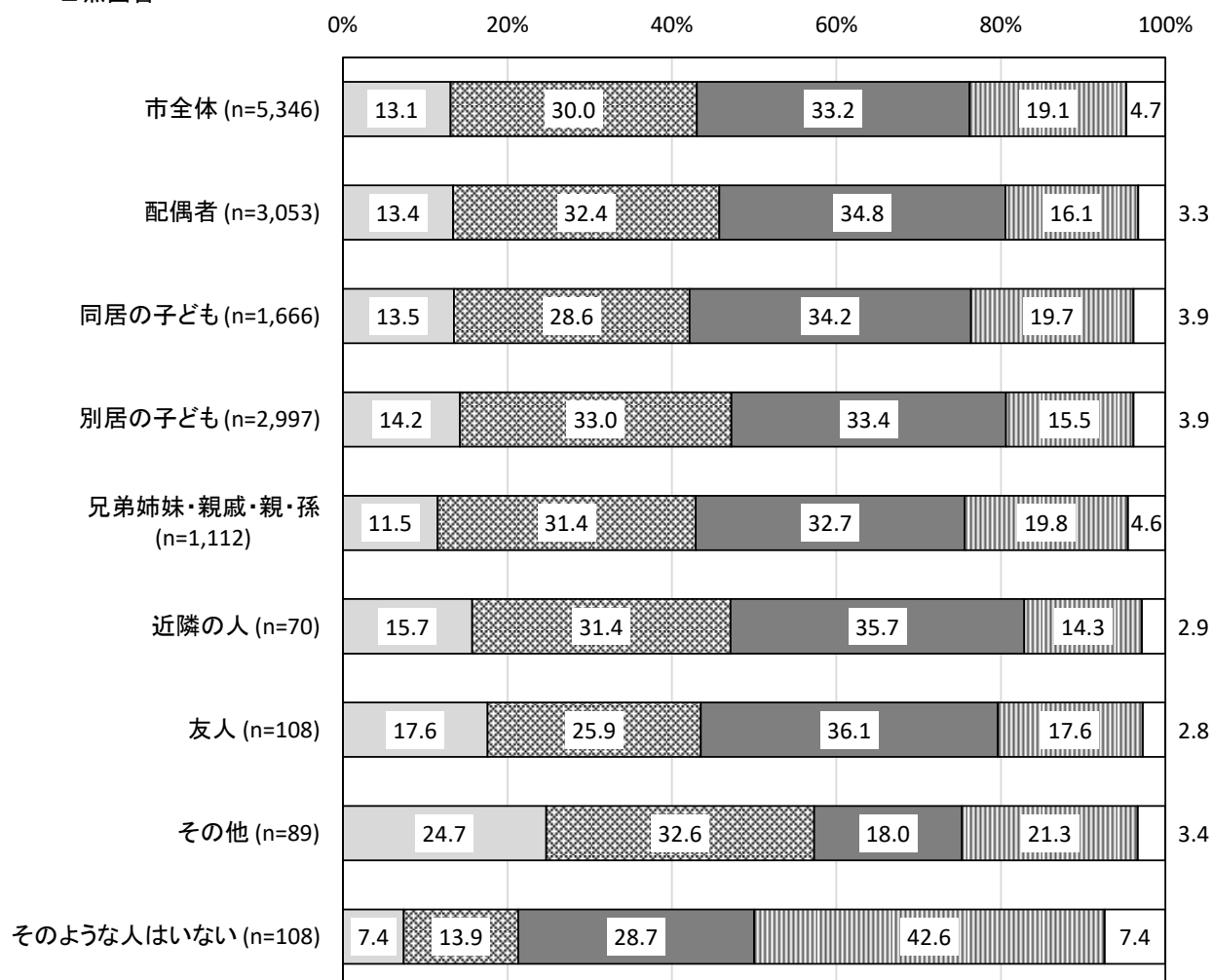
- 名前を知っているし、制度内容も知っている
- 名前は知っているが、制度内容は知らない
- 無回答
- ▨ 名前を知っているし、制度内容も少しは知っている
- ▩ 名前も知らない



【亡くなった後の手続き等を担ってくれる人の有無別】

亡くなった後の手続き等を担ってくれる人の有無別でみると、他に比べ、そのような人はいないで『名前を知っている』が低くなっており、「名前も知らない」が高くなっています。

- 名前を知っているし、制度内容も知っている
- 名前は知っているが、制度内容は知らない
- 無回答
- ▨ 名前を知っているし、制度内容も少しは知っている
- ▩ 名前も知らない



Ⅲ 要介護状態になるリスクの 発生状況等に関する分析

Ⅲ 要介護状態になるリスクの発生状況等に関する分析

調査結果をもとに、「1 要介護状態になるリスクの発生状況」、「2 日常生活」、「3 社会参加」の3つの側面から、それぞれ以下の区分でリスク判定を行いました。

1 要介護状態になるリスクの発生状況

- (1) 運動器機能低下
- (2) 閉じこもり傾向
- (3) 転倒リスク
- (4) 低栄養状態
- (5) 口腔機能低下
- (6) 認知機能低下
- (7) うつ傾向

2 日常生活

- (1) 手段的自立度（IADL）

3 社会参加

- (1) 知的能動性
- (2) 社会的役割

さらに、それぞれの判定ごとに

「性別」×「年齢階級別」、「要介護状態区分別」×「年齢階級別」、「圏域別」でのクロス集計を行い、市全体平均との比較を行いました。

1 要介護状態になるリスクの発生状況

(1) 運動器機能低下

調査票の以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を運動器のリスク該当者と判定しました。

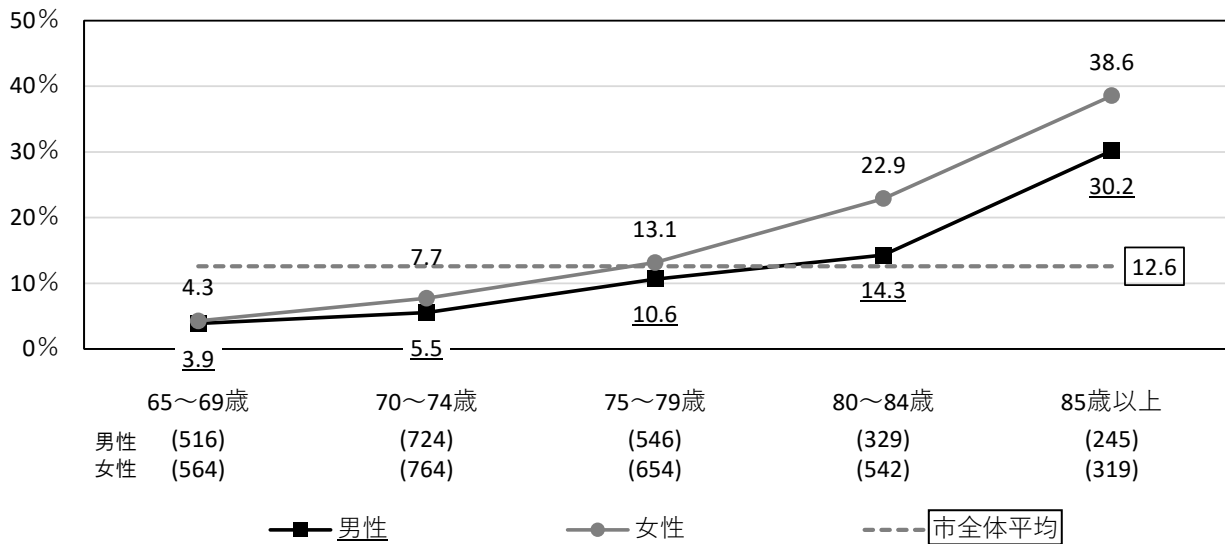
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問5	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	できない
問6	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	できない
問7	15分位続けて歩いていますか	できない
問8	過去1年間に転んだ経験がありますか	何度もある 1度ある
問9	転倒に対する不安は大きいですか	とても不安である やや不安である

【リスク該当状況】

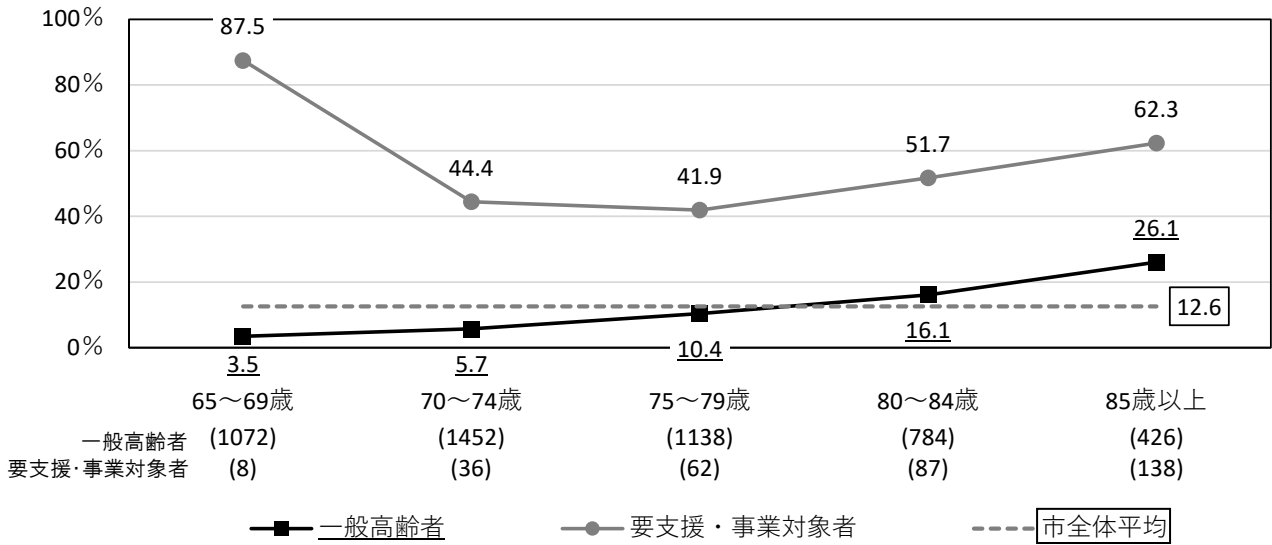
運動器機能の評価結果をみると、市全体平均で12.6%が該当者となっています。

性別・年齢階級別でみると、女性はすべての年齢階級で男性に比べて高く、85歳以上では38.6%と75～79歳に比べて25.5ポイント高くなっています。一方、男性は85歳以上で30.2%と75～79歳に比べて19.6ポイント高くなっています。



※()内は有効回答数

要介護状態区分・年齢階級別で見ると、要支援・事業対象者ではすべての年齢階級で40%を超えており、一般高齢者に比べて、とても高くなっています。85歳以上では62.3%と、75～79歳に比べて20.4ポイント高くなっています。

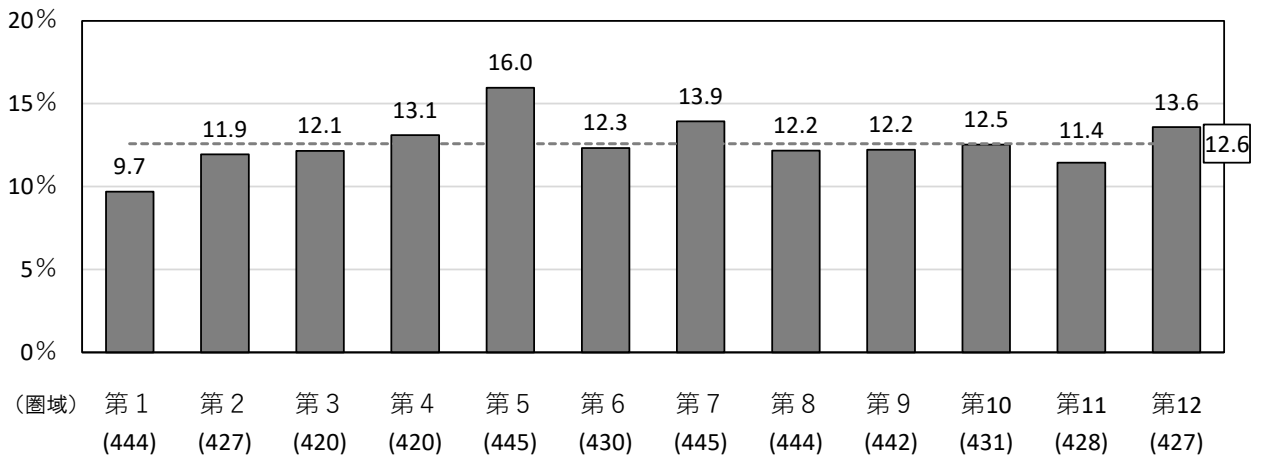


一般高齢者 (1072) 要支援・事業対象者 (8)
 (1452) (36)
 (1138) (62)
 (784) (87)
 (426) (138)

※()内は有効回答数

圏域別で見ると、第4圏域、第5圏域、第7圏域、第12圏域で市全体平均の12.6%を超えています。

最も高い圏域は第5圏域で16.0%、最も低い圏域は第1圏域で9.7%となっており、6.3ポイントの差となっています。



※()内は有効回答数

(2) 閉じこもり傾向

調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を閉じこもりのリスク該当者と判定しました。

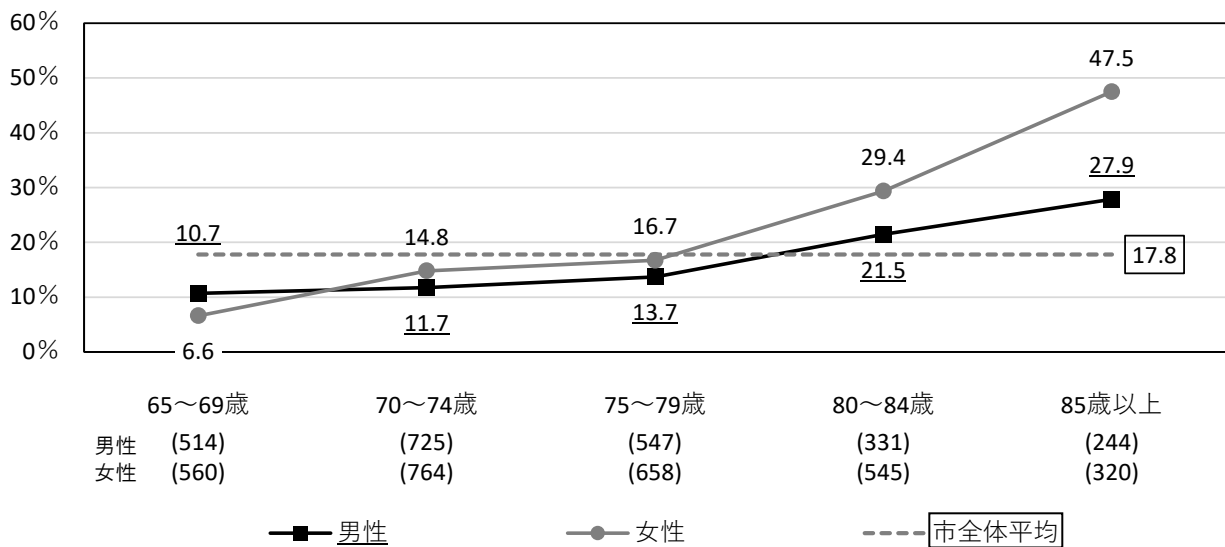
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 10	週に1回以上は外出していますか	ほとんど外出しない 週1回

【リスク該当状況】

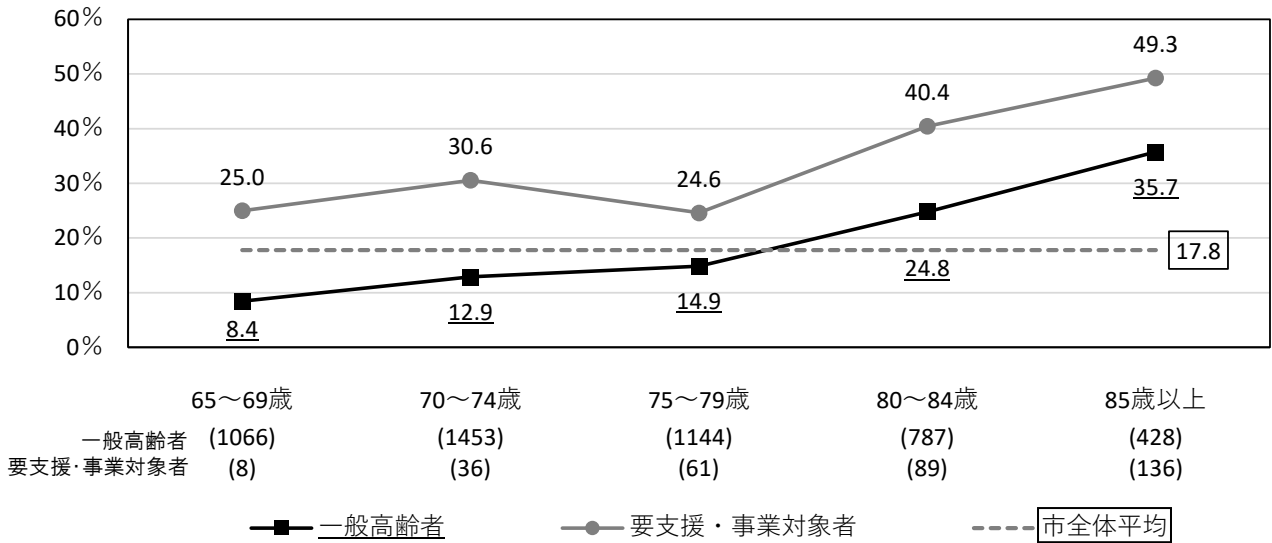
閉じこもり傾向の評価結果をみると、市全体平均で17.8%が該当者となっています。

性別・年齢階級別でみると、女性は85歳以上で47.5%と、80～84歳に比べて18.1ポイント上昇しています。また、70歳以上の年齢階級では男性に比べて女性が高く、85歳以上では19.6ポイントの差となっています。



※()内は有効回答数

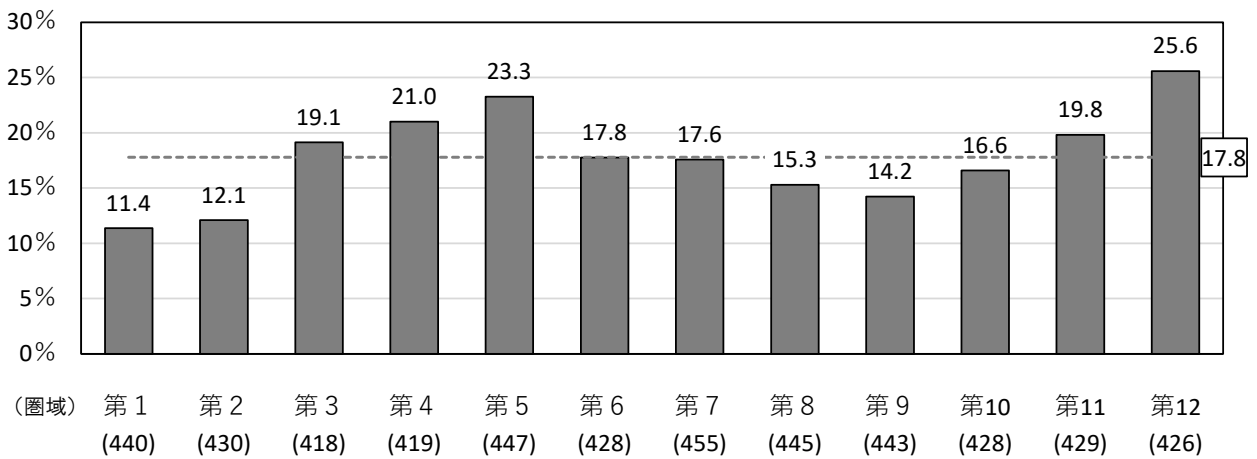
要介護状態区分・年齢階級別で見ると、要支援・事業対象者では80歳以上の年齢階級で40%を超えています。一般高齢者では、年齢階級が上がるにつれて高くなり、85歳以上で35.7%と、80～84歳に比べて10.9ポイント高くなっています。



※()内は有効回答数

圏域別で見ると、第3圏域、第4圏域、第5圏域、第11圏域、第12圏域で該当者割合が市全体平均の17.8%を超えています。

最も高い圏域は第12圏域で25.6%、最も低い圏域は第1圏域で11.4%となっており、14.2ポイントの差となっています。



※()内は有効回答数

(3) 転倒リスク

調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を転倒のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

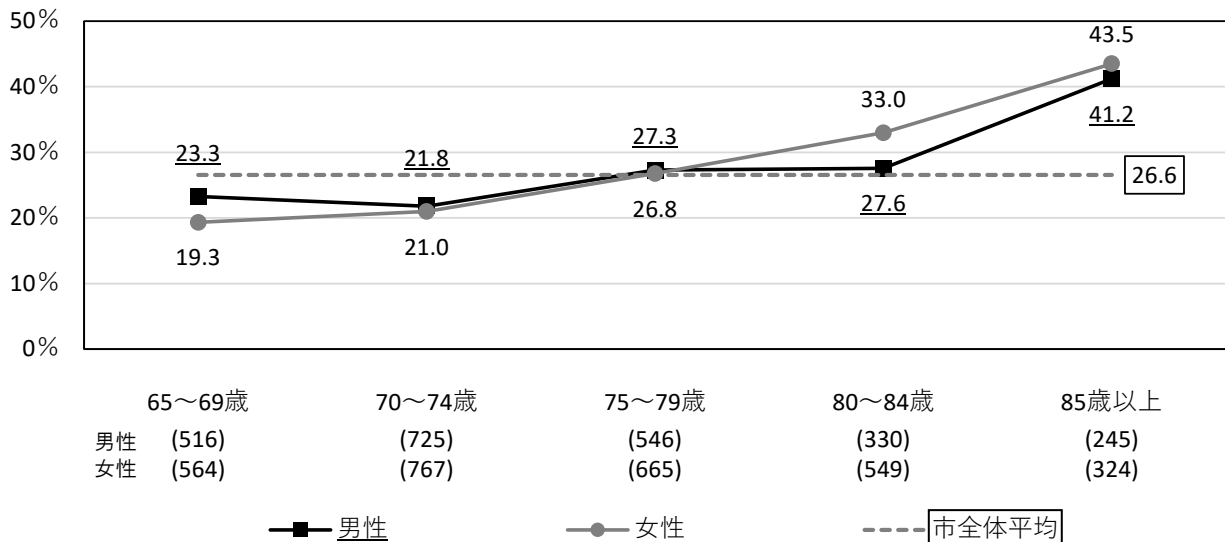
問番号	設問	該当する選択肢
問8	過去1年間に転んだ経験がありますか	何度もある 1度ある

【リスク該当状況】

転倒の評価結果をみると、市全体平均で26.6%が該当者となっています。

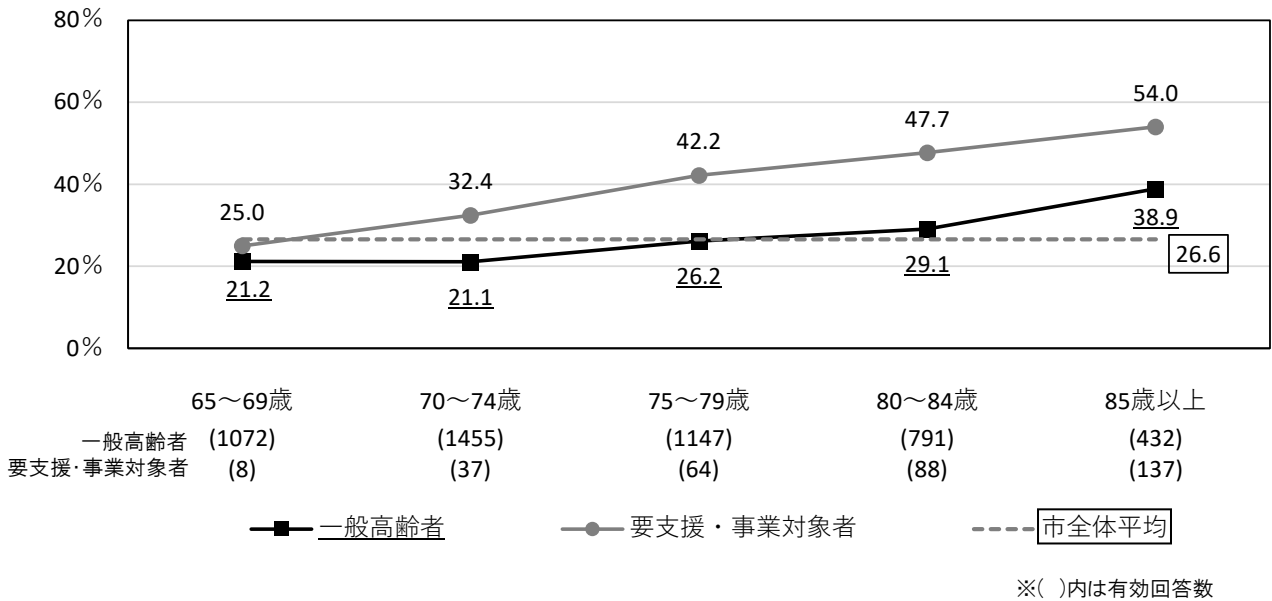
性別・年齢階級別でみると、80歳以上の年齢階級では男性に比べて女性が高くなっており、女性は85歳以上で43.5%と、80～84歳に比べて10.5ポイント上昇しています。一方、男性は85歳以上で41.2%と、80～84歳に比べて13.6ポイント上昇しています。

なお、男性、女性ともに75歳以上になると市全体平均より高くなっていきます。



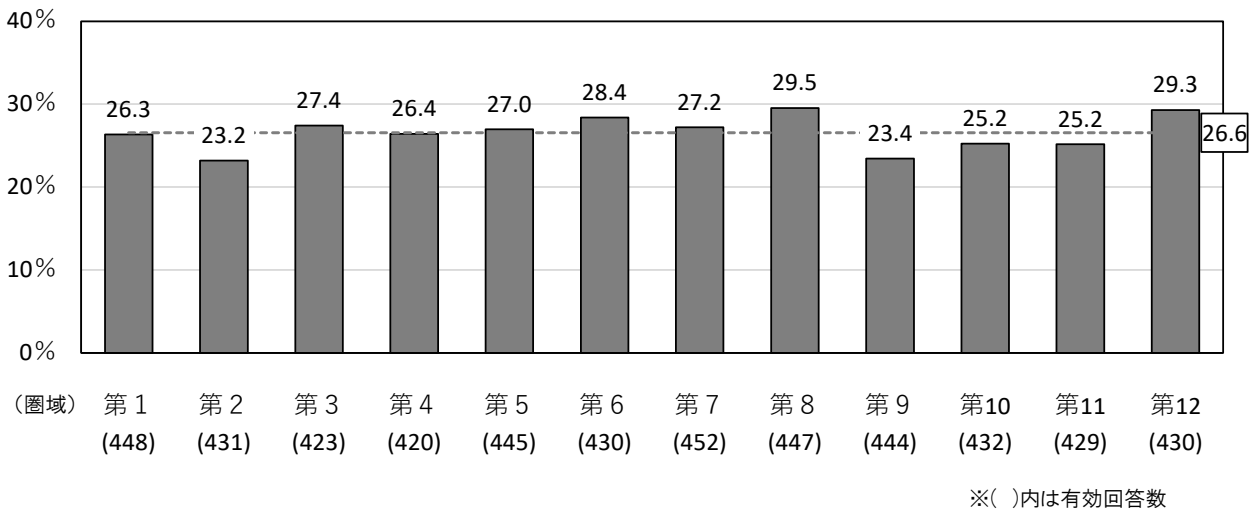
※()内は有効回答数

要介護状態区分・年齢階級別で見ると、一般高齢者、要支援・事業対象者ともに年齢階級が上がるにつれて高くなる傾向があります。85歳以上では、一般高齢者が38.9%となっているのに対し、要支援・事業対象者は54.0%と、年齢階級が上がるにつれてその差も大きくなる傾向があります。



圏域別で見ると、第3圏域、第5圏域、第6圏域、第7圏域、第8圏域、第12圏域で該当者割合が市全体平均の26.6%を超えています。

最も高い圏域は第8圏域で29.5%、最も低い圏域は第2圏域で23.2%となっており、6.3ポイントの差となっています。



(4) 低栄養状態

調査票の以下の設問を抽出し、2項目のすべてに該当する人を低栄養のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

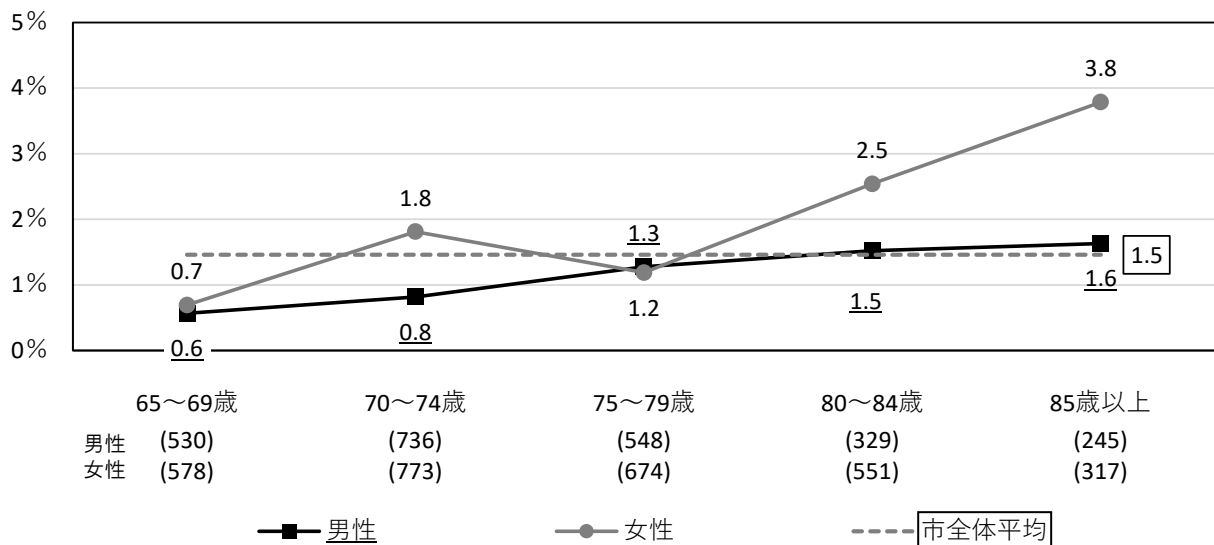
問番号	設問	該当する選択肢
問 14	身長・体重をご記入ください	BMI 18.5 未満
問 21	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	はい

【リスク該当状況】

低栄養の評価結果をみると、市全体平均で1.5%が該当者となっています。

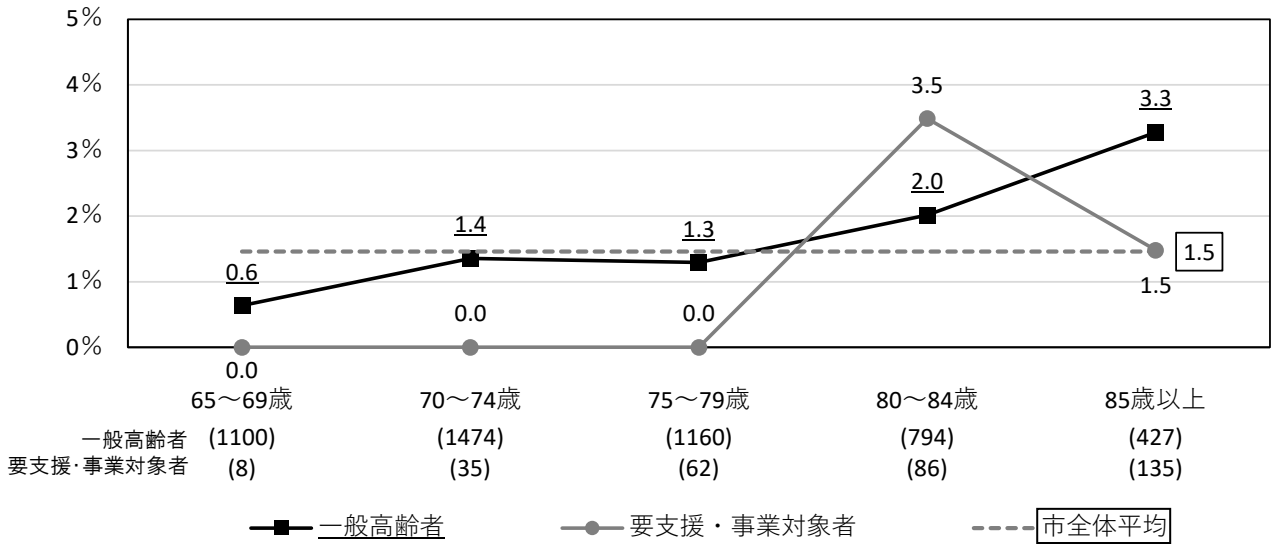
性別・年齢階級別でみると、男性、女性ともにすべての年齢階級で割合が1割未満となっていますが、85歳以上では、男性で1.6%、女性で3.8%と、他の年齢階級よりは割合が高くなっています。

なお、75～79歳を除く年齢階級で女性が男性に比べて高くなっていますが、性別による大きな差はみられません。



※()内は有効回答数

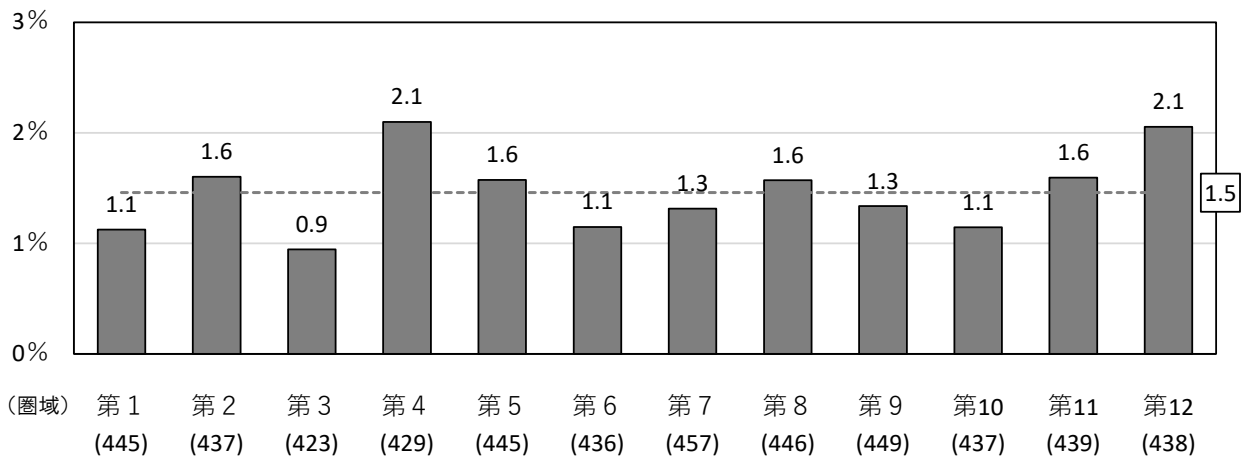
要介護状態区分・年齢階級別で見ると、要支援・事業対象者の80～84歳で3.5%と最も高くなっています。一般高齢者では、年齢階級が上がるにつれて高くなる傾向があり、80歳以上で市全体平均の1.5%を超えています。



※()内は有効回答数

圏域別で見ると、第2圏域、第4圏域、第5圏域、第8圏域、第11圏域、第12圏域で該当者割合が市全体平均の1.5%を超えています。

最も高い圏域は第4圏域と12圏域で2.1%、最も低い圏域は第3圏域で0.9%となっており、1.2ポイントの差となっています。



※()内は有効回答数

(5) 口腔機能低下

調査票の以下の設問を抽出し、3項目のうち2項目以上に該当する人を口腔機能のリスク該当者と判定しました。

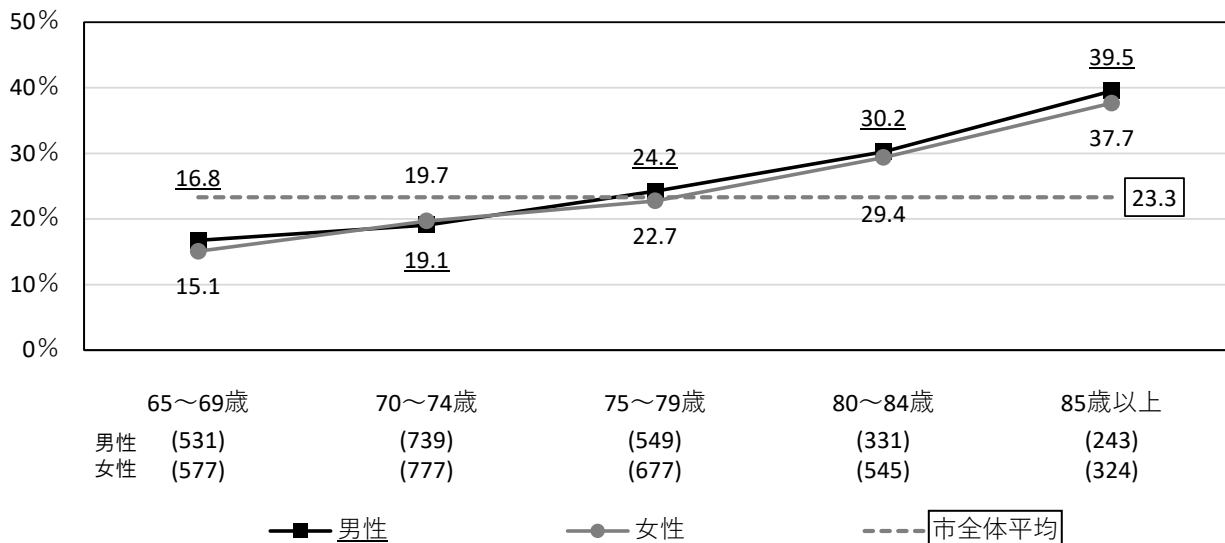
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 15	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	はい
問 16	お茶や汁物などでむせることがありますか	はい
問 17	口の渇きが気になりますか	はい

【リスク該当状況】

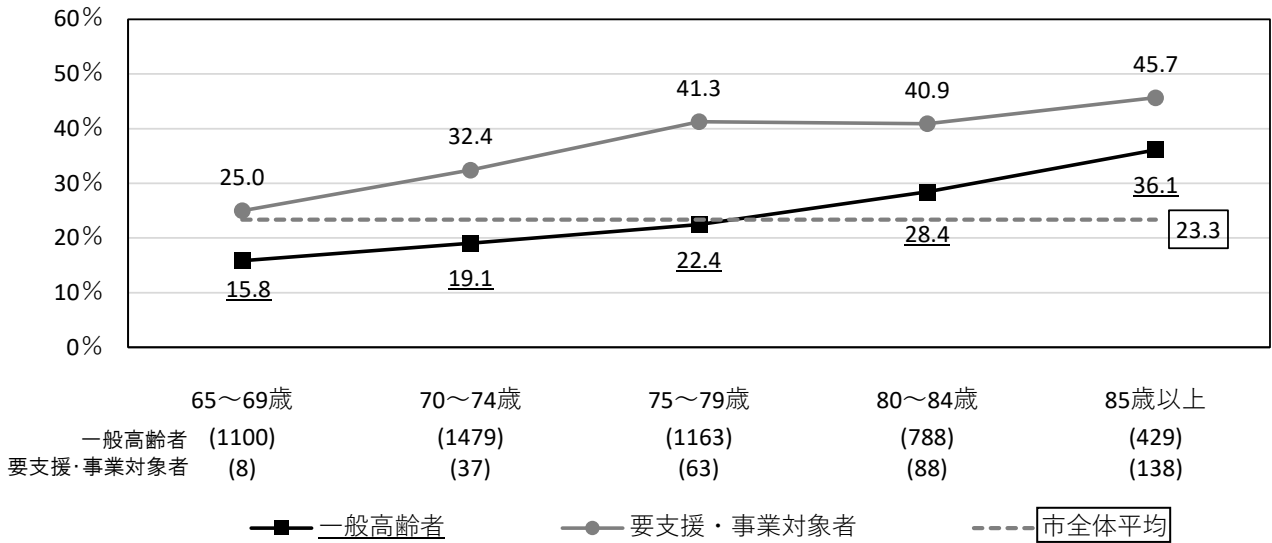
口腔機能低下の評価結果をみると、市全体平均で23.3%が該当者となっています。

性別・年齢階級別でみると、男性は75歳以上、女性は80歳以上で市全体平均を超えており、この年齢階級からリスクが高くなることがうかがえます。男性は85歳以上で39.5%と80~84歳に比べて9.3ポイント高くなっており、女性は85歳以上で37.7%と、80~84歳に比べて8.3ポイント高くなっています。



※()内は有効回答数

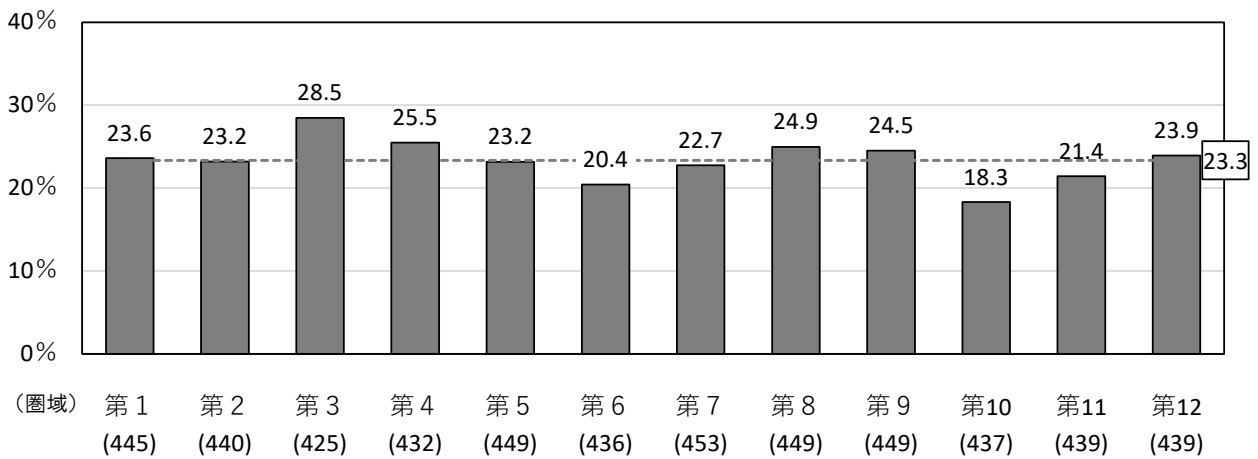
要介護状態区分・年齢階級別で見ると、一般高齢者、要支援・事業対象者ともに年齢階級が上がるにつれて高くなる傾向があります。85歳以上では、一般高齢者が36.1%となっているのに対し、要支援・事業対象者は45.7%と、その差は9.6ポイントとなっています。



※()内は有効回答数

圏域別で見ると、第1圏域、第3圏域、第4圏域、第8圏域、第9圏域、第12圏域で該当者割合が市全体平均の23.3%を超えています。

最も高い圏域は第3圏域で28.5%、最も低い圏域は第10圏域で18.3%となっており、10.2ポイントの差となっています。



※()内は有効回答数

(6) 認知機能低下

調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を認知機能のリスク該当者と判定しました。

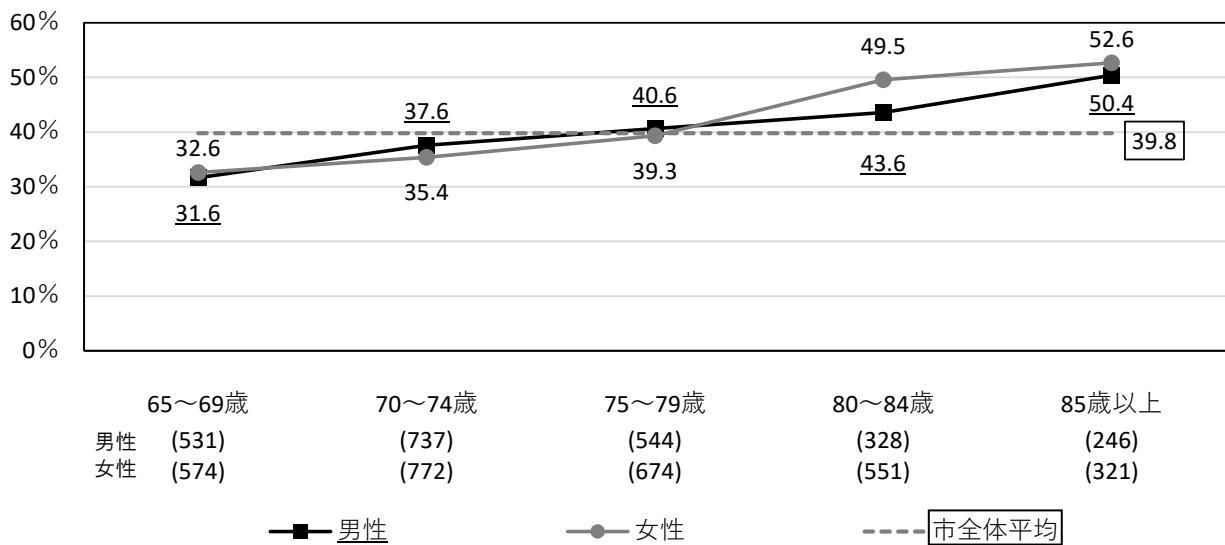
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 23	物忘れが多いと感じますか	はい

【リスク該当状況】

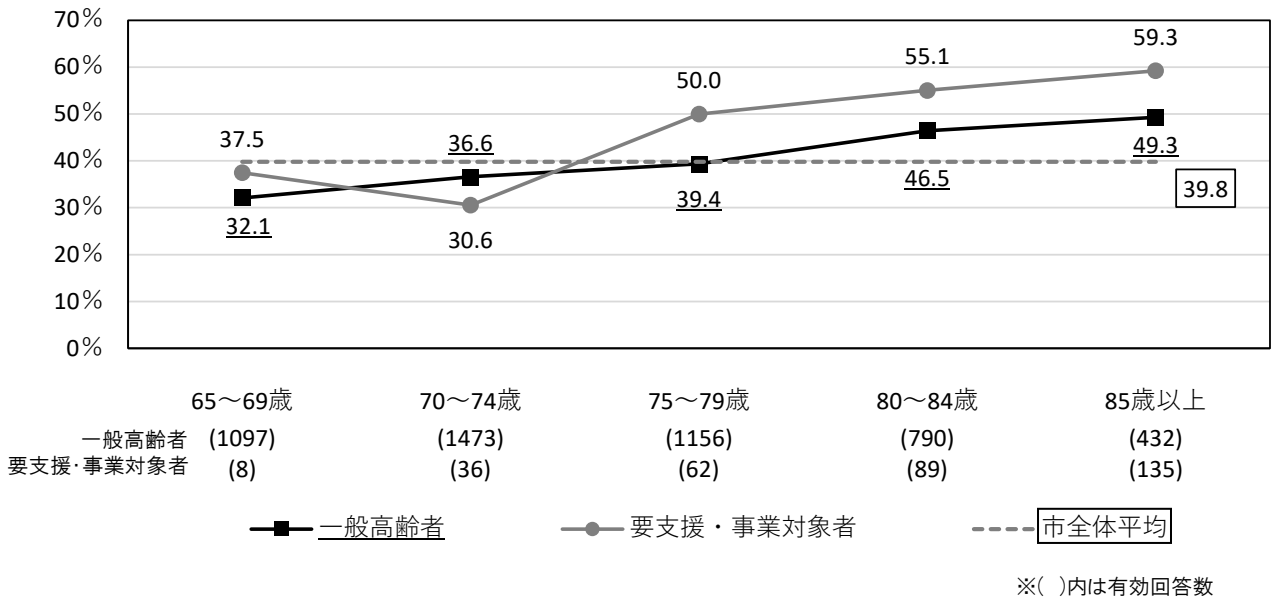
認知機能低下の評価結果をみると、市全体平均で 39.8%が該当者となっています。

性別・年齢階級別でみると、男性・女性ともに年齢階級が上がるにつれて割合が高くなり、男性は 75 歳以上、女性は 80 歳以上で市全体平均の 39.8%を超えています。



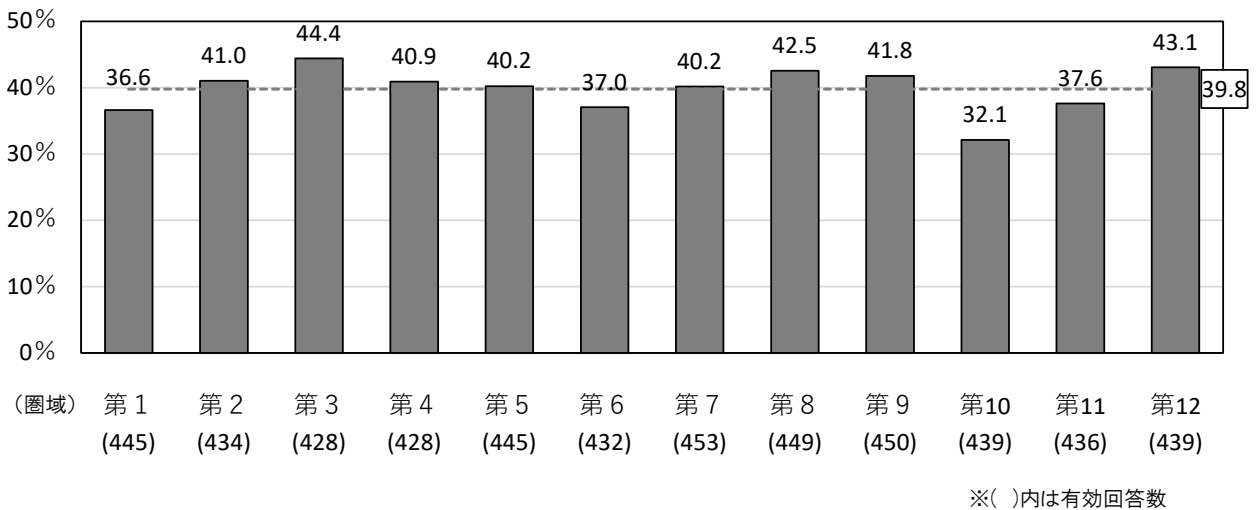
※()内は有効回答数

要介護状態区分・年齢階級別で見ると、一般高齢者では年齢階級が上がるにつれて割合が高くなり、80歳以上で市全体平均の39.8%を超えています。また、要支援・事業対象者では、70～74歳で30.6%と減少するものの、以降は年齢階級が上がるにつれて割合が高くなり、75歳以上の年齢階級で5割以上となっています。



圏域別で見ると、第2圏域、第3圏域、第4圏域、第5圏域、第7圏域、第8圏域、第9圏域、第12圏域で該当者割合が市全体平均の39.8%を超えています。

最も高い圏域は第3圏域で44.4%、最も低い圏域は第10圏域で32.1%となっており、12.3ポイントの差となっています。



(7) うつ傾向

調査票の以下の設問を抽出し、2項目のうち1項目以上に該当する人をうつのリスク該当者と判定しました。

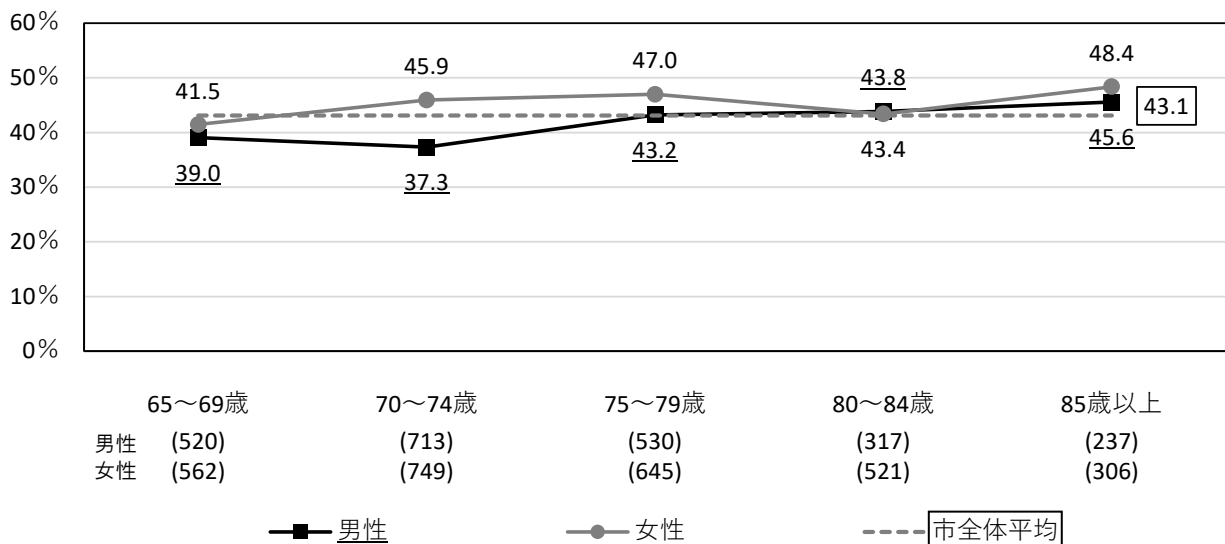
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 60	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	はい
問 61	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	はい

【リスク該当状況】

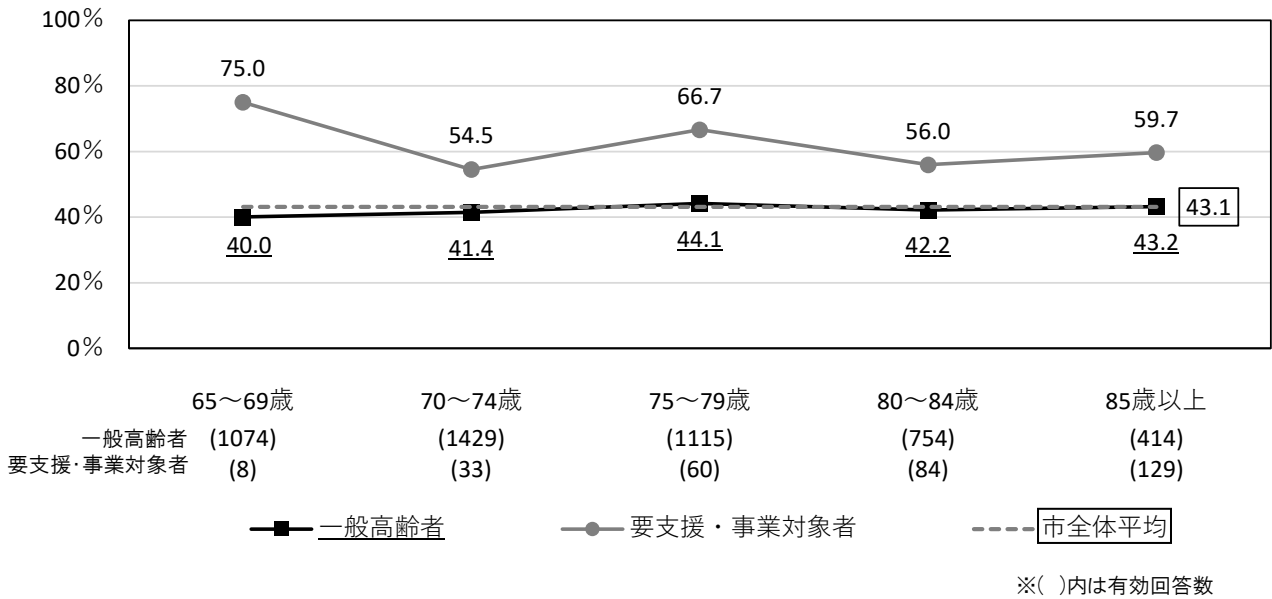
うつ傾向の評価結果をみると、市全体平均で43.1%が該当者となっています。

性別・年齢階級別でみると、女性は男性に比べて割合が高い傾向があり、65～69歳を除く年齢階級で市全体平均より高くなっています。男性は75歳以上で市全体平均より高くなっています。



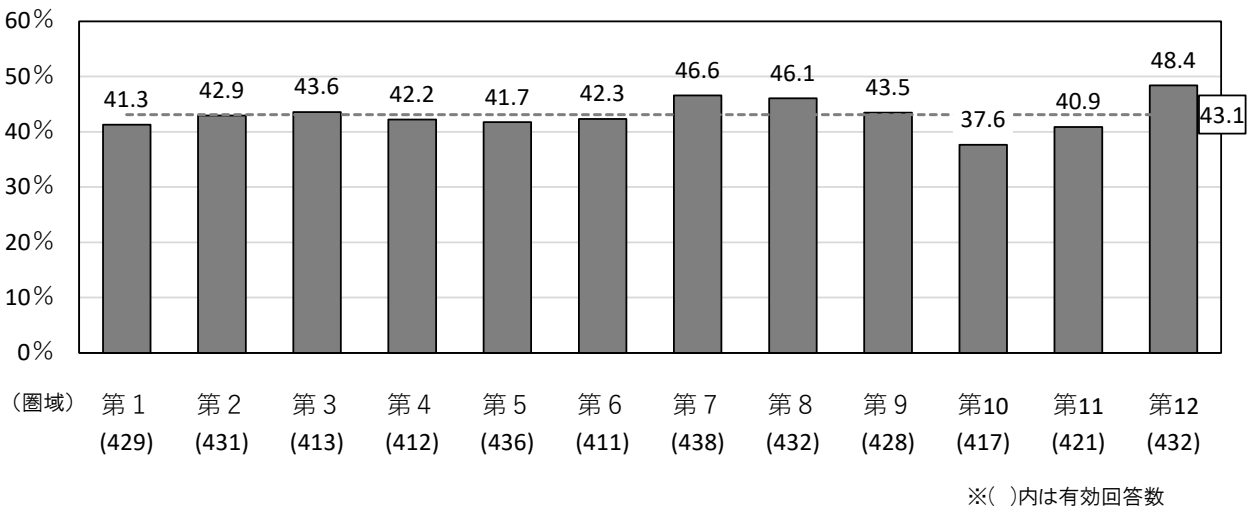
※()内は有効回答数

要介護状態区分・年齢階級別で見ると、一般高齢者はすべての年齢階級で市全体平均とほぼ同率となっており、年齢階級による差はほとんどみられません。要支援・事業対象者は一般高齢者に比べて割合が高くなっていますが、80歳以降は割合が低くなり、一般高齢者との差も小さくなっています。



圏域別で見ると、第3圏域、第7圏域、第8圏域、第9圏域、第12圏域で該当者割合が市全体平均の43.1%を超えています。

最も高い圏域は第12圏域で48.4%、最も低い圏域は第10圏域で37.6%となっており、10.8ポイントの差となっています。



2 日常生活

(1) 手段的自立度 (IADL)

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標※には、高齢者の手段的自立度 (IADL) に関する設問が5問あり、「手段的自立度 (IADL)」として尺度化されています。

評価は、各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価しています。また、4点以下を手段的自立度の低下者とし、低下者の割合を示しています。

※老研式活動能力指標とは、高齢者の生活機能の評価を行う指標のことを言います。

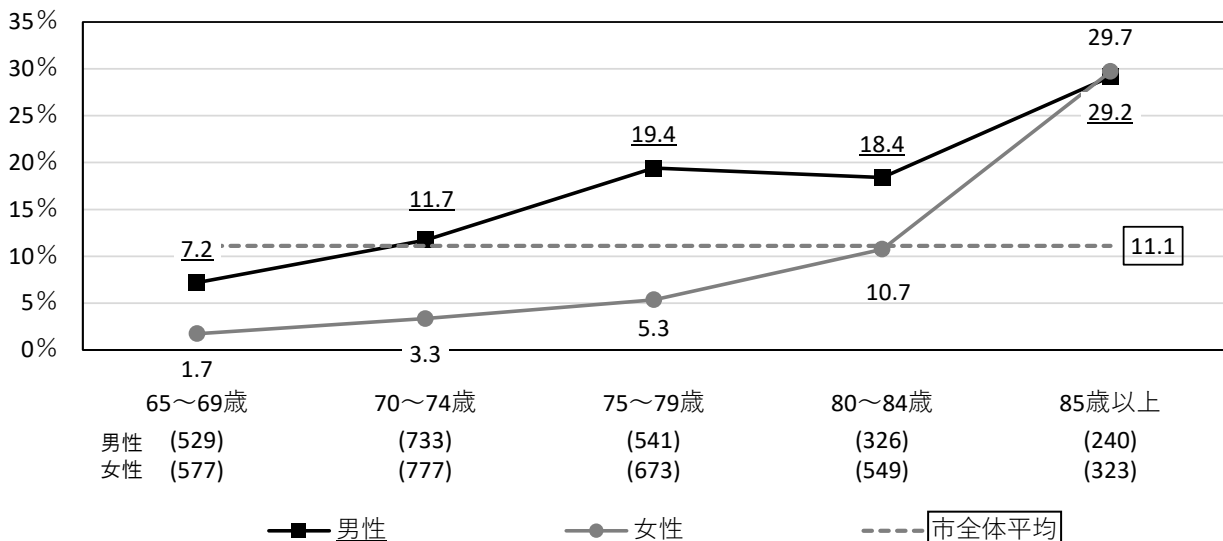
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 26	バスや電車を使って1人で外出していますか	できるし、している：1点 できるけどしていない：1点
問 27	自分で食品・日用品の買物をしていますか	できるし、している：1点 できるけどしていない：1点
問 28	自分で食事の用意をしていますか	できるし、している：1点 できるけどしていない：1点
問 29	自分で請求書の支払いをしていますか	できるし、している：1点 できるけどしていない：1点
問 30	自分で預貯金の出し入れをしていますか	できるし、している：1点 できるけどしていない：1点

【該当状況】

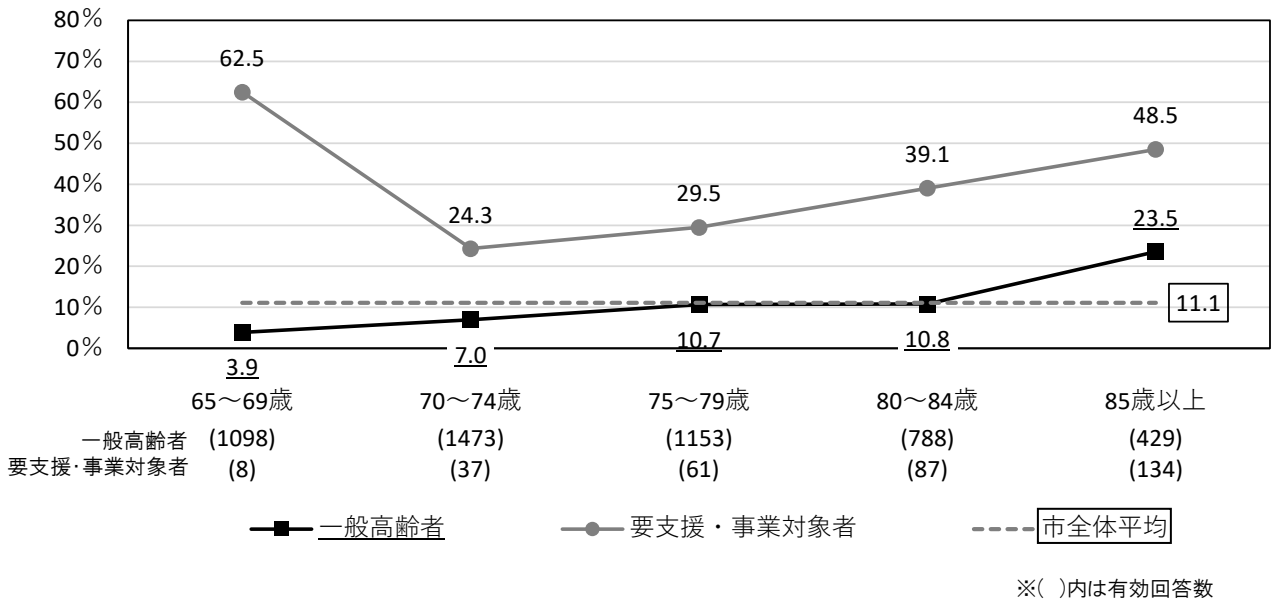
手段的自立度の低下者は、市全体平均で11.1%が該当者となっています。

性別・年齢階級別でみると、男性、女性ともに年齢階級が上がるにつれて割合が高くなっています。男性では、85歳以上で29.2%と75～79歳に比べて9.8ポイント、女性では、85歳以上で29.7%と75～79歳に比べて24.4ポイント高くなっています。



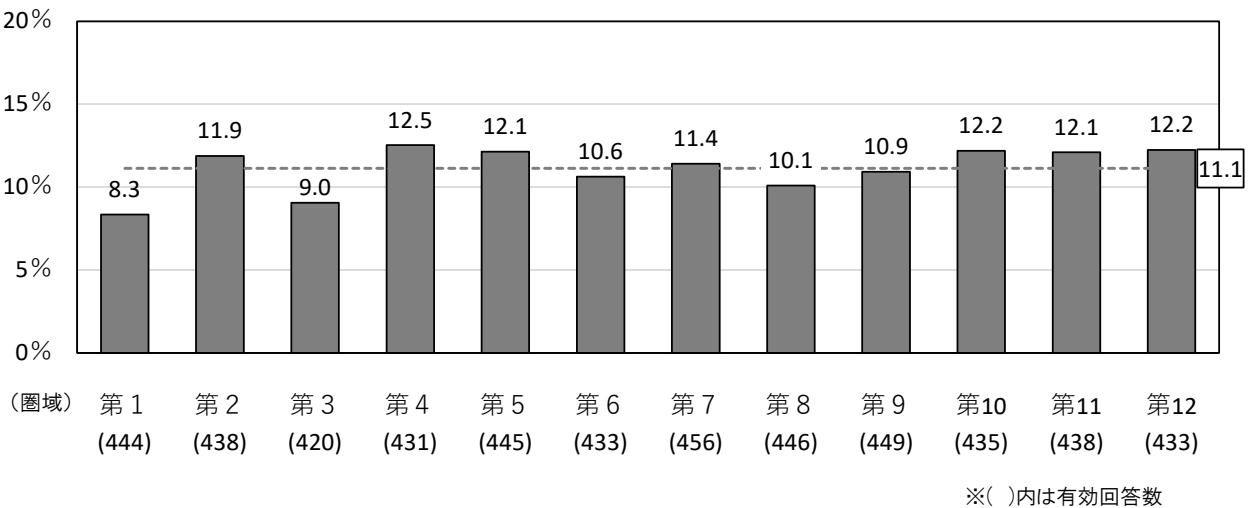
※()内は有効回答数

要介護状態区分・年齢階級別でみると、一般高齢者は年齢階級が上がるにつれて割合が高くなっており、85歳以上で23.5%と80～84歳に比べて12.7ポイント高くなっています。要支援・事業対象者はすべての年齢階級で一般高齢者より高く、特に65～69歳では58.6ポイントの差となっています。



圏域別でみると、第2圏域、第4圏域、第5圏域、第7圏域、第10圏域、第11圏域、第12圏域で該当者割合が市全体平均の11.1%を超えています。

最も高い圏域は第4圏域で12.5%、最も低い圏域は第1圏域で8.3%となっており、4.2ポイントの差となっています。



3 社会参加

(1) 知的能動性

老研式活動能力指標には、高齢者の知的活動に関する設問が4問あり、「知的能動性」として尺度化されています。

評価は、各設問に「はい」と回答した場合を1点として、4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。

また、3点以下を知的能動性の低下者とし、低下者の割合を示しています。

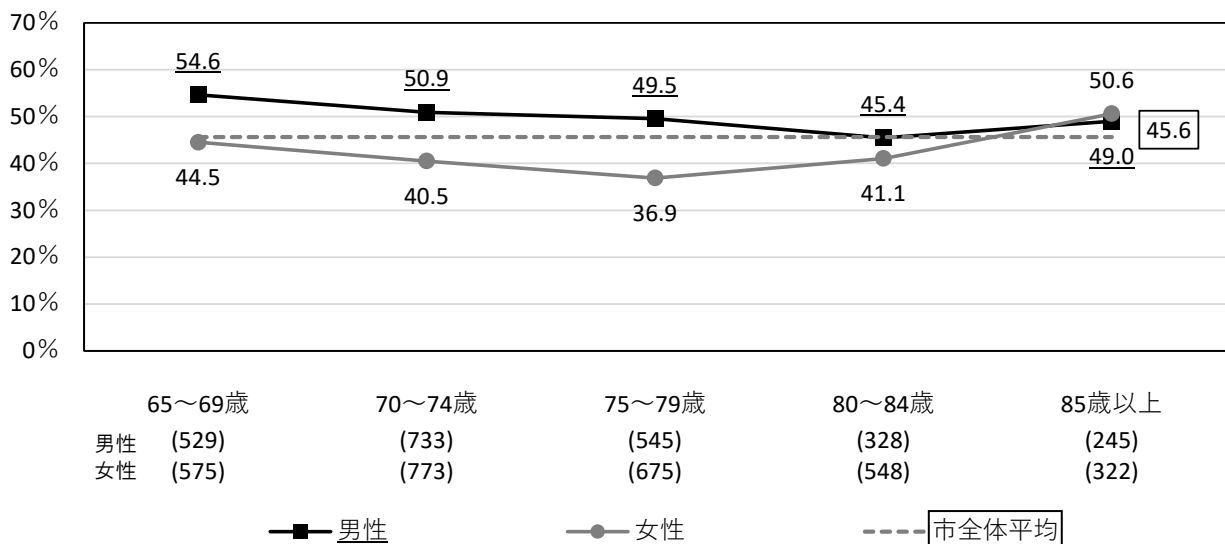
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 31	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	はい：1点
問 32	新聞を読んでいますか	はい：1点
問 33	本や雑誌を読んでいますか	はい：1点
問 34	健康についての記事や番組に関心がありますか	はい：1点

【該当状況】

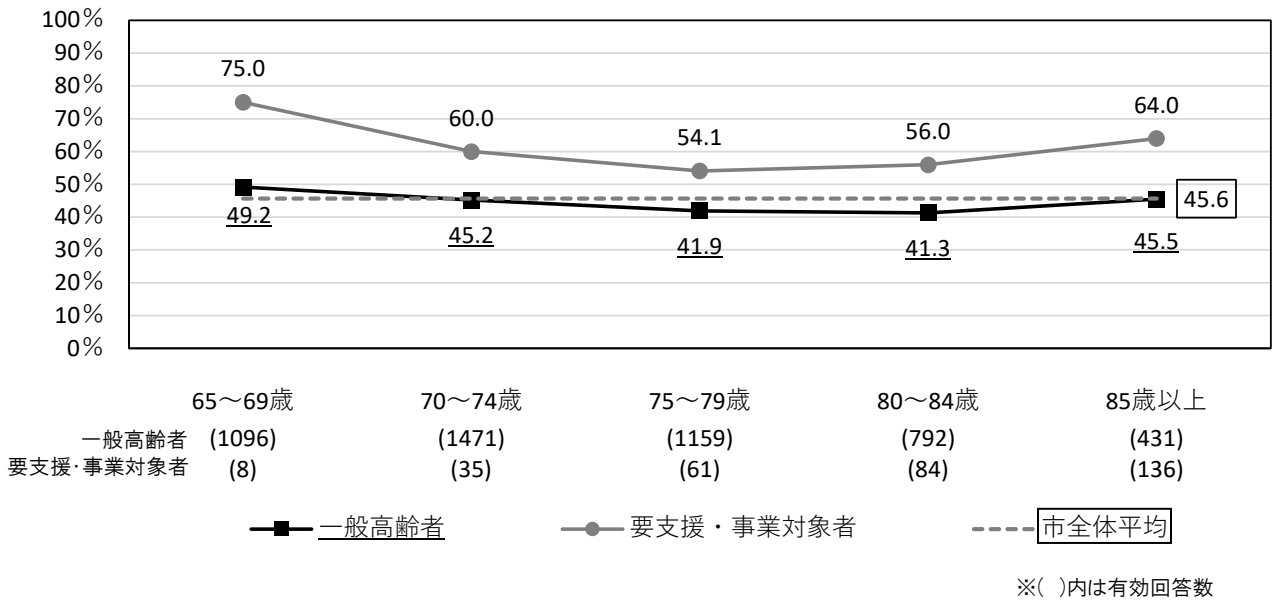
知的能動性の低下者は、市全体平均で45.6%が該当者となっています。

性別・年齢階級別で見ると、男性は65～69歳が54.6%と最も高く、80～84歳まで年齢階級が上がるにつれて低くなっています。女性は84歳まで市全体平均より低くなっていますが、85歳以上では50.6%と男性や市全体平均より高くなっています。



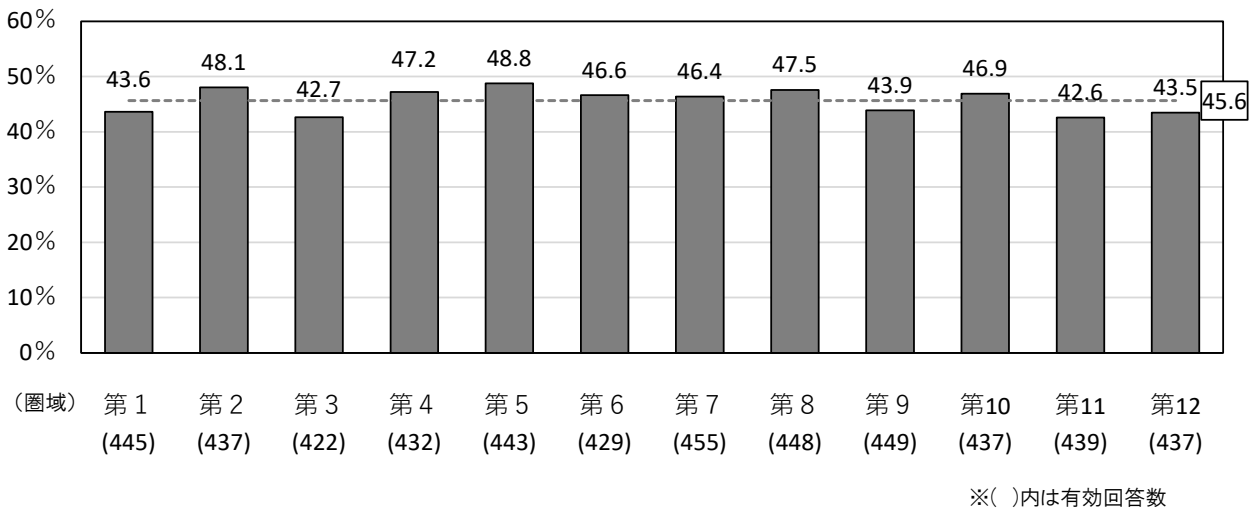
※()内は有効回答数

要介護状態区分・年齢階級別で見ると、一般高齢者では、70歳以上の年齢階級で市全体平均の45.6%より低くなっています。要支援・事業対象者はすべての年齢階級で市全体平均より高くなっています。特に、65～69歳で75.0%と、75～79歳に比べて20.9ポイント高くなっています。



圏域別で見ると、第2圏域、第4圏域、第5圏域、第6圏域、第7圏域、第8圏域、第10圏域で該当者割合が市全体平均の45.6%を超えています。

最も高い圏域は第5圏域で48.8%、最も低い圏域は第11圏域で42.6%となっており、6.2ポイントの差となっています。



(2) 社会的役割

老研式活動能力指標には、高齢者の社会活動に関する設問が4問あり、「社会的役割」として尺度化されています。

評価は、知的能動性と同様に4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。また、3点以下を社会的役割の低下者とし、低下者の割合を示しています。

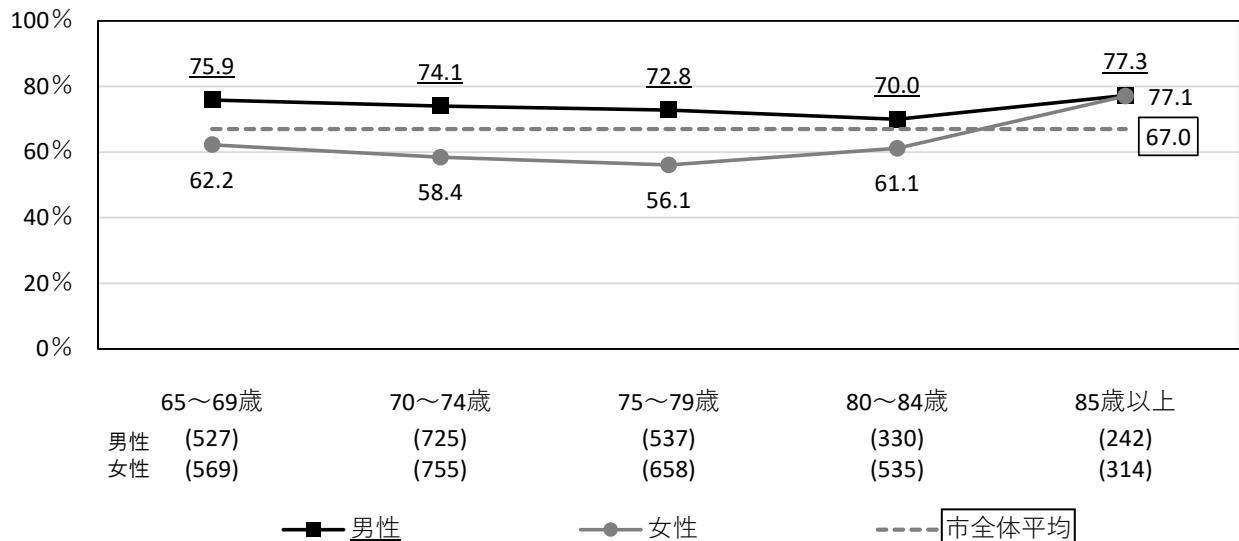
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 35	友人の家を訪ねていますか	はい：1点
問 36	家族や友人の相談にのっていますか	はい：1点
問 37	病人を見舞うことができますか	はい：1点
問 38	若い人に自分から話しかけることがありますか	はい：1点

【該当状況】

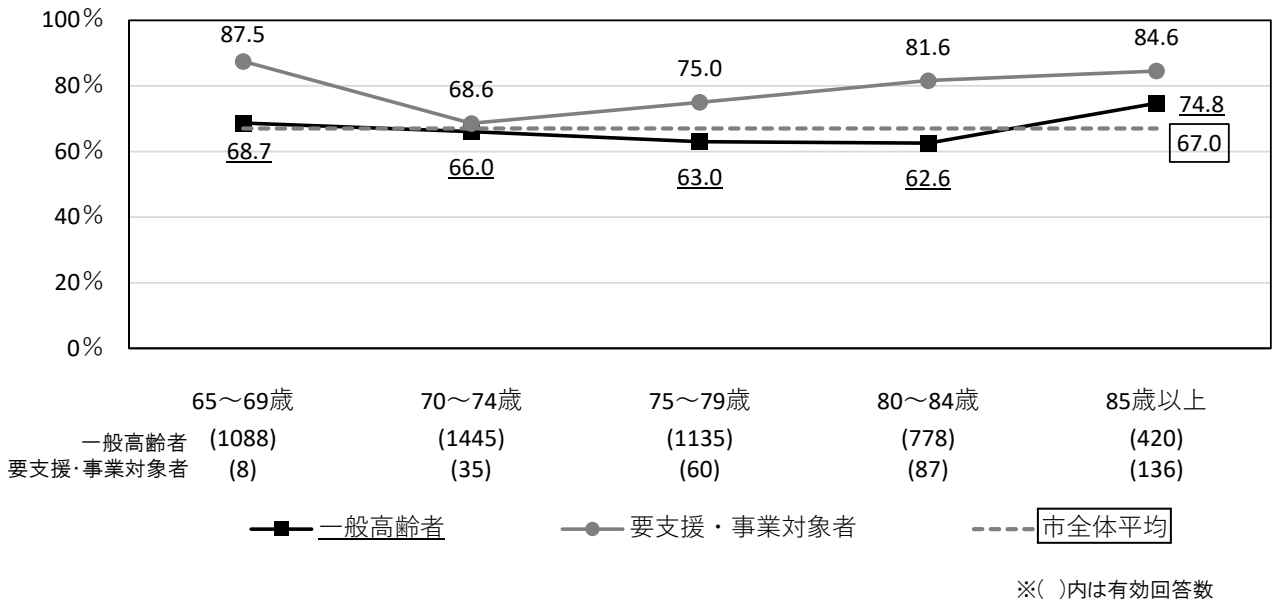
社会的役割の低下者は、市全体平均で67.0%が該当者となっています。

性別・年齢階級別で見ると、男性はすべての年齢階級で7割以上となっており、市全体平均も上回っています。女性は85歳以上で77.1%と市全体平均を超えており、75～79歳に比べて21.0ポイント高くなっています。



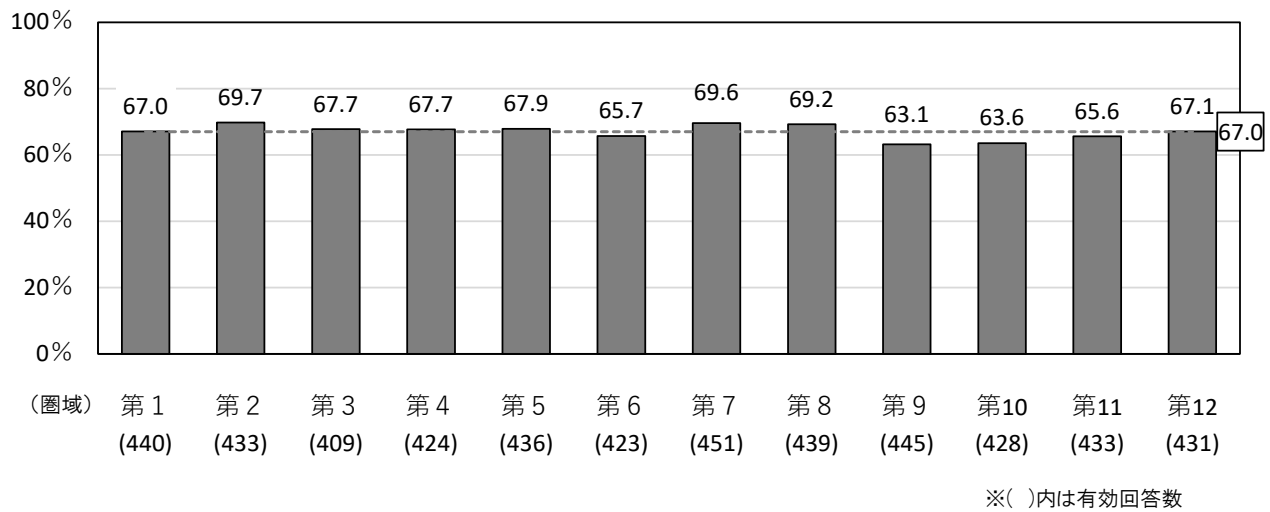
※()内は有効回答数

要介護状態区分・年齢階級別で見ると、一般高齢者は65～69歳と85歳以上の年齢階級で市全体平均の67.0%より高くなっています。要支援・事業対象者はすべての年齢階級で市全体平均より高くなっています。65～69歳で87.5%と最も高く、70～74歳で68.6%と低くなっていますが、80歳以降の年齢階級では80%を超えています。



圏域別で見ると、第2圏域、第3圏域、第4圏域、第5圏域、第7圏域、第8圏域、第12圏域で該当者割合が市全体平均の67.0%を超えています。

最も高い圏域は第2圏域で69.7%、最も低い圏域は第9圏域で63.1%となっており、6.6ポイントの差となっています。



IV 日常生活圏域ごとの特性

IV 日常生活圏域ごとの特性

今回の調査結果をもとに、12の日常生活圏域ごとの特性を検証しました。

「1 要介護状態になるリスクの発生状況」は、(1)運動器機能低下(以下「運動器」)、(2)閉じこもり傾向(以下「閉じこもり」)、(3)転倒リスク(以下「転倒」)、(4)低栄養状態(以下「低栄養」)、(5)口腔機能低下(以下「口腔機能」)、(6)認知機能低下(以下「認知機能」)、(7)うつ傾向(以下「うつ」)の7区分で判定を行い、リスク該当者の割合を左側の7項目のレーダーチャートで表示しています。

「2 日常生活」は(1)手段的自立度(IADL)で、「3 社会参加」は(1)知的能动性、(2)社会的役割の2区分で判定を行い、低下者の割合を右側の3項目のレーダーチャートで表示しています。

なお人口、高齢者人口、要支援・要介護認定者数は、令和2(2020)年4月1日現在の推計値であり、人数は概数(10人未満四捨五入)です。また、要支援・要介護認定者数は、高齢介護課の独自分析によるもので、圏域ごとの人数は、被保険者住所の大字を基に分類したものであり、実際の圏域とは異なる場合があります。

【市全体】

人口 (人)	高齢者 人口 (人)	高齢化 率 (%)	後期 高齢者 人口 (人)	後期 高齢化 率 (%)	要支援・要介護認定者数(人)							認定率 (%)	
					要支援		要介護						合計
					1	2	1	2	3	4	5		
190,016	56,965	30.0	29,430	15.5	1,352	1,130	2,711	1,440	1,249	1,257	738	9,877	17.3

出典：第8期おだわら高齢者福祉介護計画

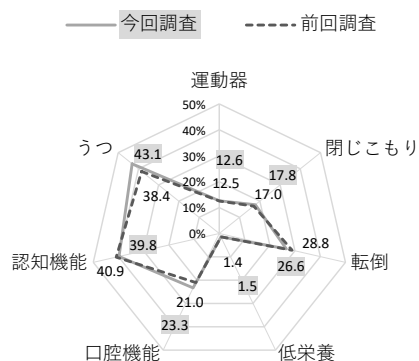
市全体でみると、要介護状態になるリスク該当者の発生状況については、うつが43.1%(前回38.4%)と最も高く、次いで認知機能が39.8%(前回40.9%)、転倒が26.6%(前回28.8%)となっています。認知機能と転倒に若干の低下がみられます。

一般高齢者と要支援・事業対象者との比較でみると、すべての項目で要支援・事業対象者が高く、特に運動器は67.9ポイント差となっています。

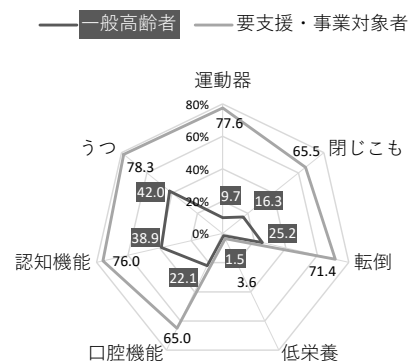
日常生活については、手段的自立度の低下者が11.1%(前回13.6%)、社会参加は知的能动性の低下者が45.6%(前回42.0%)、社会的役割の低下者が67.0%(前回60.6%)となっています。

1 要介護状態になるリスクの発生状況

①市全体

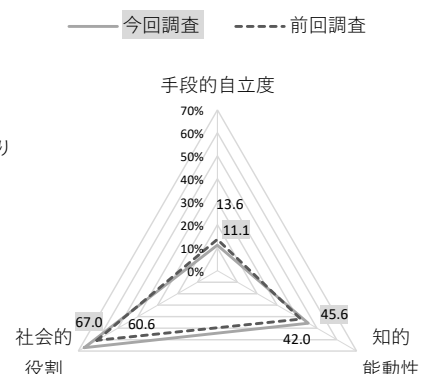


②要介護状態別

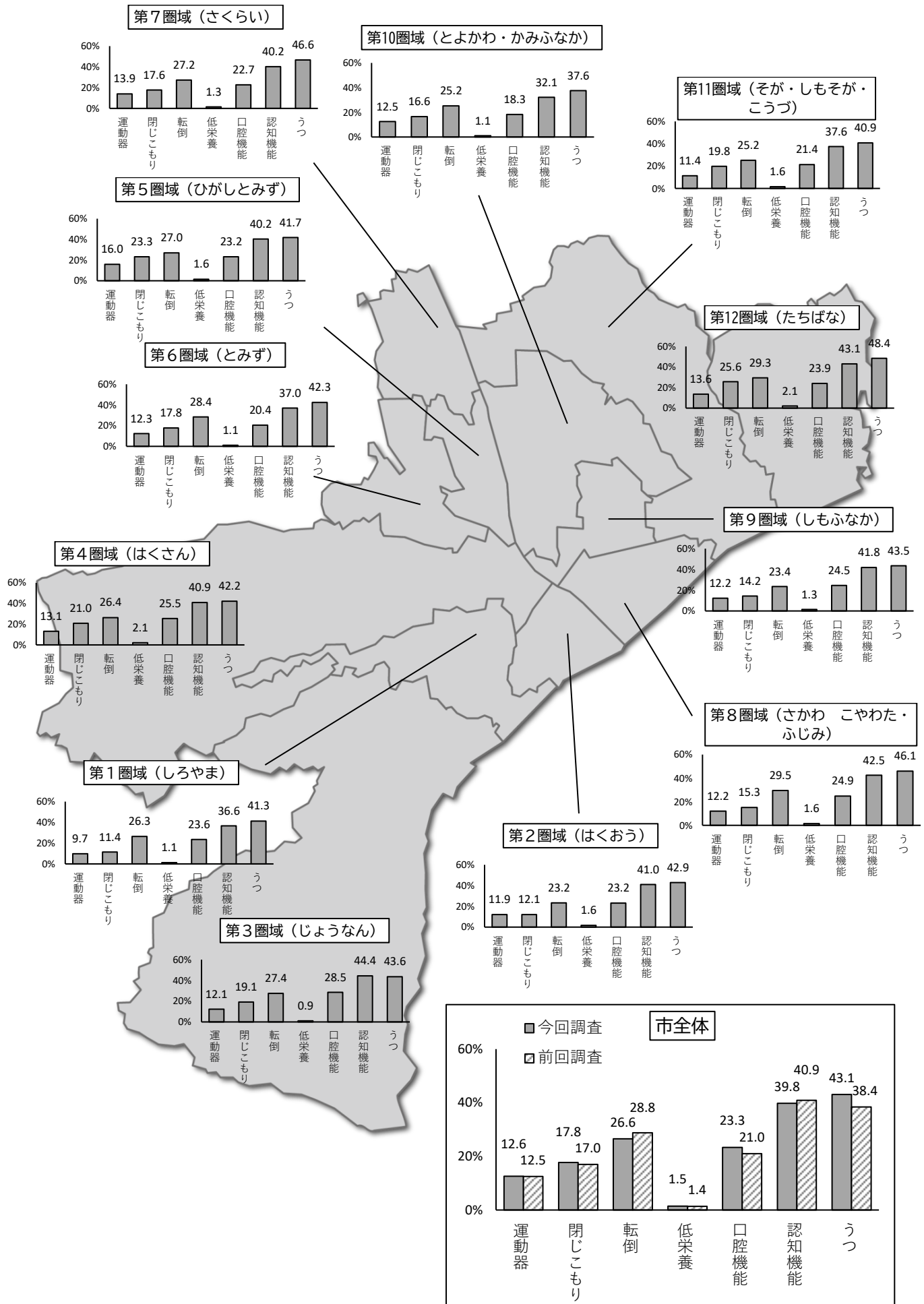


2 日常生活

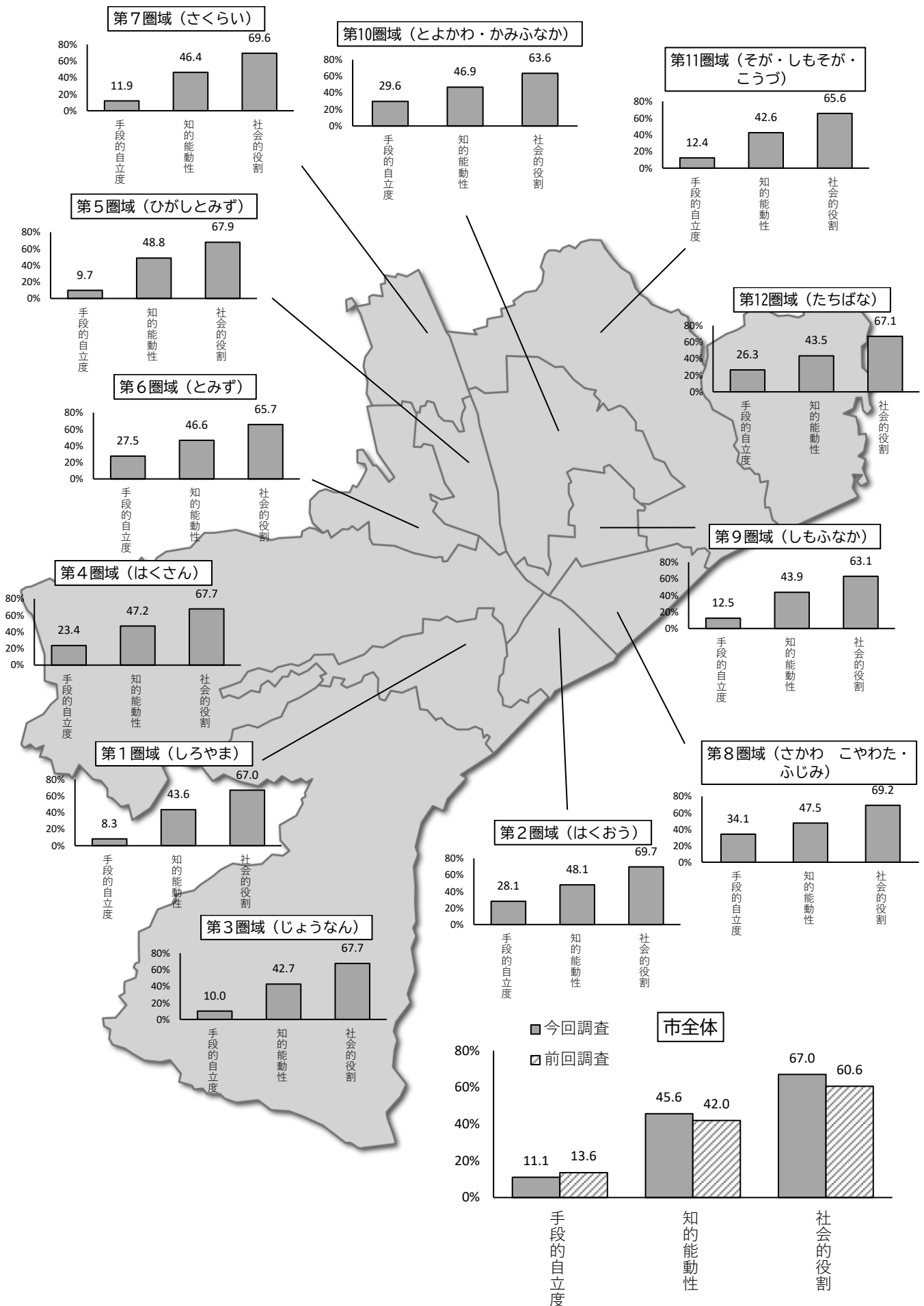
市全体



1 要介護状態になるリスクの発生状況（日常生活圏域別）



2 日常生活、3 社会参加 におけるリスク発生状況（日常生活圏域別）



【第1圏域】（緑、万年、幸、芦子）

※網掛け部は市全体

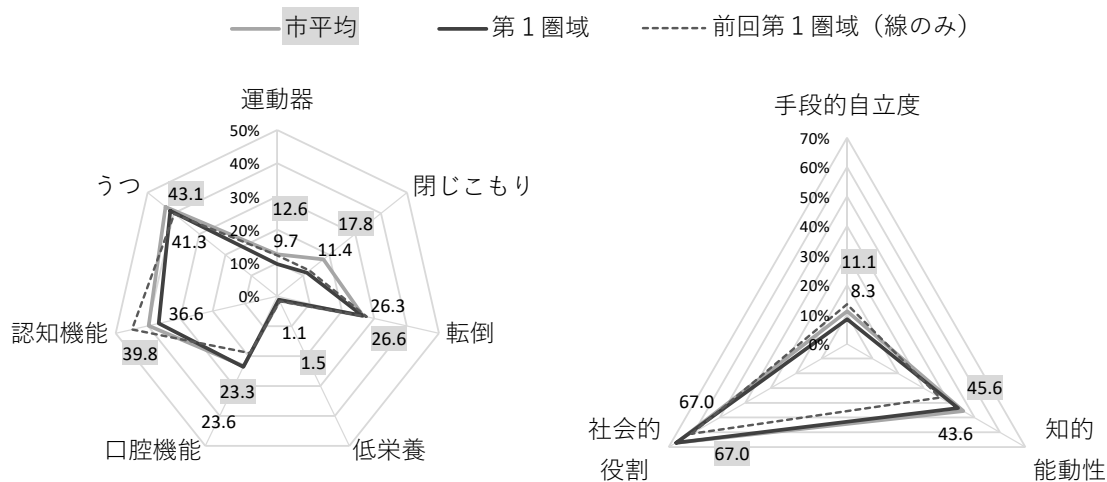
人口 (人)	高齢者 人口 (人)	高齢化 率 (%)	後期 高齢者 人口 (人)	後期 高齢化 率 (%)	要支援・要介護認定者数(人)							認定率 (%)	
					要支援		要介護						合計
					1	2	1	2	3	4	5		
18,501	5,466	29.5	2,876	15.5	153	122	260	165	118	121	85	1,024	18.7
3番目	2番目	6番目	2番目	6番目	/	/	/	/	/	/	/	1番目	1番目
190,016	56,965	30.0	29,430	15.5	1,352	1,130	2,711	1,440	1,249	1,257	738	9,877	17.3

出典：第8期おだわら高齢者福祉介護計画

第1圏域は、小田原駅を中心に本市の中心市街地として位置づけられ、相模湾に面する漁師まちの風情が残る地区も含まれており、小田原市の顔ともいえる圏域です。本市の中で人口は3番目、高齢者人口は2番目で、高齢化率は6番目となっています。認定率は18.7%と第6圏域と並び最も高く、国の平均18.5%、市全体の17.3%より高くなっています。

生活機能評価の項目で市平均を上回った項目は、「口腔機能」のみとなっています。市平均より0.3ポイント高くなっており、前回(19.0%)から4.6ポイント高くなっています。一方、閉じこもりは市平均より6.4ポイント、認知機能は3.2ポイント低くなっています。

また、「社会的役割」が市平均と同率となっており、「手段的自立度(IADL)」「知的能動性」は市全体より低くなっています。



【第2圏域】（新玉、山王網一色、足柄）

※網掛け部は市全体

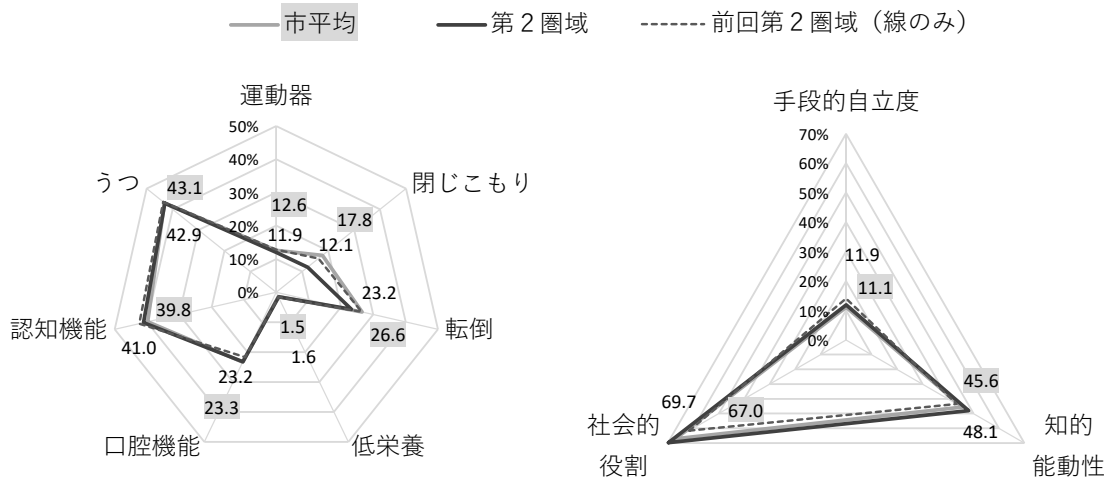
人口 (人)	高齢者 人口 (人)	高齢化 率 (%)	後期 高齢者 人口 (人)	後期 高齢化 率 (%)	要支援・要介護認定者数(人)							認定率 (%)	
					要支援		要介護						合計
					1	2	1	2	3	4	5		
15,119	4,674	30.9	2,441	16.1	118	112	258	123	95	100	58	864	18.5
7番目	7番目	3番目	7番目	3番目								5番目	4番目
190,016	56,965	30.0	29,430	15.5	1,352	1,130	2,711	1,440	1,249	1,257	738	9,877	17.3

出典：第8期おだわら高齢者福祉介護計画

第2圏域は、第1圏域の東側に位置し、小田原駅にも徒歩圏内の地区が多く、幹線道路である国道1号線が通り、住宅地が広がっています。本市の中で人口・高齢者人口ともに7番目、高齢化率は3番目となっています。認定率は18.5%と4番目で、国の平均と同率となっており、市の平均17.3%より高くなっています。

生活機能評価の項目でリスク該当者の割合をみると、「低栄養」と「認知機能」が市平均より高くなっていますが、他は市平均を下回っています。特に「閉じこもり」は市平均より5.7ポイント、「転倒」は3.4ポイント低くなっています。前回との比較でみると、「口腔機能」が前回(21.7%)から1.5ポイント高くなっています。

また、「手段的自立度(IALD)」「知的能動性」「社会的役割」においてリスク該当者が市平均より高くなっています。



【第3圏域】(十字、片浦、早川、大窪)

※網掛け部は市全体

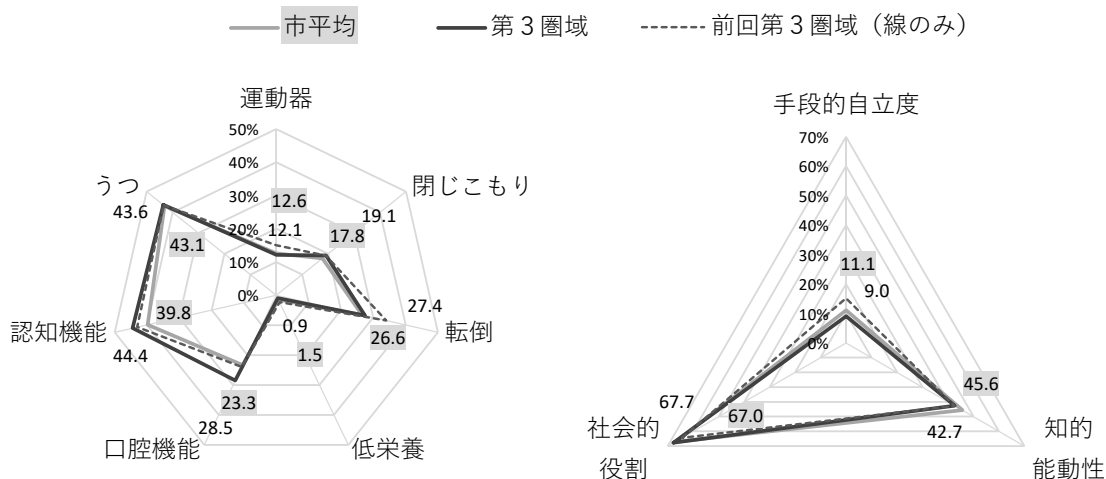
人口 (人)	高齢者 人口 (人)	高齢化 率 (%)	後期 高齢者 人口 (人)	後期 高齢化 率 (%)	要支援・要介護認定者数(人)							認定率 (%)	
					要支援		要介護						合計
					1	2	1	2	3	4	5		
13,911	5,038	36.2	2,747	19.7	138	104	239	119	137	130	70	937	18.6
9 番目	5 番目	2 番目	4 番目	1 番目								3 番目	3 番目
190,016	56,965	30.0	29,430	15.5	1,352	1,130	2,711	1,440	1,249	1,257	738	9,877	17.3

出典：第8期おだわら高齢者福祉介護計画

第3圏域は市街地の南西部に位置し、早川の下流で相模湾に面した、JR東海道本線の沿線の圏域で、相模湾からの急激な丘陵地となっています。本市の中で人口は9番目、高齢者人口は5番目ですが、高齢化率は2番目となっています。認定率は18.6%と3番目で、国の平均18.5%、市の平均17.3%より高くなっています。

生活機能評価の項目で市の平均を上回った項目は、「閉じこもり」「転倒」「口腔機能」「認知機能」「うつ」となっており、特に「口腔機能」が5.2ポイント、「認知機能」が4.6ポイント、それぞれ市平均より高くなっています。前回との比較でも、「口腔機能」は前回(24.0%)から4.5ポイント高くなっています。一方、「転倒」は市平均より高くなっていますが、前回(34.0%)からは6.6ポイント低くなっています。

また、「社会的役割」で市平均よりリスク該当者が多く、「手段的自立度(IALD)」「知的能動性」は市平均より低くなっています。



【第4圏域】（二川、久野）

※網掛け部は市全体

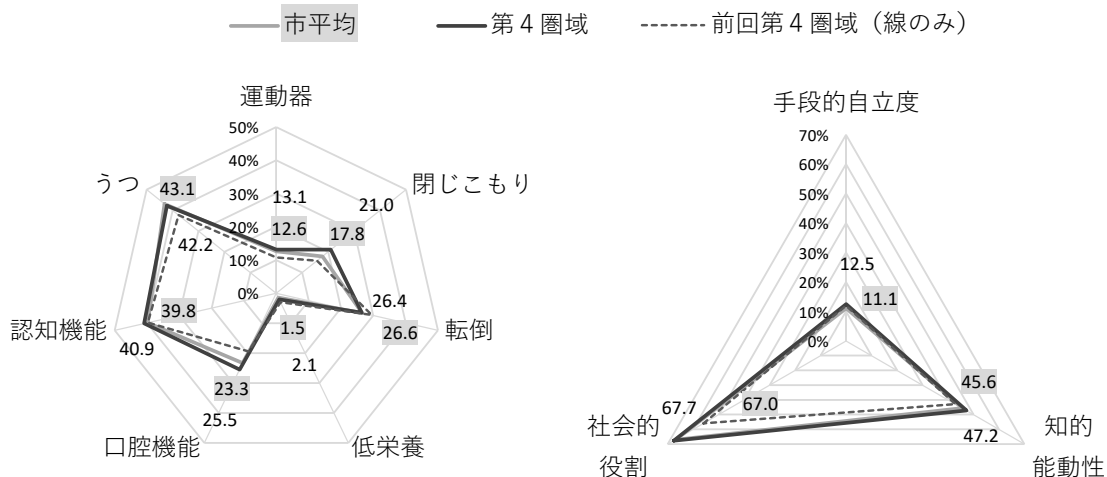
人口 (人)	高齢者 人口 (人)	高齢化 率 (%)	後期 高齢者 人口 (人)	後期 高齢化 率 (%)	要支援・要介護認定者数(人)							認定率 (%)	
					要支援		要介護						合計
					1	2	1	2	3	4	5		
16,692	4,919	29.5	2,476	14.8	103	90	217	123	121	89	47	790	16.1
5 番目	6 番目	6 番目	6 番目	9 番目								6 番目	9 番目
190,016	56,965	30.0	29,430	15.5	1,352	1,130	2,711	1,440	1,249	1,257	738	9,877	17.3

出典：第8期おだわら高齢者福祉介護計画

第4圏域は、二川地区が市のほぼ中央、久野地区が西部に位置し、箱根連山の東斜面となっています。市立病院があるほか、市役所をはじめとする官庁街に隣接しています。本市の中で人口は5番目、高齢者人口・高齢化率はともに6番目となっています。認定率は16.1%と9番目で、国の平均18.5%、市の平均17.3%より低くなっています。

生活機能評価の項目で市平均を上回った項目は、「転倒」「うつ」を除く5項目で市平均を上回っています。特に「閉じこもり」のリスク該当者が市平均より3.2ポイント高くなっています。前回との比較でみると、「閉じこもり」が前回(15.7%)から5.3ポイント、「口腔機能」が前回(19.4%)から6.1ポイント、「うつ」が前回(37.7%)から4.5ポイント高くなっています。

また、「手段的自立度(IALD)」「知的能動性」「社会的役割」においてリスク該当者が市平均より高くなっています。



【第5圏域】（東富水）

※網掛け部は市全体

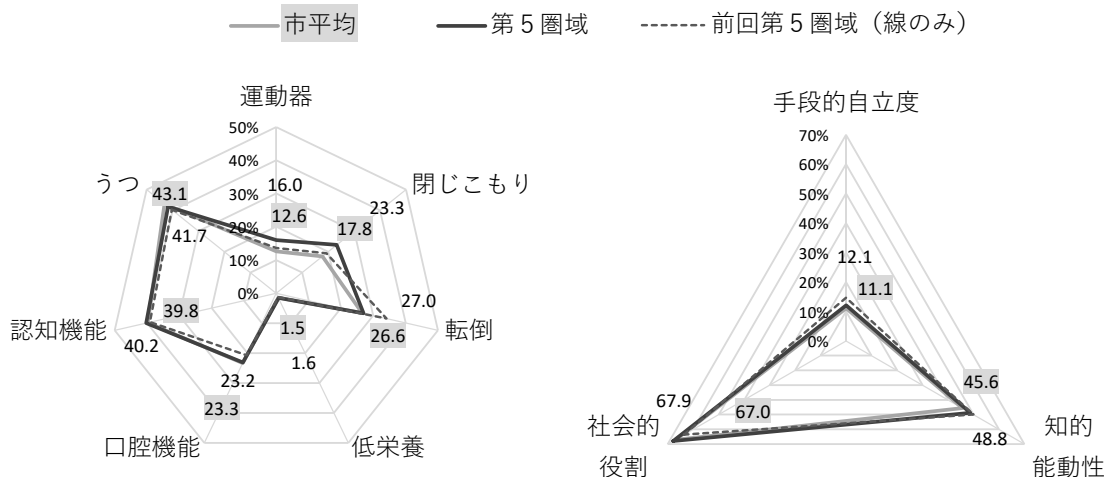
人口 (人)	高齢者 人口 (人)	高齢化 率 (%)	後期 高齢者 人口 (人)	後期 高齢化 率 (%)	要支援・要介護認定者数(人)							認定率 (%)	
					要支援		要介護						合計
					1	2	1	2	3	4	5		
13,283	3,912	29.5	2,145	16.1	107	72	192	97	73	79	54	674	17.2
10 番目	11 番目	6 番目	10 番目	3 番目								10 番目	5 番目
190,016	56,965	30.0	29,430	15.5	1,352	1,130	2,711	1,440	1,249	1,257	738	9,877	17.3

出典：第8期おだわら高齢者福祉介護計画

第5圏域は東に酒匂川、西南に狩川が流れ、田園風景が残る風光明媚な地域です。また、小田原アリーナや小田原テニスガーデンなどスポーツ施設が充実した地域でもあります。本市の中で人口は10番目で、高齢者人口は11番目、高齢化率は6番目となっています。認定率は17.2%と5番目で、国の平均18.5%、市の平均17.3%より低くなっています。

生活機能評価の項目で市平均を上回った項目は、「口腔機能」「うつ」を除く5項目で市平均を上回っています。特に「運動器」のリスク該当者が3.4ポイント、「閉じこもり」のリスク該当者が5.5ポイント高くなっています。前回との比較でみると、「閉じこもり」が前回(19.3%)から4.0ポイント高くなっていますが、「転倒」は前回(34.1%)から7.1ポイント低くなっています。

また、「手段的自立度(IALD)」「知的能動性」「社会的役割」においてリスク該当者が市平均より高くなっています。



【第6圏域】（富水）

※網掛け部は市全体

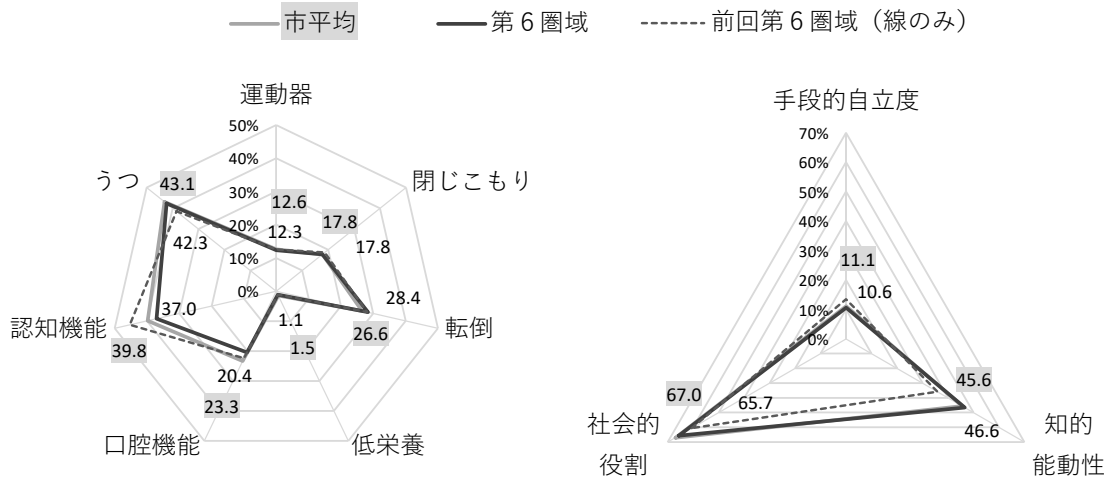
人口 (人)	高齢者 人口 (人)	高齢化 率 (%)	後期 高齢者 人口 (人)	後期 高齢化 率 (%)	要支援・要介護認定者数(人)							認定率 (%)	
					要支援		要介護						合計
					1	2	1	2	3	4	5		
14,631	4,193	28.7	2,255	15.4	118	92	185	117	89	123	58	782	18.7
8番目	9番目	9番目	8番目	7番目								8番目	1番目
190,016	56,965	30.0	29,430	15.5	1,352	1,130	2,711	1,440	1,249	1,257	738	9,877	17.3

出典：第8期おだわら高齢者福祉介護計画

第6圏域は市の北部に位置し、狩川、仙了川、要定川などの清流が流れ、美しい田園風景が広がり、中央を大雄山線が通っています。本市の中で人口は8番目で、高齢者人口・高齢化率はともに9番目となっています。認定率は18.7%と第1圏域と並び最も高く、国の平均18.5%、市全体の17.3%より高くなっています。

生活機能評価の項目で市平均を上回った項目は、「転倒」のみで、市平均より1.8ポイント高くなっています。前回との比較でみると、「うつ」は前回(38.5%)から3.8ポイント高くなっていますが、「認知機能」は前回(45.3%)から8.3ポイント低くなっています。

また、「知的能動性」で市平均よりリスク該当者が高く、「手段的自立度(IALDL)」「社会的役割」は市平均より低くなっています。



【第7圏域】（桜井）

※網掛け部は市全体

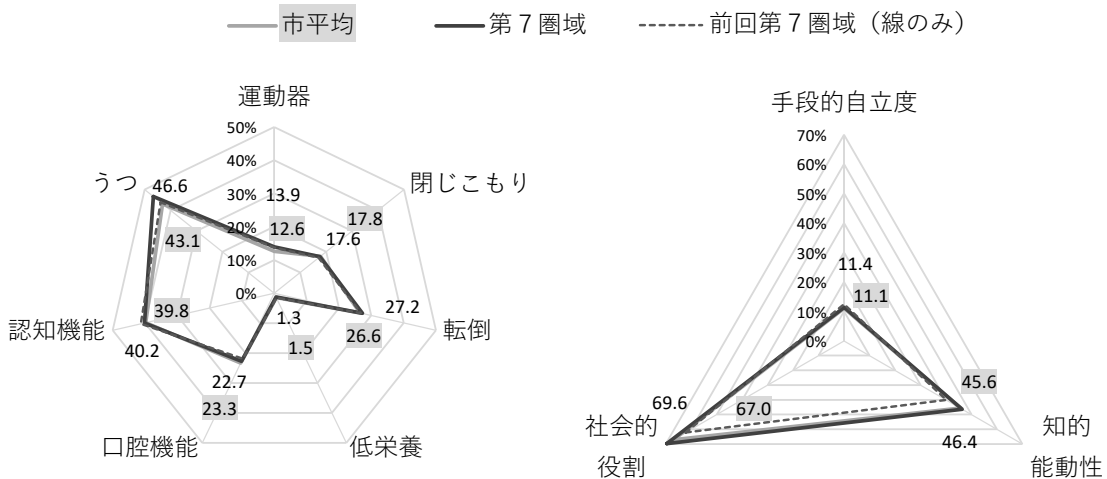
人口 (人)	高齢者 人口 (人)	高齢化 率 (%)	後期 高齢者 人口 (人)	後期 高齢化 率 (%)	要支援・要介護認定者数(人)								認定率 (%)
					要支援		要介護					合計	
					1	2	1	2	3	4	5		
12,880	3,809	29.6	1,941	15.1	74	84	180	85	58	68	34	583	15.3
11 番目	12 番目	5 番目	12 番目	8 番目								12 番目	11 番目
190,016	56,965	30.0	29,430	15.5	1,352	1,130	2,711	1,440	1,249	1,257	738	9,877	17.3

出典：第8期おだわら高齢者福祉介護計画

第7圏域は市の北部に位置し、地形上は平坦で、中央には仙了川が、東側には酒匂川が流れ、美しい田園風景が今も随所に残っています。本市の中で人口は 11 番目、高齢者は最も少ない圏域で、高齢化率は5番目となっています。認定率は 15.3%と2番目に低く、国の平均 18.5%より 3.2 ポイント低くなっています。

生活機能評価の項目で市平均を上回った項目は、「運動器」「転倒」「認知機能」「うつ」となっており、特に「うつ」は、市平均より 3.5 ポイント高くなっており、前回（43.8%）から 2.8 ポイント高くなっています。

また、「手段的自立度（IADL）」「知的能動性」「社会的役割」においてリスク該当者が市平均より高くなっています。



【第8圏域】（酒匂・小八幡、富士見）

※網掛け部は市全体

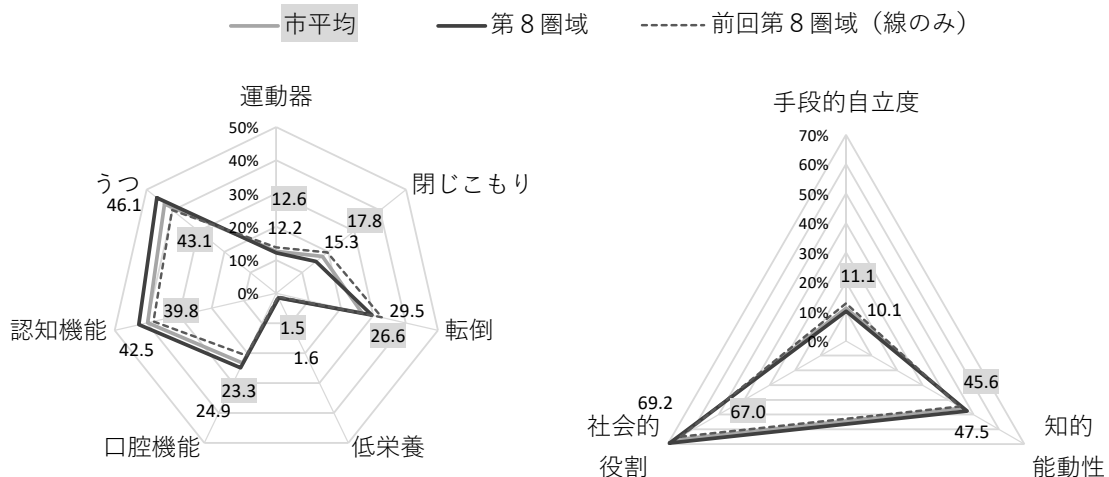
人口 (人)	高齢者 人口 (人)	高齢化 率 (%)	後期 高齢者 人口 (人)	後期 高齢化 率 (%)	要支援・要介護認定者数(人)							認定率 (%)	
					要支援		要介護						合計
					1	2	1	2	3	4	5		
19,907	5,696	28.6	2,903	14.6	142	119	274	126	115	111	77	964	16.9
2番目	1番目	10番目	1番目	10番目								2番目	6番目
190,016	56,965	30.0	29,430	15.5	1,352	1,130	2,711	1,440	1,249	1,257	738	9,877	17.3

出典：第8期おだわら高齢者福祉介護計画

第8圏域は国道1号線に沿って発展した由緒ある地域で、西に酒匂川が流れ、相模湾に面した平坦な地形です。圏域内には健康、文化、スポーツ関連施設が整備されています。人口は本市で2番目に多く、高齢者人口は最も多い圏域ですが、高齢化率は10番目となっています。認定率は16.9%と6番目で、国の平均18.5%、市の平均17.3%より低くなっています。

生活機能評価の項目で市平均を上回った項目は、「運動器」「閉じこもり」を除く5項目で市平均を上回っています。「転倒」のリスク該当者が2.9ポイント、「うつ」のリスク該当者が3.0ポイント高くなっています。前回との比較でみると、「口腔機能」が前回(20.8%)から4.1ポイント、「認知機能」が前回(38.0%)から4.5ポイント、「うつ」が前回(40.2%)から5.9ポイント高くなっています。

また、「知的能動性」「社会的役割」でリスク該当者が市平均より高く、「手段的自立度(IALD)」は市平均より低くなっています。



【第9圏域】（下府中）

※網掛け部は市全体

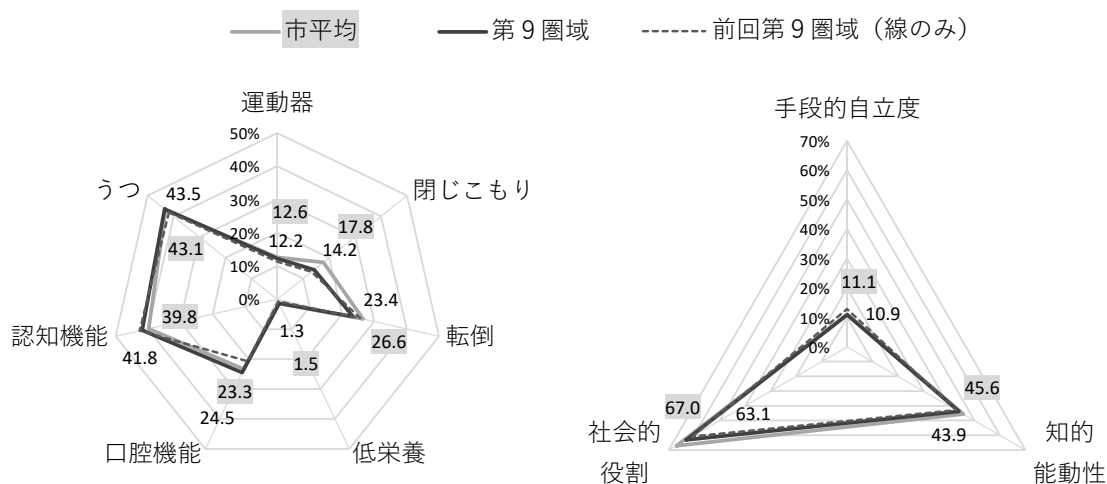
人口 (人)	高齢者 人口 (人)	高齢化 率 (%)	後期 高齢者 人口 (人)	後期 高齢化 率 (%)	要支援・要介護認定者数(人)							認定率 (%)	
					要支援		要介護						合計
					1	2	1	2	3	4	5		
15,934	4,371	27.4	2,226	14.0	92	82	228	92	86	89	43	712	16.3
6 番目	8 番目	11 番目	9 番目	11 番目	/	/	/	/	/	/	/	9 番目	7 番目
190,016	56,965	30.0	29,430	15.5	1,352	1,130	2,711	1,440	1,249	1,257	738	9,877	17.3

出典：第8期おだわら高齢者福祉介護計画

第9圏域は、地形上は平坦で中央に巡礼街道が走り、大型商業施設、文化・娯楽施設に徒歩や自転車で行き来が可能な圏域です。本市の中で人口は6番目、高齢者人口は8番目、高齢化率は11番目と他の圏域に比べて低くなっています。認定率は16.3%と7番目で、国の平均18.5%、市の平均17.3%より低くなっています。

生活機能評価の項目でリスク該当者の割合をみると、「口腔機能」「認知機能」「うつ」が市平均より高くなっています。一方、「閉じこもり」は市平均より3.6ポイント、「転倒」は3.2ポイント低くなっています。前回との比較でみると、「口腔機能」が前回(20.7%)から3.8ポイント高くなっています。

また、「手段的自立度(IALDL)」「知的能動性」「社会的役割」においてリスク該当者が市平均より低くなっています。



【第10圏域】（豊川、上府中）

※網掛け部は市全体

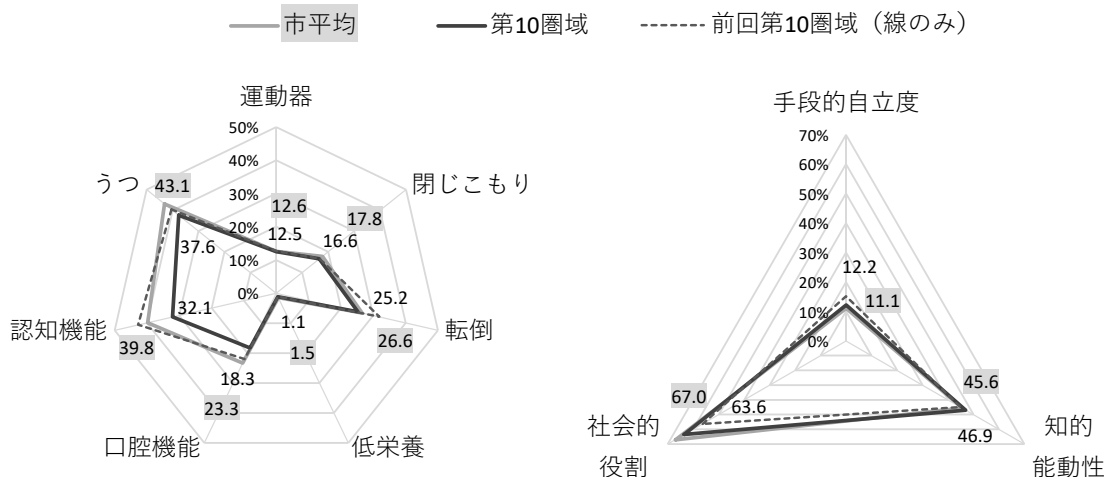
人口 (人)	高齢者 人口 (人)	高齢化 率 (%)	後期 高齢者 人口 (人)	後期 高齢化 率 (%)	要支援・要介護認定者数(人)							認定率 (%)		
					要支援		要介護						合計	
					1	2	1	2	3	4	5			
20,632	5,394	26.1	2,550	12.4	103	70	212	131	120	98	56	790	14.6	
1 番目	4 番目	12 番目	5 番目	12 番目									6 番目	12 番目
190,016	56,965	30.0	29,430	15.5	1,352	1,130	2,711	1,440	1,249	1,257	738	9,877	17.3	

出典：第8期おだわら高齢者福祉介護計画

第10圏域は、圏域の西部を酒匂川が流れ、その豊かな水源を生かした田園を中心としたまちづくりが進む地域と、工業団地と宅地化が進む地域が混在する圏域です。本市で最も人口が多く、高齢者人口は4番目に多い圏域ですが、高齢化率・後期高齢化率ともに最も低くなっています。認定率も14.6%と本市で最も低く、国の平均18.5%より3.9ポイント低くなっています。

生活機能評価の項目では、すべての項目でリスク該当者の市平均を下回っており、特に「口腔機能」が5.0ポイント、「認知機能」が7.7ポイント、「うつ」が5.5ポイント、それぞれ市平均より低くなっています。前回との比較でも、「転倒」は前回(31.9%)から6.7ポイント、「認知機能」が前回(42.7%)から10.6ポイント低くなっています。

また、「手段的自立度(IADL)」「知的能動性」で市平均よりリスク該当者が高く、「社会的役割」は市平均より低くなっています。



【第11圏域】（曽我、下曽我、国府津）

※網掛け部は市全体

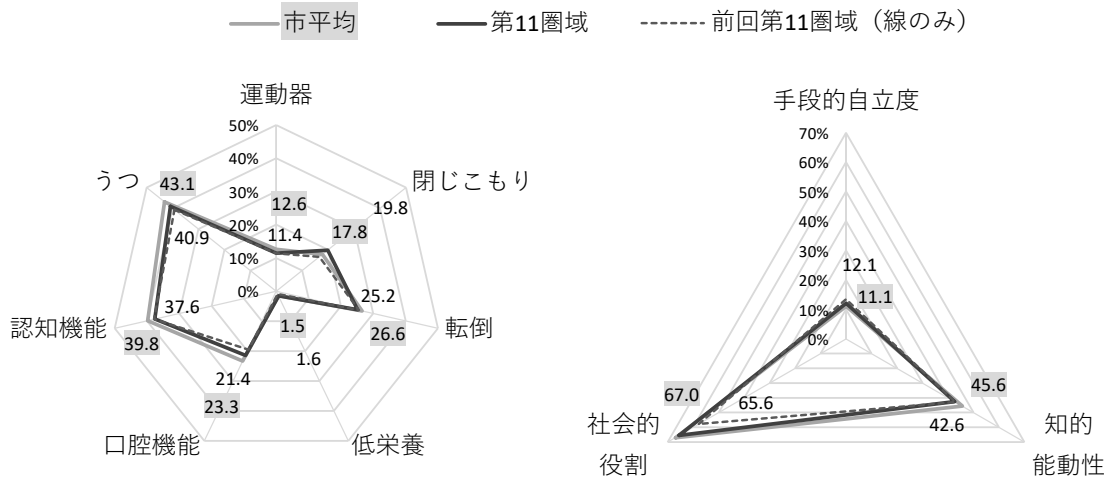
人口 (人)	高齢者 人口 (人)	高齢化 率 (%)	後期 高齢者 人口 (人)	後期 高齢化 率 (%)	要支援・要介護認定者数(人)							認定率 (%)	
					要支援		要介護						合計
					1	2	1	2	3	4	5		
17,588	5,423	30.8	2,768	15.7	111	96	223	136	122	122	72	882	16.3
4番目	3番目	4番目	3番目	5番目								4番目	7番目
190,016	56,965	30.0	29,430	15.5	1,352	1,130	2,711	1,440	1,249	1,257	738	9,877	17.3

出典：第8期おだわら高齢者福祉介護計画

第11圏域は、本市の北東部に位置し、南は相模湾に面し、北は大井町と隣接している縦に長い圏域でJR御殿場線の沿線です。本市の中で4番目に人口が多く、高齢者人口は3番目で、高齢化率は4番目に高い圏域です。認定率は16.3%と7番目で、国の平均18.5%、市の平均17.3%より低くなっています。

生活機能評価の項目でリスク該当者の割合をみると、「閉じこもり」と「低栄養」が市平均より高くなっていますが、全体では市平均とほぼ同じ値となっています。前回との比較でみると、「閉じこもり」が前回（16.6%）から3.2ポイント高くなっています。

また、「手段的自立度（IADL）」で市平均よりリスク該当者が多く、「知的能動性」「社会的役割」は市平均より低くなっています。



【第12圏域】（前羽、橘北）

※網掛け部は市全体

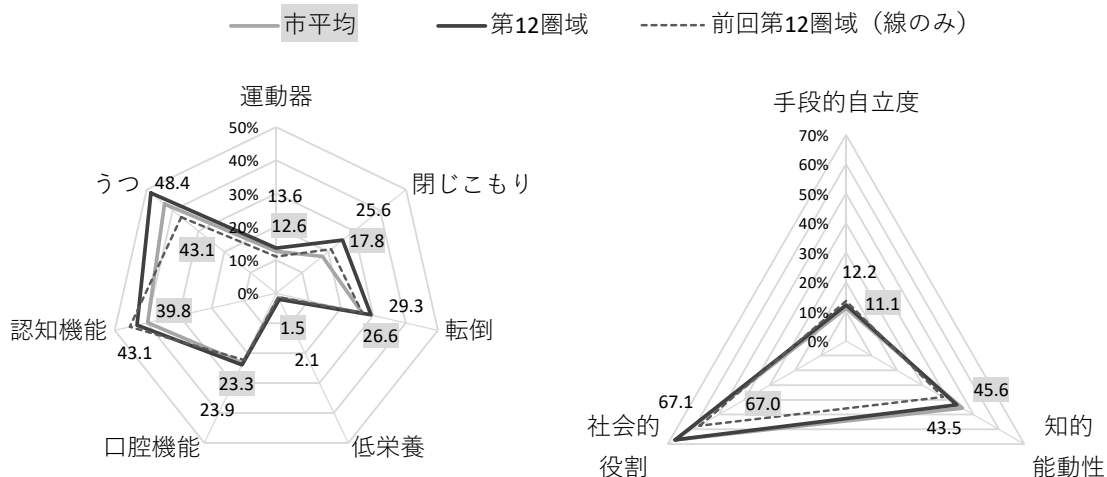
人口 (人)	高齢者 人口 (人)	高齢化 率 (%)	後期 高齢者 人口 (人)	後期 高齢化 率 (%)	要支援・要介護認定者数(人)								認定率 (%)
					要支援		要介護					合計	
					1	2	1	2	3	4	5		
10,938	4,070	37.2	2,102	19.2	78	75	180	87	74	88	53	635	15.6
12番目	10番目	1番目	11番目	2番目								11番目	10番目
190,016	56,965	30.0	29,430	15.5	1,352	1,130	2,711	1,440	1,249	1,257	738	9,877	17.3

出典：第8期おだわら高齢者福祉介護計画

第12圏域は、本市の東部に位置し、二宮町や中井町とも隣接し、南は相模湾に面しており、坂が多い地域です。圏域内には、コミュニティの場としてのタウンセンターや、老人憩いの家、福祉館があります。本市の中で最も人口が少ない圏域ですが、高齢化率は最も高く、後期高齢化率も2番目に高くなっています。認定率は15.6%と3番目に低く、国の平均18.5%より2.9ポイント低くなっています。

生活機能評価の項目では、すべての項目でリスク該当者の市平均を上回っています。特に「閉じこもり」が7.8ポイント、「うつ」が5.3ポイント、それぞれ市平均より高くなっています。前回との比較でも、「閉じこもり」が前回(21.2%)から4.4ポイント、「うつ」が前回(36.7%)から11.7ポイント高くなっています。

また、「手段的自立度(IALDL)」「社会的役割」で市平均よりリスク該当者が高く、「知的能動性」は市平均より低くなっています。



V 資料

V 資料

1 自由記載回答

調査票のうち、自由記載欄のある回答結果の主なものは以下のとおりで、件数が多かった順に掲載しています。

調査票を記入されたのはどなたですか：続柄

- ・夫、妻、子（長男、長女、次男、次女、息子、娘）、長男の嫁、孫、甥、姉、弟 等

問2-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか：その他

- ・腰痛、ひざの痛み、高血圧、変形性腰椎症、坐骨神経痛、うつ病 等

問2-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか：その他

- ・義理の妹、甥、姪、家政婦、病院、看護師 等

問12-1 外出を控えている理由は、次のどれですか：その他

- ・新型コロナウイルスの影響、家族の介護、体力がない、歩行困難、外出する目的がない 等

問13 外出する際の移動手段は何ですか：その他

- ・介護タクシー、シャトルバス、杖、手押しカート 等

問39 趣味はありますか。ある場合は（ ）内にご記入ください

- | | | | |
|---------------|------------|----------|----------|
| ・ガーデニング、家庭菜園 | ・手芸、編み物 | ・読書 | ・ゴルフ |
| ・カラオケ、コーラス | ・ウォーキング | ・絵手紙、絵画 | ・陶芸 |
| ・釣り | ・スポーツ、運動全般 | ・旅行 | ・カメラ |
| ・音楽鑑賞、楽器の演奏 | ・囲碁、将棋 | ・ゲーム | ・DIY |
| ・登山、ハイキング | ・スイミング | ・テニス | ・ドライブ |
| ・パチンコ、競輪、競馬 | ・テレビ鑑賞 | ・麻雀 | ・温泉 |
| ・パソコン、スマートフォン | ・映画鑑賞 | ・短歌、俳句 | ・書道 |
| ・ヨガ、フィットネス、体操 | ・料理 | ・スキー | ・生け花、押し花 |
| ・日本舞踊、民謡 | ・茶道 | ・仕事 | ・卓球 |
| ・社交ダンス、ダンス | ・マラソン | ・YouTube | ・食事 |
| ・パズル、クロスワード | ・歴史 | ・バイク | ・バドミントン |
| ・着物の着付け | ・芸術鑑賞 | ・太極拳 | ・弓道 |
| ・めだかの飼育 | ・株、投資 | ・筋トレ | ・ゲートボール |
| ・ナンプレ 等 | | | |

問 40 生きがいがありますか。ある場合は（ ）内にご記入ください

- ・子どもや孫の成長
- ・長生きすること
- ・日々の生活
- ・農作業や野菜作りをすること
- ・旅行に行くこと
- ・趣味をすること
- ・ボランティア活動をすること
- ・仲間、友人と交流すること
- ・カラオケをすること
- ・ペットや花の世話をすること
- ・温泉旅行に行くこと
- ・読書をすること
- ・健康でいること
- ・家族、夫婦での生活
- ・家族の世話、介護をすること
- ・働くこと
- ・食事をすること、料理をすること
- ・人の役に立つこと
- ・老人会での活動
- ・運動をすること
- ・ゴルフをすること
- ・スポーツ観戦すること
- ・テレビを見ること
- ・音楽鑑賞、楽器演奏すること 等

問 41-1 働く理由、働きたい理由はなんですか：その他

- ・自営業のため、農作業のため、役職があるから、おもしろいから、ボケ防止のため 等

問 43 情報をどこで得ていますか：その他

- ・スマートフォン、パソコン、LINE、YouTube、SNS、講習会、地域活動、図書館 等

問 48 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人：その他

- ・同僚、ケアマネジャー、パート仲間、看護師、ヘルパー、民生委員、パートナー 等

問 49 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人：その他

- ・同僚、パート仲間、ヘルパー、部下、訪問先の高齢者、地域活動のグループ 等

問 50 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人：その他

- ・かかりつけ医、ケアマネジャー、パートナー、同居人、ヘルパー、看護師 等

問 51 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人：その他

- ・同居人、義母、年上の知人、被後見人 等

問 52 あなたが将来亡くなった後に、葬儀の手配や各種支払い・事務手続きなどを担ってくれそうな人はだれですか：その他

- ・ケアマネジャー、成年後見人、弁護士、司法書士、仕事関係、まだわからない 等

問 53 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください：その他

- ・同僚、施設スタッフ、デイサービスの職員、マンションのスタッフ、薬剤師、弁護士 等

問 57 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか：その他

- ・スポーツジム、体操の人、施設のスタッフ、お客様、美容師、マンションの住人 等

問 64 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか：その他

- ・アレルギー、コレステロールが高い、腰痛、ひざの痛み、帯状疱疹、関節リウマチ、脊柱管狭窄症、歯の治療、甲状腺機能障害、不眠症、不整脈、痛風 等

2 調査票

小田原市 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

小田原市では、令和5年度に「おだわら高齢者福祉介護計画」の本格的な見直しを行います。この調査は、「おだわら高齢者福祉介護計画」見直しのための基礎資料として活用することを目的に、小田原市にお住まいの65歳以上の方から無作為に選ばせていただいた方(令和4年(2022年)10月20日現在)を対象として実施するものです。お答えいただいた内容については、統計的に処理いたしますので、みなさまにご迷惑をおかけすることは一切ありません。

お忙しいと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年11月

小田原市長 守屋 輝彦

記入に際してのお願い

- ・この調査は封筒の宛名の方が対象です。
- ・回答は該当する選択肢に「点子エック」をすするなど、各設問の指示にしたがってください。
- ・令和4年11月1日現在の内容でご記入ください。
- ・なんらかの事情でご本人が記入できない場合は、ご家族の方などが代筆していただくか、ご本人の意思を尊重して代わって回答していただくようお願いいたします。
- ・設問中の「あなた」とは高齢者ご本人のことを指します。

個人情報 取り扱いについて

- ・個人情報の保護及び活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。
- ・なお、本調査票のご返送をもちまして、以下にご同意いただいたものとみなさせていただきます。

【個人情報の保護及び活用目的について】

- ・「おだわら高齢者福祉介護計画」見直しのための基礎資料として活用することを目的に今回の調査と要介護認定データなどを利用させていただきます。統計的な集計処理は個人が識別されない形で行います。なお、調査目的以外に利用することはありません。
- ・本調査で得られた情報につきましては、本市で適切に管理させていただきます。

ご記入いただいた調査票は、3つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて、**令和4年12月9日(金)**までに投函くださるようお願いいたします。

【調査についてのお問い合わせ先】

小田原市役所 高齢介護課 高齢者福祉係 TEL (0465) 33-1841
FAX (0465) 33-1838

回答は該当する選択肢に☑をつけ、数字記入欄は数字を記入してください。

記入日	令和4年	月	日
調査票を記入されたのはどなたですか (☑は1つ)			
<input type="checkbox"/>	あて名のご本人が記入		
<input type="checkbox"/>	ご家族が記入 (あて名のご本人からみたら続柄 _____)		
<input type="checkbox"/>	その他 (具体的に: _____)		

1 あなたの大家族や生活状況について

問1 家族構成をお教えください (☑は1つ)

- 1人暮らし 夫婦2人暮らし (配偶者 65歳以上)
- 夫婦2人暮らし (配偶者 64歳以下) 息子・娘との2世帯
- その他

問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (☑は1つ)

- 介護・介助は必要ない ⇒ 問3へ
- 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない ⇒ 問2-1へ
- 現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) ⇒ 問2-1、2へ

【問2において「介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

問2-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか (あてはまるものすべてに☑)

- 脳卒中 (脳出血・脳梗塞など) 心臓病
- がん (悪性新生物) 呼吸器の病氣 (肺炎腫・肺炎など)
- 関節の病氣 (リウマチなど) 認知症 (アルツハイマー病など)
- パーキンソン病 糖尿病
- 腎疾患 (透析) 視覚・聴覚障がい
- 骨折・転倒 脊椎損傷
- 高齢による衰弱 その他 (_____)
- 不明

【問2において「現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

問2-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか（あてはまるものすべてに☑）

- 配偶者（夫・妻） 息子 娘
 子の配偶者 孫 兄弟・姉妹
 介護サービスのヘルパー その他（ ）

問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（☑は1つ）

- 大変苦しい やや苦しい ふつう
 ややゆとりがある 大変ゆとりがある

問4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか（☑は1つ）

- 持家（一戸建て） 持家（集合住宅）
 公営賃貸住宅 民間賃貸住宅（一戸建て）
 民間賃貸住宅（集合住宅） 借家
 その他

2 からだを動かすことについて

問5 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか（☑は1つ）

- できるし、している できるけどしていない できない

問6 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか（☑は1つ）

- できるし、している できるけどしていない できない

問7 15分位続けて歩いていますか（☑は1つ）

- できるし、している できるけどしていない できない

問8 過去1年間に転んだ経験がありますか（☑は1つ）

- 何度もある 1度ある ない

問9 転倒に対する不安は大きいですか（☑は1つ）

- とても不安である やや不安である あまり不安でない 不安でない

問10 週に1回以上は外出していますか（☑は1つ）

- ほとんど外出しない 週1回 週2～4回 週5回以上

問11 昨年と比べて外出の回数が減っていますか（☑は1つ）

- とても減っている 減っている あまり減っていない 減っていない

問12 外出を控えていますか（☑は1つ）

- はい ⇒ 間12-1へ いいえ⇒ 間13へ

【問12で「はい」（外出を控えている理由）の方のみ】

問12-1 外出を控えている理由は、次のどれですか（あてはまるものすべてに☑）

- 病气 障がい（脳卒中の後遺症など）
 足腰などの痛み トイレの心配（失禁など）
 耳の障がい（聞こえの問題など） 目の障がい
 外での楽しみがない 経済的に出られない
 交通手段がない その他（ ）

問13 外出する際の移動手段は何ですか（あてはまるものすべてに☑）

- 徒歩 自転車 バイク
 自動車（自分で運転） 自動車（人に乗せてもらう） 電車
 路線バス 病院や施設のバス 車いす
 電動車いす（カート） 歩行器・シルバーカー タクシー
 その他（ ）

3 食ばることについて

問14 身長・体重をご記入ください

身長 cm 体重 kg

問15 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（☑は1つ）

- はい いいえ

問16	お茶や汁物などでむせることがありますか (☑は1つ)	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
問17	口の渇きが気になりますか (☑は1つ)	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
問18	歯磨き (人にやってもらう場合も含む) を毎日していますか (☑は1つ)	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
問19	歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。 (※成人の歯の総本数は、顎知らずを含めて32本です) (☑は1つ)	<input type="checkbox"/> 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 <input type="checkbox"/> 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	
		問19-1へ	問20へ
	【問19で「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】		
問19-1	毎日入れ歯の手入れをしていますか (☑は1つ)	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
問20	噛み合わせは良いですか (☑は1つ)	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
問21	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか (☑は1つ)	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
問22	どなたかと食事をもにする機会がありますか (☑は1つ)	<input type="checkbox"/> 毎日ある	<input type="checkbox"/> 週に何度かある
		<input type="checkbox"/> 年に何度かある	<input type="checkbox"/> ほとんどない

4 毎日の生活について			
問23	物忘れが多いと感じますか (☑は1つ)	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
問24	自分で電話番号を調べて、電話をかけをしていますか (☑は1つ)	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
問25	今日が何月何日かわからなときがありますか (☑は1つ)	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
問26	バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (☑は1つ)	<input type="checkbox"/> できるし、している	<input type="checkbox"/> できるけどしていません
問27	自分で食品・日用品の買物をしていますか (☑は1つ)	<input type="checkbox"/> できるし、している	<input type="checkbox"/> できるけどしていません
問28	自分で食事の用意をしていますか (☑は1つ)	<input type="checkbox"/> できるし、している	<input type="checkbox"/> できるけどしていません
問29	自分で請求書の支払いをしていますか (☑は1つ)	<input type="checkbox"/> できるし、している	<input type="checkbox"/> できるけどしていません
問30	自分で預貯金の出し入れをしていますか (☑は1つ)	<input type="checkbox"/> できるし、している	<input type="checkbox"/> できるけどしていません
問31	年金などの書類 (役所や病院などに出す書類) が書けますか (☑は1つ)	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
問32	新聞を読んでいますか (☑は1つ)	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ

問33 本や雑誌を読んでいますか (☑は1つ)

はい いいえ

問34 健康についての記事や番組に関心がありますか (☑は1つ)

はい いいえ

問35 友人の家を訪ねていますか (☑は1つ)

はい いいえ

問36 家族や友人の相談にのっていますか (☑は1つ)

はい いいえ

問37 病人を見舞うことができますか (☑は1つ)

はい いいえ

問38 若い人に自分から話しかけることがありますか (☑は1つ)

はい いいえ

問39 趣味はありますか。ある場合は () 内にご記入ください (☑は1つ)

趣味あり → ()

思いつかない

問40 生きがいがありますか。ある場合は () 内にご記入ください (☑は1つ)

生きがいあり → ()

思いつかない

問41 現在働いていますか (☑は1つ)

フルタイムで働いている パートタイムで働いている

働いていないが、働きたい 働いていないし、働きたくない

問41-1へ ⇨ 問42へ

【問41で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」「働いていないが、働きたい」の方のみ】

問41-1 働く理由、働きたい理由はなんですか (☑は1つ)

生活のため 健康のため 生きがいのため

時間に余裕があるから 社会参加のため 体力的にまだ働けるから

その他 ()

問42 終活について考えていますか (☑は1つ)

考えているし、取り組んでいる 考えているけど、取り組んでいない

考えていない

問43 日ごろ、知りたい情報をどこで得ていますか (あてはまるものすべてに☑)

友人、知人、家族からの口コミ 市の広報や窓口での案内

地域包括支援センターからの案内 インターネット

本や雑誌 新聞、テレビ、ラジオ

自治会の回覧 その他 ()



5 地域での活動について

問 44 以下のような全・グループなどにどのくらいの頻度で参加していますか
 ※①～⑧それぞれに回答してください（それぞれ☐は1つ）

	週4回 以上	週2 ～3回	週1回	月1 ～3回	年に 数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② スポーツ関係のグループや クラブ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 趣味関係のグループ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ 学習・教養サークル	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤ 介護予防のための通いの場 (上記①～④を除く、地域のサロン やグループなど)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥ 老人クラブ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑦ 自治会	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑧ 収入のある仕事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問 45 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味などのグループ活動を行って、
 いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたははその活動に参加者として参
 加してみたいと思いますか（☐は1つ）

ぜひ参加したい 参加してもよい 参加したくない 既に参加している

問 46 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味などのグループ活動を行って、
 いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたははその活動に企画・運営（総
 世話役）として参加してみたいと思いますか（☐は1つ）

ぜひ参加したい 参加してもよい 参加したくない 既に参加している

問 47 市が開催している介護予防事業（65歳からの筋トレ教室、食で生き生き！栄養教室
 など）を知っていますか（☐は1つ）

知っているし、参加したことがある 知っているが、参加したことはない
 聞いたことはあるが、内容までは知らない 聞いたことがないし、知らない

6 たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお答えをお願いします

問 48 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人はだれですか
 （あてはまるものすべてに☐）

- 配偶者 同居の子ども 別居の子ども
 兄弟姉妹・親戚・親・孫 近隣の人 友人
 その他（ ） そのような人はいない

問 49 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人はだれですか
 （あてはまるものすべてに☐）

- 配偶者 同居の子ども 別居の子ども
 兄弟姉妹・親戚・親・孫 近隣の人 友人
 その他（ ） そのような人はいない

問 50 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はだれですか
 （あてはまるものすべてに☐）

- 配偶者 同居の子ども 別居の子ども
 兄弟姉妹・親戚・親・孫 近隣の人 友人
 その他（ ） そのような人はいない

問 51 反対に、看病や世話をしてあげる人はだれですか（あてはまるものすべてに☐）

- 配偶者 同居の子ども 別居の子ども
 兄弟姉妹・親戚・親・孫 近隣の人 友人
 その他（ ） そのような人はいない

問 52 あなたが将来亡くなった後に、葬儀の手配や各種支払い・事務手続きなどを担ってくれそ
 うな人はだれですか（あてはまるものすべてに☐）

- 配偶者 同居の子ども 別居の子ども
 兄弟姉妹・親戚・親・孫 近隣の人 友人
 その他（ ） そのような人はいない

問 53 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
(あてはまるものすべてに☑)

自治会・老人クラブ 社会福祉協議会・民生委員
 ケアマネジャー 医師・歯科医師・看護師
 地域包括支援センター・市役所 その他 ()
 そのような人はいない

問 54 地域包括支援センターを知っていますか (☑は1つ)

名前を知っているし、業務内容も大体知っている
 名前を知っているし、業務内容も少しは知っている
 名前は知っているが、業務内容は知らない
 名前も知らない

問 55 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (☑は1つ)

毎日ある 週に何度かある 月に何度かある
 年に何度かある ほとんどない

問 56 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか
同じ人には何度会っても1人と数えることとします (☑は1つ)

0人 (いない) 1～2人 3～5人
 6～9人 10人以上

問 57 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (あてはまるものすべてに☑)

近所・同じ地域の人 幼なじみ
 学生時代の友人 仕事での同僚・元同僚
 趣味や関心が同じ友人 ボランティアなどの活動での友人
 その他 () いない

7 健康について

問 58 現在のあなたの健康状態はいかがですか (☑は1つ)

とてもよい まあよい あまりよくない よくない

問 59 あなたは、現在のどの程度幸せですか (☑は1つ)
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

とても不幸 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点
とても幸せ

問 60 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (☑は1つ)

はい いいえ

問 61 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (☑は1つ)

はい いいえ

問 62 お酒は飲みますか (☑は1つ)

ほぼ毎日飲む 時々飲む ほとんど飲まない
 もともと飲まない

問 63 タバコは吸っていますか (☑は1つ)

ほぼ毎日吸っている 時々吸っている 吸っていたがやめた
 もともと吸っていない

問 64 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (あてはまるものすべてに☑)

ない 高血圧
 脳卒中 (脳出血・脳梗塞など) 心臓病
 糖尿病 高脂血症 (脂質異常)
 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎など) 胃腸・肝臓・胆のうの病気
 腎臓・前立腺の病気 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症など)
 外傷 (転倒・骨折など) がん (悪性新生物)
 血液・免疫の病気 うつ病
 認知症 (アルツハイマー病など) パーキンソン病
 目の病気 耳の病気
 その他 ()

問 65 かかりつけの医療機関はありますか（あてはまるものすべてに☑）

病院 診療所 歯科医院

薬局 かかりつけの医療機関はない

8 認知症にかかる相談窓口の把握について

問 66 認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人はいいますか（☑は1つ）

はい いいえ

問 67 認知症に関する相談窓口を知っていますか（☑は1つ）

はい いいえ

問 68 成年後見制度を知っていますか（☑は1つ）

名前を知っているし、制度内容も知っている

名前を知っているし、制度内容も少しは知っている

名前は知っているが、制度内容は知らない

名前も知らない

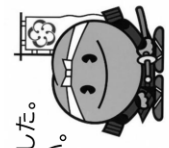
◎その他、介護保険や福祉サービスについて、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....



アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。
令和4年12月9日（金）までにご投函ください。

**小田原市 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査
調査結果報告書**

発行日 令和5年3月

発行者 小田原市高齢介護課 高齢者福祉係

住 所 〒250-8555 神奈川県小田原市荻窪 300 番地

T E L 0465-33-1841
